

2025

TBGU シラバス

Faculty of Medical Science and Welfare
Department of Nursing

医療福祉学部

看護学科

目 次

※研究室は変更になる場合があります。

[医療福祉学部・看護学科]

授業科目の名称 配当年次 単位数 担当教員名 (○印は科目代表者) ページ

2025 年度入学者用カリキュラム

基礎科目

・輝ける者	[1 通 選 2]	(○小野部 純・他)……………	1
・生命を考える	[1 前後 選 2]	(○中村 哲也・阿部 玄治・本多ふく代・大庭 みよ・秋本 和宏) ……	2
・現代社会を視る	[1 前後 選 2]	(○山尾 貴則・豊田 正利・野崎 瑞樹・鑑 さやか・山川 樹・小淵 高志・黒沢 麻美・田中 茜) ……	3
・生活の中の科学	[1 前後 選 2]	(○長田 俊明・沈 紅・鈴木 陽一・鈴木 伸夫・八十川 淳・野崎 淳夫・須藤 諭・山本 和恵・川村 広則・一條 佑介・二科 妃里・富山 正幸・相澤 康弘・古林 俊晃・家名田敏昭・浅井 仁・佐藤 秀隆・工藤 剛実・佐々木典子・高橋 るみ・深谷 碧) ……	4
・経済・法律・世界を視る	[1 前後 選 2]	(○馬内 里美・田邊 文彦・ウォルグレイヴ イーライ) ……	5
・社会活動入門	[1 前後 選 2]	(○加藤 由美・石垣 亨・石橋 千賀・他) ……	6
・データサイエンス入門	[1 前 必 2]	(○村上 大介・渡邊 晃久・鈴木眞澄美)……………	7
・医療情報科学	[1 後 選 1]	(鈴木 亮二)……………	8
・医療のための基礎数学	[1 前 選 1]	(戸田 孝史)……………	9
・生活の中の物理学	[1 後 選 2]	(早川 美德)……………	10
・生活の中の化学	[1 前 選 2]	(堂浦 克美)……………	11
・生活の中の生物学	[1 前 必 2]	(堂浦 克美)……………	12
・統計解析	[1 後 選 2]	(西澤 哲)……………	13
・アカデミック・スキル演習	[1 通 必 2]	(○大池 真樹・鈴木 祐子・松田 優二・傍島 智子) ……	14
・スポーツ実技	[1 後 選 1]	(○犬塚 剛・森田 清美・金田 幸夫・未定)……………	15
・心理学概論	[1 後 選 2]	(北川 公路)……………	16
・生命倫理学	[1 後 必 1]	(鈴木 誠)……………	17
・英語コミュニケーションⅠ	[1 前 必 1]	(○増井三千代・岡光 信子・オーフラロティ 智美)……………	18
・英語コミュニケーションⅡ	[1 後 必 1]	(○増井三千代・岡光 信子・オーフラロティ 智美)……………	19
・韓国語コミュニケーションⅠ	[1 前 選 1]	(李 恵慶)……………	20
・韓国語コミュニケーションⅡ	[1 後 選 1]	(李 恵慶)……………	21
・中国語コミュニケーションⅠ	[1 前 選 1]	(王 效紅)……………	22
・中国語コミュニケーションⅡ	[1 後 選 1]	(王 效紅)……………	23
・コミュニケーション論	[1 前 選 2]	(呂本 俊亮)……………	24
・現代国語表現	[1 前 必 2]	(大泉 浩一)……………	25
・海外研修	[1 通 選 2]	(○増井三千代・立花顕一郎・王 元・鄭 舜玉) ……	26
・教育学	[1 後 選 2]	(佐々木真由美)……………	27
・憲法と法律	[1 前 選 2]	(淡路 智典)……………	28
・東北の歴史	[1 前 選 2]	(渡邊 洋一)……………	29
・現代史	[1 前 選 2]	(星野 修)……………	30
・健康科学	[1 前 必 1]	(古林 俊晃)……………	31
・生活と地球科学	[1 後 選 2]	(千葉 一)……………	32
・哲学	[1 後 選 2]	(高山 馨)……………	33
・生活と経済	[1 後 選 2]	(奥山 忠裕)……………	34
・ジェンダー論	[1 後 選 2]	(川口かしみ)……………	35
・教養としての政治学	[1 後 選 2]	(王 元)……………	36

専門基礎科目

・解剖生理学Ⅰ	[1 前 必 2]	(辻川 寛)……………	37
・解剖生理学Ⅱ	[1 後 必 2]	(戸田 孝史)……………	38
・生化学	[1 後 必 2]	(堂浦 克美)……………	39
・栄養学	[1 後 必 2]	(和泉安希子)……………	40
・病態治療学Ⅰ	[1 後 必 2]	(堂浦 克美)……………	41
・公衆衛生学	[1 後 必 2]	(吉田 裕人)……………	42
・家族社会学	[1 後 必 2]	(田中 茜)……………	43

専門科目

・看護学概論Ⅰ	[1 前 必 2]	(○庄子 幸恵・堀内 輝子)……………	44
・看護技術論Ⅰ	[1 前 必 3]	(○庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子)……………	45
・看護技術論Ⅱ	[1 後 必 3]	(○庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子・小山 美香) ……	46

・成人看護学概論	[1 後 必 1]	(○小松 恵・鈴木 敦子)……………	47
・公衆衛生看護学概論	[1 後 必 1]	(○佐々木明子・結城美智子・山岸 貴子)……………	48
・チーム医療福祉論	[1 後 選 1]	(大黒 一司)……………	49
・重度障がい者自立生活支援演習	[1・2・3・4 後 選 1]	(○本間 里美・小林 武・傍島 智子・千葉早耶香・千田 香) ……	50

2022～2024 年度入学者用カリキュラム

基礎科目

・ボランティア探求	[2 通 選 2]	(渡邊 洋一)……………	51
・情報処理Ⅱ	[1 後 必 1]	(○鈴木眞澄美・村上 大介)……………	52
・基礎数学	[1 後 選 2]	(伊藤 朋幸)……………	53
・英語Ⅱ	[2 通 選 2]	(馬内 里美)……………	54
・憲法と法律	[2 前 選 2]	(淡路 智典)……………	55
・文化人類学	[2 前 選 2]	(瀬川 昌久)……………	56
・日本・東北文化論	[2 前 選 2]	(栗原伸一郎)……………	57
・日本近代史	[2 前 選 2]	(渡邊 洋一)……………	58
・健康科学	[2 前 選 2]	(○未定・古林 俊晃)……………	59
・教育学Ⅰ	[2 前 選 2]	(三塚 明彦)……………	60
・教育学Ⅱ	[4 後 選 2]	(一柳 貴博)……………	61
・地球の科学	[4 後 選 1]	(千葉 一)……………	62
・哲学	[4 後 選 1]	(高山 馨)……………	63
・生活と経済	[4 後 選 1]	(未定)……………	64
・ジェンダー論	[4 後 選 1]	(妙木 忍)……………	65
・政治学	[4 後 選 1]	(王 元)……………	66

専門基礎科目

・病原微生物学	[2 前 必 2]	(小田切孝人)……………	67
・病態治療学Ⅱ	[2 前 必 2]	(佐藤 秀隆)……………	68
・病態治療学Ⅲ	[2 前 必 2]	(○沼崎 宗夫・大浦 敏博)……………	69
・病態治療学Ⅳ	[2 後 必 2]	(○渡邊 隆夫・津田 丈秀・前川 翠・宮城 重人・赤松大二郎) ……	70
・病態治療学Ⅴ	[2 後 必 2]	(○沼崎 宗夫・山口 克宏・松原 雄・未定)……………	71
・薬理学	[2 前 必 2]	(戸田 孝史)……………	72
・救急医療論	[3 前 必 1]	(○渡邊 隆夫・相澤 康弘)……………	73
・臨床心理学	[2 前 必 2]	(北川 公路)……………	74
・社会保障・福祉論	[2 後 必 2]	(森田慎二郎)……………	75
・医療経済論	[2 後 必 1]	(吉田 裕人)……………	76
・カウンセリング	[2 後 必 2]	(北川 公路)……………	77
・疫学	[3 前 選 2]	(山本 玲子)……………	78
・保健統計学	[3 前 選 2]	(西澤 哲)……………	79

専門科目

・看護学概論Ⅱ	[4 後 必 1]	(庄子 幸恵)……………	80
・看護技術論Ⅲ	[2 前 必 1]	(○庄子 幸恵・加賀谷 豊・堂浦 克美・宮下 真子・堀内 輝子) ……	81
・看護技術論Ⅳ	[2 後 必 1]	(○庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子)……………	82
・基礎看護学実習Ⅰ	[2 前 必 1]	(○庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子)……………	83
・基礎看護学実習Ⅱ	[2 後 必 2]	(○庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子)……………	84
・地域・在宅看護学概論	[2 後 必 1]	(○作山美智子・傍島 智子)……………	85
・地域・在宅看護学Ⅰ	[3 前 必 1]	(○作山美智子・傍島 智子・小笠原喜美代・仙石美枝子) ……	86
・地域・在宅看護学Ⅱ	[4 後 必 1]	(○作山美智子・傍島 智子・小笠原喜美代・仙石美枝子) ……	87
・地域・在宅看護方法論Ⅰ	[3 前 必 2]	(○傍島 智子・作山美智子・三木 千栄・平山 和哉・小池 和幸・名嘉原弥生・仙石美枝子・小笠原喜美代) ……	88
・地域・在宅看護方法論Ⅱ	[3 前 必 1]	(○作山美智子・傍島 智子・小笠原喜美代・仙石美枝子) ……	89
・地域・在宅看護学実習 A	[3 後 選 2]	(○作山美智子・傍島 智子・小笠原喜美代)……………	90
・地域・在宅看護学実習 B	[4 前 選 2]	(○作山美智子・傍島 智子・小笠原喜美代)……………	91
・成人看護方法論Ⅰ	[2 前 必 1]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) ……	92
・成人看護方法論Ⅱ	[2 後 必 1]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花・高橋 一揮・沼田 純希)……………	93
・成人看護方法論Ⅲ	[2 前 必 1]	(○村上 大介・鈴木 敦子)……………	94
・成人看護方法論Ⅳ	[2 後 必 1]	(○鈴木 敦子・村上 大介)……………	95
・成人看護方法論Ⅴ	[3 前 必 1]	(○鈴木 敦子・小松 恵・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) ……	96
・成人看護学実習Ⅰ A	[3 後 選 3]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) ……	97
・成人看護学実習Ⅰ B	[4 前 選 3]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) ……	98
・成人看護学実習Ⅱ A	[3 後 選 3]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) ……	99

・成人看護学実習ⅡB	[4 前 選 3]	(○小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・伊藤 明美・荒生 有花) …	100
・老年看護学概論	[2 前 必 1]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花・柴田 直子) …	101
・老年看護方法論Ⅰ	[2 後 必 2]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花・柴田 直子) …	102
・老年看護方法論Ⅱ	[3 前 必 1]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花・庄子 清典) …	103
・老年看護学実習ⅠA	[3 後 選 3]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花・柴田 直子) …	104
・老年看護学実習ⅠB	[4 前 選 3]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花・柴田 直子) …	105
・老年看護学実習ⅡA	[3 後 選 1]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花) …	106
・老年看護学実習ⅡB	[4 前 選 1]	(○大槻 久美・山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花) …	107
・小児看護学概論	[2 前 必 1]	(○大池 真樹・鈴木 祐子) …	108
・小児看護方法論Ⅰ	[2 後 必 2]	(○鈴木 祐子・大池 真樹・秋本 和宏・加藤 裕子・高橋 直子・吉本 裕子・日下由利子) …	109
・小児看護方法論Ⅱ	[3 前 必 1]	(○大池 真樹・鈴木 祐子・秋本 和宏・大塚 有希・日下由利子) …	110
・小児看護学実習ⅠA	[3 後 選 1]	(○鈴木 祐子・大池 真樹・秋本 和宏) …	111
・小児看護学実習ⅠB	[4 前 選 1]	(○鈴木 祐子・大池 真樹・秋本 和宏) …	112
・小児看護学実習ⅡA	[3 後 選 1]	(○大池 真樹・鈴木 祐子・秋本 和宏) …	113
・小児看護学実習ⅡB	[4 前 選 1]	(○大池 真樹・鈴木 祐子・秋本 和宏) …	114
・母性看護学概論	[2 前 必 1]	(○大庭 みよ・北山 玲子) …	115
・母性看護方法論Ⅰ	[2 後 必 2]	(○大庭 みよ・北山 玲子・吉越 依代) …	116
・母性看護方法論Ⅱ	[3 前 必 1]	(○大庭 みよ・小山 美香・吉越 依代) …	117
・母性看護学実習A	[3 後 選 2]	(○大庭 みよ・小山 美香・吉越 依代) …	118
・母性看護学実習B	[4 前 選 2]	(○大庭 みよ・小山 美香・吉越 依代) …	119
・精神看護学概論	[2 前 必 1]	(○松田 優二・佐藤 大輔) …	120
・精神看護方法論Ⅰ	[2 後 必 2]	(○松田 優二・佐藤 大輔) …	121
・精神看護方法論Ⅱ	[3 前 必 1]	(○松田 優二・佐藤 大輔) …	122
・精神看護学実習A	[3 後 選 2]	(○松田 優二・佐藤 大輔) …	123
・精神看護学実習B	[4 前 選 2]	(○松田 優二・佐藤 大輔) …	124
・公衆衛生看護学Ⅰ	[2 後 選 1]	(○山岸 貴子・佐々木明子・大友 美恵) …	125
・公衆衛生看護学Ⅱ	[3 前 選 1]	(○結城美智子・佐々木明子・山岸 貴子・後藤 順子・山田 晴美) …	126
・公衆衛生看護学方法論	[3 前 選 2]	(○山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子・伊藤 由佳・酒井美智子) …	127
・産業保健学	[3 前 選 1]	(○片岡 ゆみ・小宮山亜矢) …	128
・学校保健学	[3 前 選 1]	(菱沼 ゆう) …	129
・保健医療福祉行政論	[3 前 選 2]	(○結城美智子・佐々木明子・山岸 貴子・長島 朋子・森山 幹夫) …	130
・公衆衛生看護管理論	[3 前 選 1]	(○佐々木明子・結城美智子・山岸 貴子) …	131
・公衆衛生看護学実習Ⅰ	[4 通 選 1]	(○山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子・大沼夏都音・大友 美恵・伊藤 由佳・酒井美智子・未定) …	132
・公衆衛生看護学実習Ⅱ	[4 通 選 2]	(○山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子・大沼夏都音・大友 美恵・伊藤 由佳・酒井美智子・未定) …	133
・公衆衛生看護学実習Ⅲ	[4 通 選 1]	(○結城美智子・山岸 貴子・佐々木明子・大沼夏都音・大友 美恵・伊藤 由佳・酒井美智子・未定) …	134
・基礎セミナーⅠ	[2 通 必 1]	(○佐藤 大輔・小松 恵・山田愛実・2年SA教員・荒井 龍弥) …	135
・基礎セミナーⅡ	[3 前 必 1]	(○作山美智子・庄子 幸恵・3年SA教員) …	136
・実習前特別演習A	[3 前 選 1]	(○大槻 久美・作山美智子・大池 真樹・鈴木 祐子・小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・大庭 みよ・佐藤 大輔・傍島 智子・伊藤 明美・荒生 有花・片岡 佳子・千葉 桂子・福原 彩花・秋本 和弘) …	137
・実習前特別演習B	[3 後 選 1]	(○大槻 久美・作山美智子・大池 真樹・鈴木 祐子・小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・大庭 みよ・佐藤 大輔・傍島 智子・伊藤 明美・荒生 有花・片岡 佳子・千葉 桂子・福原 彩花・秋本 和弘) …	138
・看護管理学Ⅰ	[3 前 必 2]	(○瀬戸 初江・阿見 由梨) …	139
・看護管理学Ⅱ	[4 後 必 2]	(○瀬戸 初江・佐藤 眞理・佐藤 大) …	140
・チーム医療論	[3 前 必 1]	(瀬戸 初江) …	141
・統合看護実習A	[4 前 選 2]	(○瀬戸 初江・未定) …	142
・統合看護実習B	[4 後 選 2]	(○瀬戸 初江・未定) …	143
・看護研究論Ⅰ	[3 前 必 1]	(○庄子 幸恵・大池 真樹・松田 優二・鈴木 祐子・村上 大介・大庭 みよ・佐藤 大輔・山田 愛実) …	144
・看護研究論Ⅱ	[3 通 必 1]	(○松田 優二・庄子 幸恵・大池 真樹・鈴木 祐子・村上 大介・大庭 みよ・佐藤 大輔・山田 愛実) …	145
・看護研究論Ⅲ	[4 前 必 1]	(○佐々木明子・渡邊 隆夫・堀内 輝子・作山美智子・大槻 久美・戸田 孝史・小田切孝人・沼崎 宗夫・堂浦 克美・庄子 幸恵・大池 真樹・片岡 ゆみ・結城美智子・瀬戸 初江・鈴木 祐子・宮下 真子・松田 優二・山岸 貴子・小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・大庭 みよ・佐藤 大輔・傍島 智子・山田 愛実) …	146
・看護学特別演習	[4 後 必 1]	(○戸田 孝史・佐々木明子・渡邊 隆夫・作山美智子・大槻 久美・小田切孝人・沼崎 宗夫・堂浦 克美・庄子 幸恵・大池 真樹・片岡 ゆみ・瀬戸 初江・堀米美智枝・鈴木 祐子・宮下 真子・松田 優二・山岸 貴子・小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・大庭 みよ) …	147
・保健医療福祉概論	[2 後 選 2]	(森田慎二郎) …	148

・専門職連携論	[3 前 選 2]	(○大黒 一司・大庭 みよ・渡邊 隆夫・伊藤 清世・樽林 雅司・佐藤 尚子・土井 勝幸) …	149
・専門職連携セミナー	[3 後 選 1]	(大黒 一司) …	150

2020・2021 年度入学者用カリキュラム

専門基礎科目

・関係法規	[3 前 必 2]	(森田慎二郎) …	151
-------	-----------	-----------	-----

統合科目

・卒業研究	[4 通 必 2]	(○佐々木明子・渡邊 隆夫・作山美智子・大槻 久美・戸田 孝史・小田切孝人・沼崎 宗夫・堂浦 克美・庄子 幸恵・大池 真樹・片岡 ゆみ・瀬戸 初江・堀米美智枝・鈴木 祐子・宮下 真子・松田 優二・山岸 貴子・小松 恵・鈴木 敦子・村上 大介・大庭 みよ) …	152
-------	-----------	---	-----

授業科目とディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）の対応表

【医療福祉学部 看護学科】

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）		
①	「知識・理解」	- 看護職としての専門知識を修得している。 - 生命の尊重や人の尊厳について理解している。
②	「思考・判断」	論理的思考による看護判断に基づき適切な看護実践を選択し、一連のプロセスを評価・修正できる。
③	「技能・表現」	- 主体的に行動することができ、周囲の人々と協調しながらリーダーシップを取ることができる。 - 社会人として責任ある行動をとることができる。 - 対象者に必要なケアを安全・安楽に実施できる。 - 地域で暮らす人々や、保健・医療・福祉にかかわる人と、連携及び協働する力を身につけることができる。
④	「関心・意欲・態度」	- 自らの成長を自覚し、看護職としての専門性を探求していくことができる。 - 社会の中での看護の役割を展望し、地域における健康問題への取組みができる。

2025 年度以降入学者用カリキュラム

授業科目の名称			配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー （学位授与の方針）対応表 （「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目）			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	探求・理解プロジェクト	輝ける者	1 通		2			○		○
		生命を考える	1 前・1 後		2		◎	○		○
		現代社会を視る	1 前・1 後		2		○	○		○
		生活の中の科学	1 前・1 後		2		◎	○	○	○
		経済・法律・世界を視る	1 前・1 後		2		○	○		
		社会活動入門	1 前・1 後		2		○	○		
	科学的思考の基礎	データサイエンス入門	1 前	2				○		
		医療情報科学	1 後		1		○			
		医療のための基礎数学	1 前		1		◎	○		
		生活の中の物理学	1 後		2		○	○		
		生活の中の化学	1 前		2		○	○		
		生活の中の生物学	1 前	2			○	○		
		統計解析	1 後		2		○	○	○	
	自己形成	アカデミック・スキル演習	1 通	2			◎			○
		スポーツ実技	1 後		1		○		○	
		心理学概論	1 後		2				○	
		生命倫理学	1 後	1					◎	
	ことばと相互理解	英語コミュニケーションⅠ	1 前	1					○	
		英語コミュニケーションⅡ	1 後	1					○	
		韓国語コミュニケーションⅠ	1 前		1				○	
		韓国語コミュニケーションⅡ	1 後		1				○	
		中国語コミュニケーションⅠ	1 前		1				○	
		中国語コミュニケーションⅡ	1 後		1				○	

		授業科目の名称	配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	ことばと相互理解	コミュニケーション論	1 前		2				◎	
		現代国語表現	1 前	2			○	◎		
		海外研修	1 通		2				○	○
	人と生活	教育学	1 後		2		○	○		
		憲法と法律	1 前		2		○		○	
		文化人類学	2 前		2		○	○		○
		東北の歴史	1 前		2					
		現代史	1 前		2					
		健康科学	1 前	1			○			○
		生活と地球科学	1 後		2					
		哲学	1 後		2		○			
		生活と経済	1 後		2		○			○
		ジェンダー論	1 後		2		○	○		○
		教養としての政治学	1 後		2		○			
		教育方法論	2 前		2		○			
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進	解剖生理学Ⅰ	1 前	2			◎	○		
		解剖生理学Ⅱ	1 後	2			◎	○		
		生化学	1 後	2			◎	○		
		栄養学	1 後	2			◎	○		
		病原微生物学	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅰ	1 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅱ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅲ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅳ	2 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅴ	2 後	2			◎	○		
		薬理学	2 前	2			◎	○		
		救急医療論	3 前	1			◎		◎	
	健康支援と社会保障制度	臨床心理学	2 前	2			◎	○		
		公衆衛生学	1 後	2			◎	○		
		社会保障・福祉論	2 前	2			◎	○		
		医療経済論	2 後	1			◎	○		
		カウンセリング	2 後	2			◎	○		
		家族社会学	1 後	2			◎	○		
	疫学と統計	疫学	3 前		2		◎	○		
		保健統計学	3 前		2		◎	○		
専門科目	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1 前	2			◎			◎
		看護学概論Ⅱ	4 後	1			◎			◎

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 〔○〕は強く関係する科目、〔○〕は関係する科目			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	基礎看護学	看護技術論Ⅰ	1 前	3		○		○	
		看護技術論Ⅱ	1 後	3		○		○	
		看護技術論Ⅲ	2 前	1		○		○	
		看護技術論Ⅳ	2 後	1		○	○		
		基礎看護学実習Ⅰ	2 前	1			○	○	
		基礎看護学実習Ⅱ	2 後	2			○	○	
	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	2 後	1		○			○
		地域・在宅看護学Ⅰ	3 前	1		○	○		
		地域・在宅看護学Ⅱ	4 後	1		○			○
		地域・在宅看護方法論Ⅰ	3 前	2		○		○	
		地域・在宅看護方法論Ⅱ	3 前	1		○			○
		地域・在宅看護学実習 A	3 後		2		○	○	
		地域・在宅看護学実習 B	4 前		2		○	○	
	成人看護学	成人看護学概論	1 後	1		○			○
		成人看護方法論Ⅰ	2 前	1		○		○	
		成人看護方法論Ⅱ	2 後	1		○		○	
		成人看護方法論Ⅲ	2 前	1		○		○	
		成人看護方法論Ⅳ	2 後	1		○		○	
		成人看護方法論Ⅴ	3 前	1		○	○		
		成人看護学実習Ⅰ A	3 後		3		○	○	
		成人看護学実習Ⅰ B	4 前		3		○	○	
		成人看護学実習Ⅱ A	3 後		3		○	○	
		成人看護学実習Ⅱ B	4 前		3		○	○	
	老年看護学	老年看護学概論	2 前	1		○			○
		老年看護方法論Ⅰ	2 後	2		○		○	
		老年看護方法論Ⅱ	3 前	1		○	○		
		老年看護学実習Ⅰ A	3 後		3		○	○	
		老年看護学実習Ⅰ B	4 前		3		○	○	
		老年看護学実習Ⅱ A	3 後		1		○	○	
		老年看護学実習Ⅱ B	4 前		1		○	○	
	小児看護学	小児看護学概論	2 前	1		○			○
		小児看護方法論Ⅰ	2 後	2		○		○	
		小児看護方法論Ⅱ	3 前	1		○	○		
		小児看護学実習Ⅰ A	3 後		1		○		○
		小児看護学実習Ⅰ B	4 前		1		○		○
		小児看護学実習Ⅱ A	3 後		1		○	○	
		小児看護学実習Ⅱ B	4 前		1		○	○	

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	母性看護学	母性看護学概論	2 前	1		○			◎
		母性看護方法論Ⅰ	2 後	2		○		◎	
		母性看護方法論Ⅱ	3 前	1		○		◎	
		母性看護学実習 A	3 後		2		◎	○	
		母性看護学実習 B	4 前		2		◎	○	
	精神看護学	精神看護学概論	2 前	1		○			◎
		精神看護方法論Ⅰ	2 後	2		○		◎	
		精神看護方法論Ⅱ	3 前	1		◎		◎	
		精神看護学実習 A	3 後		2		◎	◎	
		精神看護学実習 B	4 前		2		◎	◎	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1 後	1		○			◎
		公衆衛生看護学Ⅰ	2 後		1	○	◎		
		公衆衛生看護学Ⅱ	3 前		1	○	◎		
		公衆衛生看護方法論	3 前		2	○	◎		
		産業保健学	3 前		1	◎	○		
		学校保健学	3 前		1	◎	○		
		保健医療福祉行政論	3 前		2	◎	○		
		公衆衛生看護管理論	3 前		1	◎	○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4 通		1		◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4 通		2		◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	4 通		1		◎	○	
	特別演習	基礎セミナーⅠ	2 通	1		◎		○	
		基礎セミナーⅡ	3 前	1		○		◎	
		実習前特別演習 A	3 前		1		◎		◎
		実習前特別演習 B	3 後		1		◎		◎
	看護の統合と実践	看護管理学Ⅰ	3 前	2		◎	○		
		看護管理学Ⅱ	4 後	2		◎			○
		チーム医療論	3 前	1		◎			○
		統合看護実習 A	4 前		2		◎		◎
		統合看護実習 B	4 後		2		◎		◎
		看護研究論Ⅰ	3 前	1		◎			○
		看護研究論Ⅱ	3 後	1			◎	○	
		看護研究論Ⅲ	4 前	1			○	◎	
		看護学特別演習	4 後	1		◎	◎		
	多職種連携	チーム医療福祉論	1 後		1	○			○
		保健医療福祉概論	2 後		2	○	○		○
		専門職連携論	3 前		2	○			

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	多職種連携	専門職連携セミナー	3 後	1		○	○	○	○
		重度障がい者自立生活支援演習	1・2・3・4 後	1		○			◎

2022 ～ 2024 年度入学用カリキュラム

授業科目の名称			配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	探求・理解プロジェクト	輝ける者	1 通		3			○		○
		生命を考える	1 前・1 後		2		◎	○		○
		人間文化探求	1 通		2		○	○		○
		生活の中の科学	1 前・1 後		2		◎	○	○	○
		地域活動・ボランティア	1 通		2		○	○		○
		現代社会を視る	1 前・1 後		2		○	○		○
		ボランティア探求	2 通		2		○	○	◎	○
	科学的思考の基礎	情報処理Ⅰ	1 前	1			○	○		
		情報処理Ⅱ	1 後	1			○	○		
		医療情報科学	1 後		1		○			
		医療数理基礎	1 前		1		◎	○		
		基礎数学	1 後		2		○	○		
		基礎物理学	1 前		2		○	○		
		基礎化学	1 前		2		○	○		
		基礎生物学	1 前	2			○	○		
		統計解析	1 後		2		○	○	○	
	自己形成	アカデミック・スキル演習	1 通	1			◎			○
		スポーツ実技	1 前		1		○		○	
		心理学	1 後		2		○		○	
		生命倫理	1 前	1			◎			
	ことばと相互理解	英語Ⅰ	1 通	2					○	
		英語Ⅱ	2 通		2				○	
		韓国語	1 前		1				○	
		中国語	1 前		1				○	
		コミュニケーション論	1 前		2				◎	
		現代国語表現	1 前	2			○	◎		
		海外研修	1 通		2				○	○
基礎科目	人と生活	憲法と法律	2 前		2		○		○	
		文化人類学	2 前		2		○	○		○
		日本・東北文化論	2 前		2		○	○		

		授業科目の名称	配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 〔◎〕は強く関係する科目、〔○〕は関係する科目			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	人と生活	日本近代史	2 前		2		○	○		
		健康科学	2 前		2		○			○
		教育学Ⅰ	2 前		2		○	○		
		教育学Ⅱ	4 後		2		○			
		地球の科学	4 後		1		○	○		○
		哲学	4 後		1		○			
		生活と経済	4 後		1		○			○
		ジェンダー論	4 後		1		○	○		○
		政治学	4 後		1		○			○
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進	解剖生理学Ⅰ	1 前	2			◎	○		
		解剖生理学Ⅱ	1 後	2			◎	○		
		生化学	1 後	2			◎	○		
		栄養学	1 後	2			◎	○		
		病原微生物学	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅰ	1 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅱ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅲ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅳ	2 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅴ	2 後	2			◎	○		
		薬理学	2 前	2			◎	○		
		救急医療論	3 前	1			◎		◎	
	健康支援と社会保障制度	臨床心理学	2 前	2			◎	○		
		公衆衛生学	1 後	2			◎	○		
		社会保障・福祉論	2 前	2			◎	○		
		医療経済論	2 後	1			◎	○		
		カウンセリング	2 後	2			◎	○		
		家族社会学	1 後	2			◎	○		
	疫学・健康現象の統計	疫学	3 前		2		◎	○		
		保健統計学	3 前		2		◎	○		
専門科目	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1 前	2			◎			◎
		看護学概論Ⅱ	4 後	1			◎			◎
		看護技術論Ⅰ	1 前	3			○		◎	
		看護技術論Ⅱ	1 後	3			○		◎	
		看護技術論Ⅲ	2 前	1			○		◎	
		看護技術論Ⅳ	2 後	1			○	◎		
		基礎看護学実習Ⅰ	2 前	1				◎	○	
		基礎看護学実習Ⅱ	2 後	2				◎	○	

		授業科目の名称	配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	地域・在宅看護学	地域・在宅看護学概論	2 後	1			○			◎
		地域・在宅看護学Ⅰ	3 前	1			○	◎		
		地域・在宅看護学Ⅱ	4 後	1			○			◎
		地域・在宅看護方法論Ⅰ	3 前	2			○		◎	
		地域・在宅看護方法論Ⅱ	3 前	1			○			◎
		地域・在宅看護学実習 A	3 後		2			◎	○	
		地域・在宅看護学実習 B	4 前		2			◎	○	
	成人看護学	成人看護学概論	1 後	1			○			◎
		成人看護方法論Ⅰ	2 前	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅱ	2 後	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅲ	2 前	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅳ	2 後	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅴ	3 前	1			○	◎		
		成人看護学実習Ⅰ A	3 後		3			◎	○	
		成人看護学実習Ⅰ B	4 前		3			◎	○	
		成人看護学実習Ⅱ A	3 後		3			◎	○	
		成人看護学実習Ⅱ B	4 前		3			◎	○	
	老年看護学	老年看護学概論	2 前	1			○			◎
		老年看護方法論Ⅰ	2 後	2			○		◎	
		老年看護方法論Ⅱ	3 前	1			○	◎		
		老年看護学実習Ⅰ A	3 後		3			◎	○	
		老年看護学実習Ⅰ B	4 前		3			◎	○	
		老年看護学実習Ⅱ A	3 後		1			◎	○	
		老年看護学実習Ⅱ B	4 前		1			◎	○	
	小児看護学	小児看護学概論	2 前	1			◎			◎
		小児看護方法論Ⅰ	2 後	2			◎		◎	
		小児看護方法論Ⅱ	3 前	1			◎	◎		
		小児看護学実習Ⅰ A	3 後		1			◎		◎
専門科目	小児看護学	小児看護学実習Ⅰ B	4 前		1			◎		◎
		小児看護学実習Ⅱ A	3 後		1			◎	◎	
		小児看護学実習Ⅱ B	4 前		1			◎	◎	
	母性看護学	母性看護学概論	2 前	1			○			◎
		母性看護方法論Ⅰ	2 後	2			○		◎	
		母性看護方法論Ⅱ	3 前	1			○		◎	
		母性看護学実習 A	3 後		2			◎	○	
		母性看護学実習 B	4 前		2			◎	○	

授業科目の名称		配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	精神看護学	精神看護学概論	2 前	1		○			◎
		精神看護方法論Ⅰ	2 後	2		○		◎	
		精神看護方法論Ⅱ	3 前	1		◎		◎	
		精神看護学実習 A	3 後		2		◎	◎	
		精神看護学実習 B	4 前		2		◎	◎	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1 後	1		○			◎
		公衆衛生看護学Ⅰ	2 後		1	○	◎		
		公衆衛生看護学Ⅱ	3 前		1	○	◎		
		公衆衛生看護方法論	3 前		2	○	◎		
		産業保健学	3 前		1	◎	○		
		学校保健学	3 前		1	◎	○		
		保健医療福祉行政論	3 前		2	◎	○		
		公衆衛生看護管理論	3 前		1	◎	○		
		公衆衛生看護学実習Ⅰ	4 通		1		◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ	4 通		2		◎	○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ	4 通		1		◎	○	
	特別演習	基礎セミナーⅠ	2 通	1		◎		○	
		基礎セミナーⅡ	3 前	1		○		◎	
		実習前特別演習 A	3 前		1		◎		◎
		実習前特別演習 B	3 後		1		◎		◎
	看護の統合と実践	看護管理学Ⅰ	3 前	2		◎	○		
		看護管理学Ⅱ	4 後	2		◎			○
		チーム医療論	3 前	1		◎			○
		統合看護実習 A	4 前		2		◎		◎
		統合看護実習 B	4 後		2		◎		◎
		看護研究論Ⅰ	3 前	1		◎			○
		看護研究論Ⅱ	3 後	1			◎	○	
		看護研究論Ⅲ	4 前	1			○	◎	
		看護学特別演習	4 後	1		◎	◎		
	多職種連携	チーム医療福祉論	1 後		1	○			○
		保健医療福祉概論	2 後		2	○	○		○
		専門職連携論	3 前		2	○			
		専門職連携セミナー	3 後		1	○	○	○	○

2020・2021 年度以降入学用カリキュラム

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	探究・理解プロジェクト	輝ける者	1 通	3			○		○
		生命を考える	1 前・1 後	2		◎	○		○
		人間文化探究	1 通	2		○	○		○
		生活の中の科学	1 前・1 後	2		◎	○	○	○
		地域活動・ボランティア	1 通	2		○	○		○
		現代社会を視る	1 前・1 後	2		○	○		○
		ボランティア探究	2 通	2		○	○	◎	○
	科学的思考の基礎	情報処理	1 前	1		○	○		
		医療情報科学	1 後	1		○			
		医療数理基礎	1 前	1		◎	○		
		基礎数学	1 後	2		○	○		
		基礎物理学	1 前	2		○	○		
		基礎化学	1 前	2		○	○		
		基礎生物学	1 前	2		○	○		
		統計解析	1 後	2		○	○	○	
	自己形成	アカデミック・スキル演習	1 通	1		◎			○
		スポーツ実技	1 前	1		○		○	
		心理学	1 後	2		○		○	
		生命倫理	1 前	1		◎			
	ことばと相互理解	英語Ⅰ	1 通	2				○	
		英語Ⅱ	2 通	2				○	
		韓国語	1 前	1				○	
		中国語	1 前	1				○	
		コミュニケーション論	1 前	2				◎	
		現代国語表現	1 前	2		○	◎		
		海外研修	1 通	2				○	○
	人と生活	憲法と法律	2 前	2		○		○	
		文化人類学	2 前	2		○	○		○
		日本・東北文化論	2 前	2		○	○		
		日本近代史	2 前	2		○	○		
		健康科学	2 前	2		○			○
		教育学Ⅰ	2 前	2		○	○		
		教育学Ⅱ	4 後	2		○			
		地球の科学	4 後	1		○	○		○
		哲学	4 後	1		○			
		生活と経済	4 後	1		○			○

		授業科目の名称	配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 〔◎〕は強く関係する科目、〔○〕は関係する科目			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
基礎科目	人と生活	ジェンダー論	4 後		1		○	○		○
		政治学	4 後		1		○			○
専門基礎科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと回復の促進	解剖生理学Ⅰ	1 前	2			◎	○		
		解剖生理学Ⅱ	1 後	2			◎	○		
		生化学	1 後	2			◎	○		
		栄養学	1 後	2			◎	○		
		病原微生物学	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅰ	1 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅱ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅲ	2 前	2			◎	○		
		病態治療学Ⅳ	2 後	2			◎	○		
		病態治療学Ⅴ	2 後	2			◎	○		
		薬理学	2 前	2			◎	○		
		救急医療論	3 前	1			◎		◎	
	健康支援と社会保障制度	臨床心理学	2 前	2			◎	○		
		関係法規	3 前	2			◎	○		
		公衆衛生学	1 後	2			◎	○		
		社会保障・福祉論	2 後	2			◎	○		
		健康行動学	2 後		1		◎	○		
		医療経済論	2 後	1			◎	○		
		医学外国語	2 前		1		◎	◎		
		カウンセリング	2 後	2			◎	○		
		家族社会学	1 後	2			◎	○		
	疫学と統計	疫学	3 前		2		◎	○		
		保健統計学	3 前		2		◎	○		
専門科目	基礎看護学	看護学概論Ⅰ	1 前	2			◎			◎
		看護学概論Ⅱ	4 後	1			◎			◎
		看護技術論Ⅰ	1 前	3			○		◎	
		看護技術論Ⅱ	1 後	3			○		◎	
	基礎看護学	看護技術論Ⅲ	2 前	1			○		◎	
		基礎看護実習Ⅰ	2 前	1				◎	○	
		基礎看護実習Ⅱ	2 後	2				◎	○	
	成人看護学	成人看護学概論	1 後	1			○			◎
		成人看護方法論Ⅰ	2 前	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅱ	2 後	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅲ	2 前	1			○		◎	
		成人看護方法論Ⅳ	2 後	1			○		◎	

		授業科目の名称	配当年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
				必修	選択	自由	①	②	③	④
専門科目	成人看護学	成人看護方法論 V	3 前	1			○	◎		
		成人看護実習 I A	3 後		3			◎	○	
		成人看護実習 I B	4 前		3			◎	○	
		成人看護実習 II A	3 後		3			◎	○	
		成人看護実習 II B	4 前		3			◎	○	
	老年看護学	老年看護学概論	2 前	1			○			◎
		老年看護方法論 I	2 後	2			○		◎	
		老年看護方法論 II	3 前	1			○	◎		
		老年看護実習 I A	3 後		3			◎	○	
		老年看護実習 I B	4 前		3			◎	○	
		老年看護実習 II A	3 後		1			◎	○	
		老年看護実習 II B	4 前		1			◎	○	
	小児看護学	小児看護学概論	2 前	1			◎			◎
		小児看護方法論 I	2 後	2			◎		◎	
		小児看護方法論 II	3 前	1			◎	◎		
		小児看護実習 I A	3 後		1			◎		◎
		小児看護実習 I B	4 前		1			◎		◎
		小児看護実習 II A	3 後		1			◎	◎	
		小児看護実習 II B	4 前		1			◎	◎	
	母性看護学	母性看護学概論	2 前	1			○			◎
		母性看護方法論 I	2 後	2			○		◎	
		母性看護方法論 II	3 前	1			○		◎	
		母性看護実習 A	3 後		2			◎	○	
		母性看護実習 B	4 前		2			◎	○	
	精神看護学	精神看護学概論	2 前	1			○			◎
		精神看護方法論 I	2 後	2			○		◎	
		精神看護方法論 II	3 前	1			◎		◎	
		精神看護実習 A	3 後		2			◎	◎	
		精神看護実習 B	4 前		2			◎	◎	
	特別演習	基礎セミナー I	2 通	1			◎		○	
		基礎セミナー II	3 前	1			○		◎	
		実習前特別演習 A	3 前		1			◎		◎
		実習前特別演習 B	3 後		1			◎		◎
統合科目	在宅看護論	在宅看護学概論	2 後	1			○			◎
		在宅看護方法論 I	3 前	2			○		◎	
		在宅看護方法論 II	3 前	1			○			◎
		在宅看護実習 A	3 後		2			◎	○	

授業科目の名称		配当 年次	単位数			ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) 対応表 (「◎」は強く関係する科目、「○」は関係する科目)			
			必修	選択	自由	①	②	③	④
統 合 科 目	在宅 看護 論	在宅看護実習 B	4 前		2		◎	○	
	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	1 後	2		○			◎
		公衆衛生看護方法論 I	2 後	2		○	◎		
		公衆衛生看護方法論 II	3 前	2		○	◎		
		公衆衛生看護方法論 III	3 前	2		○	◎		
		産業保健支援論	3 前	2		◎	○		
		学校保健支援論	3 前	2		◎	○		
		保健医療福祉行政論	3 前	2		◎	○		
		公衆衛生看護管理論	3 前	1		◎	○		
		公衆衛生看護実習 I	4 通	1			◎	○	
		公衆衛生看護実習 II	4 通	3			◎	○	
		公衆衛生看護実習 III	4 通	1			◎	○	
	看護の 統合	看護管理学 I	3 前	2		◎	○		
		看護管理学 II	4 後	2		◎			○
		チーム医療論	3 前	1		◎			○
		統合看護実習 A	4 前	2			◎		◎
		統合看護実習 B	4 後	2			◎		◎
		看護研究論	3 前	1		◎			○
		卒業研究	4 通	2		◎	◎		
		看護学特別演習	4 後	1		◎	◎		
	多職 種 連 携	チーム医療福祉論	1 後	1		○			○
		社会医療福祉概論	2 後	2		○	○		○
		専門職連携論	3 前	2		○			
		専門職連携セミナー	3 後	1		○	○	○	○

2025 年度入学者用カリキュラム (看 護 学 科)

科 目 名	輝ける者			担 当 者	○小野部 純・他
科目ナンバリング	105011251				常勤
D P	2,4			教員研究室	3108
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・通年
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本授業は、地元宮城県を支える取り組みを題材とし、次の2つの観点により授業を展開することで、「主体的に考える力」、「コミュニケーション力」、「問題解決力」を高め、「チームワーク・リーダーシップ」、「市民としての社会的責任」に対する基本的態度を育むことを目的とする ① 地元の産業を支えるとは 最前線で活躍している多様なゲストスピーカーの講義により、職業人の社会・地域の発展に対する思いを知ることから、「働くことの意味」を主体的に考える。 ② 地元を支える活動の実践 グループでの地域創生プロジェクトの企画提案を通して、地元の課題を自分自身と結び付けて考え、チームで提案し、地域を巻き込んで実践する。 【学習の到達目標】 社会の中で「輝く」とは何かについて、各自の考えを持つ 「仕事とはなにか」について考え、各自の考えを持つ 【成績評価方法】 ①レポート内容、②各テーマに関する発表内容の2点から総合的に評価する					
授 業 計 画					
----- 導入編 ----- 1. ガイダンス、グループワーク（アイスブレイク） 2～4. キャリア形成 ----- 地元を支える活動の実践 ----- 5～12. 多様な働き方を学び、考える ・地元企業を知る（働くとは何か） ・企業と地域（ゲストスピーカー） ・グループワーク（企業へのインタビュー準備） ・多様な働き方（アシスタ仙台）、企業担当者へのインタビュー ----- 地元の産業活動を知る ----- 13～26. 夏休み企画 秋保ワイナリーとマルシェ ・マルシェの企画 ・マルシェ運営 ----- まとめ ----- 27、28. グループ発表					
教 科 書	特に指定しない				
参 考 書	必要に応じて指示する				
備 考	質問や問い合わせは、常勤教員が受け付ける 複数時間で実施することが有効な授業内容の場合、土日もしくは長期休業期間に実施することがある 外部との調整の都合上、授業初回時にあらためてスケジュールを提示する				

科 目 名		生命を考える			担 当 者	○中村 哲也・阿部 玄治 本多ふく代・大庭 みよ 秋本 和宏
科目ナンバリング		105011252				常勤
D P		1,2,4			教 員 研 究 室	1427
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 21 世紀に入り日本は本格的な長寿社会を迎えた。加えて、人々には人種・性別・年齢・障害の有無に関わらず自分らしく生きられる社会（多様性のある社会）の実現が求められている。本科目では「ヒトの生命」を主たるテーマとし、「生きること」「死ぬこと」「障害と共に生きること」等について講義を受講しつつ、履修者同士で意見交換を行いながら考える。 【学習の到達目標】 健康とは何か、「生」そして「死」とは何かについて、他者の意見を踏まえながら自分なりの考えを述べられるようになること。 【成績評価方法】 ①講義前後の調べ学習、②講義時間中に取り組む小課題、③レポートの 3 点から総合的に評価する。 課題の内容や課される回数、評価方法は担当教員ごとに異なる。 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートなど小課題については適宜集計し、翌週以降の講義時間中ないしクラスルームを通じてフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 原則として毎回出席することが求められる。各テーマで課される最終レポートを全て提出しなければ成績評価の対象とならない。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 より良く生きることの意味について、同年代の学友の多様な意見に触れる機会を得られる。意見交換を経て自分の考えをまとめることによって、今後の生活に対して前向きになることが期待できる。 【実務家教員担当科目】 看護師、助産師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の資格を有する担当教員が、実務経験を踏まえた講義をオムニバス形式で行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	中村 哲也	科目ガイダンス	予習：シラバスを読む 復習：指定された資料を確認する			4 時間
2	加賀谷 豊	日常の医療と臨床研究における生命倫理	予習：クラスルームの症例資料を読んでくる 復習：リアクションペーパー、資料を調べる			4 時間
3	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：資料を調べる 復習：リアクションペーパー、発表準備			4 時間
4	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
5	秋本 和宏	病気を抱えている子どもとその家族を通していのちを考える	予習：発表準備 復習：レポート課題			4 時間
6	本多ふく代	子どもを育てることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
7	本多ふく代	障害児を育てることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
8	本多ふく代	人が育てられる、育てられることについて考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題			4 時間
9	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
10	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
11	阿部 玄治	老いることや障害をもつことの疑似体験を通して「生きる」を考える	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題			4 時間
12	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える ―生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなど―	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
13	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える ―生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなど―	予習：指定された資料を読む 復習：レポート・リアクションペーパー			4 時間
14	大庭 みよ	妊娠・出産を通していのちを考える ―生まれてくる奇跡、生まれてこれなかったいのちなど―	予習：指定された資料を読む 復習：レポート課題			4 時間
教 科 書		指定なし				
参 考 書		玉井真理子・大谷いづみ（編）（2011）、はじめて出会う生命倫理、有斐閣アルマ 鯨島浩二（著）植野ゆかり（絵）（2003）、わたしがあなたを選びました、主婦の友社 深澤友紀（著）（2018）、産声のない天使たち、朝日新聞出版				
備 考		講義の実施スケジュールは担当教員の予定により変更される可能性がある。				

科 目 名		現代社会を視る		担 当 者	○山尾 貴則・豊田 正利 野崎 瑞樹・鑑 さやか 山川 樹・小渕 高志 黒沢 麻美・田中 茜	
科目ナンバリング		105011253			常勤	
D P		1,2,4		教 員 研 究 室	3304	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本科目では、現代社会学部の教員が有する専門的な知識や技術を下敷きとして、「現代社会」をさまざまな角度から「視る」。そのことを通して、社会を知る・捉える・理解する力を培う。基本的には講義形式を取るが、多様な媒体に自分で触れたり、現場で活躍する人々と交流するなど、学内外の活動も含む。最終的には、社会で起きている現象を知るだけでなく、体験したり、問題を見つけて解決方法を考えたり、優れた点を発展させる案を考えることなどができるような力を身につけていく。 【学習の到達目標】 受講生が現代社会における諸問題に自ら関心を持ち、人文社会科学的な知識を下敷きとして諸問題に接近し、理解できるようになる。 【成績評価方法】 講義を大きく4つのパートに分け、それぞれのパートにつき、「講義態度、講義への参加の様子」を10点、「3つ課す課題」をそれぞれ5点として5×3＝15点の総点25点とする。4つのパートを合わせて100点満点で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 Google クラスルームを使用して受講生からの質問等を受け付け、適宜コメントする。 【履修上の注意・予習・復習について】 私語をしないこと。普段から社会の諸問題に目を向けること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 受講生が現代社会における諸問題に自ら関心を持ち、人文社会科学的な知識を下敷きとして諸問題に接近し、理解できるようになる。 【実務家教員担当科目】 該当なし。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	山尾	ガイダンスー現代社会を「視る」とは	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
2	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (1)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
3	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (2)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
4	山川・小渕	現代社会をニュースから視る (3)	受講生自らが新聞等で現代社会において生じている社会問題にどのようなものがあるのかを確認する。		4 時間	
5	豊田・鑑	現代の地域を視る (1)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
6	豊田・鑑	現代の地域を視る (2)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
7	豊田・鑑	現代の地域を視る (3)	受講生自らが自分の住む地域にどのような歴史と課題があるのかを図書館等で調べる。		4 時間	
8	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (1)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
9	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (2)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
10	野崎・黒沢	現代の仕事を視る (3)	受講生自らが働くとは何か、社会に出るとはどのようなことかについて考える。		4 時間	
11	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (1)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
12	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (2)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
13	田中・山尾	現代の生（ライフ）を視る (3)	受講生自らが自分自身の人生（ライフ）をふり返り、自分の姿を見つめ直してみる。		4 時間	
14	山尾	ふり返りー現代社会はどう視えたか	講義全体を通して受講生が何を学んだかをまとめる		4 時間	
教 科 書		指定無し。				
参 考 書		講義内で適宜紹介する。				
備 考						

科 目 名		生活の中の科学		担 当 者		○長田 俊明・沈 紅 鈴木 陽一・鈴木 伸夫 八十川 淳・野崎 淳夫 須藤 諭・山本 和恵 川村 広則・一條 佑介 二科 妃里・富山 正幸 相澤 康弘・古林 俊晃 家名田敏昭・浅井 仁 佐藤 秀隆・工藤 剛実 佐々木典子・高橋 るみ 深谷 碧
科目ナンバリング		105011254				常勤
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室		1403
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		1 年次・前期／後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 生活の「安全・安心・便利・豊かさ」をキーワードに、現在の科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているか、また科学技術の将来あるべき姿について学ぶ。 具体的には、生活の中の電気、命を守る AED（自動体外式除細動器）、住まいや都市の安全・安心技術、災害の減災・復旧に有用な施設整備、生活を便利で豊かにする情報技術、等である。授業の半分程度は基礎知識の修得、半分程度がグループワークや実習・フィールドワーク・アイデアソン・ディスカッション等のアクティブラーニングスタイルで進められる。 【学習の到達目標】 科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解する。科学技術がもたらす「安全・安心・便利・豊かさ」について、能動的に活用できるようにする。 【成績評価方法】 毎回のテーマに対するミニレポートや科目全体に対する総合レポートを総合して評価する。 【課題等のフィードバック方法】 授業では、都度質問を受け回答する。ミニレポートや Google クラスルームへの質問コメントについては、個別あるいは全体コメントにてフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業に関連する資料は、主として Google Classroom を利用して配信する。また、授業内容の復習や確認ができるように、授業の動画・音声データを提供する予定である。 全 14 回の授業に出席することが大原則であるが、やむを得ず出席できなかった授業については、これらの資料や動画・音声データを利用して学習し、次回授業に臨むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の専任教員から、多面的なテーマについて講義・実習指導を受けることができる。 科学技術が如何に我々の日々の生活に役立っているかを理解し、その認識から個々の専門分野において活用することが期待できる。 【実務家教員担当科目】 科学技術・工学分野における様々な専門領域における本学の実務家教員も担当し具体的指導を行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間		
				予習・復習		学修時間
1	鈴木（陽）・長田・八十川・相澤	ガイダンス		シラバスの確認、授業の進め方、成績評価の方法		4 時間
2	浅井 仁	生活の中の電気（100V、200V、直流？）		コンセントの交流と電池の直流の違いを調べる。 <ミニレポート>		4 時間
3	家名田敏昭	生活の中での電気（発電所から送電、家庭までの経路）		発電の方法や電気を送る送電線について調べる。 <ミニレポート>		4 時間
4	相澤 康弘	医療で用いられる電気（人体へ作用する電気）		生体電気の種類、生体電気刺激、治療に用いる電気を調べる。<ミニレポート>		4 時間
5	須藤 諭・川村 広則	安全・安心のための都市環境整備技術		身近な省エネルギー、居住地のハザードマップについて調べる。<ミニレポート>		4 時間
6	野崎 淳夫	災害と水		災害応急用井戸、水害とマチ、避難生活と水について調べる。<ミニレポート>		4 時間
7	八十川 淳・二科 妃里	生活の中の電気（発電所から送電、課程までの経路など）		発電の方法や電気を送る送電線等について調べる。		4 時間
8	臨床教員・建築教員	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習の準備学習		AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習 <ミニレポート>		4 時間
9	臨床教員・建築教員	AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習、班別実技演習		AED 正しい使い方演習、災害時避難所設営演習 <ミニレポート>		4 時間
10	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：概要、準備学習		情報システム構築の流れを学び、グループごとに準備を行う。 <ミニレポート>		4 時間
11	知能情報教員	アイデアソン演習 1：提案アプリの案出と具体化の検討		前週の検討に基づきアプリの機能等の決定とプレゼンの準備を行う。 <ミニレポート>		4 時間
12	知能情報教員	アイデアソン演習 2：アプリの設計とプレゼンの準備		アイデアソン演習 2：アプリの設計とプレゼンの準備		4 時間
13	知能情報教員	生活を便利で豊かにする情報アプリ：成果発表		提案するアプリに関するプレゼンをグループごとに行う。<投票、ミニレポート>		4 時間
14	鈴木（陽）・長田・八十川・相澤	表彰課題の出題と総括		アイデアソンの高評価グループ表彰課題をテーマにレポート作成		4 時間
教 科 書		特に指定しない。				
参 考 書		その都度必要に応じて紹介する				
備 考 考		なし				

科 目 名		経済・法律・世界を視る		担 当 者	○馬内 里美・田邊 文彦 ウォルグレイヴ イーライ	
科目ナンバリング		105011255			常勤・非常勤	
D	P	1,2		教員研究室	1229	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 In this class, students will explore a number of concepts based around Economic, Legal, and International aspects of society and their place within it. この科目は、自分と経済、法律、国際社会との関わりを学ぶ科目				【課題等のフィードバック方法】 Questions will be taken after each class. Your work may be shared for everyone’ s learning. 毎回の授業終了後に、質問を受けつける。全員の学修の為に内容を共有することあり		
【学習の到達目標】 1.Form and share own opinions 意見を形成・他者と共有できる / 2. Research and present about an issue of personal interest and impact to them 内容を調べ発表できる / 3.Develop English reading skills in a bilingual class. 英語で伝えられる				【履修上の注意・予習・復習について】 Late arrivals will be deducted from the grade / 5 or more absences will result in a grade of “F” / Homework must be submitted next time / Final assignment carried out 遅刻は減点もあり／ 5 回以上欠席 F 評価／宿題を次回提出／最終課題の実施が必要		
【成績評価方法】 Class Activities 活動参加 30%, Homework = 宿題 50% Personal Presentation プレゼン 10%, Final Reflection 振り返り・改善 10%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 Proactive attitude, Communication skills and Logical thinking skills. 「主体的な態度」「コミュニケーション力」「論理的思考力」が身につく		
				【実務家教員担当科目】 コンサルティングファームで 20 年間の企業／公共体に対する調査およびコンサルタント経験有り		
授 業 計 画						
回	担当教員		学修内容		学修課題・必要な学修時間	
					予習・復習	学修時間
1	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Class Introduction Writing and Presenting クラス紹介		授業時間の 2.5 倍準備学修（予習・復習等）	4 時間
2	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		River Crossing Game 川 渡 りゲーム		同上	4 時間
3	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Teamwork Writing and Presenting チームワーク作文と発表		同上	4 時間
4	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Mistakes Group Discussion 間違い探しグループディスカッション		同上	4 時間
5	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Chase the Dragon's Tail Game ドラゴンのしっぽゲーム		同上	4 時間
6	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Cooperation and Competition Writing and Presenting 協力と競争 作文と発表		同上	4 時間
7	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Conflict Group Discussion 対立グループディスカッション		同上	4 時間
8	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Tiger and Rabbit Ball Game 虎とウサギのボールゲーム		同上	4 時間
9	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Change Writing and Presenting 変化 作文と発表		同上	4 時間
10	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Complexity Group Discussion 複雑性グループディスカッション		同上	4 時間
11	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Team Battle Game チームバトル ゲーム		同上	4 時間
12	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Personal Presentation Preparation 個人プレゼンテーションの準備		同上	4 時間
13	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Personal Presentation 個人プレゼンテーション		同上	4 時間
14	馬内 里美・ウォルグレイヴ イーライ・田邊 文彦		Feedback and Reflection 振り返り		同上	4 時間
教 科 書			なし。授業中に資料配布			
参 考 書			授業中に紹介			
備 考			全学の選択必修科目の 1 つ。英語で行動・表現・話すことを重視。			

科 目 名		社会活動入門			担 当 者	○加藤 由美・石垣 亨 石橋 千賀・他	
科目ナンバリング		105011256				常勤・非常勤	
D	P	1,2			教員研究室	1301	
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期 / 後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用				☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない	「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この科目では社会活動を「社会貢献を目的として社会に参加または参画して行う活動」と位置づけ、ボランティア活動をはじめ企業のCSR（Corporate Social Responsibility）活動など多様で広範な諸活動を扱う。各学科専攻の教員及び外部講師がそれぞれの切り口で捉えた社会活動について講義する。授業ではグループワーク、プレゼンテーション等を通じて履修生の主体的な学びを促す。					【課題等のフィードバック方法】 授業毎に担当教員が説明する。		
【学習の到達目標】 ①社会活動の今日的意義を理解している ②自身の考えを適切に表現することができる ③自分らしい社会参画の形を具体的に考察できる					【履修上の注意・予習・復習について】 課題の提出期限を厳守すること（原則として期限後の提出は不受理）		
【成績評価方法】 授業毎に到達目標①②③の達成度を評価し（小テスト、小レポート、コメントなど授業によって評価方法は異なる）、それらの平均点を以て科目の成績評価とする。 到達目標の達成度評価の配点は次のとおり。 ①社会活動の今日的意義を理解している（40 点） ②自身の考えを適切に表現することができる（30 点） ③自分らしい社会参画の形を具体的に考察できる（30 点）					【実務家教員担当科目】 NPO 法人 COO・経営者・行政・医療福祉系免許所有者など幅広い実務家が、それぞれの立場で社会活動の今日的意義を講義する。		
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	加藤 由美（地域連携センター長）	科目オリエンテーション	予習：シラバスを熟読し、科目概要を理解する。 復習：オリエンテーション内容に即した学修をスタートさせる				4 時間
2	石垣 亨（NPO 法人 H × Imagine）	地域を活性化させる住民主体の社会活動 ～ NPO 法人 H × Imagine の取り組み	予習：住民が主体となって地域の活性化に取り組んでいる事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
3	三木 千栄（医療福祉学部リハ学科理学療法学専攻）	地域の介護予防・健康増進活動をデザインする	予習：地域の介護予防や健康増進の取り組み事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
4	香山 明美（医療福祉学部リハ学科作業療法学専攻）	認知症サポーター養成活動 ～誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられることを皆で支える	予習：認知症サポーターについて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
5	高卓 輝、他（医療福祉学部リハ学科言語聴覚学専攻）	事例に基づき、自分たちが取り組みたい社会活動を考える	予習：日本の技術が他国の発展に貢献した事例を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
6	石川奈津美（医療福祉学部リハ学科視覚機能学専攻）	社会の伸びしろとは？ ～ゆるスポーツの取り組み	予習：ゆるスポーツについて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
7	佐藤 大輔（医療福祉学部看護学科）	臓器提供に関する諸活動を考える	予習：臓器提供の種類を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
8	石橋 千賀（株式会社 KMSI 代表取締役）	誰もがよりよく生きぬける社会への挑戦	予習：自分にとって「よりよく生きぬく」とはどのようなことかを具体的に考える。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
9	鈴木 陽一（工学部知能情報システム学科）	レジリエントな情報通信技術（ICT） ～災害に強い ICT の社会実装	予習：レジリエンスについて、特に ICT との関連を含めて調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深め、小レポートに取り組む。				4 時間
10	岡 恵介（現代社会学部社会学専攻）	災害救助犬と地域の安心安全 ～災害救助犬の活動	予習：災害救助犬について調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
11	徳田 律子（現代社会学部社会福祉学専攻）	視覚に障害のある方とアートを楽しむ ～アートミーツケア活動	予習：障害者とアート活動について調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
12	大野 朝子（経営法学部経営法学科）	学生によるボランティア活動 ～社会にどうコミットするかを考える	予習：興味関心のあるボランティア活動を挙げ、その理由を考える。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
13	梅岡 恒治（工学部建築環境学科）	建築・都市の分野に関わるまちづくり実践 ～街の将来ビジョンに関わる社会参加のありかた	予習：自身が魅力的だと考える公共空間事例を調べ、魅力的だと考える理由を考察する。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
14	相澤 康弘（工学部臨床工学科）	臓器移植の現状と課題を考える	予習：我が国の臓器移植の現況を調べる。 復習：授業内容を振り返り、理解を深める。				4 時間
教 科 書		なし					
参 考 書		必要に応じて適宜指示する					
備 考		なし					

科 目 名		データサイエンス入門		担 当 者	○村上 大介・渡邊 晃久 鈴木眞澄美
科目ナンバリング		105021257			常勤・非常勤
D	P	2		教 員 研 究 室	3116（村上）・渡邊・鈴木（非常勤講師室）
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単

科 目 名		医療情報科学		担 当 者	鈴木 亮二	
科目ナンバリング		105021258			非常勤	
D	P	1		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 医療現場に就職した際に戸惑わないように、医療情報システムと遠隔医療の概要、並びに個人情報保護について学ぶことを目的とする 【学習の到達目標】 ・医療情報システムの概要を知ることができる ・遠隔医療について知ることができる ・個人情報保護について知ることができる 【成績評価方法】 授業参加態度 10%（10 点） レポート 90%（90 点） 【課題等のフィードバック方法】 ・講義終了後、質問を受け付け回答する 【履修上の注意・予習・復習について】 ・飲食、私語の禁止 ・携帯電話禁止 【受講して得られる効果・メリット、その他】 医療情報システムの概要と個人情報保護の知識を得ることができるので、医療現場に就職した際にシステムに対して理解できる 【実務家教員担当科目】 大学病院に勤務し、医療情報システム更新を 2 回経験した						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	鈴木 亮二	ICT による見守りと医療情報システム更新について	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
2	鈴木 亮二	遠隔医療と服薬支援について	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
3	鈴木 亮二	電子カルテについて	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
4	鈴木 亮二	医事会計システムについて	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
5	鈴木 亮二	部門システムについて	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
6	鈴木 亮二	個人情報保護について	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
7	鈴木 亮二	アクセシビリティについて	予習：専門用語の意味を理解しておくこと 復習：専門用語の意味を再確認し、理解すること		4 時間	
教 科 書		保健医療福祉情報システム工業会編、医療情報システム入門 2023、社会保険研究所				
参 考 書		該当なし				
備 考		該当なし				

科 目 名	医療のための基礎数学			担 当 者	戸田 孝史
科目ナンバリング	105021259				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1327
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 看護現場において、計算ミスは重大なインシデントにつながる危険性がある。看護技術、成人看護学、母性看護学、小児看護学、老年看護学、在宅看護学等で必要とされる計算力を養う。 【学習の到達目標】 臨地実習や、卒業後の臨床において必要となる計算が全てできる。 【成績評価方法】 ふだんの授業への取り組みと定期試験により評価する。詳細は授業時に説明する。 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートや小テストなどについて、授業時に解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 定期試験の受験資格は規定どおりとするが、皆勤を目標とすること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 臨地実習や卒業後の臨床において必要となる計算が安定してできるようになり、国家試験対策になると同時に、他の看護科目を学修する際に、計算以外の学修内容に集中することができる。 【実務家教員担当科目】 該当せず					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	戸田 孝史	計算が必要とされる臨床の場面について理解する。各自の基礎計算力の確認。	なし		4 時間
2	戸田 孝史	基礎計算力を向上させるための演習 苦手項目を学生が自学自習する。指導教員は、常に待機し質問に応じる。	前回の学修内容の復習		4 時間
3	戸田 孝史	看護における計算（1）：注射薬や消毒薬の濃度、希釈率	前回までの学修内容の復習		4 時間
4	戸田 孝史	看護における計算（2）：点滴、輸液ポンプ（成人・小児）	前回までの学修内容の復習		4 時間
5	戸田 孝史	看護における計算（3）：気体の分子数と圧力の関係、酸素ボンベの使用量、残量	前回までの学修内容の復習		4 時間
6	戸田 孝史	成人看護における計算：BMI、栄養量（脂肪摂取量、エネルギー計算）	前回までの学修内容の復習		4 時間
7	戸田 孝史	小児看護における計算：小児の身体発達に関する指数（ローレル指数、カウプ指数）、水分必要量	前回までの学修内容の復習		4 時間
教 科 書	看護学生のための計算トレーニングドリル、渡辺将隆 監修、SENKOSHA メディカルドリル編集部				
参 考 書	特になし				
備 考	特になし				

科 目 名		生活の中の物理学		担 当 者	早川 美徳	
科目ナンバリング		1050212510			非常勤	
D	P	1,2		教員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 私たちの身の回りには、様々な機械、電子機器、ヒトをはじめ様々な動物、天体を含む自然など、さまざまな「物」が存在している。これらの物の動きや機能は、物質の基本的な性質や自然現象を解明しようとする科学的な営みである物理学と深く関係している。本講義では、物理学の基本的な概念や考え方を生活に関係した実例を交えながら紹介し、生活の中の様々な現象や物の動きを物理学に基づいて考えるすべを学修する。あわせて、物理学が今後の生活や社会で果たす役割、影響などについて考えていく。 【学習の到達目標】 ・物理学が身の回りの現象の理解に役立つだけでなく、生活の各所で応用されていることを具体的な事例を伴って考え、理解する。 ・安全で健康的な生活を営むための判断に必要な物理学的な知識や常識を理解する。 【成績評価方法】 ミニ課題 40%、ミニットペーパーの記入状況 40%、最終レポート課題 20%の重みで総合評価する。これらの提出が行われていない回は、出席とみなさないで注意すること。 【課題等のフィードバック方法】 毎回、ミニ課題と講義での気づきや意見・質問をミニットペーパー等で提出する。個別の質問への回答は原則として個別に行い、課題については翌週の授業の最初で振り返りを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 教室での演示実験を行う予定であるので、実施にあたり積極的に協力すること。毎週、前週講義のふり返しをおこなうので復習をしておくこと。やむを得ない理由で遅刻や欠席の場合は事前事後に関わらず担当教員まで連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 私たちの身の回りにある様々な機械、電子機器、ヒトや様々な動物などの機能が理解できるようになる。また、物理学を通して自然や社会を眺めることによって、新しい気づきが生まれ、より豊かな発想や想像力を得ることができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	早川 美徳	ガイダンス（授業の進め方の説明）後、物理学とは何かをテーマとして、物理学の対象と研究方法、基本的な物理量とその定義、計測法、単位について学ぶ	当該の講義内容（教科書 1.2.1 項まで）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
2	早川 美徳	「物理量の単位はどう表されるか」をテーマに、物の長さ、面積、体積、質量、位置、速度、加速度などを対象に、それらを表す SI 単位系（国際標準）について学ぶ	講義内容（教科書 1.2.2 項と 2.1 節）について予習する。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
3	早川 美徳	「物はどのように落ちるか」と「ロケットは何故飛べるか」をテーマに、自由落下と等加速度運動、重力加速度、様々な力とその合成、作用反作用の法則等について学ぶ	講義内容（教科書 2、3 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
4	早川 美徳	「ニュートンは何を見つけたのか」をテーマに、ニュートンの運動方程式、加速度運動等について学ぶ	講義内容（教科書 4 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
5	早川 美徳	「テーブルクロス引きの上達法」をテーマに、摩擦係数、慣性の法則等について学ぶ	講義内容（教科書 5 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
6	早川 美徳	「ジェットコースターの設計法」をテーマに、力学エネルギーと仕事、エネルギーの保存等について学ぶ	講義内容（教科書 7 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
7	早川 美徳	前半のまとめ：物理学の対象と研究方法、基本的な物理量とその定義、計測法、単位と、力学と呼ばれる物理学の分野の考え方を整理する	これまで 6 回の講義内容について復習して、疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
8	早川 美徳	「空の色が青い理由」と「シャボンの膜が虹色に見える理由」をテーマに、波動としての光の性質、スネルの法則等について学ぶ	講義内容（教科書 10、11 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
9	早川 美徳	「楽器の音程はどう決まるのか」と「救急車のサイレンの音が変化する理由」をテーマに、縦波と横波、音速と波長、固有振動、ドップラー効果等について学ぶ	講義内容（教科書 12、13 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
10	早川 美徳	「暑いということとは」と「クーラーは何故涼しいのか」をテーマに、温度の性質と絶対温度、温度による物質の変化、熱と仕事、熱機関の基本原理解等について学ぶ	講義内容（教科書 17、18、19 章）について予習する。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
11	早川 美徳	「冬場に静電気が起こる理由」と「コンパスはなぜ南北を指すのか」をテーマに、電荷と電荷に働く力、磁場等について学ぶ	講義内容（教科書 20 章と 21.1 節）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
12	早川 美徳	「上手に節電するには」をテーマに、磁場と電流の関係、ローレンツ力、電磁誘導と発電・送電の仕組み等について学ぶ	講義内容（教科書 21.2 節と 22 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
13	早川 美徳	「電子レンジで何故食品が温まるのか」と「もし原発事故が起こったら」をテーマに、電磁波の性質、電磁波と物質の相互作用、放射性崩壊と放射線等について学ぶ	講義内容（教科書 23、24 章）について予習しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
14	早川 美徳	「生活の中の事象を不思議に思うこと」を軸に、担当教員の研究紹介も交えつつ、講義全体のまとめを行う	予習として、事前に配布する資料を通読しておく。授業内容と疑問点を整理してまとめる。		4 時間	
教 科 書		齊藤 史郎著、日常の中の物理学、学術図書出版社、2019（1600 円 + 税）				
参 考 書		真貝 寿明 著、日常の「なぜ」に答える物理学、森北出版、2015（2200 円 + 税） その他、必要に応じて適宜紹介する。				
備 考		資料等は Google Classroom あるいは教室で配布する。				

科 目 名		生活の中の化学			担 当 者	堂浦 克美
科目ナンバリング		1050212511				常勤
D P		1,2			教 員 研 究 室	1206
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 現在、多くの物質やそれを利用した製品が次々と生みだされており、これらの物質は、私たちの毎日の暮らしを豊かにし、生活に欠かせないものになっている。本講義では、化学の基礎とその役割について学ぶ。 また、高校化学の学修が十分ではない受講者でも理解できるよう平易な解説を行う。 【学習の到達目標】 生活の中の化学では、身の回りの物質とその用途などを通して、化学の基礎的知識を習得する。 【成績評価方法】 ミニレポート：40%、レポート：60% で総合的に評価する。詳細は、授業時に説明する。						
【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートや小テストなどの課題は、授業中またはクラスルームで解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 講義のふり返しをおこなうので復習をしておくこと。やむを得ない理由で遅刻や欠席の場合は事前事後に関わらず担当教員まで連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 日常生活で使われる商品（食品含む）を通して化学に親しみ、延いては化学の視点から自然科学現象を分析する素地を養うことにつながる。 【実務家教員担当科目】 該当せず						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	堂浦 克美	ガイダンス				4 時間
2	堂浦 克美	原子と分子	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
3	堂浦 克美	元素の種類と性質	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
4	堂浦 克美	化学結合	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
5	堂浦 克美	物質質量とモル	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
6	堂浦 克美	化学反応式	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
7	堂浦 克美	レポート作成	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
8	堂浦 克美	物質の状態変化：気体の性質 ／溶液の性質	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
9	堂浦 克美	酸化と還元	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
10	堂浦 克美	非金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
11	堂浦 克美	典型金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
12	堂浦 克美	遷移金属元素	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
13	堂浦 克美	脂肪族化合物／芳香族化合物	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
14	堂浦 克美	レポート作成	予習：教科書の指定範囲（授業で指示） 復習：前回の内容（ミニレポート含む）			4 時間
教 科 書		「商品から学ぶ化学の基礎」 松田勝彦 著、化学同人				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		生活の中の生物学		担 当 者	堂浦 克美
科目ナンバリング		1050212512			常勤
D	P	1,2		教員研究室	1206
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式				単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 地球という環境の中で生きる我々ヒトが生物学的にどのような存在なのか、そして我々がヒトは生涯を生き抜くために、どのように身体構造と機能を有しているのか、更に、生物としてどのような役割を果たしているのかについて学ぶ		【課題等のフィードバック方法】 レポートやミニレポート等の課題は、授業中またはクラスルームで解説する			
【学習の到達目標】 生物の多様性と共通・ヒトの生物学的特徴・ヒトが生きる役割について修得する 生命の倫理観を理解できる		【履修上の注意・予習・復習について】 予習を重視すること・学修内容を確認しておくこと 復習は資料の整理を怠らないこと			
【成績評価方法】 レポート 60% ミニレポート（小テストに変えることもある） 40% 詳しいことは授業に置いて説明します		【受講して得られる効果・メリット、その他】 私たちはどのような存在なのかを生物学的に理解し、私たちが生物としてどのような役割を果たしているのかを知ること、人生を健康に生き抜く意義を感じ取ることができる。また人々が健全に生きるための倫理観を習得できる			
		【実務家教員担当科目】 該当せず			
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	堂浦 克美	ガイダンス：生物の進化と多様性 ※生物の進化の過程と人の誕生について触れないか	予習：生物の進化と多様性について調べておく 復習：授業課題の確認		4 時間
2	堂浦 克美	細胞 1：細胞の種類と細胞膜の構造	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
3	堂浦 克美	細胞 2：核と細胞小器官	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
4	堂浦 克美	細胞 3：栄養と代謝とエネルギー	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
5	堂浦 克美	遺伝情報 1：遺伝のメカニズム	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
6	堂浦 克美	遺伝情報 2：遺伝病	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
7	堂浦 克美	細胞分裂 1：分裂の仕方	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
8	堂浦 克美	細胞分裂 2：減数分裂	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
9	堂浦 克美	人体の階層構造 1：組織と器官	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
10	堂浦 克美	人体の階層構想 2：器官系	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
11	堂浦 克美	ホメオスタシス 1：生体の維持のしくみ	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
12	堂浦 克美	生体防御機構と免疫	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
13	堂浦 克美	成長と老化	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
14	堂浦 克美	生命倫理	予習：該当範囲についての確認 復習：授業課題の確認		4 時間
教 科 書		講義時に指示する			
参 考 書		講義時に指示する			
備 考		連絡事項があれば講義時に指示する			

科 目 名	統計解析			担 当 者	西澤 哲
科目ナンバリング	1050212513				常勤
D P	1,2,3			教 員 研 究 室	3212
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 ① 客観的に表現する方法のひとつとしての統計学の概念を講義する ② 論理的な判断にもとづく検定の概念を講義する 【学習の到達目標】 論理的な判断にもとづいた検定手法を理解する 【成績評価方法】 期末テスト 90%, 不定期に行う「講義確認テスト」10% 【課題等のフィードバック方法】 講義確認テストの採点結果 【履修上の注意・予習・復習について】 本講義は積み重ねを重要視する。したがって復習を十分に行うこと 【受講して得られる効果・メリット、その他】 論理的な判断にもとづいた検定手法を得る 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	西澤	統計学とは何か	①看護学科で統計学を学ぶ意義, ②客観性の概念の理解, ③本講義のゴール, ④ゴールに向かうまでの過程を復習		4 時間
2	西澤	データ尺度	3つのデータ尺度を分類する基準を復習		4 時間
3	西澤	代表値と図 1	2 回目のデータ尺度の特徴を予習 ①間隔尺度の代表値の理解, ②間隔尺度の図表の作成を復習		4 時間
4	西澤	代表値と図 2	2 回目のデータ尺度の特徴を予習 ①順序名義尺度の代表値, ②順序名義尺度の図表, ③図・表の作成上の形式の復習		4 時間
5	西澤	演習問題 1（テスト形式で第 2 ～ 4 回の演習問題を行う）	あらかじめ, 第 2 ～ 4 回の講義内容を復習しておくこと		4 時間
6	西澤	対応のあるデータと対応のないデータ 1	対応のあるデータと対応のないデータの区別を復習		4 時間
7	西澤	対応のあるデータと対応のないデータ 2	パラメトリックデータの相関と回帰の違いの復習		4 時間
8	西澤	検定 1（検定の基礎の理解）	①検定の証明方法, ②有意確率, ③有意水準の復習		4 時間
9	西澤	検定 2（確率密度分布と有意確率の関係）	①確率密度分布の意味, ②有意確率を確率密度分布で表す方法, ③検定統計量の復習		4 時間
10	西澤	検定 3（片側検定と両側検定の概念）	①片側検定と両側検定の違い, ②帰無仮説の違い, ③検定結果の違いの復習		4 時間
11	西澤	検定 4（t 検定の手順）	① t 検定の手順, ② t 検定を行えない場合の復習		4 時間
12	西澤	演習問題 2（テスト形式で第 6 ～ 11 回の演習問題を行う）	あらかじめ, 第 6 ～ 11 回の講義内容を復習しておくこと		4 時間
13	西澤	総合演習（テスト形式で第 2 ～ 13 回の演習問題を行う）	あらかじめ, もう一度, 第 2 回目からの内容を復習すること		4 時間
14	西澤	総合演習: 第 14 回のつづき	あらかじめ, もう一度, 第 2 回目からの内容を復習すること		4 時間
教 科 書	とくになし				
参 考 書	必要に応じて授業中に紹介する				
備 考	とくになし				

科 目 名		アカデミック・スキル演習			担 当 者	○大池 真樹・鈴木 祐子 松田 優二・傍島 智子
科目ナンバリング		1050212514				常勤
D	P	1,4			教 員 研 究 室	5209・5208・3111・1314・3116
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・通年
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク ☑プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		☑双方向型授業 □自主学習支援 □該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 大学での学びの基礎となるアカデミックスキルを育成する。他者と協働しながら学ぶことの意義を体験的に学修する。医療人としての関心・意欲・態度を育む。授業は、全体講義の他、ゼミ形式での授業が展開される。				【課題等のフィードバック方法】 出席カードや口頭、または GoogleClassroom にて質問を受け付け、授業または GoogleClassroom 内でフィードバックする。また面談時に学修目標や学修課題についてフィードバックする。		
【学習の到達目標】 1. 大学生活や授業、自己学習に役立つスタディ・スキルを身につける。2. 教員や在学生との交流を通して、大学生活における目標やキャリアデザイン「将来どのような看護職者になりたいか」目標を立てることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻や欠席に注意し、やむを得ず欠席した授業については、各担当教員の指示を仰ぐこと。課題は期限内に提出すること。		
【成績評価方法】 ミニテスト・ミニ課題 20%、レポート 20%、主体的に取り組む態度 60%（主体的な演習態度や提出物の期限内提出は加点）で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 大学での学びの基礎となる論理的思考力や表現力の育成のみならず、看護職を目指す学生としての大学生活における目標が明確になり、キャリアデザインを描くことができる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師や保健師の免許を有し、臨地での実務経験や大学教育の経験を十分活かして授業を展開する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大池、1 年生 SA 教員	前期オリエンテーション	履修登録方法や前期履修科目について確認しておく			4 時間
2	大池、学生相談室	大学生活における健康管理①	教科書「大学で学ぶということ」、第 2 編「対人関係スキル」「ストレス対処スキル」「日々の健康管理」を読む			4 時間
3	大池、実習委員会	大学生活における健康管理②、ポートフォリオ	第 3 編「ポートフォリオの作成」を読む			4 時間
4	大池、1 年 SA 教務委員	情報リテラシー①: Google Classroom の使い方等	第 1 編「情報リテラシー」を読む			4 時間
5	傍島	情報リテラシー②: メール の 作法 など	メールの作法について調べる			4 時間
6	大池	図書館ガイダンス	第 1 編「図書館の使い方・必要な資料の探し方」を読む			4 時間
7	大池、教務委員会	入学前課題のミニテスト	入学前課題の復習			4 時間
8	鈴木	スタディスキル①	第 1 編「ノートのとり方」「文章の読み方・まとめ方」			4 時間
9	大池、学生委員会	新入生と上級生交流	大学生活における疑問や上級生への相談・質問内容をまとめる			4 時間
10	大池、外部講師	大学生と社会生活	若者が遭いやすい消費者トラブルについて調べる			4 時間
11	松田、大池他	演習①グループワーク	プレゼンテーションの準備			4 時間
12	松田、大池他	演習②グループワーク	プレゼンテーションの準備			4 時間
13	松田、大池他	演習③プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備			4 時間
14	1 年生 SA 教員	面談（前期）: ポートフォリオを用いた振り返り	ポートフォリオの記載・ファイル整理			4 時間
15	大池、1 年生 SA 教員	後期オリエンテーション	履修登録方法や前期履修科目について確認しておく			4 時間
16	松田	大学生活における健康管理③	自己を振り返り自分自身を理解する			4 時間
17	大池、学生相談室	大学生活における健康管理④	セルフケア、セルフマネジメントについて			4 時間
18	松田、キャリア支援委員会	キャリアセミナーⅠ①	第 1 編「仲間と学ぶスキル」「看護キャリアとキャリア・デザイン」を読む			4 時間
19	松田、キャリア支援委員会	キャリアセミナーⅠ②	入学後の大学生活を振り返り、将来どのような看護職者になりたいか考えをまとめる			4 時間
20	松田、キャリア支援委員会	キャリアセミナーⅠ③	入学後の大学生活を振り返り、将来どのような看護職者になりたいか考えをまとめる			4 時間
21	鈴木	スタディスキル②	第 1 編「プレゼンテーション・スキル」、第 2 編「ディスカッション・スキル」を読む			4 時間
22	大池、佐藤（茉）他	演習①: グループワーク	プレゼンテーションの準備			4 時間
23	大池、佐藤（茉）他	演習②: グループワーク	プレゼンテーションの準備			4 時間
24	大池、佐藤（茉）他	演習③: プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備			4 時間
25	外部講師、大池	看護について考える①	献血、骨髄移植について調べる			4 時間
26	外部講師、大池	看護について考える②	がん検診などがん予防教育について調べる			4 時間
27	外部講師、大池	看護について考える③	診療看護師（NP）について調べる			4 時間
28	1 年生 SA 教員	面談（後期）: ポートフォリオを用いた振り返り	ポートフォリオの記載・ファイル整理			4 時間
教 科 書		よくわかる看護学生のための大学での学び方 第 2 版 監修: 前原澄子、遠藤俊子、金芳堂				
参 考 書		授業中に適宜指示する。				
備 考		問い合わせは大池真樹、鈴木祐子、松田優二、傍島智子、佐藤茉里まで。				

科 目 名		スポーツ実技		担 当 者	○犬塚 剛・森田 清美 金田 幸夫・未定	
科目ナンバリング		1050212515			常勤・非常勤	
D P		1,3		教員研究室	1304	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 それぞれのライフスタイルや体力や年齢、目的に応じたスポーツを楽しめるよう、自分に適したスポーツを選択し、理論、技術、方法等について継続的に学習して実力の向上を図り、自分の生涯スポーツにつながる基礎的能力を身につけることを目標とする。				【課題等のフィードバック方法】 適宜、種目ごとに講義内容の振り返りを行う。		
【学習の到達目標】 各自の生涯スポーツ種目を見極め、基本的なルールや技術を身につける。スポーツを通じた体力づくりや健康管理の方法について習得する。				【履修上の注意・予習・復習について】 〈服装〉動きやすいスポーツウエア等を着用し、体育館用シューズと屋外用シューズを明確に区別し使用すること。〈授業見学と公欠〉体調のすぐれない者や怪我等により見学を希望する者は授業開始時に申し出ること。但し長期見学の場合は医師の診断書を持参すること。また、親族の不幸やクラブ活動の競技会等により授業を欠席する場合は原則として公欠とするので届け出ること。〈遅刻および早退〉点呼終了後に授業に参加した場合は遅刻と判断する。また事情により授業を早退する場合は必ず理由等を教員に届けること。無断で授業を早退した場合には授業放棄とみなしその後の授業に出席しても単位を出さないこともあるので注意すること。		
【成績評価方法】 成績は、授業中のゲーム遂行や準備に対する積極的な態度、技能テストなどにより評価する 70%、実技内評価・課題レポート 30%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 他学部、他学科の学生が集まりスポーツを通じてコミュニケーションを育むことで社会人基礎力として多様な他者とのコミュニケーション能力やチームワーク、チャレンジする精神力などを養うことができる。		
				【実務家教員担当科目】 高等学校や大学で競技指導実績を持つ教員らが講義を担当する。		
授 業 計 画						
(実施種目) 屋内種目「球技系（バスケットボール・バレーボール）、ラケット系（バドミントン・卓球&レクリエーション）、フィットネス系（トレーニングなど）」屋外種目「サッカー（フットサル）、ソフトテニス（テニス）」以上の実技種目の中から原則 1 種目を選択する。施設設備のスペースや備品の状況により、種目毎に希望者数の上限を設ける予定である。種目希望者数に大きな偏りが生じる場合は、その状況に鑑み、種目の分散などによる人数調整を行う。なお、履修希望者数の状況等により、開講種目が変更される可能性もある。 1.2：オリエンテーション（種目の選択と講義概要および講義中の諸注意などについて） 3～22：各種目毎の実践・技能テスト・レポート課題の作成等 種目ごとに授業内容は異なるが、各種目とも共通にウォーミングアップの方法、基本的技術動作の習得、ルールの習得、戦術の学習などを通じて、各自が多面的にその種目への理解を深めることやゲーム運営をスムーズにこなせることを目標に授業を進める。						
教 科 書		特になし。				
参 考 書		「ビジュアルスポーツ小百科」 大修館書店 （980 円）				
備 考		※ 諸連絡に関しては、クラスルームへ連絡を入れるので確認を怠らないこと。 ※ 急な変更事項に関しては、クラスルームや体育館入口前に掲示を行うので確認すること。 ※ 種目選択については、施設のスペースや希望者数の偏りを見て、種目選択人数調整が入ります。 問い合わせ教員：犬塚 剛、森田清美				

科 目 名		心理学概論		担 当 者	北川 公路
科目ナンバリング		1050212516			常勤
D P		3		教員研究室	3204
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 心理学は、人間の活動すべてに関わるものであり、内容は多岐にわたっている。 本講義では、心理学の成り立ち、ひとのこころの基本的な仕組み及びはたらき、その概観を説明していく。心理学の基礎知識を学び、人間の行動を科学的に研究する方法や研究領域ごとの特色を理解した上で、こころのとらえ方、メカニズム、こころの問題へのアプローチ方法まで学習する。心理学の実験や現象を参考にしながら、心理学的な問題解決能力を習得することを目標とする。心理学の各領域についての講義を通じ、学問としての裾野の広さを理解できるようにする。 担当教員の公認心理師としての経験をもとに、講義を通して紹介する。 【学習の到達目標】 (1) 心理学の様々な領域の用語の意味について記述できる。 (2) 心理学の知識をもとに、人間行動を解釈することができる。 (3) 人間を科学的に考える立場から現実社会の問題についての議論に参加できる。 【成績評価方法】 定期試験（60%）と講義内課題・参加（40%）による総合評価。 【課題等のフィードバック方法】 講義ごとにリアクションペーパーの提出を求めている。その提出物は次の講義で返却をする。質問については授業で紹介していく。 【履修上の注意・予習・復習について】 事前に配布されている資料を読んでくことを予習とする、講義中の議論の際は積極的に参加すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 人間をより理解することができるようになると考えられる。 【実務家教員担当科目】 公認心理師が当該科目を担当する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	北川 公路	ガイダンス、心理学とは	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
2	北川 公路	心理学の歴史	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
3	北川 公路	学習と記憶	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
4	北川 公路	感情と動機づけ	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
5	北川 公路	知覚と注意	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
6	北川 公路	認知機能の障害	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
7	北川 公路	人格の理論と測定	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
8	北川 公路	発達と発達障害	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
9	北川 公路	言語と思考	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
10	北川 公路	心の健康と適応	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
11	北川 公路	心の病態 アセスメント	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
12	北川 公路	個人と集団	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
13	北川 公路	心理学の応用 心理療法	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
14	北川 公路	心理学の応用 心理療法	予復習：配布資料をもとに学修する。		4 時間
教 科 書		指定なし。			
参 考 書		講義が進む中で適宜、紹介する。			
備 考		特記事項無し。			

科 目 名		生命倫理学		担 当 者	鈴木 誠	
科目ナンバリング		1050212517			常勤	
D P		3		教員研究室	3105	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 生命におけるさまざまな倫理的課題について触れ、他者とのディスカッションを通じて理解を深めていく 【学習の到達目標】 生活の質（QOL）の向上を視野に、生命（人生）における倫理的課題、特に健康・医療との関りのなかで生じる課題について考える力を身に付ける 【成績評価方法】 授業内課題によって成績を評価し、単位を認定する 【課題等のフィードバック方法】 グループワークの内容を授業の終わりに個別に提出し、次回にそのフィードバックを行う 【履修上の注意・予習・復習について】 授業毎に予習・復習に努めること 【受講して得られる効果・メリット、その他】 生命（人生）における倫理的な課題に関する様々な考え方を学ぶことができる 【実務家教員担当科目】 リハビリテーション医療に携わってきた教員が授業を担当する						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	鈴木 誠	健康、病気、生活の質	予習：「健康、病気、生活の質」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
2	鈴木 誠	医療倫理の 4 原則	予習：「医療倫理」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
3	鈴木 誠	インフォームド・コンセント	予習：「インフォームド・コンセント」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
4	鈴木 誠	在宅医療と家族による看取り	予習：「在宅医療と家族による看取り」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
5	鈴木 誠	医療としての正しさと患者の価値観	予習：「医療としての正しさと患者の価値観」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
6	鈴木 誠	安楽死と尊厳死	予習：「安楽死と尊厳死」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
7	鈴木 誠	健康的に生きるとは	予習：「健康的に生きること」について、自身の考えをまとめてみる 復習：授業資料をもとに、自身の考えを改めて整理してみる		4 時間	
教 科 書		各回、授業資料を配布する				
参 考 書		小林亜津子：QOL って何だろう 医療とケアの生命倫理，ちくまプリマー新書 小林亜津子：はじめて学ぶ生命倫理 「いのち」は誰が決めるのか，ちくまプリマー新書				
備 考		なし				

科 目 名		英語コミュニケーションⅠ		担 当 者	○増井三千代・岡光 信子 オーフラロティ 智美	
科目ナンバリング		1050212518			常勤・非常勤	
D	P	3		教 員 研 究 室	1328・非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 この授業では、英語を用いた円滑なコミュニケーション能力を養うことを目的とする。そのために、英会話での受け答えの練習に加え、トピックを深く理解するための読解力やボキャブラリーの習得、リスニングスキルの向上を図る。また、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて、他者と英語で意見を交換する。						
【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業時に学生から質問やコメントを受け、当該授業や次回以降の授業で適宜回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ・学生同士の積極的な交流を通じて英語のスキルアップを目指してください。 ・全 14 回の授業のうち 10 回以上出席してください。遅刻に関しては、遅延の度合いによって欠席扱いとなります。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 基本的な英会話力、教材を読んで内容を詳しく理解するための語彙力、外国人と円滑に意思疎通を図るためのコミュニケーション力が身につく。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員		学修内容		学修課題・必要な学修時間	
					予習・復習	学修時間
1	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		イントロダクション：授業の目的、進行方法、評価基準を説明する。自己紹介を兼ねた簡単な英会話アクティビティを行う。		予習：自己紹介表現を確認する。 復習：新しいフレーズや語彙を練習する。	4 時間
2	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		日常会話の基礎（1）：簡単な挨拶や自己紹介の表現を練習し、ペアワークでロールプレイを行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
3	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		日常会話の基礎（2）：質問と応答のパターン練習（例：趣味、家族など）を行い、ディスカッション形式で意見交換をする。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
4	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		リスニングスキル向上（1）：日常生活をテーマにした短い英会話音声聞き、内容理解を問うクイズを実施する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
5	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		リスニングスキル向上（2）：会話音声聞いて詳細な内容を理解し、ペアで要約して相手に説明する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
6	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		トピックディスカッション（1）：「私の街の紹介」をテーマに短いスピーチを準備し、ペアまたはグループで共有する。質疑応答の練習も行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
7	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		トピックディスカッション（2）：「好きな映画や本」をテーマに短いスピーチを準備し、クラス全体でディスカッションと意見交換を行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
8	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		読解スキル向上（1）：短い英語の記事を読み、重要な単語やフレーズを確認した後、内容を簡単に要約する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
9	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		読解スキル向上（2）：意見を問う記事（例：テクノロジーや環境問題）を読み、要約し、自分の意見を書く練習をする。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
10	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		ボキャブラリー強化（1）：日常会話で役立つ英単語や表現を学び、内容理解を問うクイズを実施する。関連する会話練習も行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
11	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		ボキャブラリー強化（2）：より高度な単語や表現（例：感情表現や意見の述べ方）を学び、短い会話の中で活用する。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
12	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		プレゼンテーションの準備：自分で選んだトピックについて、3～5分のプレゼンテーションを準備する。構成やスライド作成のポイントを学ぶ。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
13	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		プレゼンテーションの発表：各学生がプレゼンテーションを発表し、クラスメイトと質疑応答を行う。		予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。	4 時間
14	増井三千代・岡光 信子・ オーフラロティ 智美		今学期のまとめ：学期全体を振り返り、各スキルの向上度を自己評価する。個別のフィードバックを実施する。		予習：最終日に確認する疑問点をまとめる。 復習：学期中に学んだ英語コミュニケーションスキルを総括する。	4 時間
教 科 書			担当教員の指示に従ってください。			
参 考 書			適宜、授業で指示する。			
備 考			特になし			

科 目 名		英語コミュニケーションⅡ		担 当 者	○増井三千代・岡光 信子 オーフラロティ 智美	
科目ナンバリング		1050212519			常勤・非常勤	
D P		3		教員研究室		1328・非常勤講師室
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 この授業では、「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ基本的なスキルに加え、より円滑なコミュニケーション能力を養うために、英会話、読解力、ボキャブラリー、およびリスニングの応用スキルを学ぶ。						
【学習の到達目標】 異なる文化的背景を持つ外国人と、円滑かつ継続的にコミュニケーションを図るための英語力を身につける。 ・個人的に興味のあるテーマや社会的トピックについて、キーワードや具体例を用いて意思疎通を図ることができる。 ・聞き返しや言い換え、要約などのコミュニケーションストラテジーを活用し、自分の理解を相手に確認しながら会話を続けることができる。						
【成績評価方法】 成績評価は以下を総合的に判断する。 ・授業中のディスカッションにおける積極的発話 50% ・各授業で学んだボキャブラリーの修得実績 30% ・授業で行う簡潔なプレゼンテーションのクオリティー 20%						
【課題等のフィードバック方法】 毎回の授業時に学生から質問やコメントを受け、当該授業や次回以降の授業で適宜回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ・学生同士の積極的な交流を通じて英語のスキルアップを目指してください。 ・全 14 回の授業のうち 10 回以上出席してください。遅刻に関しては、遅延の度合いによって欠席扱いとなります。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ある程度の詳細な英会話力、難易度の高い教材を読み解く語彙力、外国人と比較的長く意思疎通を図るためのコミュニケーション力が身につく。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	イントロダクション：授業の目的、進行方法、評価基準を説明する。「英語コミュニケーションⅠ」で学んだ内容を振り返り、自己紹介アクティビティを実施する。	予習：自己紹介表現を確認する。 復習：新しいフレーズや語彙を練習する。		4 時間	
2	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	コミュニケーションストラテジー（1）：聞き返し、言い換え、確認の方法を学び、ロールプレイを通じて実践する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
3	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	コミュニケーションストラテジー（2）：意見の対立や誤解が生じた際の対応スキルを学び、ディスカッションを通じて実践する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
4	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	リスニング応用スキル（1）：ニュースやインタビューの音声を使い、主旨と詳細を聞き取る練習を行う。重要なフレーズを抜き出して要約する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
5	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	リスニング応用スキル（2）：長めの英語音声を取り、要点とスピーカーの意見を整理する。ペアで音声の内容について議論する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
6	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	トピックディスカッション（1）：「旅行と異文化体験」をテーマに、各自の経験や考えについてディスカッションを行い、文化的な違いへの気づきを共有する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
7	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	トピックディスカッション（2）：「グローバルな課題（例：気候変動や国際支援）」をテーマに議論し、自分の立場を明確に示しながら意見を述べる。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
8	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	読解応用スキル（1）：英語の記事を読み、文脈から単語の意味を推測する練習を行う。内容を要約し、自分の意見を短い文章で表現する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
9	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	読解応用スキル（2）：社会問題に関する記事（例：環境問題や AI の影響）を読み、グループで意見交換を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
10	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	ボキャブラリー応用（1）：複雑な感情表現や意見を述べる際に使える語彙を学び、実際の会話で活用する練習を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
11	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	ボキャブラリー応用（2）：アカデミックなトピックに関連する英単語や表現を学び、リスニングやスピーキングに応用する。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
12	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	プレゼンテーションの準備：自分で選んだトピックについて、3～5 分のプレゼンテーションを準備する。構成やスライド作成のポイントを学ぶ。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
13	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	プレゼンテーションの発表：各学生がプレゼンテーションを発表し、クラスメイトと質疑応答を行う。	予習：初めて出会う表現や語彙を調べる。 復習：学んだ表現を使って発話してみる。		4 時間	
14	増井三千代・オーフラロティ 智美・岡光 信子	今学期のまとめ：学期全体を振り返り、各スキルの向上度を自己評価する。個別のフィードバックを実施する。	予習：最終日に確認する疑問点をまとめる。 復習：学期中に学んだ英語コミュニケーションスキルを総括する。		4 時間	
教 科 書		担当教員の指示に従ってください。				
参 考 書		適宜、授業で指示する。				
備 考		特になし				

科 目 名		韓国語コミュニケーションⅠ		担 当 者	李 恵慶	
科目ナンバリング		1050212520			非常勤	
D	P	3		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 現代社会を生きる私達に、外国語の必要性は益々増加しつつあります。情報化時代に生き残るためにも、外国語を理解し、そこから必要な情報をゲットする必要もあります。この授業では、韓国語の基礎を学びます。最初は文字の書き方を覚え、読み方と基本語彙の習得をし、「書く」、「読む」ことに重点をおきます。また、すぐ使える基本表現の習得を目指しますが、合わせて生の韓国語に触れるために授業中は話題の韓国ドラマや映画も取り入れて行います。						
【課題等のフィードバック方法】 ・課題は添削し、重要ポイントをつけて返す。・質問は出席表で受け付け、その都度答える。						
【履修上の注意・予習・復習について】 授業の進度にそって予習や復習のための適切な課題を出します。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 韓国語を学ぶことによって日本語と日本文化の源流を理解することは勿論広い角度の情報やグローバル的な感覚を身につけることができます。学習効果を高めるため韓国ドラマや韓国料理なども取り入れて行います。						
【実務家教員担当科目】 韓国語のネイティブでありながら、日本語と韓国語の領域において通訳や翻訳などで多くの経験を有している。						
【成績評価方法】 平常点（小テスト・課題など） 50% 期末試験 50%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	李 恵慶	第九課朝ご飯は食べません。	予習；第九課の語彙と文法 復習；第九課の本文と練習問題		4 時間	
2	李 恵慶	第十課どこに住んでいますか。	予習；第十課の語彙と文法 復習；第十課の本文と練習問題		4 時間	
3	李 恵慶	第六課から第十課までのまとめ	予習；第六課から第十課までの語彙と文法 復習；第六課から第十課までのまとめ練習問題		4 時間	
4	李 恵慶	第十一課今日、忙しいですか。	予習；第十一課の語彙と文法 復習；第十一課の本文と練習問題		4 時間	
5	李 恵慶	第十二課先生でしたか。 第十三課何をしましたか。	予習；第十二課、十三課の語彙と文法 復習；第十二課、十三課の本文と練習問題		4 時間	
6	李 恵慶	第十四課ご飯食べましたか。	予習；第十四課の語彙と文法 復習；第十四課の本文と練習問題		4 時間	
7	李 恵慶	第十五課何をしたいですか。	予習；第十五課の語彙と文法 復習；第十五課の本文と練習問題		4 時間	
8	李 恵慶	第十一課から第十五課までのまとめ	予習；第十一課から第十五課までの語彙と文法 復習；第十一課から第十五課までのまとめ練習問題		4 時間	
9	李 恵慶	第十六課安くて美味しいです。	予習；第十六課の語彙と文法 復習；第十六課の本文と練習問題		4 時間	
10	李 恵慶	第十七課映画見に行きましょ うか。	予習；第十七課の語彙と文法 復習；第十七課の本文と練習問題		4 時間	
11	李 恵慶	第十八課何をなさいますか。	予習；第十八課の語彙と文法 復習；第十八課の本文と練習問題		4 時間	
12	李 恵慶	第十九課コーヒーを飲みます。	予習；第十九課の語彙と文法 復習；第十九課の本文と練習問題		4 時間	
13	李 恵慶	第二十課何をする予定ですか。	予習；第二十課の語彙と文法 復習；第二十課の本文と練習問題		4 時間	
14	李 恵慶	第十六課から第二十課までのまとめ	予習；第十六課から第二十課までの語彙と文法 復習；第十六課から第二十課までのまとめ練習問題		4 時間	
教 科 書		『かんたん！韓国語』 文 慶喆他 朝日出版社				
参 考 書		授業中、その都度紹介する。				
備 考		受講生への要望）授業を休まないこと。声を出して練習すること。				

科 目 名		韓国語コミュニケーションⅡ		担 当 者	李 恵慶
科目ナンバリング		1050212521			非常勤
D P		3		教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式					

科 目 名		中国語コミュニケーションⅠ		担 当 者	王 效紅	
科目ナンバリング		1050212522			非常勤	
D	P	3		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 正しい発音を身につけることに重点をおく。簡単な文法事項を学習する。 【学習の到達目標】 中国語での簡単な日常会話ができるようになる。 【成績評価方法】 期末試験 70％、小テスト、課題提出、発言・質問および授業に臨む態度 30％。						【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、不明な点について、質問を受け、解答する。また出席カードに質問を書いてもらい、多く出た質問に関してはその次の授業の冒頭で取り上げる。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の口頭練習には、大きな声を出して、積極的に参加してください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 簡単な中国語の会話が身につけられる。文章表現の基礎が固まる。 【実務家教員担当科目】 なし
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	王 效紅	ガイダンス	中国の国と言葉について再確認する。			4 時間
2	王 效紅	第 1 課発音	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
3	王 效紅	第 2 課発音	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
4	王 效紅	第 3 課発音	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
5	王 效紅	第 4 課発音・あいさつ言葉	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
6	王 效紅	第 5 課	附属の音声聞き、声を出して練習する。			4 時間
7	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。			4 時間
8	王 效紅	第 6 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
9	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。			4 時間
10	王 效紅	第 7 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
11	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。			4 時間
12	王 效紅	第 8 課	附属の音声聞き、発音に慣れる。			4 時間
13	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。			4 時間
14	王 效紅	総復習	授業で学習した内容を一通り復習する。			4 時間
教 科 書		『大学生のための初級中国語 24 回』杉野元子・黄漢青著（白帝社）				
参 考 書		授業の中で、必要に応じてアドバイスをしていく。				
備 考		なし				

科 目 名		中国語コミュニケーションⅡ		担 当 者	王 效紅	
科目ナンバリング		1050212523			非常勤	
D P		3		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 正しい発音を身につけることに重点をおく。簡単な文法事項を学習する。 【学習の到達目標】 中国語での簡単な日常会話ができるようになる。 【成績評価方法】 期末試験 70%、小テスト、課題提出、発言・質問および授業に臨む態度 30%。 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、不明な点について、質問を受け、解答する。また出席カードに質問を書いてもらい、多く出た質問に関してはその次の授業の冒頭で取り上げる。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の口頭練習には、大きな声を出して、積極的に参加してください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 簡単な中国語の会話力が身につけられる。文章表現の基礎が固まる。 【実務家教員担当科目】 なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	王 效紅	復習（第 1 課～第 8 課）	復習（第 1 課～第 8 課）		4 時間	
2	王 效紅	第 9 課	附属の音声を読み、発音に慣れる。		4 時間	
3	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
4	王 效紅	第 10 課	附属の音声を読み、発音に慣れる。		4 時間	
5	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
6	王 效紅	第 11 課	附属の音声を読み、声を出して練習する。		4 時間	
7	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
8	王 效紅	第 12 課	附属の音声を読み、発音に慣れる。		4 時間	
9	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
10	王 效紅	第 13 課	附属の音声を読み、発音に慣れる。		4 時間	
11	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
12	王 效紅	第 14 課	附属の音声を読み、発音に慣れる。		4 時間	
13	王 效紅	本文を熟読する・練習問題	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
14	王 效紅	総復習	授業で学習した内容を一通り復習する。		4 時間	
教 科 書		『大学生のための初級中国語 24 回』 杉野元子・黄漢青著（白帝社）				
参 考 書		授業の中で、必要に応じてアドバイスをしていく。				
備 考		なし				

科 目 名		コミュニケーション論		担 当 者	呂本 俊亮
科目ナンバリング		1050212524			非常勤
D P	3			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 この授業では、心理学をベースにコミュニケーションの基礎と応用を学びます。私たちはふだん、あたりまえのように相手が発した情報を理解し、あたりまえのように自分の考えを表現して相手とコミュニケーションを行っています。しかし、そこには私たち人間のきわめて高度な心理メカニズムが働いています。また、コミュニケーションはどんな場面でもうまくゆくとは限りません。その成否はさまざまな要因に左右されます。その要因の1つが、情報の送り手のコミュニケーション能力です。自分の考えを正確に、そして効果的に他者に伝える能力。それはみなさんの今後の人生において、ますます重要なものとなっていくでしょう。この授業を通して、そのような能力を向上させるためのヒントを獲得してもらえれば幸いです。				【課題等のフィードバック方法】 小テストの解説を、小テスト実施直後に行う。小テスト結果は開示する。	
【学習の到達目標】 1. 人と人とのコミュニケーションに関する心理学的知識を獲得し、日常生活の中で思い出したり活かしたりできるようになる。 2. 実社会で役立つコミュニケーション能力を向上させるためのきっかけをつかむ。				【履修上の注意・予習・復習について】 次の行為は原則としてすべて禁止です。遅刻、途中退出、私語、授業中の携帯・スマホ、他の受講者に迷惑をかける行為、提出物の締切後の提出、不正行為。	
【成績評価方法】 提出物 5%、小テスト 45%、定期試験 50%				【実務家教員担当科目】 該当なし	

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	呂本 俊亮	言葉で伝えることの難しさ	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
2	呂本 俊亮	言葉以外のメッセージ (1)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
3	呂本 俊亮	言葉以外のメッセージ (2)	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
4	呂本 俊亮	まとめと小テスト 1	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	4 時間
5	呂本 俊亮	自己とコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
6	呂本 俊亮	会話の成立要件	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
7	呂本 俊亮	言語理解の心理メカニズム	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
8	呂本 俊亮	作文の認知過程	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
9	呂本 俊亮	まとめと小テスト 2	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	4 時間
10	呂本 俊亮	好きを生み出すコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
11	呂本 俊亮	見せて伝えるコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
12	呂本 俊亮	実社会でのコミュニケーション	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
13	呂本 俊亮	コミュニケーションクイズ大会	授業内容を復習し、自己関連づけを行う。受講日誌をつける。	4 時間
14	呂本 俊亮	小テスト 3 と全体のまとめ	ここまでの内容を復習し、小テストに備えて勉強しておく。授業後は、授業内容を復習し、自己関連づけを行う。	4 時間
教 科 書		呂本俊亮（著）『言葉とコミュニケーション 心理学を日常に活かす』朝倉書店		
参 考 書		なし		
備 考		なし		

科 目 名	現代国語表現			担 当 者	大泉 浩一
科目ナンバリング	1050212525				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 14回の授業で毎回作文を書くことによって、人に伝わる文章を作成するための基本技術を学ぶ。あわせて「人に伝わる」とはどういうことかについて、言葉とコミュニケーションの問題を中心に考察する。 作文が不得意でも受講、単位取得にはまったく問題はない。ただし主に作文提出をもって評価する。				【課題等のフィードバック方法】 作文を添削し、改善点を指摘する。	
【学習の到達目標】 具体的な例を挙げて、自分の考えを他者に明確に伝える文章が作成できるようになること。				【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻・私語等には厳しく対応する。出席不良の場合は評価対象外とする。	
【成績評価方法】 毎回の作文課題 50%、最終課題（長い作文） 50%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 「学習の到達目標」に同じ。 他の講義や実習で書くレポート、また就職活動で書く履歴書・エントリーシート・小論文試験、卒業後に仕事で書く文章の作成に役立つ。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	大泉 浩一	オリエンテーション	高校までに習った作文・小論文の書き方を確認してくる。講義の内容を確認する。		4 時間
2	大泉 浩一	説明文の書き方（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
3	大泉 浩一	説明文の書き方（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
4	大泉 浩一	報告文の書き方（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
5	大泉 浩一	報告文の書き方（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
6	大泉 浩一	何を書くか・どう書くか（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
7	大泉 浩一	何を書くか・どう書くか（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
8	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（1）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
9	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（2）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
10	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（3）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
11	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（4）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
12	大泉 浩一	コミュニケーションと言葉（5）	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
13	大泉 浩一	言葉の世界の広がり	講義の内容を確認する。返却された作文を読み直し、反省点を次回に活かす。		4 時間
14	大泉 浩一	まとめ	返却された作文を読み直し、反省点を次の機会に活かす。		4 時間
教 科 書		なし			
参 考 書		授業内で随時紹介する。			
備 考		なし			

科 目 名		海外研修		担 当 者	○増井三千代・立花顕一郎 王 元・鄭 舜玉	
科目ナンバリング		1050212526			常勤	
D P		3,4		教 員 研 究 室	1328	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・通年	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 以下のいずれかの海外プログラムに参加し、現地の人々との交流を通して、異文化に対する理解を深めると同時にコミュニケーション力の向上を目指す。 (1) 長期休業期間に海外（英語圏、中国、韓国）へ渡航し、現地で実施される短期語学研修に参加するグループ研修プログラム (2) 学生個人による現地実習を含む短期語学・異文化理解プログラム（必須条件：所定の計画書の提出、5 日以上の渡航、研究テーマの設定） 【学習の到達目標】 異文化に対する柔軟性を身につけ、現地の言葉を駆使しながら積極的にコミュニケーションを図る。また、現地の人々の考え方や価値観を通じて、日本を客観的かつ相対的に見る広い視野を身につける。 【成績評価方法】 単位取得には、以下の全ての活動に参加することが求められる。 1. 研修前に行われる事前研修会、勉強会等への参加、取り組み状況 25% 2. 研修先での授業やその他プログラムへの参加、取り組み状況 50% 3. 帰国後の研修報告書提出および報告会での成果発表 25% 【課題等のフィードバック方法】 各プログラムの実施担当教員が随時質問を受け付け、回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 実習に伴う参加費、渡航費用等は自己負担となる。 2. 国際情勢の急激な変化により、研修実施が困難になる場合がある。 3. 詳細な日程や費用等については、事前に開催される説明会に出席して確認する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 グループ研修には引率教員が同行するため、海外未経験、語学に不安でも安心して参加できる。また、異文化交流経験は自分の人生の可能性を大きく広げることにつながる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
【授業計画】 1～2 事前研修 3～7 実習 1 日目 8～12 実習 2 日目 13～17 実習 3 日目 17～21 実習 4 日目 22～26 実習 5 日目 ※プログラムによっては実習の日数が増える可能性有り 27 報告書作成および報告会準備 28 報告会						
教 科 書		資料を配布する。				
参 考 書		適宜紹介する。				
備 考		各プログラムの申込は履修登録期間外に行うため、Global Education Project（GEP）の Google Classroom に必ず登録し、掲載される申請方法に従って申し込むこと。この申請をもって履修登録を行う。なお、授業内容（2）の個人研修型プログラムについては、申請条件を満たさなければ、履修できない場合があることに留意する。 クラスコード 4yvf7eq				

科 目 名		教育学		担 当 者	佐々木真由美	
科目ナンバリング		1050212527			非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 ・本授業は、教育の目的・意義・方法等についての基本的原則や理論的基礎を学び、身近な教育問題を取り上げながら、学習者の成長に寄り添う教育の在り方について考察していく。 【学習の到達目標】 ①教育の目的・意義・方法・内容等についての基本的原則や理論的基礎を理解できる。②教育史、教育行政制度、学校経営等の視点から社会の要請に応える教育の意義を理解できる。③いじめ・不登校対策、教育評価、教員の資質能力等の教育者側の視点から教育を考察することができる。 【成績評価方法】 ・レポート内容及び課題の提出状況・内容を総合的に判断し、評価する。 ・科目の評価項目・基準等を定めたルーブリックに基づいて、評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 ・学習過程に復習の時間を位置付け、解説を加える。・グループワークによる振り返りを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・課題がある。・感染症等の感染状況により、授業方法を変更することがある。・平常時の授業においては、双方向性のある授業となる。・発表がある。・制限のある対面授業では、Classroomに参加し、意見交換をする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・社会から求められている資質・能力の習得につながる。 ・多様な教材と学習方法による学びを通し、学び方が身に付く。 【実務家教員担当科目】 非該当						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	佐々木真由美	オリエンテーション（授業のねらい、授業内容、評価方法等）。アイスブレイク。④ルーブリック	予習：自身の「学び」について振り返る。復習：学習を振り返り。在学中に必要な学びを文字化する。		4 時間	
2	佐々木真由美	教育の目的や意義をふまえ、教育格差等について考える。④教育基本法、教育格差	予習：教育の目的について調べる。復習：教育による格差・不平等を取り上げ、解決策を提案する。		4 時間	
3	佐々木真由美	事例をもとに、子どもの成長・人間の成長について考える。④発達の最近接領域	習：心がけている / きた学び方についてまとめる。復習：学友の学び方を参考に、取り組みたい学び方を文字化する。		4 時間	
4	佐々木真由美	学びの効果を高める教育方法について考える。④詰め込み教育、ゆとり教育	予習：「教え方がうまい先生とは？」具体的な事例を集める。復習：ゆとり教育の本質をふまえ、成長を促す学びについてまとめる。		4 時間	
5	佐々木真由美	義務教育の歴史を踏まえ、教育を受ける権利について考える。④教育勅語	予習：違いを述べる。「この子らに世の光を、この子らを世の光に。」復習：今日の教育問題と解決策を提案する。		4 時間	
6	佐々木真由美	教育行政制度を理解し、学びを支える仕組みについて考える。④文部科学省、教育委員会等	予習：給食について経験をまとめる。復習：公教育の学びを支えた仕組みについて振り返る。		4 時間	
7	佐々木真由美	居場所となるべき学校の姿を考える。④いじめ防止対策推進法、フリースクール、不登校	予習：いじめ、不登校に関する新聞記事を収集する。復習：子どもたちが社会とつながって学ぶ居場所について提案する。		4 時間	
8	佐々木真由美	社会の要請に応える教育課程について考える。④教育課程、ヒドゥンカリキュラム	予習：指導を受け、身に付いた価値観や生き方をまとめる。復習：残しておきたい学習内容（教材）とその理由を整理する。		4 時間	
9	佐々木真由美	発達の特性に基づいた教育について考える。④発達障がい、インクルーシブ	予習：発達障がい等に関する新聞記事を収集する。復習：自身ができるインクルーシブな社会をつくる取組をまとめる。		4 時間	
10	佐々木真由美	公正な評価、評価方法について考える。④評価規準、評価基準、モデレーション	予習：ルーブリックをもとに自己の学習を評価する。復習：学習を振り返り、今後注力する評価項目を整理する。		4 時間	
11	佐々木真由美	教育効果を高める学校経営について考える。④社会に開かれた教育課程	予習：教員以外からの学びを一覧にする。復習：学校外での効果的な学びについてマイプランを作成する。		4 時間	
12	佐々木真由美	学び（学習）の本質について考える。④生涯教育	予習：カルチャーセンター等の広告やリーフレットを持ち寄る。復習：「習得・探究」に夢中になる理由をまとめる。		4 時間	
13	佐々木真由美	社会から求められる資質・能力について知り、今後の学び方を考える。④主体的・対話的で深い学び	予習：資料について意見を述べる。復習：学友の意見を比較・分析し、学び方を整理する。Society5.0に向けた人材育成。		4 時間	
14	佐々木真由美	総括：目指す自分像を実現するための学習方法を考える。④キャリアデザイン	予習：キャリア形成に関する気付き等をまとめる。復習：社会人1年目の自分に手紙でエールを送る。		4 時間	
教 科 書		適宜プリントを配付				
参 考 書		問いからはじめる教育学（有斐閣ストゥディア）、学制百年史（文部科学省）、教育社会学、教育学原論（ミネルヴァ書房）、カリキュラム論（成文堂）、窓ぎわのトットちゃん（講談社）				
備 考		特になし				

科 目 名		憲法と法律		担 当 者	淡路 智典	
科目ナンバリング		1050212528			常勤	
D P		1,3		教員研究室	1224	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 憲法とは国の根幹を定める法律である。この授業では憲法の基本的な内容を扱う憲法総論、国家によっても侵害されることのない個人の権利を扱う人権論、国家の基本的な仕組みをさだめる統治機構論をそれぞれ見ていく。できるだけ学生に身近な話題を絡めつつ、憲法の基本的な考え方や条文解釈を説明していく。 【学習の到達目標】 憲法という国家の根本法について基礎的な概念を理解し、基本的人権や統治機構のあり方に関して、自己の見解を持てるようにする。 【成績評価方法】 期末試験の点数に平常点を加味して決定する。 内訳：期末試験 80%、小テスト 20% 【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次の回の授業の冒頭で回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 スライドを授業前に確認し、わからない法律用語の予習。 他の受講生の迷惑になることはしないこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 憲法に対する理解を深めることによって、憲法改正をはじめとする具体的な憲法問題に関して、主体的に考えられるようになる。個人の侵害されてはならない基本的人権を理解することにより、社会問題に関して一層深く理解することができるようになる。また一票を持つ主権者として必要な知識と自覚を得ることができる。 【実務家教員担当科目】 該当しない。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	淡路 智典	ガイダンス・憲法とは	シラバスの内容確認・教科書（判例集）の読み方を理解する		4 時間	
2	淡路 智典	憲法概説	スライドを授業前に確認し、憲法の全体像を掴む		4 時間	
3	淡路 智典	幸福追求権と法の下での平等	判例を参考にして、包括的基本権や平等権について理解する		4 時間	
4	淡路 智典	精神的自由権（内心の自由）	判例を参考にして、思想・良心の自由や信教の自由について理解する		4 時間	
5	淡路 智典	精神的自由権（表現の自由）	判例を参考にして、表現の自由の重要性や限界について理解する		4 時間	
6	淡路 智典	経済的自由権	判例を参考にして、職業選択の自由や財産権について理解する		4 時間	
7	淡路 智典	人身の自由	判例を参考にして、刑事事件で保障される権利等について理解する		4 時間	
8	淡路 智典	国務請求権と参政権	判例を参考にして、裁判を受ける権利や参政権について理解する		4 時間	
9	淡路 智典	社会権	判例を参考にして、生存権や教育を受ける権利、労働基本権について理解する		4 時間	
10	淡路 智典	権力分立の原理と国会	政治思想や歴史的経緯を参考にして、三権分立の概念を理解する		4 時間	
11	淡路 智典	内閣	法制度を参考にして、公務員制度を理解する		4 時間	
12	淡路 智典	裁判所	法制度を参考にして、裁判や裁判制度について理解する		4 時間	
13	淡路 智典	天皇制、平和主義	憲法の条文を参考に、象徴天皇制や平和主義について理解する		4 時間	
14	淡路 智典	憲法の保障	憲法の理念を参考に、硬性憲法について理解する		4 時間	
教 科 書		岡田順太 / 淡路智典 / 今井健太郎 編『判例キーポイント憲法』（成文堂、2020 年、ISBN：978-4-7923-0666-3）				
参 考 書		芦部信喜『憲法（第 8 版）』（岩波書店、2023 年、ISBN：9784000616072）				
備 考		特になし。				

科 目 名	東北の歴史			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	1050212530				常勤
D P				教員研究室	1124
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 歴史学の基礎講座（3 回程度）に始まり、近世の統治機構と都市構造について学びその地方史観から見た中央政権との関係史にいて学ぶ。 また、人文科学系の学問の基礎となる史（資）料の読み方・使い方についても解説する				【課題等のフィードバック方法】 講義に関する史資料等の把握及び博物館等へも赴くことで歴史学への意識を高めることを希望する	
【学習の到達目標】 従来の中央史観からではなく東北から観た地域史観のもと、人文学的な検証を行うことで、広い視野と新たな切り口で現代の社会を見直す目を養う				【履修上の注意・予習・復習について】 テキストは授業毎のレジュメと PP 資料により行う。なお、エクスカージョンを実施（必須）するが、時間割とは別に土曜日等の授業日以外となるので、予め承知すること	
【成績評価方法】 受講記録やレポートの提出（3 回程度）を求め、その内容で評価する				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域の歴史・文化等を学ぶことで、近年叫ばれている地域創生の一翼を担う感性を養う	
				【実務家教員担当科目】 なし	
授 業 計 画					
1. 概要と基礎講座Ⅰ（歴史区分と 2. 基礎講座Ⅱ（貨幣の歴史と度量衡） 3. 基礎講座Ⅲ（暦の歴史と元号・時間 4. 近世の統治機構（幕藩体制における大名統治） 5. 近世の都市構造Ⅰ（江戸と江戸城） 6. 近世の都市構造Ⅱ（仙台と仙台城） 7. 近世の都市構造Ⅲ（米沢城下の構築） 8. 近世の都市構造Ⅳ（会津と若松城下） 9. 奥州抗争史の群像Ⅰ（蝦夷征伐と多賀城） 10. 奥州抗争史の群像Ⅱ（奥州藤原氏と奥州合戦） 11. 奥州抗争史の群像Ⅲ（戊辰戦争の真実） 12. 自治体史（誌）の編纂について 13. 史学概論（歴史史料の読み方・使い方） 14. エクスカージョン（仙台城址と仙台市博物館）					

科 目 名		現代史		担 当 者	星野 修	
科目ナンバリング		1050212531			非常勤	
D P				教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 冷戦後の日本と国際社会の変化と現状について、次の2つの問題を考察するという講義をします。 一つ目は、「なぜ、日本の政治は、こんなにも面白くないのか」という問題です。近年の国政選挙の投票率は、50% 台前半です。日本の有権者の4,300 万から5,000 万人以上が棄権しており、20 代の若者のおよそ3 人に1 人しか投票に行きません。日本の投票率の低さ、また若者の政治的関心の低さは、国際的にも群を抜いています。いつから、なぜ、日本の有権者は、政治に関心も期待も持たなくなったのでしょうか。 二つ目の問いは、「国際社会において、民主主義は、なぜ、人気をなくし、専制化する国々が増えているのでしょうか」です。世界の人口の70% は、現在、専制体制の下で、自由も権利も奪われて生きています。「専制化の第3 の波」といわれるこの状況は、いつ頃から、またなぜ、生じたのでしょうか。 この2つの問いに答えるかたちで、現代史の最も重大な問題を考察していきます。 【学習の到達目標】 日本社会と国際社会の、ここ30 年間ぐらいの動向・変化を理解するための、基礎的知識と社会・政治理論とを習得することです。 【成績評価方法】 中間試験（30 点）と期末試験（70 点）の合計で評価します。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	星野 修	1. 現代日本社会と国際社会の現状——講義の概要について——	講義録/配付資料を復習/予習し、また次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
2	星野 修	2. 日本の有権者の投票行動とその変化——国際比較——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
3	星野 修	3. 選挙制度——中選挙区制から小選挙区・比例代表並立制への転換——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
4	星野 修	4. 政党システムの変遷——選挙制度との関連——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
5	星野 修	5. 統治システム——議院内閣制、大統領制、半大統領制——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
6	星野 修	6. 政治体制の分類——民主制と専制——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
7	星野 修	7. ドイツと韓国との比較考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
8	星野 修	8. 国際社会の現状と変化——「民主化の第3 の波」とその終焉——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
9	星野 修	9. 「専制化の第3 の波」について	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
10	星野 修	10. 専制化の事例①——東欧諸国——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
11	星野 修	11. 専制化の事例②——南アジア——	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
12	星野 修	12. 専制化の歴考察考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
13	星野 修	13. 専制化の現状の考察	講義録/配付資料を復習/予習し、次回講義レジュメに記載されている課題に取り組んでおく。		4 時間	
14	星野 修	14. 専制化と再民主化の展望	講義録/配付資料を復習し、疑問点をまとめておく。期末試験までに回答する。		4 時間	
教 科 書		用いない。毎回、講義のレジュメと資料を配付します。				
参 考 書		用いない。（ただし、講義中に、参考文献は、随時、紹介します。）				
備 考		自由な参加・討論型の講義にしたいと思っていますので、学生諸君の活発な発言を期待します。また、しばしば教員からも質問します。				

科 目 名	健康科学			担 当 者	古林 俊晃
科目ナンバリング	1050212532				常勤
D P	1,4			教員研究室	1203
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 本授業では、自己の健康づくりのために、病気の予防を含む自身の健康管理に欠かせないさまざまな基礎的な知識を具体的かつ広く学ぶ。そして、一人ひとりが幸福でより良い生活を送るために何をすべきなのか、何をすべきでないのかを考える 【学習の到達目標】 疾病予防と健康管理のために必要な知識を身につけ、健康づくりのための具体的方法が実践できるようになる 【成績評価方法】 授業後確認テスト（各回 10 点×全 7 回⇒70 点）と最終授業終了後のレポート課題（30 点）にて成績判定を行う 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後質問を受け付け、次回授業の冒頭等で説明する（classroom での説明など） 【履修上の注意・予習・復習について】 ・規定の出席日数に到達しないものは評価対象外とする ・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること 【受講して得られる効果・メリット、その他】 疾病予防と健康管理のために必要な知識を身につけることができ、実践する力を養うことができる 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	古林 俊晃	・オリエンテーション ・健康について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
2	古林 俊晃	・感染症について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
3	古林 俊晃	・飲酒について ・危険薬物について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
4	古林 俊晃	・メンタルヘルスについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
5	古林 俊晃	・生活習慣病について ・がんについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
6	古林 俊晃	・喫煙の影響について ・ヒューマンヘルスについて	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
7	古林 俊晃	・運動、栄養、休養について	・事前に配信する講義資料を予習に活用すること ・授業後確認テストの正誤を復習に活用すること		4 時間
教 科 書		授業資料を Google classroom にて配布する			
参 考 書		必要に応じて、各授業時に紹介する			
備 考		不明な点は授業担当者に問い合わせること			

科 目 名		生活と地球科学		担 当 者	千葉 一	
科目ナンバリング		1050212533			非常勤	
D P				教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 人類は経済活動（利潤追求）を優先するあまり、環境や気候変動の問題を半ば放置して来た。しかしその人類の生態は、大きなパラダイムシフトを迫られている。本講義では、人間の活動が地球環境にどのような影響を与えているのかについて、特に地球温暖化を中心に解説して行く。また、そうした諸問題解決のための思考を深めて行く。		【課題等のフィードバック方法】 提出物やレポートの総括講評を、次の授業で行う。				
【学習の到達目標】 環境破壊や環境問題を正しく理解することで、人間の過剰性の認知と環境へのグローバルな倫理観を養う。		【履修上の注意・予習・復習について】 私語・飲食・携帯電話・居眠り・無断退出は禁止する。授業進行に支障をきたす場合は退出してもらう。授業計画のトピックスを参考に資料など情報収集しつつ、授業に臨む。復習を怠らない。				
【成績評価方法】 定期試験による評価と提出物（講義中）で総合評価とする。評価比率：定期試験 70%・提出物 30%。詳しくは、初回講義の際に説明する。		【受講して得られる効果・メリット、その他】 人類の生命活動のみが大切なのではなく、この地球の営みの中で共に生きる生命活動があって、この地球が存在している。気象や地殻の諸現象や多種多様な生命の絡み合いを理解し、それぞれの存在価値を正しく認識することは、未来の健全な「地球コミュニティ」の在り方にとって必須と考える。				
		【実務家教員担当科目】 3.11 震災復興に関連した環境破壊やコミュニティ開発を研究しつつ、自然再生活動や社会開発を実践している教員が、地球規模の環境問題について、自然科学と人文科学の枠を超えて講義する。				
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	千葉 一	教科に関する説明と授業の進め方を説明する。	次回学習内容を予習。		4 時間	
2	千葉 一	人間という種の特異性と環境問題	自己の生活と環境問題の関連を再考する。 次回学習内容を予習。		4 時間	
3	千葉 一	経済活動と地球温暖化	経済活動の過剰性についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
4	千葉 一	地球温暖化のメカニズム	温室効果ガスの削減についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
5	千葉 一	地球温暖化に伴う環境の激変	気候変動枠組み条約についてまとめる。次回学習内容を予習。		4 時間	
6	千葉 一	カーボン・サイクルと石灰岩	炭酸カルシウム形成過程を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
7	千葉 一	復習と要点・疑問点の整理	前半 6 回の講義内容を理解・整理する。次回学習内容を予習。		4 時間	
8	千葉 一	化石燃料：炭素の固定と解放	その固定と解放の時間差を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
9	千葉 一	経済成長と自然海岸の破壊	海浜の重要性を認識する。次回学習内容を予習。		4 時間	
10	千葉 一	海洋酸性化と生態系サービス	酸性化メカニズムを理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
11	千葉 一	森林破壊と生態系サービス	急速な森林破壊の現状を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
12	千葉 一	森のネットワークと生物多様性	森林の社会性を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
13	千葉 一	砂漠化と多種共生	多自然主義を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間	
14	千葉 一	復習と要点・疑問点の整理	後半 6 回の講義内容を理解・整理し、小論文的にまとめる。		4 時間	
教 科 書		特になし。資料を適宜配布する。				
参 考 書		清水美香（編著）2023『レジリエンスーよみがえる力ー森・風景・地域・人の交差の中で』、日本評論社。 原慶太郎ほか（編著）2021『自然と歴史を活かした震災復興ー持続可能性とレジリエンスを高める景観再生』、東京大学出版会。				
備 考		特になし。				

科 目 名		哲学		担 当 者	高山 馨	
科目ナンバリング		1050212534			非常勤	
D P		1		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 古代から近代までの西洋哲学を、知の形成と変遷の歴史として概観する。また、論理学の基礎と科学的思考を学び、自律的に考えて判断や行為をなすためのリテラシーを学ぶ。						
【学習の到達目標】 (1) 哲学がどのような学的営みであるかを理解できる。(2) 古代から近代までのさまざまな哲学について整理して理解し、知識として定着させることができる。(3) 論理学の基礎と科学的思考を学び、自律的な判断と行為のリテラシーを身につけることができる。						
【成績評価方法】 (a) 課題 50%, (b) 試験 50% 成績評価の基準は「学習の到達目標」(1)～(3)への到達度とします。						
【課題等のフィードバック方法】 Google Classroom や e メールを使用し、提出物や質問などに対して、必要に応じたフィードバックを個別に行います。						
【履修上の注意・予習・復習について】 [重要] Google Classroom や e メールを使用して、履修者全員あるいは個別に連絡をすることがあります。履修者は、常用する PC やスマートフォンなどのデバイスで教員からの連絡を受信できるようにしておいてください。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 古来より、人間、世界、物事などがどのように考えられてきたかを知ることや、自律的な判断と行為のリテラシーを学ぶことは、実生活をよりよく導くためのきっかけを得ることができると思います。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	高山 馨	イントロダクション：哲学と倫理学	[予習] 本科目のシラバスを理解しておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
2	高山 馨	古代哲学 1：ソクラテス	[予習] 知と徳の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
3	高山 馨	古代哲学 2：プラトン、アリストテレス	[予習] 普遍と個別の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
4	高山 馨	中世哲学：アウグスティヌス、トマス・アキナス	[予習] 存在と本質の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
5	高山 馨	近代哲学 1：デカルト、スピノザ	[予習] 観念の由来について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
6	高山 馨	近代哲学 2：ロック、ヒューム	[予習] 経験による知識と信念について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
7	高山 馨	近代哲学 3：カント	[予習] イギリス経験論と大陸合理論についてまとめておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
8	高山 馨	近代哲学 4：啓蒙思想	[予習] 社会契約説について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
9	高山 馨	テーマ別哲学 1：心	[予習] 心と脳について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
10	高山 馨	テーマ別哲学 2：心	[予習] 自由について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
11	高山 馨	テーマ別哲学 3：論理	[予習] 思考について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
12	高山 馨	テーマ別哲学 4：論理	[予習] 演繹について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
13	高山 馨	テーマ別哲学 5：科学	[予習] 帰納について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
14	高山 馨	テーマ別哲学 6：科学	[予習] 科学と社会の関係について考えておく。 [復習] 講義内容を整理して理解し、知識として定着させる。		4 時間	
教 科 書		レジュメに基づいて講義してゆきます。				
参 考 書		講義の中で紹介してゆきます。				
備 考		オフィス・アワーは、初回の講義と Google Classroom で伝えます。				

科 目 名		生活と経済		担 当 者	奥山 忠裕	
科目ナンバリング		1050212535			非常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 本講義では、生活を取り巻く様々な問題について経済活動を中心に学んでいきます。内容としては、経済の基礎、環境・資源問題、労働、公共政策、まちづくりの思考について学びます。 【学習の到達目標】 到達目標は以下のとおりです。 ①各テーマでの基礎的な知識を身につける ②各テーマでの社会の課題を理解する ③各テーマの内容を説明できるようになる。 【成績評価方法】 初回講義の課題を 2 点、2 回目以降の課題が 6 点×13 回＝78 点、レポート 2 回×10 点の計 100 点で評価します。公欠等を除き 5 回以上の欠席者は単位の取得を認めないことがあります。 【課題等のフィードバック方法】 適宜質問に応じます。 【履修上の注意・予習・復習について】 Google Classroom で毎回配布する講義資料を必ず印刷してもってくること。ニュースや新聞を読み、生活を取り巻く問題に関心をもってください。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 経済や環境、労働、公共政策といった日々の暮らしに近い社会課題の基礎を身につけることができます。関連する専門分野の理解が容易になると思います。 【実務家教員担当科目】 特になし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	奥山 忠裕	ガイダンス、経済の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習①を行う		4 時間	
2	奥山 忠裕	市場の考え方と需要	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習②を行う		4 時間	
3	奥山 忠裕	供給と均衡の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習③を行う		4 時間	
4	奥山 忠裕	外部性と環境問題	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習④を行う		4 時間	
5	奥山 忠裕	環境問題の分類	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑤を行う		4 時間	
6	奥山 忠裕	循環型社会とは	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑥を行う		4 時間	
7	奥山 忠裕	公共政策の考え方	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑦を行う		4 時間	
8	奥山 忠裕	公共政策の手段	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑧を行う		4 時間	
9	奥山 忠裕	公共と協働の取り組み	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑨を行う		4 時間	
10	奥山 忠裕	労働市場をみる①	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑩を行う		4 時間	
11	奥山 忠裕	労働市場をみる②	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑪を行う		4 時間	
12	奥山 忠裕	景気と労働	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑫を行う		4 時間	
13	奥山 忠裕	まちづくり～地域再生の事例①	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑬を行う		4 時間	
14	奥山 忠裕	まちづくり～地域再生の事例②	予習：配布資料の事前学習のキーワードを調べる 復習：講義中に提示した事後学習⑭を行う		4 時間	
教 科 書		特になし				
参 考 書		適宜講義中に指示する				
備 考		特になし				

科 目 名	ジェンダー論			担 当 者	川口かしみ
科目ナンバリング	1050212536				非常勤
D P	1,2,4			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 この授業では、自分たちが生きていく社会において、他者と尊重し合い、生きやすい社会になるための課題をジェンダーの視点から検討していく。まず、ジェンダーの基礎知識を学習し、次に、現在の日本社会に存在するジェンダー問題とそれに関する法律について学んでいく。					
【課題等のフィードバック方法】 提出された課題内容を翌週の授業内で、フィードバックとして共有することがある。					
【履修上の注意・予習・復習について】 授業中に伝える。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 現在の日本社会に存在するジェンダー問題を理解し、それを解決するための方法を考える視点が得られる。自分たちが生きていく社会のために、現在社会が抱え、解決すべきジェンダー問題を分析する力が身に着く。					
【実務家教員担当科目】 該当なし。					
【学習の到達目標】 (1) ジェンダーとは何かを理解する。 (2) 現在の日本社会に存在するジェンダー問題とそれに関する法律を知る。 (3) 自分たちが生きやすい社会になるための課題をジェンダーの視点から検討する。					
【成績評価方法】 毎授業に課す課題（30%）、学期末テスト（70%）により評価する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	川口かしみ	イントロダクション／ジェンダーとは何か？	ハンドアウトを復習し、ジェンダー規範とは何かを確認する。		4 時間
2	川口かしみ	公私二元論とジェンダー	予習では、教科書の第 1 章・2 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
3	川口かしみ	日本の制度とジェンダー	予習では、教科書の第 3 章・4 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
4	川口かしみ	平和とジェンダー	予習では、教科書の第 5 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
5	川口かしみ	国際社会における日本のジェンダー平等	予習では、教科書の第 6 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。特に女性差別撤廃条約の内容について復習する。		4 時間
6	川口かしみ	労働とジェンダー	予習では、教科書の第 7 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
7	川口かしみ	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ	予習では、教科書の 105～107 頁を読み、自分の考えをまとめる。復習では、教科書の上記頁を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
8	川口かしみ	LGBTQ +／SOGI	予習では、教科書の 108～110 頁を読み、自分の考えをまとめる。復習では、教科書の上記頁を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
9	川口かしみ	家族とジェンダー	予習では、教科書の第 9 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
10	川口かしみ	信教／学問とジェンダー	予習では、教科書の第 10 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
11	川口かしみ	ポルノグラフィーとメディア	予習では、教科書の第 11 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
12	川口かしみ	売買春と性的自己決定権	予習では、教科書の第 12 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
13	川口かしみ	社会保障／刑事手続とジェンダー	予習では、教科書の第 13 章・14 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
14	川口かしみ	政治参画とジェンダー	予習では、教科書の第 15 章を読む。復習では、教科書の同章を読み返し、内容の理解を深める。		4 時間
教 科 書		『ジェンダーの視点で学ぶ憲法入門』			
参 考 書		授業中に適宜紹介する。			
備 考		教科書はタイトル通り、憲法を扱ったものであるが、お手に取っていただければ分かるように、ジェンダーについても扱っているものである。この授業ではそのジェンダー問題の部分扱う。			

科 目 名	教養としての政治学			担 当 者	王 元
科目ナンバリング	1050212537				常勤
D P	1			教員研究室	1324
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人間は社会的動物である。政治は人間の社会的利害を調整するしくみである。人々が生活する社会における秩序を形成し、維持し、修正し、また時には破壊することを通じて実行される活動と手段である。 政治学は古代ギリシアに誕生して以来、長い歴史を刻んできた。しかし、政治行動の判断基準や結論には必ずしも法則性があるとはいえない。むしろ、政治を担う人の個性やイデオロギー、感情、さらには偶然性に左右される側面もある。総合的に知識や手法も駆使して最善の政策決定を促すところに、政治学の目的や妙味がある。 政治学の基礎知識と発想方法を解説する。政治学の面白さと大切さを伝え、政治現象一般を把握する視点を身に付けてもらうことがこの講義のねらいである。講義形式を基本とする。ただし適宜ビデオ教材を利用する。				【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、質問を受け付け、回答します。	
【学習の到達目標】 近代社会の特徴、主たる政治思想の歴史、自由主義と民主主義の思想などについて基本的な知識を習得することをめざす。併せて政治現象への洞察力を高め、政治判断の能力を培いたい。				【履修上の注意・予習・復習について】 私語及び携帯電話の使用禁止。 受け身にならず、自ら探究心を持つことが重要だ。 政治問題への関心を抱き、まず新聞を読む習慣を身に付けてほしい。	
【成績評価方法】 定期試験（70%）、課題提出、授業での発言・質問など（30%）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 政治現象を分析するための概念と手法を身につけ、各種の資格試験に必要な政治分野の基礎知識を学ぶことができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	王 元	ガイダンス：政治学概念と体系	政治とは何か 政治学とは何		4 時間
2	王 元	国家と社会、国力	国家と社会の概念、 市民社会・国民国家の成立と政治的統合、 国家の規模と国力		4 時間
3	王 元	主権と権力	主権と権力の性質、支配・権威・リーダーシップ・影響とソフトパワー		4 時間
4	王 元	集権と分権	政治集権と中央・地方の権力関係 地方自治の意義・過疎と過密		4 時間
5	王 元	政治参加と投票行動	代表制の種類と選挙制度、選挙の諸原則、投票行動と政治無関心		4 時間
6	王 元	政党政治	代議制民主主義における政党の機能と組織 議会の機能・審議過程と野党の役割		4 時間
7	王 元	世論と政治	マスメディアと世論の形成 圧力団体発生の原因と活動		4 時間
8	王 元	官僚制	政治と行政 官僚制の概念と官僚制化		4 時間
9	王 元	民主主義と権威主義	政治的意識形態と有効性 民主主義の維持と拡大		4 時間
10	王 元	代表的な政治体制Ⅰ	議院内閣制、大統領制と党国体制 米国、英国、日本などそれぞれの特徴		4 時間
11	王 元	代表的な政治体制Ⅱ	権威主義的な政治体制 中国、ロシアなどそれぞれの特徴		4 時間
12	王 元	国際政治	国際政治と国内政治、グローバルゼーション、国際組織		4 時間
13	王 元	地理政治学	国際競争、地理的な視点から人類政治を巨視的に見る		4 時間
14	王 元	現代政治の課題	福祉国家の成立、維持と発展		4 時間
教 科 書		教科書は用いず、適宜プリントを配布する。			
参 考 書		堀江湛・岡沢憲夫編『現代政治学』（法学書院、2011）。			
備 考		日々の新聞を読み、国内と国際政治情勢の把握に努められたい。			

科 目 名		解剖生理学 I			担 当 者	辻川 寛
科目ナンバリング		1050322539				常勤
D P		1,2			教員研究室	4203
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 解剖生理学は、人体の「構造」と「機能」を学ぶ学問であり、医療専門職の基礎教育に不可欠である。本授業（解剖生理学 I）では、骨格系、筋系、血液・脈管系、神経系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、感覚器系など、人体のさまざまな系統について学ぶ。細胞レベルから組織、器官、個体レベルまでの多層的な視点を持ち、人体の構造と機能の関連性を理解することを目的とする。 【学習の到達目標】 人体の構造と機能を二次元のみならず三次元的に理解し、正確な解剖学・生理学用語を用いて説明できる能力を身につける。また、各系統の相互関係を理解し、医学・医療分野で応用できる知識を習得する。 【成績評価方法】 課題（小テストやレポート、グループワークなど）10%／定期試験 90% 【課題等のフィードバック方法】 課題・小テスト・中間テストなどについては、授業内で解説を行い、理解を深める機会を提供する。 【履修上の注意・予習・復習について】 本講義では、習得すべき用語や理解すべき構造・機能が多く、試験前の短期的な学習では十分な理解が得られない。授業の予習・復習を継続的に行うことが不可欠である。特に復習に重点を置き、学習内容を定着させることが求められる。予習については、時間がなくても教科書の図や表に目を通すだけで、授業の理解が大きく向上する。毎回の授業では、教科書の持参が必須である。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 解剖生理学は、今後学ぶ基礎系・臨床系科目を理解するための基盤となる科目である。また、国家試験の出題範囲の一部を占めるため、本講義を受講することで、この分野の試験問題を解くための知識を得ることができる。 【実務家教員担当科目】 本講義は、大学医学部において人体解剖実習を含む解剖学教育の経験を持つ教員が担当し、その専門的知識を活かして人体の構造について講義する。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	辻川 寛	オリエンテーション、総論、骨格系①	教科書 第 1 章～第 5 章	4 時間
2	辻川 寛	骨格系②	教科書 第 5 章	4 時間
3	辻川 寛	筋系	教科書 第 6 章	4 時間
4	辻川 寛	脈管系①	教科書 第 7 章	4 時間
5	辻川 寛	脈管系②	教科書 第 7 章	4 時間
6	辻川 寛	消化器系①	教科書 第 8 章	4 時間
7	辻川 寛	消化器系②	教科書 第 8 章	4 時間
8	辻川 寛	呼吸器系	教科書 第 9 章	4 時間
9	辻川 寛	泌尿器系	教科書 第 10 章	4 時間
10	辻川 寛	生殖器系、人体の発生	教科書 第 11 章、第 15 章	4 時間
11	辻川 寛	内分泌系	教科書 第 12 章	4 時間
12	辻川 寛	神経系①	教科書 第 13 章	4 時間
13	辻川 寛	神経系②	教科書 第 13 章	4 時間
14	辻川 寛	感覚器系	教科書 第 14 章	4 時間
教 科 書		入門人体解剖学 改訂第 6 版 藤田恒夫 著 南江堂		
参 考 書		からだが見えるー人体の構造と機能ー第 1 版 医療情報科学研究所（編）メディックメディア ぜんぶわかる人体解剖図 坂井建雄・橋本尚詩（著）成美堂出版		
備 考		なし		

科 目 名		解剖生理学Ⅱ		担 当 者	戸田 孝史
科目ナンバリング		1050322540			常勤
D	P	1,2		教員研究室	1327
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
					必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 解剖生理学Ⅰで学修した解剖学の内容をふまえ、本授業、解剖生理学Ⅱでは生理学を学ぶ。生理学は生命が維持されるしくみを学ぶ分野であり、動物機能（身体の運動機能や視覚、聴覚、皮膚感覚などの感覚機能）と植物機能すなわち自律機能（呼吸、循環、消化、尿生成など）について学ぶ。毎時間、記入し完成させる課題シートと教科書が教材である。 【学習の到達目標】 ・授業で説明した図（教科書や課題シートに掲載）を用いて、自分で説明できる。 ・本授業の学修項目と他の科目（解剖学や生化学など）における関連学修項目を、自分の頭の中でおおよそ結びつけることができる。 ・3、4 年生で用いる国家試験対策の書籍の解説文を自力で理解できる。 【成績評価方法】 ふだんの授業への取り組みと定期試験により評価する。詳細は授業時に説明する。 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートや小テストなどについて、授業時に解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 定期試験の受験資格は規定どおりとするが、皆勤を目標とすること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 生理学、薬理学、病理学などの基礎医学科目の学修、延いては医療職の国家試験準備に役立つ基礎知識が得られる。 【実務家教員担当科目】 該当せず					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	戸田 孝史	履修のガイダンス、生理学を学ぶ意義	予習：不要		4 時間
2	戸田 孝史	細胞の構造と機能、生体の電気現象	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：不要		4 時間
3	戸田 孝史	末梢神経と中枢神経	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
4	戸田 孝史	骨格筋の収縮のしくみ	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
5	戸田 孝史	運動：脊髄反射、脳幹によるリズム運動発現や姿勢維持のしくみ	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
6	戸田 孝史	運動：大脳、大脳基底核、小脳による随意運動発現のしくみ	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
7	戸田 孝史	感覚：視覚、聴覚、前庭感覚、体性感覚など	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
8	戸田 孝史	循環Ⅰ：血液、心臓の興奮、心電図、心音、心臓周期	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
9	戸田 孝史	循環Ⅱ：循環調節（心臓と血管系にたいする調節）	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
10	戸田 孝史	呼吸Ⅰ：呼吸運動、呼吸気量	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
11	戸田 孝史	呼吸Ⅱ：ガス交換、血液中のガスの運搬	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
12	戸田 孝史	消化と吸収：糖質、脂質、蛋白質（タンパク質）の消化・吸収のしくみ	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
13	戸田 孝史	尿生成と排尿：腎臓におけるろ過、再吸収、分泌の過程（尿生成）と排尿の神経筋メカニズム	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
14	戸田 孝史	内分泌と生殖：主要ホルモンの作用、生殖の過程	予習：教科書指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間
教 科 書		「系統看護学講座 解剖生理学 人体の構造と機能①」第 11 版 坂井建雄／岡田隆夫 著、医学書院			
参 考 書		特になし			
備 考		特になし			

科 目 名		生化学		担 当 者	堂浦 克美	
科目ナンバリング		1050322541			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1206	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 前期の授業「生活の中の生物学」を踏まえ、症候や病気などの理解に必要な生化学について学習する。 【学習の到達目標】 生化学における基礎的な用語や概念を理解できることを目標とする。 【成績評価方法】 課題解答の提出 10%、試験 90% 【課題等のフィードバック方法】 課題の解答提出と同時に、自動的に解答の正誤がフィードバックされる。また、クラス全体の成績分布や誤答が多かった課題についての情報は、後日クラスルームから配信される。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業始めに前回の復習を全員で実施するため、前回のプリント資料の復習が望ましい。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 症候や病気などの理解に必要な基礎的な知識として大いに役立つ。 【実務家教員担当科目】 臨床業務や医学研究に携わった経験を持つ教員が、症候や病気などの理解に必要な生化学について講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	堂浦 克美	栄養素	授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
2	堂浦 克美	栄養素つづき、酵素	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
3	堂浦 克美	糖質代謝	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
4	堂浦 克美	脂質代謝	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
5	堂浦 克美	タンパク質代謝	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
6	堂浦 克美	核酸代謝	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
7	堂浦 克美	前半試験、エネルギー代謝	6 回分の講義の理解度チェック課題について復習する。 授業前に前回授業のプリント資料を復習。授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
8	堂浦 克美	遺伝情報	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
9	堂浦 克美	情報伝達、ホルモン	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
10	堂浦 克美	体液ホメオスタシス	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
11	堂浦 克美	生体防御	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
12	堂浦 克美	腫瘍	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
13	堂浦 克美	先天異常	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
14	堂浦 克美	全体試験	13 回分の講義の理解度チェック課題について復習する。		4 時間	
教 科 書		なし				
参 考 書		臨床生化学（MC メディカ） レビューブック（メディックメディア） なるほどなっとく病理学プラス（南山堂） 病態生理学（MC メディカ）				
備 考		授業の進め方や成績評価や試験等については、初回の授業のはじめに詳しく説明します。				

科 目 名		栄養学		担 当 者	和泉安希子						
科目ナンバリング		1050322542			非常勤						
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室						
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期						
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位					
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし									
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない						
【授業内容】 栄養とは、生体が必要な物質を体外から取り入れて利用し、発育・成長して生命を維持し、健全な生命活動を営むことをいい、取り入れられるべき物質を栄養素という。 本講義では、医療従事者として必要となる栄養素の種類と働き、消化・吸収等栄養学の基礎を学ぶ。さらに、ライフステージ別の栄養や疾患別食事療法などについて、その特性や栄養摂取の方法、疾病との関わりを学習する。 【学習の到達目標】 各栄養素の種類と生体内での働きを理解し、健康時の代謝調節の基礎を理解できる。 各ライフステージや病態別の栄養管理方法を学び、栄養ケア・マネジメントの意義と必要性および手法を理解できる。 【成績評価方法】 小レポート（30%）、定期試験（70%）で評価する。						【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質疑応答の時間を設け、回答する。 小レポートを実施し、解説を次の講義で行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 授業態度重視 2. 20 分以上経過しての入室および授業中の退室は欠席とする。 3. 予習、復習等については講義内で指示する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 栄養学を学ぶことにより、自身の食生活を見直すきっかけとなり、より良い日常生活を送ることができるようになる。また、医療従事者として、看護対象者との間で、健康と栄養について話題にし、コミュニケーションを図ることができる能力を身につける。 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画											
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間								
			予習・復習			学修時間					
1	和泉安希子	ガイダンス 栄養とは	テキスト予習（第1章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
2	和泉安希子	栄養素の種類とはたらき①	テキスト予習（第2章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
3	和泉安希子	栄養素の種類とはたらき②	テキスト予習（第3章前半）			4 時間					
4	和泉安希子	食物の消化と栄養素の吸収・代謝	テキスト予習（第3章後半） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
5	和泉安希子	エネルギー代謝	テキスト予習（第4章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
6	和泉安希子	食事と食品	テキスト予習（第5章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
7	和泉安希子	栄養ケア・マネジメント	テキスト予習（第6章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
8	和泉安希子	栄養状態の評価・判定	テキスト予習（第7章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
9	和泉安希子	ライフステージと栄養①	テキスト予習（第8章前半）			4 時間					
10	和泉安希子	ライフステージと栄養②	テキスト予習（第8章後半） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
11	和泉安希子	ライフステージと栄養③	テキスト予習（第9章前半）			4 時間					
12	和泉安希子	臨床栄養①	テキスト予習（ 〃 ）			4 時間					
13	和泉安希子	臨床栄養②	テキスト予習（第9章後半） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
14	和泉安希子	健康づくりと食生活 まとめ	テキスト予習（第10章） 復習（ゼミナールに取り組む）			4 時間					
教 科 書		系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③ 栄養学（医学書院）									
参 考 書		講義で指示する									
備 考		なし									

科 目 名		病態治療学Ⅰ		担 当 者	堂浦 克美	
科目ナンバリング		1050322544			常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	1206	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 ☒ 自主学習支援 □該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 臨床で重要な代表的な症候や病気について、それらの病態や診断・治療について学習する。				【課題等のフィードバック方法】 課題の解答提出と同時に、自動的に解答の正誤がフィードバックされる。また、クラス全体の成績分布や誤答が多かった課題についての情報は、後日クラスルームから配信される。		
【学習の到達目標】 代表的な症候や病気について、基礎的な用語や概念を理解できること。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業始めに前回の復習を全員で実施するため、前回のプリント資料の復習が望ましい。		
【成績評価方法】 課題解答の提出 10%、試験 90%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 将来、臨床の現場で活躍する上で、症候や病気に関する基礎的な知識として大いに役立つ。		
【実務家教員担当科目】 臨床業務や医学研究の経験を持つ教員が、臨床で重要な症候・病気の病態について講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	堂浦 克美	総論 1：細胞・組織の障害と適応、細胞死、個体死、循環障害	授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
2	堂浦 克美	総論 2：循環障害の続き、炎症、腫瘍	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
3	堂浦 克美	循環器疾患：肺・体循環、心電図、不整脈、虚血性心疾患、心不全、先天性心疾患	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
4	堂浦 克美	消化器疾患：吐血・下血、消化性潰瘍、消化器がん、炎症性腸疾患、イレウス	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
5	堂浦 克美	肝胆膵疾患：黄疸、ウイルス性肝炎、肝硬変、胆石症、肝がん、膵がん	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
6	堂浦 克美	内分泌・代謝疾患：内分泌機能異常、糖尿病、脂質異常症、メタボ	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
7	堂浦 克美	前半試験、腎疾患：急性腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、透析療法	6 回分の講義の理解度チェック課題を復習する。 授業前に前回授業のプリント資料を復習。授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
8	堂浦 克美	免疫・アレルギー性疾患：アレルギー性疾患、RA、SLE、気管支喘息	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
9	堂浦 克美	血液・造血器疾患：血球、貧血、白血病・リンパ腫、出血性疾患、輸血	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
10	堂浦 克美	感染症：総論、感染経路、性感染症、食中毒、代表的な感染症、HIV と結核	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
11	堂浦 克美	呼吸器疾患：肺炎、間質性肺炎、結核、COPD、肺がん、睡眠時無呼吸症候群	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
12	堂浦 克美	脳・神経疾患：高次脳機能障害、脳ヘルニア、脳血管障害、認知症、神経変性疾患	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
13	堂浦 克美	生殖器・乳腺疾患：性周期、更年期障害、子宮がん、乳がん、前立腺病変	授業前に前回授業のプリント資料を復習。 授業後に、理解度チェック課題の解答と提出を行い、誤った個所を復習。		4 時間	
14	堂浦 克美	全体試験	13 回分の講義の理解度チェック課題を復習する。		4 時間	
教 科 書		なし				
参 考 書		病態生理学（MC メディカ） レビューブック（メディックメディア） なるほどなっとく病理学プラス（南山堂）				
備 考		授業の進め方や成績評価や試験等については、初回の授業のはじめに詳しく説明します。				

科 目 名		公衆衛生学		担 当 者	吉田 裕人
科目ナンバリング		1050322552			常勤
D	P	1,2		教 員 研 究 室	1201
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式				単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 少子・高齢化の進む我が国では、健康をキーワードとした社会のしくみや安全に生活するための環境について、いままで以上に重要視する状況となっている。このような社会情勢の中、人口構造や疾病構造の変化や社会経済システムの変化に伴い、保健医療の内容も生命倫理から健康づくりの方策まで幅広く理解していく必要がある。本講義では、健康の維持と増進を求めて展開される様々な計画や活動の基本となるものの見方や考え方、具体的な方法を基盤として、個々の状況や問題を理解していくための知識を習得する。 【学習の到達目標】 健康と社会、環境を相互に関連させながら理解できるようになる。具体的には、衣食住、労働環境、家庭、学校、職場、地域、地球全体までの広範囲な「環境」と保健、医療、福祉の「制度とサービス」が相互に関連して成り立っている社会システムが、「健康」とどのような枠組みや組織の中でつながっているのかを理解し、様々な状況変化に対応した評価方法や健康支援が必要な対象者への情報伝達の方法について考えられる基礎的能力を養う。 【成績評価方法】 定期試験 80%，毎回の課題提出 20% 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 業中の私語・飲食・携帯電話操作は厳禁 出欠確認（点呼）終了後の入室は遅刻 授業前に予習（教科書参照）・授業後に復習（教科書・ノート参照） 予習・復習がなされているか授業中に質問をする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師や保健師として必要な公衆衛生学の基礎知識を習得できる。 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	吉田 裕人	衛生学・公衆衛生学序論	公衆衛生の定義		4 時間
2	吉田 裕人	保健統計	保健統計からみた日本の少子高齢化の現状など		4 時間
3	吉田 裕人	疫学	疫学とは？疫学を活用した保健行政など		4 時間
4	吉田 裕人	疾病予防と健康管理	一次予防～三次予防とは？スクリーニングの理解		4 時間
5	吉田 裕人	主な疾病の予防	感染症の予防、生活習慣病の予防		4 時間
6	吉田 裕人	環境保健	大気、水などの衛生		4 時間
7	吉田 裕人	地域保健と保健行政	地域保健の必要性と保健師の役割など		4 時間
8	吉田 裕人	母子保健	出生率の推移などの統計と我が国の母子保健事業の内容		4 時間
9	吉田 裕人	学校保健	子どもの体格・体力の推移と歯科保健		4 時間
10	吉田 裕人	産業保健	職業と健康の関係		4 時間
11	吉田 裕人	老人保健・福祉	高齢化率の推移などの統計と我が国の高齢者保健事業の内容など		4 時間
12	吉田 裕人	精神保健	様々な精神障害の理解など		4 時間
13	吉田 裕人	国際保健医療	公衆衛生のグローバル化		4 時間
14	吉田 裕人	保健医療福祉の制度と法規	医療保険、介護保険制度の理解など		4 時間
教 科 書		シンプル衛生公衆衛生学 2025（鈴木庄亮・他、南江堂）			
参 考 書		なし			
備 考		なし			

科 目 名	家族社会学			担 当 者	田中 茜
科目ナンバリング	1050322556				常勤
D P	1,2			教員研究室	3312
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	1 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 家族は私たちにとって身近な存在であるが、家族は、今大きな変化を迎えている。家族の姿がどのように変化してきたのか、改めて家族とはどのような集団なのか、家族がどのような課題に直面しているのか、現状の正確な把握を試みる。					
【学習の到達目標】 1. 日本の家族の現状を客観的に把握できる。 2. 現代の家族が抱える課題を理解し、その解決策を考えることができる。 3. 家族の現状を踏まえて、自分自身の将来に向けて考察することができる。					
【成績評価方法】 リアクションペーパー・課題への取り組み 60% 期末試験 40%					
【課題等のフィードバック方法】 授業に関する質問や感想については、授業の冒頭でフィードバックする。					
【履修上の注意・予習・復習について】 正当な理由のない、遅刻・欠席・途中退室・私語・スマートフォンの利用はしないこと。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 統計データや研究知見を踏まえて、身近な存在である家族について客観的に把握することができる。また、多角的な視点から原因・解決策を探る力が身につく。					
【実務家教員担当科目】 該当なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	田中 茜	イントロダクション：家族とは	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
2	田中 茜	家族形態の変化：近代から現代	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
3	田中 茜	ライフコース上のリスク・福祉レジーム	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
4	田中 茜	家族の始まり：配偶者選択	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
5	田中 茜	結婚行動の趨勢・結婚動向	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
6	田中 茜	家族の解消：離婚・再婚	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
7	田中 茜	妊娠・出生	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
8	田中 茜	少子化の現状と原因	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
9	田中 茜	夫婦関係	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
10	田中 茜	家族と就業	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
11	田中 茜	親子関係：子育て・教育	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
12	田中 茜	親子関係：中期・後期	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
13	田中 茜	様々な家族・家族が抱える問題	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
14	田中 茜	家族支援・総括	講義資料を見直し、内容を説明できるようにしておく。	4 時間
教 科 書		指定しない。レジュメを配布する。		
参 考 書		講義中に随時紹介する。		
備 考		なし		

科 目 名		看護学概論Ⅰ		担 当 者	○庄子 幸恵・堀内 輝子	
科目ナンバリング		1050422559			常勤	
D P		1,4		教員研究室	5203	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 看護および看護学の過去・現在を概観し、看護学の主要概念について理解を深め、看護の役割および専門性について学習する。 【学習の到達目標】 1. 看護および看護学の主要概念について理解できる。 2. 看護の役割と看護の専門性について学習する。 3. 看護提供者としての社会的責任について、理解できる。 【成績評価方法】 定期試験 80%、レポート 20% 【課題等のフィードバック方法】 授業中に指示する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 20 分以上の正当な理由のない遅刻は、欠席とみなすことがある。 2. 授業内容の復習を必ず行うこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 今後学修する看護学の基礎的な知識を身につけることができる。 2. 看護提供者の倫理観、社会的重要性を理解することができる。 3. 国民の健康について学ぶことで、看護の役割を考えることができる。 【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、臨床経験、看護教育について実務経験のある教員が担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	庄子 幸恵	授業ガイダンス・看護とは何か	本日の授業ガイダンス内容について復習すること			4 時間
2	庄子 幸恵	看護の提供者 1	保健師助産師看護師法について、復習しておくこと			4 時間
3	庄子 幸恵	看護の提供者 2	看護職の職務内容について、復習しておくこと			4 時間
4	庄子 幸恵	看護提供のしくみ 1	看護サービス、看護をめぐる制度と政策について復習しておくこと			4 時間
5	庄子 幸恵	看護提供のしくみ 2	看護サービスの管理と医療安全について復習しておくこと			4 時間
6	庄子 幸恵	看護における倫理 1	患者の権利とインフォームドコンセントについて、復習しておくこと			4 時間
7	庄子 幸恵	看護における倫理 2	日本看護協会の倫理綱領について、復習しておくこと			4 時間
8	庄子 幸恵	国際看護について	国際看護の現状と、国際協力の仕組みについて、理解しておくこと			4 時間
9	堀内 輝子	国民の健康状態と生活 1	健康の概念について、復習しておくこと			4 時間
10	堀内 輝子	国民の健康状態と生活 2	国民のライフサイクルについて復習しておくこと			4 時間
11	堀内 輝子	看護の対象の理解 1	人間のこころとからだの関係について復習しておくこと			4 時間
12	堀内 輝子	看護の対象の理解 2	人間の生涯発達、生活者としての人間、看護の対象としての家族・集団・地域を復習しておくこと			4 時間
13	堀内 輝子	災害看護について	災害時における看護について、復習しておくこと			4 時間
14	堀内 輝子	看護の継続性と連携	チーム医療の連携について復習すること			4 時間
教 科 書		1. 系統看護学講座「看護学概論」基礎看護学 1 医学書院				
参 考 書		1. ナイチンゲール「看護覚え書き」現代社 2. ヴァージニア・ヘンダーソン「看護の基本となるもの」湯楨ます、小玉香津子訳 日本看護協会出版会				
備 考		質問は直接担当教員に行うか、クラスルームから質問してください。				

科 目 名		看護技術論Ⅰ			担 当 者	○庄子 幸恵・宮下 真子 堀内 輝子	
科目ナンバリング		1050432561				常勤	
D	P	1,3			教 員 研 究 室	5203	
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	1 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 3 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 1. 日常生活の生活援助技術の基礎知識と看護技術を学修する。 2. 対象者の健康状態に応じた生活行動を援助するために必要な基礎的な看護方法について学修する。					【課題等のフィードバック方法】 授業中に指示する。		
【学習の到達目標】 1. 日常生活の援助技術についての基本的な知識・技術が理解できる。 2. 日常生活の援助技術を実践することができる。					【履修上の注意・予習・復習について】 1. 20 分以上の無断での遅刻は欠席とみなすことがある。 2. 事前課題、演習後の課題を提出期日まで提出すること。 3. 教科書をよく読み、予習、復習、および自己学習をすること。 4. 演習時、服装、髪型、手の状態（爪を短く切る等）に留意し、看護師としての態度を学習すること。 5. 講義中は、私語、飲食を厳禁とし、私用の携帯電話、スマートフォンの使用はしないこと。 6. 看護実習室への移動、演習中の私語は厳禁とし、積極的に演習を行うこと。 7. 看護技術の演習時は、時間の限り繰り返し、看護技術の練習を行うこと。 8. 使用する物品の準備・あとかたづけをきちんと行い、整理整頓を心がけること。		
【成績評価方法】 定期試験 40%、実技試験 40%、レポート 20%					【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 基本的な日常生活援助技術の知識と方法が理解できる。 2. 科学的な知識と根拠に基づいて、一人で日常生活援助技術を実践することができる。		
					【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、臨床経験、看護教育経験を有する教員が担当している。		
授 業 計 画							
回	担当教員		学修内容	学修課題・必要な学修時間			
				予習・復習		学修時間	
1	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）授業オリエンテーション、看護における観察	基礎看護学で学ぶ学習内容、看護技術論Ⅰ（日常生活の援助技術）で学ぶことの予習・復習を行う。			4 時間
2	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）感染予防の技術	感染予防の知識、衛生的手洗い、擦式手洗いの方法について、予習、復習を行う。			4 時間
3	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）コミュニケーション技術	コミュニケーション技術について、予習・復習を行う。			4 時間
4	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）環境調整技術	患者の生活環境の整え方について学ぶ。			4 時間
5	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）環境調整技術―ベッドメーカーキング―	患者のベッドメーカーキングの作成方法、使用物品、作成手順について、予習、復習を行う。			4 時間
6	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）環境調整技術―ベッドメーカーキング―	患者のベッドメーカーキングの作成方法、使用物品、作成手順について、予習、復習を行う。			4 時間
7	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）活動・休息の援助技術―移乗・移動・睡眠・休息―	活動における身体移動、移乗の技術、睡眠、休息の意義について、予習・復習を行う。			4 時間
8	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）活動・休息の援助技術―ボディメカニクス、ポジショニング、体位変換―	ボディメカニクスの原則について、予習・復習を行う。			4 時間
9	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）清潔・衣生活の援助技術	衣生活の意義と更衣の方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
10	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）活動・休息の援助技術―	ボディメカニクス、体位変換の原則について、予習・復習を行う。			4 時間
11	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）活動・休息の援助技術―	移動・移乗の技術、車椅子の構造や操作方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
12	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）活動・休息の援助技術―	移動・移乗の技術、ストレッチャーの構造や操作方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
13	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）清潔・衣生活の援助技術	衣生活の意義と更衣の方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
14	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）	排泄の意義、排泄の援助方法について、予習・復習を行う。			4 時間
15	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）	排泄の意義、排泄の援助方法について、予習・復習を行う。			4 時間
16	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		看護技術のふり返り	今まで学んできた看護技術について、技術のふり返りと確認を行う。			4 時間
17	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）清潔の援助技術	身体清潔の必要性と方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
18	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）清潔の援助技術	身体清潔の必要性と方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
19	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）清潔の援助技術	身体清潔の必要性と方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
20	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）清潔の援助技術	身体清潔の必要性と方法について、予習・復習をしておくこと。			4 時間
21	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）苦痛の緩和・安楽確保の技術	患者の安全と安楽に援助できる方法について、予習・復習を行う。			4 時間
22	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）苦痛の緩和・安楽確保の技術―電法―	温電法、冷電法について予習・復習を行う。			4 時間
23	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）食事の援助技術・口腔ケア	食事の意義と援助方法、口腔ケア援助方法について、予習、復習を行う。			4 時間
24	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）食事の援助技術・口腔ケア	食事の意義と援助方法、口腔ケア援助方法について、予習、復習を行う。			4 時間
25	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（講義）安全確保の技術	医療安全について、予習・復習を行う。			4 時間
26	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		看護技術のふり返り	今まで学んできた看護技術について、技術のふり返りと確認を行う。			4 時間
27	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）安全確保の技術	医療安全についての演習事例について、予習・復習を行う。			4 時間
28	庄子 幸恵・宮下 真子・堀内 輝子		（演習）授業のまとめ・環境整備	今までの授業のまとめと、実習室の環境整備を行う。			4 時間
教 科 書			「系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ」医学書院				
参 考 書			授業の中で指示する。				
備 考			1. 学生は自主的・主体的・積極的に講義に臨むこと 2. 看護技術を何度も練習し、確実に技術を修得すること。				

科 目 名		看護技術論Ⅱ			担 当 者	○庄子 幸恵・宮下 真子 堀内 輝子・小山 美香	
科目ナンバリング		1050432562					
D P		1,3			教 員 研 究 室 5203		
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次 1 年次・後期		
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 3 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業 該当しない		
【授業内容】 1. 診療の援助技術についての基礎知識と看護技術を学ぶ。 2. 対象者の健康状態に応じた診療の援助技術を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 授業中に指示を行う。			
【学習の到達目標】 1. 診療の援助技術についての基本的な知識・技術を理解する。 2. 診療の援助技術・方法を理解し、実施できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 20 分以上の無断での遅刻は欠席とみなすことがある。 2. 事前課題、演習後の課題を提出期限まで提出すること。 3. 教科書をよく読み、予習、復習、自己学習をすること。 4. 演習時のみだしなみ（服装、髪型、手の清潔）に留意し、看護師としての態度を学習すること。 5. 講義中は私語、飲食を厳禁とし、私用での携帯電話やスマートフォンの利用はしないこと。 6. 教室や更衣室から実習室への移動時、演習での私語は厳禁とする。 7. 看護技術の演習時は、時間の許す限り繰り返し、看護技術の練習を行うこと。 8. 使用する物品の準備・あとかたづけをきちんと行い、整理整頓をこころがけること。			
【成績評価方法】 定期試験（40%）、実技試験（40%）、レポート 20%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 基本的な診療の援助方法の理解ができる。 2. 科学的な知識と根拠に基づいて、一人で診療の援助技術を実施することができるようになる。			
				【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、臨床経験、教育経験がある教員が授業を担当する。			
授 業 計 画							
回	担当教員		学修内容	学修課題・必要な学修時間			
				予習・復習		学修時間	
1	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】授業ガイダンス・感染予防の技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
2	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】感染予防の技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
3	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】感染予防の技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
4	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】与薬の技術（経口与薬）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
5	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】感染予防の技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
6	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】与薬の技術（経口与薬）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
7	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】学習した実技のふりかえり	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
8	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸、 血圧）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
9	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸、 血圧）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
10	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】バイタルサイン（体温、脈拍、呼吸、 血圧）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
11	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】与薬の技術（皮内・皮下・筋肉内 注射）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
12	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】与薬の技術（静脈内・点滴注射）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
13	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】与薬の技術（皮内・皮下・筋肉内 注射）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
14	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】与薬の技術（静脈内・点滴注射）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
15	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】症状・生体管理技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
16	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】症状・生体管理技術（採血）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
17	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】呼吸を整える技術（酸素療法）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
18	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】学習した実技のふりかえり	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
19	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】創傷管理技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
20	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】創傷管理技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
21	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】排泄の援助技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
22	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】排泄の援助技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
23	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】排泄の援助技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
24	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】食事の援助技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
25	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】食事の援助技術（経管栄養法）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
26	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【演習】呼吸を整える技術（酸素療法）	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
27	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】救命救急処置技術	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
28	庄子 幸恵、宮下 真子、堀内 輝子、 小山 美香		【講義】死の看取りの援助	授業で学んだ内容について、予習・復習を行っておくこと。		4 時間	
教 科 書			「系統看護学講座 基礎看護学Ⅰ・Ⅱ」医学書院 横山 美樹 はじめてのフィジカルアセスメント メヂカルフレンド社				
参 考 書			授業の中で適宜紹介する。				
備 考			1. 学生は自主的・主体的・積極的に講義に臨むこと。 2. 看護技術を何度も練習し、確実に技術を修得すること。				

科 目 名		成人看護学概論			担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子	
科目ナンバリング		1050422574				常勤	
D P		1,4			教員研究室		3213/1309
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次		1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位		必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 ・成人期にある対象を理解し、成人看護の概要について学習する。 ・成人を対象とした看護の基礎となる概念や理論、援助方法を学習する。 【学習の到達目標】 ・成人の発達と役割を理解し、成人看護の特徴を理解できる。 ・成人期における保健の動向を理解できる。 ・成人期の生活習慣と健康問題の特徴を理解できる。 ・成人の健康問題に対する看護アプローチの基本的な考え方を理解できる。 ・成人の健康レベルに対応した看護について、基本的な考え方を理解できる。 【成績評価方法】 定期試験 100% で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 講義中・終了後、質問に応じる。コメントペーパーで質問意見を受け、回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・予習・復習を十分に行うこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 成人を対象とした看護ケアの実践について理解を深めることができる。 【実務家教員担当科目】 看護職の資格を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実務経験及び看護教育経験を十分に活かして教授する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	小松 恵	・コースオリエンテーション ・ライフサイクルにおける成人の特徴	第 1 章および配布資料				4 時間
2	小松 恵	・成人の生活と健康	第 2 章および配布資料				4 時間
3	小松 恵	・成人への看護アプローチの基本	第 3 章および配布資料				4 時間
4	小松 恵	・ヘルスプロモーションと看護	第 4 章および配布資料				4 時間
5	鈴木 敦子	・健康をおびやかす要因と看護	第 5 章および配布資料				4 時間
6	鈴木 敦子	・健康の急激な破綻とその回復を支援する看護	第 6 章および配布資料				4 時間
7	鈴木 敦子	・慢性病とともに生きる人を支える看護	第 7 章および配布資料				4 時間
教 科 書		・小松浩子他. (2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学〔1〕成人看護学総論（第 16 版）, 医学書院.					
参 考 書		随時提示する。					
備 考		特になし。					

科 目 名		公衆衛生看護学概論		担 当 者	○佐々木明子・結城美智子 山岸 貴子	
科目ナンバリング		10504225108			常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	5206	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 公衆衛生看護は、地域で生活する個人・家族・集団・コミュニティを対象として人々の健康生活と生活環境づくりの支援を目的とする。保健師は、地域全体の健康増進と疾病予防をめざし、そのために地域の特性や健康課題を見出し、住民や関係者・関係機関と協働しながら活動を展開していくことを学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 公衆衛生看護の理念と目的や機能について理解する。 2. 公衆衛生看護活動の方法について理解する。 3. 地域保健活動における事業化と政策化の視点を持つことができる。 【成績評価方法】 課題レポート 20%、定期試験 80%						
【課題等のフィードバック方法】 課題についての解説などは講義終了時または次授業でフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 やむをえず欠席、遅刻をする場合は必ず連絡をすること。予習、復習を行う。保健福祉活動や看護活動などについての新聞、ニュースを読むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・公衆衛生看護の基本理念と目標を理解することができる。 ・地域においても様々な保健・看護活動を展開していることが理解できる。 ・地域を基盤とした疾病予防の考え方や健康を向上させる行動を学ぶことで学生自身の健康関連行動の特性に目を向けるようになる。そして、自分の住む地域にも視野を広げることができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	佐々木明子・山岸	公衆衛生看護の定義と目的・活動	教科書の該当ページの公衆衛生看護の定義・目的・活動方法を予習する。配布プリント等を復習する。		4 時間	
2	佐々木明子・山岸	公衆衛生看護の場と活動方法	教科書の該当ページの公衆衛生看護の場と活動を予習する。配布プリント等を復習する。		4 時間	
3	山岸 貴子・佐々木	公衆衛生看護の対象と活動の展開	教科書の該当ページの公衆衛生看護の対象と活動を予習する。配布プリント等を復習する。		4 時間	
4	結城美智子・佐々木・山岸	公衆衛生看護の歴史と地域保健の法律	教科書の該当ページの歴史と法律を予習する。配布プリント等を復習する。		4 時間	
5	佐々木明子・山岸・結城	公衆衛生看護活動の展開：地域の活動把握①	市町村の地域の特性と保健活動を把握し、まとめる。		4 時間	
6	佐々木明子・山岸・結城	公衆衛生看護活動の展開：地域の活動把握②	市町村の地域の特性と保健活動を把握し、まとめる。		4 時間	
7	佐々木明子・山岸・結城	公衆衛生看護活動の実際：地域の特性に応じた活動	市町村の地域の特性と保健活動を把握し、まとめる。発表し学びを共有する。		4 時間	
教 科 書		医学書院 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 最新版				
参 考 書		丸善出版、メディカルビジョン：DVD 地域看護学概論 丸善出版、メディカルビジョン：DVD ヘルスプロモーションの展開				
備 考		毎回出席をとる。各自学習の振り返りを行う				

科 目 名		チーム医療福祉論		担 当 者	大黒 一司	
科目ナンバリング		10504225132			常勤	
D P		1,4		教員研究室		3211
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		1 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 本学では、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、保健師、臨床工学技士の9の保健医療福祉専門職を養成している。それぞれが専門的知識と技術を習得することは大切である。しかし、将来現場で働く際には、本学において養成している職種に限らず多くの専門職と関わることになる。そこで、この授業では保健医療福祉分野においてチームとして関わる専門職について知ることを目的として、それぞれの専門職の仕事内容、保健医療福祉分野における役割、機能について講義をする。また、多職種連携の実践について実践例の紹介を通して学ぶ。受講する学生が自身の目指す職種について、他の学生に紹介することや他の職種について説明を受ける機会（グループワーク）を通して多職種について理解することができる。						
【課題等のフィードバック方法】 ・講義終了後、質問を受け付け回答する。 ・レスポンスペーパーによる質問を受け付け回答する（クラスルーム）。 ・次回講義時に受講者全体に向けて回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 指定された席で受講する。私語・携帯電話の使用・飲食の禁止 レスポンスペーパーは毎回必ず提出する。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 1 年次から他学科・他専攻で学ぶ学生と授業を通して交流することができる。また、自分が目指す職種のことを他者に伝えるために一層理解することができる。						
【学習の到達目標】 ・他職種の専門性、業務の概要を知る ・他専攻の学生とかかわる中で自分の目指す専門職について紹介できる						
【実務家教員担当科目】 病院・施設において多職種連携を実践していた。						
【成績評価方法】 授業時の課題（レスポンスペーパーの提出） 20% グループワークの課題 30% まとめの課題レポート 50%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大黒 一司	保健医療福祉を支える専門職とチームの役割	復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
2	大黒 一司	専門職の理解（紹介）1 医師、歯科医師、薬剤師	予習：事前配布資料の次回授業内容（テキストのページ）を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
3	大黒 一司	専門職の理解（紹介）2 (1) 看護師、保健師、管理栄養士、臨床工学技士 (2) グループワーク	予習：事前配布資料の次回授業内容（テキストのページ）を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
4	大黒 一司	専門職の理解（紹介）3 (1) 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士 (2) グループワーク	予習：事前配布資料の次回授業内容（テキストのページ）を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
5	大黒 一司	専門職の理解（紹介）4 社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、義肢装具士、ほか	予習：事前配布資料の次回授業内容（テキストのページ）を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
6	大黒 一司	多職種連携の実践 (1) 保健医療福祉における多職種連携の実践の紹介 (2) グループワークを通して多職種連携を模擬的に体験する	予習：事前配布資料の次回授業内容（テキストのページ）を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する			4 時間
7	大黒 一司	全体の振り返りとまとめ（課題の実施と提出）	予習：事前配布資料のこれまでの授業内容（テキストのページ）について振り返る 復習：まとめの課題についてテキストで確認する。			4 時間
教 科 書		指定教科書は特になし				
参 考 書		必要に応じて図書や文献を紹介する				
備 考		質問等の問い合わせ：大黒一司（リハビリテーション学科作業療法学専攻）				

科 目 名		重度障がい者自立生活支援演習		担 当 者	○本間 里美・小林 武 傍島 智子・千葉早耶香 千田 香	
科目ナンバリング		10504125136			常勤・非常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	小林：3103、傍島：1314	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1・2・3・4 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 地域で生活する重度身体障がい者の生活とそれを支える専門職の役割について、講義・演習・実習を通して学ぶ。 【学習の到達目標】 重度障がい者の地域生活を知る 重度障がい者の地域生活に必要な支援を体験する 【成績評価方法】 グループワーク成果物とプレゼンテーションの妥当性を評価する						【課題等のフィードバック方法】 グループワーク、プレゼンテーション実施後に講評する 【履修上の注意・予習・復習について】 休日、祝・祭日の3連休に開講する（開講日は別途通知する）。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域で生活する重度身体障がい者の生活とそれを支える専門職の役割を理解・体験できる。 【実務家教員担当科目】 重度身体障がい者の地域生活支援に携わっている看護師、理学療法士、ヘルパーが、それに必要な専門的知識・技術を教授するとともに、当事者宅での実習について指導する。
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	本間	・オリエンテーション ・障がいとは？	復習：「障がい」のもつ多面的な意味をまとめる		4 時間	
2	本 間、千 田、 千葉	・重度身体障がい者用コミュニケーション機器実習 ・透明文字盤実習	予習：自分の意思を伝達する手段を調べておく 復習：実習した内容をまとめる		4 時間	
3	本間、千葉	「地域で生きる・暮らす」「地域で支える」とは？	予習：重度障がい者が地域で暮らすために必要な支援について調べておく 復習：重度障がい者が地域で暮らすために必要な支援についてまとめる		4 時間	
4	本間、千葉	・医療の視点と介助の視点 ・事例をもとに考えよう	予習：重度障がい者の疾病を調べておく 復習：重度障がい者の疾病と障害をまとめる		4 時間	
5	本間、千田	当事者宅での実習説明と準備学習	当事者宅での実習目標、スケジュールを確認しておく		4 時間	
6	本 間、千 田、 傍島、小林	当事者宅での実習	予習：当事者宅での実習に必要な用具、身なりを準備しておく 復習：実習日誌をつける		4 時間	
7	本 間、千 田、 傍島、小林	当事者宅での実習	復習：実習日誌をつける		4 時間	
8	本 間、傍 島、 小林	当事者宅での実習	復習：実習日誌をつける		4 時間	
9	本 間、千 葉、 傍島、小林	当事者宅での実習	復習：実習日誌をつける		4 時間	
10	本 間、千 葉、 傍島、小林	当事者宅での実習	復習：実習内容をまとめておく		4 時間	
11	本 間、千 田、 千 葉、傍 島、 小林	グループワーク 1：実習経験の共有	予習：実習内容を発表できるように準備しておく 復習：共有した他の学生の実習経験をまとめる		4 時間	
12	本間、千田	・実習での体験を振り返る ・改めて考える「障がいとは？」	復習：自分の実習と共有した他の学生の実習内容から、改めて障害の持つ意味を簡単にまとめる		4 時間	
13	本間	障がいって何？ 当たり前の見方を変えてみよう	復習：障がいの多面的な意味を考察しまとめる		4 時間	
14	本 間、千 田、 千 葉、傍 島、 小林	・グループワーク 2：「障がいとは？」について考える ・発表会と総まとめ	復習：授業全体を振り返り、重度障がい者の生活を支援することの意義と専門職としての関わりをまとめる		4 時間	
教 科 書		オリジナルテキスト（¥500）を使用します。初回授業時に購入してもらいます。				
参 考 書		特に指定しない				
備 考		・当事者宅での実習を受け入れていただく当事者の人数が限られていますので、受講者数を最大 20 名に制限します。 ・受講希望者多数の場合は、事前説明会や面接等を通して受講生を決定します。				

2022～2024 年度入学者用カリキュラム (看護学科)

科 目 名	ボランティア探求			担 当 者	渡邊 洋一						
科目ナンバリング	105011227				常勤						
D P	1,2,3,4			教員研究室	1124						
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・通年						
授 業 形 式	実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位						
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし										
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない						
【授業内容】 一年次に地域活動・ボランティアの科目を受講した学生を対象に、系統別ボランティア実践者からのレクチャー及びボランティアの実践実習を行い、それまでの講義・実習を受けて、ワークショップ及び実践実習で得たスキルを報告する 【学習の到達目標】 各種ボランティア活動の実践を通じて、各種ボランティア指導者及び NPO・NGO 実践者・指導者等を目指すことを目的とする 【成績評価方法】 実践実習活動報告（レポート）及び最終報告会のプレゼンにより評価し、認定される単位は認（2 単位）とする						【課題等のフィードバック方法】 実際にボランティア活動を行うことで、社会的課題・検証についても学ぶことができる 【履修上の注意・予習・復習について】 事前に行われるレクチャーを参考に実践実習で求められる活動内容を把握しておくこと また、損害保険の適用を前提とするため、事前に担当教員（単位認定者）へ届出すること 【受講して得られる効果・メリット、その他】 社会の仕組みを色々な角度から学ぶことで、社会的な視野が拡大すると共に社会的な信用が得られる 一年次の地域活動ボランティアの科目で培われたコミュニケーション能力の向上及び地域活動への理解が深くなる 【実務家教員担当科目】 系統別ボランティア実践者からのレクチャー及び各施設等でのボランティアの実践実習を行う					
授 業 計 画											
1. ボランティア活動講座 講義Ⅰ 基礎講座（一年次の講座の確認） 講師：本学専任教員 講義Ⅱ～Ⅵ 系統別実践者からのレクチャー（講義・演習等） 講師：外部講師 環境系・福祉系（高齢・障害者・母子・児童福祉） ・生涯学習系・地域振興系 2. ボランティア活動実践実習 講義Ⅱ～Ⅵから 1・2 箇所選択し、都合 10 時間程度の実習を行い、実習活動報告書（レポート）を提出 3. ボランティア活動総括 ・それまでの講義・実践実習活動に関するワークショップ（連講 2 コマ） ・実践活動の報告会（1 コマ）											
教 科 書	使用しない、必要に応じて資料を配布										
参 考 書	講義時に必要に応じて紹介										
備 考	実践実習を伴うため、事業日以外の日程で実施する場合もあり、特に土日、夏季・冬季の休業期間を充てることも多く、また夜間の活動も含めて考慮すること										

科 目 名		情報処理Ⅱ		担 当 者	○鈴木眞澄美・村上 大介	
科目ナンバリング		105021229			常勤・非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 情報社会の中で、実習や医療現場における電子情報を取り扱う際に必要な原則を学修する。 アカデミックスキルとして必要なレポート作成、データ処理やプレゼンテーション作成などで必要不可欠な Word、Excel、PowerPoint を活用する基本操作を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 授業終了後（授業後）質問を受け付け確認する		
【学習の到達目標】 実習や医療現場における電子情報を取り扱う際の注意点を理解できる。 効率よく編集しやすく作成することを目的とした基本操作方法を習得する。				【履修上の注意・予習・復習について】 教室内は飲食禁止。教科書の代わりに配布された資料や練習問題のプリントのファイリングを行う。 定期試験（実技）のためにも練習問題は各自でしっかりと取り組む。 データ保存用の USB メモリー、A4 ファイルを準備する。		
【成績評価方法】 練習問題の作成、定期試験などを総合的に評価する練習問題・課題の提出（15%）、実技試験（85%）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 実習や医療現場における電子情報を取り扱う際の注意点を理解できる。 Word、Excel、PowerPoint は、今日の大学生にとって必要不可欠なツールとなっている。 効率的な編集方法を習得することで今後の様々な場面で活用できる。		
				【実務家教員担当科目】 宮城県から職業訓練講師の委嘱を受け指導している教員がその経験を活かし、基本的な実習の指導をする。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	学科教員	コースオリエンテーション 技術を学ぶ意義	復習：看護における情報やデータの取り扱いについて学んだ知識の復習			1 時間
2	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー PowerPoint-1：スライドの作成	復習：スライドの作成手順の確認、SmartArt の挿入と編集			1 時間
3	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー PowerPoint-2：スライドの編集	復習：用途に応じたスライドの編集、印刷			1 時間
4	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー PowerPoint-3：スライドの作成 練習問題	復習：スライドの挿入から印刷までを確認する			1 時間
5	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-1：データ入力の基礎	復習：ワークシートの編集、データ入力の基礎、セルの書式設定			1 時間
6	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-2：表の作成	復習：ページ設定、ヘッダーとフッターの挿入、Excel での表の作成、画像の挿入、Word との違い			1 時間
7	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-4：グラフの挿入	復習：グラフの挿入手順の基礎、グラフの挿入と編集			1 時間
8	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-5：計算式と関数 1	復習：セルの書式設定 計算式と関数の挿入手順			1 時間
9	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-6：計算式と関数 2	復習：セルの書式設定 絶対参照（割合、構成比を求める）			1 時間
10	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-7：確認問題	復習：データ入力の基礎から関数の挿入までの確認			1 時間
11	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-8：データの並べ替えと抽出	復習：データの抽出と並べ替え、新しい表の作成			1 時間
12	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-9：Word と Excel の活用	復習：Word の文書に Excel の表やグラフを貼り付ける 貼り付け方の違いの確認			1 時間
13	鈴木眞澄美	アカデミックリテラシー Excel-10：総合練習問題	復習：データ入力の基礎から、データの抽出と並べ替えまでの確認			1 時間
14	学科教員	医療における情報の取り扱い (情報倫理)	個人情報の取り扱い、医療における個人情報保護の考え方、実際に行われている対策			1 時間
教 科 書		指定なし。教科書代わりとして授業内で使用する資料を配布します。				
参 考 書		情報リテラシー Windows10 Office2019 対応（FOM 出版）				
備 考		なし				

科 目 名		基礎数学		担 当 者	伊藤 朋幸	
科目ナンバリング		1050212212			非常勤	
D	P	1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	1 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 大学新入生のための数学入門の第 4, 5, 7 章の内容（指数関数、対数関数、微分）について学習する。今後の専門科目を学ぶために最低限必要な数学を学習する。						
【学習の到達目標】 数学的なものの考え方と今後の勉強に必要な数学的处理を身に付けることができる。						
【成績評価方法】 定期テスト（70% 程度）および、提出課題（30% 程度）で総合的に評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 課題（レポート）は提出後、点検して早めに返却する。提出された課題の出来具合を見て解説が必要と思われる部分については、適宜授業の中で解説する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 数学はこれから学ぶ様々な学問の基礎である。講義を通して、数学的な考え方や知識の整理の仕方を学ぶ。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 これから学ぶ専門科目の基礎となる数学的なものの考え方を学ぶことができる。						
【実務家教員担当科目】 学校現場における教員経験を活かして、授業内容をかみくだいて説明し指導する。						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	伊藤 朋幸	ガイダンス 指数と指数法則	シラバスをしっかりと読み、授業概要を確認しておくこと。指数法則について、高校の教科書を確認してくる。授業後は問題演習を通して理解を深めること。		4 時間
2	伊藤 朋幸	指数の拡張。指数法則を利用した計算。	累乗根、指数の拡張について高校の教科書を確認してくる。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
3	伊藤 朋幸	指数関数とグラフ、その特徴と性質。	指数関数のグラフについて、高校の教科書を調べてくる。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
4	伊藤 朋幸	ネピア数について。指数から対数への導入。	指数関数とそのグラフについての総合演習。これまでの授業の内容をしっかりと復習してくる。授業後は問題演習を通して理解を深めること。		4 時間
5	伊藤 朋幸	対数の定義と対数公式。対数公式を利用した計算問題。	対数とは何かを調べてくる。できれば指数との関係を調べる。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
6	伊藤 朋幸	対数法則とそれを利用した、対数の計算。	対数法則を利用した計算練習をするので、前の時間の授業をしっかりと復習して臨むこと。授業後は充分問題演習をすること。		4 時間
7	伊藤 朋幸	底の変換公式。自然対数とは。常用対数表を作る。	底の変換公式について調べてくる。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
8	伊藤 朋幸	対数関数とそのグラフ	対数関数のグラフについてしっかりと復習しておくこと。授業後はなるべくたくさん問題演習をすること。		4 時間
9	伊藤 朋幸	平均変化率と微分係数の定義およびその問題演習。	微分係数とは何かを調べておく。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
10	伊藤 朋幸	導関数の定義と問題演習。	導関数とは何かを調べておく。前回の復習をしっかりとやって授業に臨むこと。授業後は問題演習を通して理解を深めること。		4 時間
11	伊藤 朋幸	微分の公式とそのもんだい問題演習。接線の方程式。	微分の基本公式と性質について調べておく。しっかりと予習をして授業に臨むこと。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
12	伊藤 朋幸	積・商の微分公式とその演習	積・商の微分公式について調べておく。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
13	伊藤 朋幸	関数の増減とそのグラフ	微分の図形的な意味を確認し授業に臨むこと。授業後は問題演習を通して理解を深めること。		4 時間
14	伊藤 朋幸	総合問題演習	微分の総合演習なので、疑問点を持って授業に臨み疑問点を解決すること。授業後はしっかりと問題演習をすること。		4 時間
教 科 書		「大学新入生のための数学入門」石村園子著 共立出版（株）			
参 考 書		1. 高校で学んだ教科書 2. 「やさしく学べる微分積分」石村園子著 共立出版（株）			
備 考		授業を受ける前に該当する項目についてしっかりと教科書を読んで復習し、授業に臨んでほしい。			

科 目 名		英語Ⅱ		担 当 者	馬内 里美	
科目ナンバリング		1050212222			常勤	
D	P	3		教員研究室	1229	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・通年	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	60 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 コミュニケーション能力をさらに伸ばすことを目指し、以下のことを行う。 ・Listening/Speaking：聞き取り、会話活動を中心に、様々な状況で使われる英語表現力を高める。プレゼンテーション課題もある。 ・Reading/Writing：英文読解力を高めながら、実用に即した語彙力、文法力、英作文能力の強化を図る。 【学習の到達目標】 ・リーディング、ライティング、グループディスカッションを通して、理論立てて説明する方法を学ぶとともに、批判的思考方法を身につける。 ・語彙力を強化する。 ・異文化における価値観や行動様式の多様性を学ぶ。 【成績評価方法】 授業内での課題 40%、授業外での課題 20%、テスト 40%、 【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・出席を重視する。 ・教科書・辞書を持参すること。電子通信機器の使用を禁ずる。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 実践的な英語授業を通して、日常生活からビジネスの場まで対応できる英語基礎運用能力を高められる。 【実務家教員担当科目】 該当者なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	馬内 里美	オリエンテーション	テキストの目次を読み、教科書全体の内容を把握しておく。授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
2	馬内 里美	大意把握から重要語句の確認（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
3	馬内 里美	大意把握から重要語句の確認（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
4	馬内 里美	大意把握から重要語句の確認（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
5	馬内 里美	クリティカルリーディングとイディオムの習得（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
6	馬内 里美	クリティカルリーディングとイディオムの習得（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
7	馬内 里美	クリティカルリーディングとイディオムの習得（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
8	馬内 里美	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
9	馬内 里美	情報収集、下書き、訂正、編集のライティングプロセスに慣れる（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
10	馬内 里美	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
11	馬内 里美	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
12	馬内 里美	センテンスからパラグラフライティングへの基礎演習（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
13	馬内 里美	ビジネス英語の構文と表現	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
14	馬内 里美	まとめ	授業で分からなかった部分について教員への質問を考えておく。理解できなかった箇所は重点的に勉強し直す。		1 時間	
15	馬内 里美	オリエンテーション 前期の復習	予習：前期の学習内容の復習をする。 復習：重要ポイントを勉強し直す。		1 時間	
16	馬内 里美	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
17	馬内 里美	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
18	馬内 里美	問題に対する自分の意見表明、交換、決定のプロセスに慣れる（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
19	馬内 里美	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
20	馬内 里美	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
21	馬内 里美	筋道を立てて物事を説明し、意見を述べ、相手との理解を深める（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
22	馬内 里美	言い換え（パラフレーズ）のコツ（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
23	馬内 里美	言い換え（パラフレーズ）のコツ（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
24	馬内 里美	受動的ではなく、能動的に聴く方法（1）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
25	馬内 里美	受動的ではなく、能動的に聴く方法（2）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
26	馬内 里美	受動的ではなく、能動的に聴く方法（3）	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
27	馬内 里美	フォーマル、インフォーマルな表現と用法	予習：テキストの次の Unit の単語を調べる。 復習：授業で学習した単語のスペルを覚える。		1 時間	
28	馬内 里美	まとめ	授業で分からなかった部分について教員への質問を考えておく。理解できなかった箇所は重点的に勉強し直す。		1 時間	
教 科 書		Campus English（セングージラーニング）				
参 考 書		適宜指示する。				
備 考		9 万語以上の単語を収録した「ジーニアス英和辞典」（大修館）か、それと同等レベルの辞書・電子辞書を用意すること。				

科 目 名	憲法と法律			担 当 者	淡路 智典
科目ナンバリング	1050212228				常勤
D P	1,3			教員研究室	1224
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 憲法とは国の根幹を定める法律である。この授業では憲法の基本的な内容を扱う憲法総論、国家によっても侵害されることのない個人の権利を扱う人権論、国家の基本的な仕組みをさだめる統治機構論をそれぞれ見ていく。できるだけ学生に身近な話題を絡めつつ、憲法の基本的な考え方や条文解釈を説明していく。					
【学習の到達目標】 憲法という国家の根本法について基礎的な概念を理解し、基本的人権や統治機構のあり方に関して、自己の見解を持てるようにする。					
【成績評価方法】 期末試験の点数に毎回の小テストを加味して決定する。 内訳：期末試験 80%、毎回の小テスト 20%					
【課題等のフィードバック方法】 授業の疑問点を Google classroom に書いてもらい、次の回の授業の冒頭で回答する。					
【履修上の注意・予習・復習について】 スライドを授業前に確認し、わからない法律用語の予習。 他の受講生の迷惑になることはしないこと。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 憲法に対する理解を深めることによって、憲法改正をはじめとする具体的な憲法問題に関して、主体的に考えられるようになる。個人の侵害されてはならない基本的人権を理解することにより、社会問題に関して一層深く理解することができるようになる。また一票を持つ主権者として必要な知識と自覚を得ることができる。					
【実務家教員担当科目】 該当しない。					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	淡路 智典	ガイダンス・憲法とは	シラバスの内容確認・教科書（判例集）の読み方を理解する	4 時間
2	淡路 智典	憲法概説	スライドを授業前に確認し、憲法の全体像を掴む	4 時間
3	淡路 智典	幸福追求権と法の下での平等	判例を参考にして、包括的基本権や平等権について理解する	4 時間
4	淡路 智典	精神的自由権（内心の自由）	判例を参考にして、思想・良心の自由や信教の自由について理解する	4 時間
5	淡路 智典	精神的自由権（表現の自由）	判例を参考にして、表現の自由の重要性や限界について理解する	4 時間
6	淡路 智典	経済的自由権	判例を参考にして、職業選択の自由や財産権について理解する	4 時間
7	淡路 智典	人身の自由	判例を参考にして、刑事事件で保障される権利等について理解する	4 時間
8	淡路 智典	国務請求権と参政権	判例を参考にして、裁判を受ける権利や参政権について理解する	4 時間
9	淡路 智典	社会権	判例を参考にして、生存権や教育を受ける権利、労働基本権について理解する	4 時間
10	淡路 智典	権力分立の原理と国会	政治思想や歴史的経緯を参考にして、三権分立の概念を理解する	4 時間
11	淡路 智典	内閣	法制度を参考にして、公務員制度を理解する	4 時間
12	淡路 智典	裁判所	法制度を参考にして、裁判や裁判制度について理解する	4 時間
13	淡路 智典	天皇制、平和主義	憲法の条文を参考に、象徴天皇制や平和主義について理解する	4 時間
14	淡路 智典	憲法の保障	憲法の理念を参考に、硬性憲法について理解する	4 時間
教 科 書		岡田順太/淡路智典/今井健太郎 編『判例キーポイント憲法』（成文堂、2020 年、ISBN：978-4-7923-0666-3）		
参 考 書		芦部信喜『憲法（第 8 版）』（岩波書店、2023 年、ISBN：9784000616072）		
備 考		特になし。		

科 目 名	文化人類学			担 当 者	瀬川 昌久
科目ナンバリング	1050212229				非常勤
D P	1,2,4			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人類の文化・社会の多様性と普遍性に関する総合的研究分野である文化人類学について概説を行い、異文化理解のための基礎的な枠組みを提供することを目指す。				【課題等のフィードバック方法】 特に必要ない。	
【学習の到達目標】 人類の文化・社会の普遍性と多様性を理解するため、文化人類学の基礎概念と方法論的特色について一定程度理解する。				【履修上の注意・予習・復習について】 特に必要ない。	
【成績評価方法】 試験による。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ノートを丹念にとること。場合によってノートの提出を求めることもある。	
				【実務家教員担当科目】 該当しない。	
授 業 計 画					
1. 方法論／基礎概念 2. 採集狩猟民社会（1） 3. 採集狩猟民社会（2） 4. 牧畜民社会（1） 5. 牧畜民社会（2） 6. 農耕民社会（1） 7. 農耕民社会（2） 8. 環境適応と文化 9. ジェンダーと生殖（1） 10. ジェンダーと生殖（2） 11. 親族関係（1） 12. 親族関係（2） 13. 家族 14. 社会組織の日・中比較 15. 民族とアイデンティティー ※授業計画は適宜変更する。					
教 科 書	「文化人類学を学ぶ人のために」 米山俊直・谷泰編 世界思想社				
参 考 書	必要な場合は教室で指示する。				
備 考	文化人類学はすぐに何かに役に立つような学問ではない。即効的なスキルのみを求める者には勧めない。				

科 目 名		日本・東北文化論		担 当 者	栗原伸一郎	
科目ナンバリング		1050212230			非常勤	
D	P	1,2		教員研究室		
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 現在、私たちが生活している東北や仙台は、どのように形成されたのだろうか。東北や仙台は日本のなかでいかなる立場を占め、歴史的・文化的にどのような足跡を残してきたのだろうか。また、それらを明らかにするためには、どのような活動が必要になるのだろうか。本講義では、以上の問題に迫ることを通じて、地域の歴史・文化について考えてみたい。						
【学習の到達目標】 ①東北や仙台の歴史・文化について関心を持ち、理解することができる。 ②地域の歴史・文化を継承する活動について関心を持ち、理解することができる。 ③上記を自分に関わる事柄として受け止め、意味を考えることができる。						
【成績評価方法】 ①毎回提出するコメント 30%（記入内容から理解度と受講態度を評価する。出席点ではない。） ②定期試験 70%（試験内容は事前に通知する）						
【課題等のフィードバック方法】 コメントで示された重要な意見や質問などについては、次回以降の講義で解説する。 講義終了後、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 講義を妨げる行為（講義中の教室への出入り・私語・携帯電話・飲食など）は禁止。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 漠然と認識している事柄について改めて考えてみることや、当たり前と思っている事柄について別の角度から捉え直してみることで、自己や他者が立脚する地域の有り様を再発見する力を養うことができる。						
【実務家教員担当科目】 資料保存機関へ勤務した経験がある者が地域の歴史・文化について講義する。						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	栗原伸一郎	講義の概要	東北地方や仙台の歴史で興味がある分野や人物について、自分で調べてみる。	4 時間	
2	栗原伸一郎	仙台の歴史・文化①戦国時代と伊達政宗	東北地方の戦国時代や政宗の行動を調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
3	栗原伸一郎	仙台の歴史・文化②城下町・仙台	仙台城址を見学するとともに、配布プリントを再読する。	4 時間	
4	栗原伸一郎	仙台の歴史・文化③杜の都・仙台	『仙台市史』の該当部分に目を通し、配布プリントを再読する。	4 時間	
5	栗原伸一郎	仙台の歴史・文化④伊達政宗と現代	書籍やインターネット等で政宗について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
6	栗原伸一郎	仙台藩士の異文化体験①蝦夷地	江戸時代までの東北や北海道の歴史を調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
7	栗原伸一郎	仙台藩士の異文化体験②アメリカ	『仙台市史』で玉虫左太夫について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
8	栗原伸一郎	幕末維新と東北地方①江戸時代の東北	自分の出身地の藩について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
9	栗原伸一郎	幕末維新と東北地方②幕末維新の動乱	『仙台市史』等で戊辰戦争の大まかな流れを確認し、配布プリントを再読する。	4 時間	
10	栗原伸一郎	幕末維新と東北地方③奥羽越列藩同盟	『仙台市史』等で奥羽越列藩同盟について理解を深め、配布プリントを再読する。	4 時間	
11	栗原伸一郎	地域の歴史・文化の継承①歴史資料にみる仙台	『仙台市史』（資料編）に目を通し、配布プリントを再読する。	4 時間	
12	栗原伸一郎	地域の歴史・文化の継承②歴史資料の現在	自分の出身地にある歴史資料・文化財について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
13	栗原伸一郎	地域の歴史・文化の継承③NPO と資料保存	現在住んでいる地域にある歴史資料・文化財について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
14	栗原伸一郎	地域の歴史・文化の継承④災害と資料保存	日本各地の災害と歴史資料・文化財の関係について調べ、配布プリントを再読する。	4 時間	
教 科 書		なし。プリントを配布する。			
参 考 書		『仙台市史』（通史編）。その他、授業のなかで紹介する。			
備 考		高校の歴史の授業と内容が異なるので「日本史」を学んでいなくとも履修可能。 授業の進展等によって内容が一部変更になる場合がある。			

科 目 名	日本近代史			担 当 者	渡邊 洋一
科目ナンバリング	1050212231				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	1124
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 日本が 1854 年の開国以来、明治維新を経て欧米列国と肩を並べていくまでの日本近代史について世相史（医学史・公衆衛生史等含）を交えて解説していく				【課題等のフィードバック方法】 講義に関する史資料の把握及びニュース・報道等を参考にすることで実社会への対応力の醸成を希望	
【学習の到達目標】 その時代時代の事件・事象が社会に及ぼした影響について学ぶことで、将来起こり得ると考えられる事象への洞察力を養う				【履修上の注意・予習・復習について】 講義は授業毎のレジュメと PP 資料により行う なお、エクスカッションを実施（必須）するが、時間割とは別に土曜日等の授業日以外となるので、予め承知すること	
【成績評価方法】 受講記録やレポートの提出（2 回程度）を求め、その内容で評価する				【受講して得られる効果・メリット、その他】 実社会に出た後に時代の変化に惑わされない感覚を養うが出来る	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
1. 授業概要の指示と歴史学の基礎の把握 2. 近代日本の夜明け（近代日本の出発点） 3. 明治政府の成立と戊辰戦争 4. 明治初期の政治機構と社会情勢 5. 自由民権運動から国会開設まで 6. 日本における災害の歴史 7. 公衆衛生と医療 8. 近代日本の文化Ⅰ（明治時代の文化を中心に） 9. 日清戦争から日露戦争へ（近代日本の確立と帝国主義への参入） 10. 近代日本の文化Ⅱ（メディアの発達と近代文学から見た社会） 11. 大正デモクラシーの時代（大正浪漫と世相史） 12. 近代日本の文化Ⅲ（大正の浪漫文化について） 13. 昭和前期の混乱の時代（関東大震災から十五年戦争まで） 14. エクスカッション（山形市郷土館：旧済生館本館）					
教 科 書	エクスカッション（1 回）を除き、毎回レジュメと PP 資料を使用				
参 考 書	別途指示する				
備 考	エクスカッションを実施するにあたり、これは授業日ではなく土日等となるので、予め承知すること				

科 目 名		健康科学		担 当 者	○未定・古林 俊晃	
科目ナンバリング		1050212232			常勤	
D P		1,4		教員研究室	1203	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 身体運動を伴う生活場面や肉体労働はますます減少し、生活の利便化、快適化と引き替えに、人間は体力の減退、肥満等の生活習慣病に悩まされることになった。本講義では、今後必要となる自己の健康管理方法に必要な基本的な内容を運動（スポーツ）、疾病、栄養等の側面からわかりやすく講述する。						
【学習の到達目標】 ・健康の維持・増進のために必要な知識を身につけ、生活習慣病などの予防法について理解を深め、実践できるようになる。 ・スポーツが身体・精神・社会に与える影響を理解する						
【成績評価方法】 成績は、定期試験（80%）、レポート（20%）により評価する。試験規定により 2/3 以上の出席がなければ定期試験を受けられないので留意すること。						
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ・振り返りを提出すること ・遅刻は本人の責めに帰さない理由以外は認めない。 ・具合が悪いなど、やむを得ず教室を退出する場合は教員の確認を取ること ・授業態度の悪い学生は退室させる。この場合欠席扱いとする。スマートフォンの使用、食事は禁止とする。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・スポーツへの関心を高められる ・生涯にわたる自身の健康管理の知識と方法を身につけ、実践できるようになる。						
【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	古林 俊晃	ガイダンス：人間らしさとは	健康に関する内容を確認しておくこと			4 時間
2	古林 俊晃	人体の構造と機能：動物的機能（骨格筋と神経系）	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
3	古林 俊晃	人体の構造と機能：動物的機能（感覚器系と高次脳機能）	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
4	古林 俊晃	人体の構造と機能：植物的機能（栄養とエネルギー）	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
5	古林 俊晃	人体の構造と機能：植物的機能（恒常性）	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
6	古林 俊晃	健康：健康と死の考え方	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
7	古林 俊晃	前半の総括 中間試験①	ここまでの内容の振り返りをする。			4 時間
8	古林 俊晃	加齢：発育発達と老化	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
9	古林 俊晃	トレーニング理論：体力について	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
10	古林 俊晃	トレーニング理論：トレーニングと障害	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
11	古林 俊晃	スポーツ心理学：運動学習	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
12	古林 俊晃	スポーツとメンタル：スポーツの精神的影響	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
13	古林 俊晃	スポーツ倫理学：健全なスポーツとは	予習：学習内容を確認しておくこと 復習：資料の整理と振り返りの提出			4 時間
14	古林 俊晃	後半の総括 中間試験②	ここまでの内容の振り返りをする			4 時間
教 科 書		毎回資料を配布する				
参 考 書		健康・スポーツ科学の基礎知識（第3版）、道和書院 イラスト「アダプテッド・スポーツ概論」東京教学社				
備 考		授業の進捗により講義内容の調整を行う場合がある				

科 目 名	教育学 I			担 当 者	三塚 明彦
科目ナンバリング	1050212233				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 社会の急激な変化に伴い、学校教育をはじめ学ぶ人をいかに導いていくか教育の方法が大きく変わろうとしている。現代教育の課題を把握し、教育学の視点からこれからの学びの方法について考えるとともに現代抱えている社会問題をどう解決するか考察する。				【課題等のフィードバック方法】 次回の授業で前回提出された課題について講評する。	
【学習の到達目標】 現代の教育が抱える問題の実態を把握し、解決方法を自分の言葉で述べることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 毎回、授業のテーマについて講義後に課題を作成し提出してもらう。	
【成績評価方法】 毎回授業中に作成する課題（600 字程度）の内容で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 現代の教育課題について、その実態を把握することができ、その解決方法について自分の考えをまとめることができる。また、現代の社会問題についても確認することができる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	

科 目 名		教育学Ⅱ		担 当 者	一柳 貴博	
科目ナンバリング		1050212234			非常勤	
D P		1		教員研究室	非常勤講師室	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 不登校やいじめ、精神的不調、障がい等の教育課題をとりあげ、心理学の知見を踏まえた支援方法について学ぶ。また、障がいの有無にかかわらず誰もが生きやすい学校や社会の実現に向けた支援についても考える。				【課題等のフィードバック方法】 毎回の振り返りコメントの際に授業の感想や質問を受け付け、次の授業の時にそのフィードバック（質問の回答等）を行う。		
【学習の到達目標】 ①心理学的支援について理解し、説明することができる。②様々な教育課題とその支援について理解し、説明することができる。③誰もが生きやすい学校や社会に向けた支援について考え、自らの意見をまとめることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業の中で、授業内容に関するディスカッションやグループワークを行う。積極的に授業に参加すること。		
【成績評価方法】 毎回の授業中の振り返りコメント（100%）により評価する。評価の基準等については授業内で紹介する。				【実務家教員担当科目】 該当なし		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	一柳 貴博	イントロダクション：子どもたちを取り巻く様々な教育課題	予習：子どもたちを取り巻く様々な教育課題を調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、子どもたちを取り巻く教育課題をまとめる。			4 時間
2	一柳 貴博	心理学的支援 1：子どもとの関係形成	予習：他者と信頼関係を築くにはどうすると良いかを考えてくる。 復習：授業内容を振り返り、子どもを含む他者との信頼関係を築く方法をまとめる。			4 時間
3	一柳 貴博	心理学的支援 2：アセスメント	予習：心理学的支援におけるアセスメントの方法を調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、心理学的支援においてどんなアセスメントの方法があるかをまとめる。			4 時間
4	一柳 貴博	心理学的支援 3：様々な心理的アプローチ	予習：様々な心理的アプローチについて調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、様々な心理的アプローチの方法をまとめる。			4 時間
5	一柳 貴博	教育課題と支援 1：不登校、いじめ	予習：不登校やいじめに関する課題と支援について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、不登校やいじめに関する課題と支援についてまとめる。			4 時間
6	一柳 貴博	教育課題と支援 2：児童虐待、子どもの貧困	予習：児童虐待や子どもの貧困に関する課題と支援について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、児童虐待や子どもの貧困に関する課題と支援についてまとめる。			4 時間
7	一柳 貴博	教育課題と支援 3：精神的不調を抱える子どもへの支援	予習：精神的な不調について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、精神的不調の内容とその支援方法をまとめる。			4 時間
8	一柳 貴博	教育課題と支援 4：発達障がいのある子どもへの支援	予習：発達障がいについて調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、発達障がいの内容とその支援方法をまとめる。			4 時間
9	一柳 貴博	教育課題と支援 5：様々な障がいのある子どもへの支援	予習：自分が関心のある障がいについて調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、様々な障がいの内容とその支援方法をまとめる。			4 時間
10	一柳 貴博	教育課題と支援 6：多様なニーズのある子どもへの支援	予習：多様なニーズのある子どもについて調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、多様なニーズのある子どもの支援方法をまとめる。			4 時間
11	一柳 貴博	誰もが生きやすい学校や社会に向けて 1：インクルーシブ教育と共生社会	予習：インクルーシブ教育と共生社会について調べてくる。 復習：授業内容を振り返り、インクルーシブ教育と共生社会の内容と課題をまとめる。			4 時間
12	一柳 貴博	誰もが生きやすい学校や社会に向けて 2：障がいとは	予習：障がいとは何かを考えてくる。 復習：授業内容を振り返り、障がいとは何かについて自分の考えを深める。			4 時間
13	一柳 貴博	誰もが生きやすい学校や社会に向けて 3：子どもたちの関係形成	予習：多様な子どもたちが良好な関係を築くためにはどうしたら良いかを考えてくる。 復習：授業内容を振り返り、多様な子どもたちの関係形成に向けた支援について自分の考えを深める。			4 時間
14	一柳 貴博	まとめ：多様な子どもたちへの支援	予習：これまでの授業を振り返り、心理学的支援や様々な教育課題についてまとめる。 復習：これまでの授業を振り返り、誰もが生きやすい学校や社会に向けた支援についての自分の考えをまとめる。			4 時間
教 科 書		教科書は指定しない。適宜プリントを配布する。				
参 考 書		授業の中で指示する。				
備 考		特になし。				

科 目 名		地球の科学		担 当 者	千葉 一
科目ナンバリング		1050212235			非常勤
D	P	1,2,4		教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人類は経済活動を優先するあまり、環境や気候変動の問題を放置して来た。しかしその人類の生態は、大きな転換を迫られている。本講義では、人間の活動が地球環境にどのような影響を与えているのかについて、特に地球温暖化を中心に解説して行く。また、そうした諸問題解決のための思考を深めて行く。 【学習の到達目標】 環境破壊や環境問題を正しく理解することで、人間の過剰性の認知と環境へのグローバルな倫理観を養う。 【成績評価方法】 定期試験による評価と提出物（講義中）で総合評価とする。 評価比率：定期試験 70%・提出物 30%。 【課題等のフィードバック方法】 提出物やレポートの総括講評を、次回の授業で行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業進行に支障をきたす場合は退出してもらう。授業計画のトピックを参考に資料など情報収集しつつ、授業に臨む。復習を怠らない。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 人類の生命活動のみが大切なのではなく、この地球の営みの中で共に生きる生命活動があって、この地球が存在している。気象や地殻の諸現象や多種多様な生命の絡み合いを理解し、それぞれの存在価値を正しく認識することは、未来の健全な「地球コミュニティ」の在り方にとって必須と考える。 【実務家教員担当科目】 3.11 震災復興に関連した環境破壊やコミュニティ開発を研究しつつ、自然再生活動や社会開発を実践している教員が、地球規模の環境問題について、自然科学と人文科学の枠を超えて講義する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	千葉 一	授業の進め方を説明する。 人間という種の特異性と環境問題	自己の生活と環境問題の関連を再考する。次回学習内容を予習。		4 時間
2	千葉 一	カーボン・サイクルと石灰岩	炭酸カルシウム形成過程を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間
3	千葉 一	化石燃料：炭素の固定と解放	その固定と解放の時間差を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間
4	千葉 一	海洋酸性化と生態系サービス	酸性化メカニズムを理解する。次回学習内容を予習。		4 時間
5	千葉 一	森のネットワークと生物多様性	森林の社会性を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間
6	千葉 一	砂漠化と多種共生	多自然主義を理解する。次回学習内容を予習。		4 時間
7	千葉 一	復習と要点・疑問点の整理	6 回の講義内容を理解・整理し、小論文的にまとめる。		4 時間
教 科 書		特になし。資料を適宜配布する。			
参 考 書		清水美香（編著）2023『レジリエンスーよみがえる力ー森・風景・地域・人の交差の中で』、日本評論社。 原慶太郎ほか（編著）2021『自然と歴史を活かした震災復興ー持続可能性とレジリエンスを高める景観再生』、東京大学出版会。			
備 考		国家試験等の関連で欠席する場合は、予め申し出ること。			

科 目 名		哲学			担 当 者	高山 馨
科目ナンバリング		1050212236				非常勤
D P		1			教員研究室	非常勤講師室
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 哲学および倫理学がどのような営みなのかを知することは、時として自らのふるまいを変えることにもつながります。本講義では、主に生命と医療・技術にかかわる哲学的、倫理的、社会的な問題を学ぶことで、医療者としての社会的自己について考えていきます。 【学習の到達目標】 (1) 哲学および倫理学の基礎知識、それらが用いる方法についての基礎知識を身につける。(2) 哲学および倫理的な問題設定や考え方が自分でもできるようになる。 【成績評価方法】 アンケートへの回答、課題提出：60%、期末試験：40%						
【課題等のフィードバック方法】 毎回アンケートを取り、講義内で質問に答える。 【履修上の注意・予習・復習について】 適宜復習し、講義内で紹介された参考文献にあたることが望ましい。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 生命や医療・技術にかかわるさまざまな問題を理解することは、医療の世界へと進む人の自己形成にとって有益と思います。 【実務家教員担当科目】 該当しない。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	高山 馨	イントロダクション：哲学および倫理学とは何か	〈予習〉シラバスと配布資料を一読する。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
2	高山 馨	価値と幸福について（1）	〈予習〉配布資料を一読し、価値や道徳は人それぞれなのかを考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
3	高山 馨	価値と幸福について（2）	〈予習〉配布資料を一読し、幸福とは何かを考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
4	高山 馨	生の始まりと終わりについて（1）	〈予習〉配布資料を一読し、人生に意味はあるのか、あるとしたらそれは何かを考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
5	高山 馨	生の始まりと終わりについて（2）	〈予習〉配布資料を一読し、死ぬことはその人にとって悪いことなのかを考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
6	高山 馨	医療・技術と責任について（1）	〈予習〉配布資料を一読し、医薬品のための動物実験について考えておく。 〈復習〉講義内容を整理して理解する。			4 時間
7	高山 馨	医療・技術と責任について（2）	〈予習〉配布資料を一読し、医療者としての倫理と社会的責任について考えておく。 〈復習〉これまでの講義内容を整理して理解する。			4 時間
教 科 書		プリントを配布するので、教科書は不要です。				
参 考 書		講義内で適宜紹介します。				
備 考		特になし。				

科 目 名	生活と経済			担 当 者	未定
科目ナンバリング	1050212237				
D P	1,4			教員研究室	
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 【課題等のフィードバック方法】 【学習の到達目標】 【履修上の注意・予習・復習について】 【成績評価方法】 【受講して得られる効果・メリット、その他】 【実務家教員担当科目】 ※開講時に指示します。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1				4 時間	
2				4 時間	
3				4 時間	
4				4 時間	
5				4 時間	
6				4 時間	
7				4 時間	
8				4 時間	
9				4 時間	
10				4 時間	
11				4 時間	
12				4 時間	
13				4 時間	
14				4 時間	
教 科 書					
参 考 書					
備 考					

科 目 名	ジェンダー論			担 当 者	妙木 忍
科目ナンバリング	1050212238				非常勤
D P	1,2,4			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 この授業では、ジェンダーの視点から社会を考察する。ジェンダー研究の蓄積を紹介するとともに、家族、労働、法など身近な論点を取り上げながら社会の考察を深める（主に日本社会を対象とする）。この授業を通して、一人一人が生きやすい社会になるためにはどのようにすればよいのかを、ともに考えていく。 【学習の到達目標】 (1) ジェンダーの概念を理解する。(2) ジェンダーの視点から社会を読み解く力を身につける。 【成績評価方法】 レスポンス・カードの提出（30%）、課題（30%）、論述試験（40%）により評価する。 【課題等のフィードバック方法】 毎回授業の最後にレスポンス・カードを提出していただき、質問やコメントを受け取る。その内容を、次の回の冒頭で紹介し、フィードバックをおこなう。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中に伝える。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 自分の問題関心にそって問いを立て、それを解くことができる力を身につけることも目指すため、社会を読み解く力と自分の問いを解く楽しさが得られる。また、社会を相対化する視点や、私たちがいま生きている時代や社会を分析する力が得られる。 【実務家教員担当科目】 該当なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	妙木 忍	ジェンダーとは何か	レジュメを復習する。ジェンダーの概念が理解できたかどうかを点検する。	4 時間
2	妙木 忍	家族とジェンダー	レジュメを復習する。近代家族の概念などについて理解できたかどうかを点検する。	4 時間
3	妙木 忍	労働とジェンダー	レジュメを復習する。配布プリントの中から、労働環境に関するデータを一つ選んで詳しく検討する。	4 時間
4	妙木 忍	法とジェンダー	レジュメを復習する。関心のある法律と一つ選んで考察する。	4 時間
5	妙木 忍	ユニバーサルデザインとジェンダー	レジュメを復習する。身近な事例を一つ取り上げて考察する。第 6 回で取り上げる東大祝辞（2019 年）を読んでくる（予習）。	4 時間
6	妙木 忍	東大祝辞（2019 年、上野千鶴子さん）を読む	ポイントを復習する。授業中に検討した内容をまとめること。	4 時間
7	妙木 忍	まとめ	これまでの学びをまとめる。	4 時間
教 科 書		指定しない。レジュメを配布する。		
参 考 書		授業中に適宜紹介する。		
備 考		特になし。		

科 目 名	政治学			担 当 者	王 元
科目ナンバリング	1050212239				常勤
D P	1,4			教員研究室	1324
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 人間は社会的動物である。政治は人間の社会的利害を調整するしくみである。人々が生活する社会における秩序を形成し、維持し、修正し、また時には破壊することを通じて実行される活動と手段である。 政治学は古代ギリシアに誕生して以来、長い歴史を刻んできた。しかし、政治行動の判断基準や結論には必ずしも法則性があるとはいえない。むしろ、政治を担う人の個性やイデオロギー、感情、さらには偶然性に左右される側面もある。総合的に知識や手法も駆使して最善の政策決定を促すところに、政治学の目的や妙味がある。 政治学の基礎知識と発想方法を解説する。政治学の面白さと大切さを伝え、政治現象一般を把握する視点を身に付けてもらうことがこの講義のねらいである。講義形式を基本とする。ただし適宜ビデオ教材を利用する。					
【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、質問を受け付け、回答します。					
【履修上の注意・予習・復習について】 私語及び携帯電話の使用禁止。 受け身にならず、自ら探究心を持つことが重要だ。 政治問題への関心を抱き、まず新聞を読む習慣を身に付けてほしい。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 政治現象を分析するための概念と手法を身につけ、各種の資格試験に必要な政治分野の基礎知識を学ぶことができる。					
【実務家教員担当科目】 該当なし					
【学習の到達目標】 近代社会の特徴、主たる政治思想の歴史、自由主義と民主主義の思想などについて基本的な知識を習得することをめざす。併せて政治現象への洞察力を高め、政治判断の能力を培いたい。					
【成績評価方法】 期末試験（60%）、課題提出や、発言・質問など（40%）。					

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	王 元	ガイダンス	政治とは何か 政治学とは何	4 時間	
2	王 元	国家統治と主権	主権概念の史的経緯 市民社会・国民国家の成立と政治的統合	4 時間	
3	王 元	権力、集権と分権	政治集権と中央・地方の権力関係 地方自治の意義・過疎と過密	4 時間	
4	王 元	政治参加	選挙の諸原則 代表制と選挙制度	4 時間	
5	王 元	官僚制	政治と行政 官僚制の概念と官僚制化	4 時間	
6	王 元	代表的な政治体制	議院内閣制、大統領制と党国体制 米国、英国、日本と中国などそれぞれの特徴	4 時間	
7	王 元	国際政治	国際政治と国内政治 グローバルゼッション	4 時間	
教 科 書		教科書は用いず、適宜プリントを配布する。			
参 考 書		堀江湛・岡沢憲夫編『現代政治学』（法学書院、2011）。			
備 考		日々の新聞を読み、国内と国際政治情勢の把握に努められたい。			

科 目 名		病原微生物学		担 当 者	小田切孝人	
科目ナンバリング		1050322244			常勤	
D	P	1,2		教 員 研 究 室	1319	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 病原微生物（細菌、ウイルス、真菌、原虫など）の基礎、感染症の病態と治療、医療関連感染対策と消毒、生体防御のメカニズムとワクチンによる予防などを学ぶ。 【学習の到達目標】 臨床現場で直面する感染症に対応できるように、病原体および感染症の実態と予防法の基礎知識を習得する。 【成績評価方法】 小テスト（20%）、定期試験（80%）により評価する。						【課題等のフィードバック方法】 前回の講義内容について確認の小テストを毎回実施し、解説する。これにより、授業内容の要点整理と知識の定着を図る。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・定期試験の受験資格は規定どおりとする。 ・出席は G. Classroom への出席登録（座席番号の確認）と小テストの提出で確定する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 感染症の病態を理解することで感染症への対応能力および医療関連感染（院内感染）や感染事故を未然に防ぐための基礎知識を習得できる。 【実務家教員担当科目】 世界保健機関および政府・厚生労働省の感染症対策の専門家としての経験から、感染症の制御、予防対策の最新知識を反映させた講義をする。また、ライフワークであるワクチンの開発研究で習得した知見を可能な限り講義に反映させる。
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	小田切孝人	履修ガイダンス	予習：不要		4 時間	
2	小田切孝人	微生物学入門、微生物学総論 1－細菌学総論	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
3	小田切孝人	微生物学総論 2－ウイルス学総論、原虫学総論、真菌学総論	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
4	小田切孝人	感染と感染症 1－感染機構、感染源、感染経路	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
5	小田切孝人	感染と感染症 2－臓器・組織ごとの感染症 1	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
6	小田切孝人	感染と感染症 3－臓器・組織ごとの感染症 2	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
7	小田切孝人	感染症の予防と対策 1－市中感染と医療関連感染、予防対策	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
8	小田切孝人	感染症の予防と対策 2－診断検査、滅菌、消毒	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
9	小田切孝人	感染に対する生体防御 1－免疫機構①、免疫異常	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
10	小田切孝人	感染に対する生体防御 2－免疫機構②	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
11	小田切孝人	感染に対する生体防御 3 ワクチン、免疫異常①	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
12	小田切孝人	感染に対する生体防御 4 免疫異常②	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
13	小田切孝人	細菌学各論－病原細菌と主な細菌感染症	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
14	小田切孝人	ウイルス学各論－病原ウイルスと主なウイルス感染症	教科書該当項目、前回と当日の講義資料の通読		4 時間	
教 科 書		感染制御の基本がわかる－微生物学・免疫学 著：増澤俊幸 羊土社				
参 考 書		別途紹介する				
備 考		復習を兼ねて前回の講義内容を授業の冒頭で小テストし、要点整理の一助とする。				

科 目 名		病態治療学Ⅱ		担 当 者	佐藤 秀隆	
科目ナンバリング		1050322246			常勤	
D	P	1,2		教員研究室	1316	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 循環器、内分泌、代謝、腎臓、血液の各領域の疾患ならびに感染症について学ぶ。						
【学習の到達目標】 各疾患の病態が理解が看護上必須である。看護の臨床現場で必要とされる病態の理解ができることを目標とする。						
【成績評価方法】 出席率 80% 以上で期末試験受験可能。30 点満点の課題テストを 2 回合計で 60 点、期末試験 40 点で 100 点満点とし、総得点 60 点以上を合格とする。						
【課題等のフィードバック方法】 別途説明する。小テストやレポートを課す予定。						
【履修上の注意・予習・復習について】 携帯使用、私語、飲食は禁止する。座席は前方から埋めること、後列にいて講義が聞き取れない場合は前に来ること。プリント配布は速やかに、授業内容にあたる項目の予習をしないでは理解困難です。受講後の速やかな復習を心がけること。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 臨床の現場で、ならびに国家試験合格に必要な知識を提供する。						
【実務家教員担当科目】 医師として臨床現場で他の医療職と共に診療に携わった経験と知識をもって当該科目を担当する。						

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	佐藤 秀隆	心臓の解剖と生理、心電図	心臓の解剖と生理学を復習すること。心房・心室・心臓弁・肺循環・大循環、特殊刺激刺激伝導系、心収縮期と拡張期、正常心電図	4 時間
2	佐藤 秀隆	虚血性心疾患	狭心症と心筋梗塞の項目を復習してくる。冠動脈の走行、冠動脈硬化症、狭心症の心電図、心筋梗塞の心電図、心筋逸脱酵素	4 時間
3	佐藤 秀隆	心臓弁膜症	心臓弁の解剖の復習、心音のでき方を予習してくる。大動脈圧波形・左室圧波形・左房圧波形、心音図、心電図、心音聴取部位	4 時間
4	佐藤 秀隆	心不全、ショック	右心不全と左心不全の病態ならびに症状の違いを予習してくる。左房圧負荷、左房容量負荷、肺うっ血、肺動脈圧上昇、肺性心、頸動脈拡張、浮腫	4 時間
5	佐藤 秀隆	呼吸器の解剖と生理、肺機能検査	呼吸器の解剖学と生理学を復習してくる。肺葉、肺区域、気管気管支走行、肺血管走行、肺泡と肺毛細血管、換気、拡散、肺循環、肺機能検査	4 時間
6	佐藤 秀隆	呼吸不全、閉塞性ならびに拘束性換気性障害	呼吸不全の定義、閉塞性換気障害と拘束性換気障害について予習をしてくる。閉塞性換気障害と高速性換気障害の定義、各々の代表疾患、死腔、拡散障害、換気血流比不均等、急性呼吸不全、慢性呼吸不全	4 時間
7	佐藤 秀隆	呼吸器感染症	肺炎について予習をしてくる。大葉性肺炎、気管支肺炎、非定型肺炎、肺炎の起因菌、グラム染色、誤嚥性肺炎、肺結核、インフルエンザ	4 時間
8	佐藤 秀隆	呼吸器腫瘍、呼吸器疾患と心不全	肺癌について予習をしてくる。肺癌の分類、肺門型肺癌と肺野型肺癌、タバコと肺癌、タバコと慢性閉塞性肺疾患、呼吸器疾患が原因の心不全（肺性心）	4 時間
9	佐藤 秀隆	糖尿病	糖尿病の定義、糖尿病の型、合併症について予習をしてくる。糖尿病の診断、1 型糖尿病と 2 型糖尿病、糖尿病性昏睡、糖尿病性網膜症・腎症・神経障害、低血糖	4 時間
10	佐藤 秀隆	高脂血症、メタボリック症候群	高脂血症の定義、動脈硬化について予習をしてくる。リポ蛋白質、高脂血症の定義、高脂血症 WHO 分類、動脈硬化症と虚血性心疾患・脳血管疾患	4 時間
11	佐藤 秀隆	腎臓の解剖と生理、ネフローゼ症候群	腎臓の解剖とネフロンについて調べてくる。ネフローゼ症候群の定義を予習してくる。腎臓の血管走行、ネフロンの構造、ネフロンの部位による機能、アルドステロン、抗利尿ホルモン、ネフローゼ症候群の定義	4 時間
12	佐藤 秀隆	糸球体腎炎、腎不全	急性および慢性糸球体腎炎、ならびに腎不全の予習をしてくる。急性糸球体腎炎、A 群β溶血性連鎖球菌、予後、慢性糸球体腎炎の原因・経過、急性腎障害と慢性腎疾患、血液透析	4 時間
13	佐藤 秀隆	赤血球疾患、白血球疾患	主な血液疾患について予習をしてくる。主な貧血、白血球疾患、白血病、悪性リンパ腫、凝固・線溶系など	4 時間
14	佐藤 秀隆	感染症分類・治療・予後	感染症分類について（教科書又は厚生省のサイトで）調べてくる。感染症分類ごとの主な疾患。感染症分類に基づいた対応方法	4 時間

教 科 書	なるほどなっとく！内科学（改訂第3 版（浅野嘉延編、南山堂）以前の版でも構いません。
参 考 書	生体機能学テキスト（吉岡利忠、内田勝男編、中央法規）
備 考	メディカルスタッフのための内科学第 4 版（伊藤進、森博愛編著、医学出版社）

科 目 名		病態治療学Ⅲ			担 当 者	○沼崎 宗夫・大浦 敏博	
科目ナンバリング		1050322247				常勤	
D P		1,2			教員研究室		3207
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次		2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 小児科領域の疾患および成人発症の消化器疾患の病態・症状・診断法・治療法					【課題等のフィードバック方法】 小テストを実施し、解説を行う 質問があれば随時対応する		
【学習の到達目標】 小児科領域の疾患および成人発症の消化器疾患の病態・症状・診断法・治療法が理解できる					【履修上の注意・予習・復習について】 授業内容に関連する高校の生物の教科書を参照するのが望ましい		
【成績評価方法】 試験 100%					【受講して得られる効果・メリット、その他】 小児科領域の疾患および成人発症の消化器疾患を理解できる		
					【実務家教員担当科目】 該当なし		
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	沼崎 宗夫	炎症性腸疾患	消化管の構造・炎症性腸疾患の病理・症状・診断法・治療法				4 時間
2	沼崎 宗夫	炎症性腸疾患	消化管の構造・炎症性腸疾患の病理・症状・診断法・治療法				4 時間
3	沼崎 宗夫	胃癌・大腸癌	胃癌および大腸癌の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
4	沼崎 宗夫	急性膵炎	膵臓の構造・急性膵炎の病理・症状・診断法・治療法				4 時間
5	沼崎 宗夫	膵臓癌	膵臓癌の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
6	沼崎 宗夫	急性ウイルス性肝炎・肝臓癌	肝臓の構造・急性ウイルス性肝炎および肝臓癌の病理・症状・診断法・治療法				4 時間
7	沼崎 宗夫	急性ウイルス性肝炎・肝臓癌	肝臓の構造・急性ウイルス性肝炎および肝臓癌の病理・症状・診断法・治療法				4 時間
8	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
9	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
10	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
11	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
12	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
13	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
14	大浦 敏博	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法	小児科領域の疾患の病態・症状・診断法・治療法				4 時間
教 科 書		プリントなど					
参 考 書		病気が見える消化器・病気が見える小児科					
備 考		なし					

科 目 名		病態治療学Ⅳ		担 当 者	○渡邊 隆夫・津田 丈秀 前川 翠・宮城 重人 赤松大二郎						
科目ナンバリング		1050322248			常勤						
D P		1,2		教員研究室	3214						
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・後期						
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位					
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし									
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない						
【授業内容】 中枢神経疾患、内科代表的疾患の病因・診断・治療、および血管疾患、移植医療について学ぶ。また、外科治療の必須手段であり手術における生体侵襲を緩和し医療安全を主として担う上麻酔学についても学ぶ。 【学習の到達目標】 中枢神経疾患、内科代表的疾患の病因・診断・治療、および血管疾患、移植医療について、診断方法、治療法および麻酔・移植医療に関する基本的な知識を修得する。 【成績評価方法】 期末試験 80%、講義課題 20% で評価する。						【課題等のフィードバック方法】 講義課題については原則 2 週間以内に解答例を示しフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 複数教官によるオムニバス形式授業になるため、各教官によって授業曜日、時限、教室が変更になることがあるので掲示板で確認すること。予習復習については、各教官から指示。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護過程を展開する上で必須の知識を習得することができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし					
授 業 計 画											
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間								
			予習・復習		学修時間						
1	津田 丈秀	脳神経疾患総論 1	脳神経疾患全般について予習・復習		4 時間						
2	津田 丈秀	脳神経疾患総論 2	脳神経疾患全般について予習・復習		4 時間						
3	渡邊 隆夫	頭頸部外傷	頭頸部外傷について予習・復習		4 時間						
4	渡邊 隆夫	外傷 2	外傷全般について予習・復習		4 時間						
5	渡邊 隆夫	消化器代謝疾患論 1	消化器疾患全般について予習・復習		4 時間						
6	渡邊 隆夫	消化器代謝疾患論 2	消化器疾患全般について予習・復習		4 時間						
7	渡邊 隆夫	消化器代謝疾患論 3	糖尿病について予習・復習		4 時間						
8	渡邊 隆夫	内分泌疾患論 1	内分泌疾患全般について予習・復習		4 時間						
9	渡邊 隆夫	内分泌疾患論 2、膠原病	内分泌疾患、膠原病全般について予習・復習		4 時間						
10	赤松大二郎	血管の疾患	血管の疾患について予習・復習		4 時間						
11	宮城 重人	移植医療	移植医療について予習・復習		4 時間						
12	前川 翠	麻酔 1	麻酔について予習・復習		4 時間						
13	前川 翠	麻酔 2	麻酔について予習・復習		4 時間						
14	前川 翠	麻酔 3	麻酔について予習・復習		4 時間						
教 科 書		病気がみえる vol.7 脳・神経（医療情報科学研究所編、第 1 版 ISBN978-4-89632-358-0） ＜系統看護学講座 別巻＞臨床外科看護総論、矢永勝彦編、医学書院、ISBN 978-4-260-01088-7									
参 考 書		系統看護学講座成人看護学（呼吸器、循環器、消化器、内分泌・代謝、アレルギー・膠原病・感染症、眼、耳鼻咽喉）、小児看護学（小児臨床看護学各論） 医学書院									
備 考		質問は各担当教員が、問い合わせは主担当教員が受け付ける。									

科 目 名		病態治療学 V		担 当 者	○沼崎 宗夫・山口 克宏 松原 雄・未定
科目ナンバリング		1050322249			常勤
D	P	1,2		教 員 研 究 室	3207
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 眼科疾患・産婦人科疾患・精神科疾患および皮膚科領域の疾患の病理・症状・診断法・治療法				【課題等のフィードバック方法】 小テストを実施して、解説する	
【学習の到達目標】 代表的な眼科疾患・産婦人科疾患・精神科疾患および皮膚科領域の疾患の病理・症状・診断法・治療法に関して、基本的な知識を習得する				【履修上の注意・予習・復習について】 講義の後に必ず復習をすること	
【成績評価方法】 試験 100%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師として必要な基礎的な医学的知識を習得できる	
【実務家教員担当科目】 該当なし					

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	松原 雄	女性性生殖器的の解剖	女性性生殖器的の解剖に関して	4 時間
2	松原 雄	正常妊娠と出産	正常妊娠と出産に関して	4 時間
3	松原 雄	女性生殖器癌	女性生殖器癌に関して	4 時間
4	宮城県性精神医療センター医師	気分障害	気分障害に関して	4 時間
5	宮城県性精神医療センター医師	心因性疾患	心因性疾患に関して	4 時間
6	宮城県性精神医療センター医師	統合失調症	統合失調症に関して	4 時間
7	宮城県性精神医療センター医師	統合失調症	統合失調症に関して	4 時間
8	沼崎 宗夫	アレルギー性皮膚疾患	アレルギー性皮膚疾患に関して	4 時間
9	沼崎 宗夫	感染性皮膚疾患	感染性皮膚疾患に関して	4 時間
10	沼崎 宗夫	皮膚の腫瘍	皮膚の腫瘍に関して	4 時間
11	山口 克宏	視覚器の解剖	視覚器の解剖に関して	4 時間
12	山口 克宏	視覚器の感染症	視覚器の感染症に関して	4 時間
13	山口 克宏	失明	失明に関して	4 時間
14	山口 克宏	視覚器の外傷	視覚器の外傷に関して	4 時間
教 科 書		プリントなど		
参 考 書		病気が見える皮膚科、病気が見える眼科、病気が見える精神科、病気が見える産婦人科		
備 考		なし		

科 目 名		薬理学		担 当 者	戸田 孝史	
科目ナンバリング		1050322250			常勤	
D P		1,2		教員研究室	1327	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 薬理学は臨床の場において適正な薬物治療を行ううえで重要な学問である。総論では薬物の吸収、分布、代謝、排泄等の基本的な知識および薬事関係の法令について理解する。また各論では各薬剤の性質、名称、作用メカニズム、および副作用を理解し、各疾患への薬剤の使用方法を学ぶ。 【学習の到達目標】 ・体内での薬物の動態（吸収、分布、代謝、排泄）について説明できる。 ・薬事関係の法令について説明できる。 ・各治療薬の名称（一般名、商品名）、作用メカニズム、副作用について説明できる。 【成績評価方法】 ふだんの授業への取り組みと定期試験により評価する。詳細は授業時に説明する。 【課題等のフィードバック方法】 ミニレポートや小テストなどについて、授業時に解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 定期試験の受験資格は規定どおりとするが、皆勤を目標とすること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師として臨床で必須の知識であるとともに、その理解は看護師資格の取得上重要である。 【実務家教員担当科目】 該当せず						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	戸田 孝史	ガイダンス、薬理学を学ぶ意義	予習：不要		4 時間	
2	戸田 孝史	薬理学総論（1）主作用と副作用、相互作用	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：不要		4 時間	
3	戸田 孝史	薬理学総論（2）吸収、分布、代謝、排泄	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
4	戸田 孝史	薬理学総論（3）薬事法令、薬品の管理	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
5	戸田 孝史	末梢神経系作用薬（自律神経刺激薬、遮断薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
6	戸田 孝史	中枢神経系作用薬（麻酔薬、鎮痛薬、向精神薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
7	戸田 孝史	循環器系作用薬（降圧薬、心臓作用薬、利尿薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
8	戸田 孝史	抗炎症薬（ステロイド、非ステロイド性抗炎症薬、抗ヒスタミン薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
9	戸田 孝史	呼吸器系作用薬（気管支拡張薬、鎮咳薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
10	戸田 孝史	消化器系作用薬（抗潰瘍薬、下剤）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
11	戸田 孝史	生殖系作用薬（前立腺肥大治療薬、受胎調節薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
12	戸田 孝史	抗感染症薬（抗生物質、抗ウイルス薬）	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
13	戸田 孝史	抗悪性腫瘍薬、免疫系作用薬	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
14	戸田 孝史	消毒薬	予習：教科書の指定範囲（授業内指示） 復習：前回の課題シートと小テスト		4 時間	
教 科 書		系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進 [3] 薬理学 第 14 版 著者：吉岡 充弘／泉 剛／井関 健／横式 尚司／菅原 満、医学書院				
参 考 書		特になし				
備 考		特になし				

科 目 名		救急医療論		担 当 者	○渡邊 隆夫・相澤 康弘	
科目ナンバリング		1050322251			常勤	
D P		1,3		教員研究室	3214	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 救急医療は、災害医療も含め、あらゆる状況下で臨機応変な対応が求められる、迅速な判断力と実践能力が求められる。救急時における看護の機能・役割について理解を深め、心肺蘇生法についてアメリカ心臓協会ガイドラインに基づいた理論と確かな技術が習得できるよう教授する。 また、臨床医療の現場に必要な外傷患者や脳血管障害患者の病態と治療について教授し、さらに臨床医療で日常使用する医療機器についても教授する。 【学習の到達目標】 救急時の看護、患者急変時の看護の基礎的知識、技術を理解する。災害時に活動するための基本知識を修得する。 【成績評価方法】 期末試験 80%、講義課題 20% で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 講義課題については原則 2 週間以内に解答例を示しフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 教科書で該当部分を予習しスライド内容と配布資料について復習すること。講義課題は 2 日以内に提出すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 救急疾患と救急医療の様々な局面での看護師としての取組みを学ぶことができ、緊急事態にも的確に行動できる基本的能力を培うことができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	渡邊 隆夫	中毒 1	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
2	渡邊 隆夫	中毒 2・体温異常	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
3	渡邊 隆夫	感染症	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
4	渡邊 隆夫	心不全・ショック 1	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
5	渡邊 隆夫	虚血性心疾患 1	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
6	渡邊 隆夫	虚血性心疾患 2、心肺蘇生法	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
7	渡邊 隆夫	心臓弁膜症	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
8	渡邊 隆夫	災害医療	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
9	相澤 康弘	医療器機 1	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
10	相澤 康弘	医療器機 2	教科書の該当箇所について予習し、授業で学んだ事項について復習すること。			4 時間
教 科 書		「メディカルスタッフのための救急医学」、渡邊隆夫編、医学出版社 ISBN 978-4-87055-126-8				
参 考 書		別途指示する。				
備 考		本授業に関する問い合わせや質問は渡邊隆夫が受けつける。				

科 目 名		臨床心理学		担 当 者	北川 公路
科目ナンバリング		1050322252			常勤
D	P	1,2		教員研究室	3204
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式					必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 日本の社会的構造の変化に伴い、子どもから高齢者に至る各々の年齢層において、様々な問題が発生しており、臨床心理学に対する関心・期待も高まってきている。そこで本講義では、臨床心理学の歴史背景を踏まえた上で、臨床心理学とは何か、果たすべき課題は何か、どのような貢献ができるかなどについて説明する。また、医療領域において支援を必要とする人々について理解し、適切な支援のための知識について説明する。 【学習の到達目標】 保健医療領域において支援を必要とする人々について理解し、適切な支援の為の知識と実践力を修得する。 【成績評価方法】 定期試験（70%）講義内のグループワーク・個別活動（30%）による総合評価。		【課題等のフィードバック方法】 講義ごとにリアクションペーパーの記載を求めている。次の講義にその提出物を返却をする。質問が記載されていた場合は、次の講義時に受講生全員に対して質問の紹介、回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 【復習】1 年次に「心理学」を履修した学生は、1 年次に使用した教科書・ノートも併用して勉強すること。また、アセスメントの授業時は各専攻の評価学で学ぶものと重なるところが多いため知識を繋げること。 【遅刻】 原則として遅刻は認めない。 【受講態度】 机上には、筆記用具・臨床心理学の教科書とノートのみをおき、他科目の勉強はしないこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師の業務をする上で、心理学・臨床心理学の知識をいかすことができることが多くある。とくに精神看護においては重要な知識のひとつを学べることになると考える。 【実務家教員担当科目】 公認心理師が当該科目を担当する。			
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間	
				予習・復習	学修時間
1	北川 公路	医療と臨床心理学		【予習】教科書第 1 章を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
2	北川 公路	心理アセスメント（1）面接・観察		【予習】教科書第 4 章の 1 を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
3	北川 公路	心理アセスメント（2）質問形式の心理検査		【予習】教科書第 4 章 3 の質問紙法を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
4	北川 公路	心理アセスメント（3）作業形式の心理検査		【予習】教科書第 4 章 5 の作業検査法を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
5	北川 公路	心理アセスメント（4）投影法の心理検査		【予習】教科書第 4 章 4 の投影法を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
6	北川 公路	心理アセスメント（5）知能検査		【予習】教科書第 4 章 2 の知能検査を通読する 【復習】教科書とノートを用いて振り返る	4 時間
7	北川 公路	発達臨床心理学		【予習】教科書第 3 章 3 の発達理論を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
8	北川 公路	心理療法の理論と実際（1）精神分析		【予習】教科書第 3 章 1・2 と第 5 章 2 の 1）を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
9	北川 公路	心理療法の理論と実際（2）行動療法		【予習】教科書第 5 章 2 の 2）を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
10	北川 公路	心理療法の理論と実際（3）認知行動療法		【予習】第 9 回目で配布する資料を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
11	北川 公路	心理療法の理論と実際（4）来談者中心療法		【予習】教科書第 5 章 2 の 3）を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
12	北川 公路	心理療法の理論と実際（5）その他の心理療法		【予習】教科書第 5 章 2 の 4）と 5）を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
13	北川 公路	心理療法の理論と実際（6）その他の心理療法		【予習】教科書第 5 章 4 を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
14	北川 公路	障害の適応と受容		【予習】第 13 回目で配布する資料を通読する。 【復習】教科書とノートを用いて振り返る。	4 時間
教 科 書		こころのケア - 臨床心理学的アプローチ - 池田勝昭・目黒達哉 共著 学術図書出版社			
参 考 書		講義の中で適宜、紹介する。			
備 考		なし。			

科 目 名		社会保障・福祉論			担 当 者	森田慎二郎
科目ナンバリング		1050322254				常勤
D P		1,2			教員研究室	3305
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 看護師国家試験に出題される社会保障制度に関する問題を解けるようにすることを目標に、医療・介護・福祉など看護師が実務で関連する仕組みを中心に講義する。 【学習の到達目標】 日本の社会保障・福祉制度を理解して、国家試験の関連問題を解けるようになること。 【成績評価方法】 定期試験 100% ほぼ毎回、国家試験過去問テストを行うが、自分の理解度を確認するためのもので、成績評価には加えない。 【課題等のフィードバック方法】 出席カード（ミニツペーパー）により質問を受け付け、次の授業で回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 私語禁止 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師国家試験の合格に近づける。 【実務家教員担当科目】						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	森田慎二郎	社会保障制度の概要	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
2	森田慎二郎	医療保険制度の概要	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
3	森田慎二郎	国民健康保険と健康保険	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
4	森田慎二郎	近年の医療制度改革①	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
5	森田慎二郎	近年の医療制度改革②	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
6	森田慎二郎	介護保険の概要	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
7	森田慎二郎	要介護認定とケアマネジメント	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
8	森田慎二郎	介護保険のサービス内容	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
9	森田慎二郎	地域包括ケアシステム	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
10	森田慎二郎	雇用保険と労災保険	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
11	森田慎二郎	年金制度	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
12	森田慎二郎	公的扶助（生活保護）	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
13	森田慎二郎	障害者福祉	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
14	森田慎二郎	児童福祉・全体のまとめ	教科書を予習することが望ましい。 配布資料を復習することが望ましい。			4 時間
教 科 書		系統看護学講座・福田素生編『社会保障・社会福祉』（医学書院）				
参 考 書		授業中に紹介する。				
備 考		特になし				

科 目 名		医療経済論		担 当 者	吉田 裕人	
科目ナンバリング		1050322255			常勤	
D P		1,2		教員研究室		1201
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 医療経済学的な考えを通じて、今日の我が国が抱える医療・介護保険制度の課題などを理解することを目的とする。 内容的には、ミクロ経済学の視点から他の財・サービスとは異なる医療サービスの特徴について学習し、日本の医療費や医療保険制度について理解を深める。さらには日本で 2000 年代に入って行われてきた医療制度改革がもたらした現状を整理し、その課題について検討する。 【学習の到達目標】 医療を考えるにあたっての基本的な経済学の知識を習得し、日本の医療保険制度の機能と役割を理解する。 【成績評価方法】 小テスト 50% レポート 40% 受講態度など 10% 【課題等のフィードバック方法】 小テストの解説を次の授業で行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 医療なしでは人の生活は成立しない。暮らしに密着した社会保障制度などに関心を持つ。そういった姿勢を本講義を通じて身につけてもらい、興味・関心が広がっていくことを期待する。 講義中には、予習・復習がなされているか質問をする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 基本的な経済学を通じて医療という身近な存在の役割を理解することができる。また、保健・医療・福祉に共通した知識（医療保険制度）を詳しく学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 該当なし						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	吉田 裕人	医療サービスの特徴	医療サービスは通常のサービスとどう異なるかを事前に調べておく。			4 時間
2	吉田 裕人	情報の非対称性がある場合の社会的厚生 の損失	消費者余剰・生産者余剰、情報の非対称性などの語句を事前に調べておく。			4 時間
3	吉田 裕人	医療問題の構造	RCT、社会保険の必要性などについて事前に調べておく。			4 時間
4	吉田 裕人	日本の高齢化の現状と社会保障	小さな政府・大きな政府、国民負担率などの語句を事前に調べておく。			4 時間
5	吉田 裕人	日本の高齢者の健康と介護保険	高齢者の健康長寿の要因などを事前に考えておく。			4 時間
6	吉田 裕人	日本の医療制度とその課題	応能負担・応益負担などの語句を事前に調べておく。			4 時間
7	吉田 裕人	医療サービスの需要について	需要の価格弾力性についてなどを調べておく。			4 時間
教 科 書		未定				
参 考 書		国民衛生の動向（最新版） 編集・発行：一般財団法人 厚生労働統計協会				
備 考		特になし。				

科 目 名		カウンセリング		担 当 者	北川 公路	
科目ナンバリング		1050322256			常勤	
D P		1,2		教員研究室		3204
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 カウンセリングとは、心理学的な専門援助過程である。その基盤として、臨床心理学、発達心理学などの理論や知識が必要である。カウンセリングの定義、カウンセリングの現状とその問題についての総論について講義、および、カウンセリング技法の実習を行う。						
【学習の到達目標】 カウンセリングの理念・技法を修得する。						
【成績評価方法】 講義内の取り組み（30%）中間テスト（40%）レポート（30%）による評価。 【講義内の取り組み】 講義にて実習、机上応答訓練、スキルアップの為の自宅での取り組みを提出してもらい、提出物を評価対象とする。 【中間テスト】 講義7回をもとに知識の確認テスト行う。 【レポート】 本講義のまとめの課題とする。						
【課題等のフィードバック方法】 講義では実習をするため、その実習に関するこの記載を求め提出することを求める。提出物は次の講義で返却をし、質問など記載されている場合は受講生全員に紹介し回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 【予習・復習】 復習することに時間を費やしてもらいたい。日常生活の中にもカウンセリングの技法をいかすことができるため、生活の中に取り入れやすいように講義時に、随時、説明していく。 【受講態度】 他の科目への対応が忙しくなることがあるようだが、当該科目の時間中は専念すること。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 受講することによりコミュニケーション能力をあげることに、は、ならないかもしれないが、他者の話をきいたり、みたり、するということはどういうことなのか、理解することができる。						
【実務家教員担当科目】 公認心理師が当該科目を担当する。						

授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	北川 公路	カウンセリングとはなにか？	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
2	北川 公路	カウンセラーとは	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
3	北川 公路	プロセスとしてのカウンセリング	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
4	北川 公路	プロセスとしてのカウンセリング	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
5	北川 公路	カウンセリングの理論	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
6	北川 公路	カウンセリングの理論	【予習】 心理学に関連する知識を整理する。 【復習】 教科書とノートもとに振り返る。		4 時間
7	北川 公路	マイクロカウンセリング (1) かかわり行動	【予習】 6 回の授業を総復習する。 【復習】 教科書とノート、実習を通して得たことを振り返る。		4 時間
8	北川 公路	マイクロカウンセリング (2) 質問技法	【予習】 かかわり行動について振り返る。 【復習】 7 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
9	北川 公路	マイクロカウンセリング (3) 質問技法	【予習】 質問技法について振り返る。 【復習】 8 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
10	北川 公路	マイクロカウンセリング (4) 質問技法	【予習】 質問技法について振り返る。 【復習】 9 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
11	北川 公路	マイクロカウンセリング (5) はげまし	【予習】 質問技法について振り返る。 【復習】 10 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
12	北川 公路	マイクロカウンセリング (6) いいかえ	【予習】 はげましについて振り返る。 【復習】 11 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
13	北川 公路	マイクロカウンセリング (7) 感情の反映	【予習】 いいかえについて振り返る。 【復習】 12 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
14	北川 公路	机上応答：プロセスレコード	【予習】 感情の反映について振り返る。 【復習】 13 回目の授業時に提出したものを返却するので、それをもとに振り返る。		4 時間
教 科 書		新版 カウンセリング心理学 渡辺三枝子 著 ナカニシヤ出版			
参 考 書		随時、紹介する。			
備 考		なし。			

科 目 名		疫 学		担 当 者	山 本 玲 子	
科目ナンバリング		1050322258			非常勤	
D P		1,2		教員研究室	非常勤講師室	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・ 前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 疫学の基本的概念と方法を学習し、疫学的な原因追及の考え方・進め方を習得するとともに、EBM（科学的根拠に基づいた医療）の基礎を理解する。				【課題等のフィードバック方法】 講義中の小テストなどのフィードバックは、その都度、または、次の講義にて行う。		
【学習の到達目標】 ①疫学指標の意義を理解し、使いこなせる。 ②目的・状況に合わせて記述疫学と分析疫学および観察研究と介入研究など適切な疫学研究のデザインを提案できる。 ③相関関係と因果関係を区別し、バイアス、交絡なども含めた因果関係の立証過程について、例を用いて説明できる。 ④スクリーニングの目的と考え方・評価の意味を理解できる。 ⑤疫学的視点から、保健・医療・看護分野における課題について、例を挙げて指摘できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 随時、小テストまたは課題を課す。特に、復習および文献検索や簡易調査への備えを重点的に。		
【成績評価方法】 授業内での課題 50%、確認問題 50%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域や集団内での健康や疾病の課題に向き合い、事実の的確な判断・問題抽出・創造的解決能力を育むことにより、特に〈問題解決力〉と〈看護の専門性を探究する力〉を養える。		
【実務家教員担当科目】 疫学の手法を用いた調査・研究・教育経験のある教員が、その経験を活かして授業を行う。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	山本 玲子	「疫学」 ～何について、どう学ぶのか	予習：教科書「第1章A」確認 復習：配布資料で疫学の概要・令和5年国家試験出題基準など確認すること。			4 時間
2	山本 玲子	疫学の視点：流行・観察・論理、疫学三要素（時間・場所・人）と原因究明の考え方	予習：教科書「第1章B」；国民衛生の動向「第3篇3章感染症対策」確認。 復習：教科書と配布資料から、アウトブレイク時の疫学調査例などで疫学の視点を説明できるようにする。			4 時間
3	山本 玲子	疾病の量的把握：有病率と関連指標、疾病発生と罹患率、累積罹患率 年既知統計関連情報・知識の確認と活用：保健統計調査、診療関連データベース	予習：教科書「第2章集団の健康状態の把握、第5章疾病登録」；国民衛生の動向「統計表、付録」確認 復習：配布資料・教科書内容を確認し、まとめる。			4 時間
4	山本 玲子	疫学研究の手順	予習：教科書「第7章疫学と公衆衛生看護」に目を通し、自分ならどういう健康課題を取り上げたいか考えておく。 復習：配布資料から疫学研究を行う際の手順をまとめる。			4 時間
5	山本 玲子	因果関係の考え方： 病原体発見の考え方（コッホの原則）、因果の綾、Hill の条件	予習：教科書「第3章疫学的研究方法A 因果関係の立証」に目を通す。 復習：疾病と病因に関する因果関係の例をまとめる。			4 時間
6	山本 玲子	相関と因果の違い：相関と交絡・バイアス 推定と検定の意味：母集団のばらつき特性、帰無仮説と P 値	予習：教科書「第2章B 暴露効果の指標、第3章B 対象集団の選定・D 誤差・E 偏り・F 交絡因子と制御方法」確認 復習：相関と因果の違いを例により理解する。			4 時間
7	山本 玲子	疫学研究デザイン：分類と種類 記述疫学：健康課題発見の出発点	予習：教科書「第3章C 研究デザイン（研究方法）、C-1-a 記述研究」確認 復習：事例を挙げて説明できるようにする。			4 時間
8	山本 玲子	生態学的研究：地図とグラフ、生態学的錯誤 横断研究：クロス集計・仮説の確認	予習：教科書「第3章C 研究デザイン（研究方法）1- b 生態学的研究・c 横断研究」確認。 復習：調査の特徴をまとめ、オッズ比計算に取り組む。			4 時間
9	山本 玲子	コホート研究：ベースライン調、曝露群と非曝露群の設定、追跡人数と追跡期間	予習：教科書「第3章C 研究デザイン（研究方法）-1- d コホート研究」確認。 復習：報告事例で相対危険度、寄与危険度などの指標を計算。			4 時間
10	山本 玲子	症例対照研究：手順、症例群と対照群のマッチング、過去の曝露情報収集	予習：教科書「第3章C 研究デザイン（研究方法）-1-e 症例対照研究」確認。 復習：調査の特徴・事例を調べ、オッズ比計算を試みる。			4 時間
11	山本 玲子	介入研究：仮説設定と介入群と対照群、一重盲検法、二重盲検法、インフォームド・コンセント/アセント	予習：教科書「第3章C 研究デザイン（研究方法）-2 介入研究・G 研究における倫理」を見ておく。 復習：配布資料・教科書のキーワードをまとめる。			4 時間
12	山本 玲子	スクリーニング：目的・要件・評価；カットオフポイント、感度・特異度・ROC 曲線の考え方	予習：教科書「第4章疾病の予防とスクリーニング」確認。新型コロナウイルスの抗原検査の精度について調べる。 復習：スクリーニングの計算問題を解けるようにする。			4 時間
13	山本 玲子	主要疾患・領域別疫学：頻度・分布・年次推移 疫学研究とエビデンスレベル：系統的レビューとメタアナリシス、質的研究	予習：教科書「第6章主な疾患・生活習慣の疫学、第3章C-3・4」；国民衛生の動向「第1、3、8～10編」確認。 復習：他の教科で学んだ疫学関連事項を配布資料も参考に再確認する。			4 時間
14	山本 玲子	国家試験対策問題（確認問題）	予習：教科書「付録 国家試験対策の手引き」；国民衛生の動向「マッピング」、これまで配布した資料に目を通す。復習：確実に解けるようにする。			4 時間
教 科 書		牧本清子ら編「標準保健師講座4 疫学・保健統計学」医学書院 小田清一ら編著「厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向 2024/2025」厚生労働統計協会				
参 考 書		日本疫学会 監修「はじめて学ぶやさしい疫学 第4版」南江堂 他				
備 考		疫学では、適切な計算方法を選び、適切な指標を得、その数値の意味を的確に評価することが求められます。そのためには、論理的に考え、表現する国語力が大切です。近くのグループや友人同士で議論して論理的思考・表現力を高めましょう。				

科 目 名	保健統計学			担 当 者	西澤 哲
科目ナンバリング	1050322259				常勤
D P	1,2			教員研究室	3212
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 疫学的データの解析手法で用いられる統計学的モデルを紹介しその解析手法を講義する				【課題等のフィードバック方法】 授業で行う練習問題の解答	
【学習の到達目標】 ① 正しい検証モデルを立てる能力 ② そのモデルを統計学的に解析する手法を選択する能力				【履修上の注意・予習・復習について】 本講義は積み重ねを重要視する。したがって復習を十分に行うこと	
【成績評価方法】 期末テスト				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ① 正しい検証モデルを立てる能力を得る ② そのモデルを統計学的に解析する手法を選択する能力を得る	
				【実務家教員担当科目】 該当なし	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	西澤	保健統計学について	保健師国家試験における統計学の出題傾向と、本講義の関係の復習		4 時間
2	西澤	1 年次の復習 1：データ尺度の再確認	データ尺度についての復習		4 時間
3	西澤	1 年次の復習 2：代表値と分布の再確認	代表値と分布についての復習		4 時間
4	西澤	1 年時の復習 3：対応のあるデータと対応のないデータの再確認	対応のありなしについての復習		4 時間
5	西澤	1 年時の復習 4：検定の考え方についての再確認	検定の考え方についての復習		4 時間
6	西澤	1 年次の復習 5：t 検定の手法についての再確認	t 検定の手法についての復習		4 時間
7	西澤	正規分布	正規分布の特徴、偏差の概念についての復習		4 時間
8	西澤	様々な分布	各分布の意味を復習する		4 時間
9	西澤	検定 1：分散分析の理解	分散分析についての復習		4 時間
10	西澤	検定 2：ノンパラメトリックデータの差の検定についての理解	ノンパラメトリックデータの差の検定の種類についての復習		4 時間
11	西澤	検定 3：回帰分析についての理解	重回帰分析、ロジスティック回帰分析、独立性の検定についての復習		4 時間
12	西澤	検定 4：その他の検定についての理解	ポワソン分布による検定・マクネマーの検定の復習		4 時間
13	西澤	信頼性と妥当性	信頼性と 3 つの妥当性についての復習		4 時間
14	西澤	総合演習：テスト形式で第 2 ～ 14 回の演習問題を行う	あらかじめ、2 ～ 13 回を復習しておくこと		4 時間
教 科 書		とくになし			
参 考 書		必要に応じて授業中に紹介する			
備 考		とくになし			

科 目 名	看護学概論Ⅱ			担 当 者	庄子 幸恵
科目ナンバリング	1050422261				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	5203
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15時間	単 位	必修 1単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 1. 科学的な根拠と理論に基づいて看護を思考するための看護理論を学習する。 2. 看護理論、看護実践に基づく看護観を構築する基礎を学習する。 【学習の到達目標】 1. 看護理論を理解できる。 2. 学んだ看護理論を用いて現時点での看護観を構築できる。 【成績評価方法】 レポート 100%				【課題等のフィードバック方法】 授業中に指示する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 授業内容はその日のうちに復習を行うこと。 2. 教科書をよく読み、予習、復習をすること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 看護理論を学習することで、対象である人間、健康、環境、看護について理解できる。 2. 自己の看護観構築の参考になる。 【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、臨床経験、看護教育経験のある教員が授業を担当する。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	庄子 幸恵	授業ガイダンス ナイチンゲールの看護理論	ナイチンゲールの看護理論について、復習しておくこと		4時間
2	庄子 幸恵	ヘンダーソン、ウイーデンバックの看護理論	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
3	庄子 幸恵	アブデラ・トラベルビーの看護理論	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
4	庄子 幸恵	ロイ、オーランド、ペプロウの看護理論	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
5	庄子 幸恵	オレム、ロジャーズ、ベナーの看護理論	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
6	庄子 幸恵	マーガレットニューマン、キング、レイニンガー、ホルの看護理論	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
7	庄子 幸恵	パرسی、ベティニューマン、ワトソン、ゴードンの看護理論 授業のまとめ	本日学んだ看護理論について、復習しておくこと		4時間
教 科 書		1. 城ヶ崎初子 編著：実践に生かす看護理論 19 サイオ出版 2. フローレンス・ナイチンゲール：看護覚え書き 現代社 3. ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会			
参 考 書		1. フローレンス・ナイチンゲール：看護覚え書き 現代社 2. ヴァージニア・ヘンダーソン：看護の基本となるもの 日本看護協会出版会			
備 考		授業の質問については科目責任者まで、メールで質問してください。			

科 目 名		看護技術論Ⅲ		担 当 者	○庄子 幸恵・加賀谷 豊 堂浦 克美・宮下 真子 堀内 輝子
科目ナンバリング		1050432264			常勤
D	P	1,3		教員研究室	5203
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし			
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 授業におけるヘルスアセスメントとして、フィジカルアセスメントを修得する。具体的には、問診、視診、触診、聴診の基本的な手技及び系統別フィジカルアセスメントの実践について学ぶ。授業は講義及び実技演習（グループワークを含む）で構成し、学生同士ならびにシミュレーション教材を活用した学修を通して、対象を全人的にアセスメントできる基礎的能力を養うことを目的とする。		【課題等のフィードバック方法】 筆記・実技試験のフィードバックは、各担当教員が行う。			
【学習の到達目標】 1. ヘルスアセスメントの意義を理解し、説明できる。 2. フィジカルアセスメントの意義と知識・技術を理解し、説明できる。 3. フィジカルイクザミネーションの基礎的な知識・技術を理解し、安全・安楽に実施できる。 4. 看護の対象に関心を持ち、対象の状態に応じたフィジカルアセスメントを行うことができる。		【履修上の注意・予習・復習について】 遅刻・早退は授業開始の 20 分までとし、正当な理由なく、2 回、遅刻早退した場合は 1 回の欠席とみなす。授業中のスマートフォンでの通話や私語は禁止			
【成績評価方法】 原則として、実技試験 50%、筆記試験 50% により総合的に評価する。		【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護学におけるヘルスアセスメントのうち、対象の身体機能を評価できる能力が身につく			
【実務家教員担当科目】 医師、看護師の国家資格を有し、医療機関における医療、看護の専門的な実務経験及び教育経験のある教員が担当し、授業内容に則した専門的な知識・技術を修得する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間	
				予習・復習	学修時間
1	庄子 幸恵	【講義】授業ガイダンス、フィジカルアセスメント総論		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
2	加賀谷 豊	【講義】呼吸器系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
3	加賀谷 豊	【講義】循環器系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
4	堂浦 克美	【講義】消化器系・腹部のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
5	堂浦 克美	【講義】脳・神経系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
6	堂浦 克美	【講義】筋・骨格系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
7	庄子 幸恵	【知識確認テスト】フィジカルアセスメント知識の確認		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
8	庄子 幸恵、加賀谷 豊、宮下 真子、堀内 輝子	【演習】バイタルサインのアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
9	庄子 幸恵、加賀谷 豊、宮下 真子、堀内 輝子	【演習】呼吸器系・循環器系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
10	庄子 幸恵、加賀谷 豊、堂浦 克美、宮下 真子、堀内 輝子	【演習】消化器系・腹部のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
11	庄子 幸恵、加賀谷 豊、堂浦 克美、宮下 真子、堀内 輝子	【演習】脳神経系・筋・骨格系のアセスメント		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
12	庄子 幸恵、加賀谷 豊、宮下 真子、堀内 輝子	【演習】対象者へのフィジカルアセスメントの実践		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
13	庄子 幸恵、加賀谷 豊、堂浦 克美、宮下 真子、堀内 輝子	【実技試験】対象者へのフィジカルアセスメントの実践と確認		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
14	庄子 幸恵	【講義・演習】フィジカルアセスメントの授業のまとめ		【予習・復習】本日学んだフィジカルアセスメントの内容について、予習・復習をしておくこと。	1 時間
教 科 書		横山美樹 はじめてのフィジカルアセスメント 第2版 メヂカルフレンド社			
参 考 書		看護がみえる vol3 フィジカルアセスメント メディックメディア			
備 考		演習に必要な物品：本学指定のユニフォーム及びシューズ、聴診器、秒針付き腕時計等			

科 目 名		看護技術論 IV		担 当 者	○庄子 幸恵・宮下 真子 堀内 輝子	
科目ナンバリング		1050432265			常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室		5203
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 1. 看護を系統立てて、実践していくための方法である看護過程を学習する。 2. 看護過程の5つの段階の展開方法を習得する。 3. 事例を用いて基礎的な看護過程を展開できる。 【学習の到達目標】 1. 看護過程の5つの段階（アセスメント、看護診断、看護計画、実施、評価）について、理解できる。 2. 事例を用いて看護過程を展開する。 【成績評価方法】 個人レポート（60%）、事例発表（40%）				【課題等のフィードバック方法】 授業中に指示する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. グループワークは積極的に参加すること。 2. レポート等の提出日の期限は厳守すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 臨地実習や看護実践に必要な看護過程の基礎について、理解することができる。 2. 臨地実習の際に学生自らが看護計画を立案、実施、評価するために必要な思考力を得ることができる。 【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、臨床経験、看護教育経験のある教員が授業を担当する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	庄子 幸恵	授業ガイダンス・情報収集について	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
2	庄子 幸恵	アセスメント 1	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
3	庄子 幸恵	アセスメント 2（分析・解釈）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
4	庄子 幸恵	看護診断・関連図の作成	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
5	庄子 幸恵	看護計画	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
6	庄子 幸恵	実施・評価	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
7	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 1（アセスメント）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
8	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 2（関連図作成）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
9	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 3（看護計画立案）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
10	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 4（看護計画の実施準備）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
11	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 5（事例発表）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
12	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 6（事例発表）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
13	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 7（事例発表）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
14	庄子 幸恵、 宮下 真子、 堀内 輝子	事例検討 8（授業の振り返りと看護計画の評価を行う。）	今日、授業で学んだことの復習を行っておくこと。			1 時間
教 科 書		三上 れつ著：実践に役立つ看護過程と看護診断 ヌーベルヒロカリ				
参 考 書		看護がみえる vol4 看護過程の展開 メディックメディア				
備 考		授業で質問がある場合は、科目責任者にメールで質問をお願いします。				

科 目 名	基礎看護学実習Ⅰ			担 当 者	○庄子 幸恵・宮下 真子 堀内 輝子
科目ナンバリング	1050442266				
D P	2,3			教員研究室	5203
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期
授 業 形 式	実習	授 業 時 間	45 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 1. 基礎看護学で学習した看護の知識や技術を用いて看護活動の実際と看護を考える。 2. 地域、病院という医療、看護活動の場を理解する。				【課題等のフィードバック方法】 実習中に指示する。	
【学習の到達目標】 1. 病院における看護活動の場を見学し、看護の役割について理解する。 2. 看護師の実践する看護場面を見学し、看護の役割について理解する。 3. 地域で看護活動を行っている施設、危険個所を調べてマップを作成することができる。 4. 対象者の尊厳を重んじ、看護学生として責任ある行動を取ることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 臨地実習要項（専門科目 基礎看護学、共通要項）を熟読し、実習に臨むこと。 2. 毎日実習内容を記録し、翌日の実習計画を立て、自主的に実習を行うこと。 3. 健康に注意して実習に臨むこと。	
【成績評価方法】 「基礎看護実習Ⅰ実習評価表」に基づき、実習レポート及び実習態度について評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 医療の場で実際の患者の状態や看護師の働きを見学し、また看護の場を調べることで、患者や看護師、医療施設を理解することができる。 2. 看護師としての態度や今後の学習意欲の向上が期待できる。 3. 実習により、自分の看護観を育成する一助となる。	
				【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、臨床経験、看護教育経験のある教員が担当する。	
授 業 計 画					
1. 学内実習オリエンテーション、実習で行う日常生活の援助技術、診療の補助技術演習 2. A：病院実習、病院と病棟見学、看護活動の見学 B：地域の看護活動の場を調べて MAP を作成する。 3. A：病院実習、病院と病棟見学、看護活動の見学 B：地域の看護活動の場を調べて MAP を作成する。 4. A：地域の看護活動の場を調べて MAP を作成する。B：病院実習、病院と病棟見学、看護活動の見学 5. A：地域の看護活動の場を調べて MAP を作成する。B：病院実習、病院と病棟見学、看護活動の見学 6. 学内カンファレンス、実習成果報告会、実習レポート作成					

科 目 名		基礎看護学実習Ⅱ		担 当 者	○庄子 幸恵・宮下 真子 堀内 輝子	
科目ナンバリング		1050442267			常勤	
D P		2,3		教 員 研 究 室	5203	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 1. 患者を受け持ち、看護理論及び看護過程ををふまえ、患者の日常生活援助を安全、安楽に行う。 2. 日常生活援助を通して看護観を明らかにし、看護専門職としての態度を学修する。 【学習の到達目標】 1. 患者を受け持ち、コミュニケーションを通して患者との関係を築くことができる。 2. 受け持ち患者の看護過程を展開することができる。 3. 看護学生としてふさわしい態度・行動ができる。 【成績評価方法】 「基礎看護実習Ⅱ実習評価表」に基づき、臨地実習指導者及び実習担当教員が実習レポートと実習態度について評価を行う。 【課題等のフィードバック方法】 演習中に指示する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 原則として、欠席や遅刻は厳禁とする。 2. 健康に留意し、やむを得ず欠席や遅刻をする場合は、実習担当教員に必ず連絡すること。 3. 毎日実習内容を記録し、翌日の行動計画を立て、自律した実習をおこなうこと。 4. 患者の個人情報の取り扱いについては、臨地実習要項を参照すること。 5. 看護援助を行う際は、実習指導者、実習担当教員の指示に従い、患者に対してインフォームドコンセント、安全、安楽に留意して実施すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 実習指導者、実習担当教員の指導の下に患者を受け持ち、既習の知識や技術を用いて受け持ち患者と関わり、看護を考えることができる。 2. 自分の看護技術や思考力、コミュニケーション能力等の課題を見つけ、学習へ繋げることができる。 3. 実習体験を通して、自ら学び、相談する姿勢を獲得し、問題解決に向けて行動できる。 【実務家教員担当科目】 看護師の免許を有し、実務経験が豊富な教員が担当している。						
授 業 計 画						
1. 基礎看護実習Ⅱ実習オリエンテーション、事前学内演習 2. 病院実習：病棟オリエンテーション・受け持ち患者の決定 3. 病院実習：受け持ち患者の日常生活援助技術の実践、情報収集、アセスメント 4. 病院実習：看護診断、関連図の作成 5. 病院実習：受け持ち患者の日常生活援助技術の実践、中間カンファレンスの実施 6. 学内カンファレンス：看護計画の立案 7. 病院実習：受け持ち患者の看護一看護計画の実施ー 8. 病院実習：受け持ち患者の看護一看護計画の実施ー 9. 病院実習：最終カンファレンスー看護計画の実施・評価ー 10. 学内カンファレンス：実習のまとめ・レポート作成						
教 科 書		臨地実習要項 基礎看護学 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 医学書院				
参 考 書		病態治療学、成人看護学領域科目で使用した教科書				
備 考		学生は、自主的、積極的に実習に参加すること。				

科 目 名		地域・在宅看護学概論			担 当 者	○作山美智子・傍島 智子	
科目ナンバリング		1050422268				常勤	
D P		1,4			教員研究室		5205
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次		2 年次・後期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 地域包括ケアシステムの一翼を担う看護職には、暮らし（生活）と健康の両方の視点をもって、個から地域包括ケアシステム全体を視野に入れたケアを展開する要としての役割が期待されている。多様な場で展開される地域・在宅看護の概念、それを支える社会資源について学ぶ。対象者の家族を理解し、パートナーシップを基盤とした支援について学修する。 【学習の到達目標】 1. 地域・暮らしを理解し、地域性と暮らしが健康に与える影響を理解する 2. 看護活動の場の多様化と様々な健康レベルへの支援（予防、健康・療養支援）を理解する 3. 社会資源と多職種協働（共助・公助）の活用について理解する。 【成績評価方法】 課題レポート、小テスト（30%）、定期試験（70%）により評価する。 【課題等のフィードバック方法】 授業中・授業終了時に質問に応じる。レポート・小テストは確認後、授業時間内フィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中、スマートフォンで授業に関係ない操作や私語は禁止する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域に暮らす人々への看護の役割と活動の場の多様性を理解することにより、対象者の生活背景や健康観から、丸ごと対象者を理解する力が涵養される。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を保有し、臨床経験・大学教育経験を有した教員が経験を十分活かして講義する。							

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	作山美智子	地域（多様な場）で暮らす人々の理解	地域・生活と健康の関係について復習する	4 時間
2	作山美智子	地域・在宅看護の概念	地域・在宅看護が求められる社会背景についてまとめる	4 時間
3	作山美智子	地域・在宅看護の実際	生活モデルに基いた看護のポイントについてまとめる	4 時間
4	作山美智子	地域・在宅看護に必要な社会保障制度（その1）	医療保険制度、介護保険制度のポイントについてまとめる	4 時間
5	傍島 智子	地域・在宅看護に必要な社会保障制度（その2）	障害者総合支援法のポイントについてまとめる	4 時間
6	傍島 智子	訪問看護の機能と役割	訪問看護における看護職の役割についてまとめる	4 時間
7	傍島 智子	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムにおける看護職が担うことが期待される点についてまとめる	4 時間
教 科 書		石田千絵他編．ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア，メディカ出版、第8版2025. /看護がみえる、対象の理解Ⅰ第1版、vol.5, メディックメディア.		
参 考 書		河原加代子代表著．系統看護学講座、専門分野、地域・在宅看護論1、地域・在宅看護の基盤、医学書院、第6版第1刷、2022.		
備 考		特になし		

科 目 名		地域・在宅看護学Ⅰ		担 当 者	○作山美智子・傍島 智子 小笠原喜美代・仙石美枝子	
科目ナンバリング		1050432269			常勤・非常勤	
D P				教員研究室	5205	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 様々なライフステージおよび健康レベルにある療養者とその家族の健康課題の特徴、生活や療養環境に対応して展開される地域・在宅看護の援助の基本（看護過程）を学修する。加えて在宅ケアにおける看護職と他職種連携・協働、在宅ケアシステムにおいて期待される看護の役割を学修する。 【学習の到達目標】 1. 地域・在宅看護を展開するための看護過程の展開（情報収集・情報の分類・分析解釈・家族生活力の把握・健康課題・目標・具体策・実施・評価）を理解する。 2. ICF（国際生活分類）を用いた情報の統合ができる。 3. 地域・在宅看護を支える医療・福祉の施策、社会資源を理解することができる。 【成績評価方法】 レポートおよび発表（30%）と定期試験（70%）によって評価する。 【課題等のフィードバック方法】 授業の中で、コメント・講評をする。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業に関係のないスマホの操作、私語は禁止とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域・在宅看護における問題解決思考力が涵養される。地域・在宅看護（地域で暮らす）療養者のケアマネジメントについて学修できる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、臨床での実務経験のある教員が、実務と大学教育の経験を十分に活かして講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	作山美智子	家族の特徴と家族看護	家族の特徴についてポイントをまとめる		4 時間	
2	作山美智子	ICF を活用した看護過程の展開：地域在宅看護における ICF	ICF の構成要素について復習する。		4 時間	
3	作山美智子	地域・在宅看護における看護過程の展開：病態の変化の予測	生活の中で実施するフィジカルアセスメントについて、まとめる		4 時間	
4	傍島 智子	難病療養者の看護過程	資料を使って復習する		4 時間	
5	傍島 智子	難病療養者の看護過程	GW: ICF 情報収集・アセスメント・看護計画立案		4 時間	
6	傍島 智子	地域・在宅における看護過程	GW: ICF 情報収集・アセスメント・看護計画立案		4 時間	
7	作山美智子 傍島 智子	地域・在宅における看護過程	グループ毎の発表		4 時間	
教 科 書		臺有桂他編. ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術、メディカ出版、第 2 版第 3 刷、2024. 978-4-8404-7544-0				
参 考 書		河野あゆみ編. 在宅看護過程、第 2 版. 医学書院、2023.				
備 考		特記すべき事項なし				

科 目 名		地域・在宅看護学Ⅱ		担 当 者	○作山美智子・傍島 智子 小笠原喜美代・仙石美枝子	
科目ナンバリング		1050432270			常勤・非常勤	
D	P	1,2,3,4		教員研究室	5205	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 一人ひとりが自分らしく健康に地域で暮らしていくことを支える看護について既修の学問・体験から振り返る。 地域で主体的に生きること、さまざまな生き方を受け入れることは住民自身や家族の健康づくりに繋がることを学修する。				【課題等のフィードバック方法】 課題等は確認後、授業時間内で返却する。		
【学習の到達目標】 1. 地域包括ケアシステムを推進するために必要とされる地域の健康増進支援方策、ヘルスプロモーションについて説明できる。 2. 地域を理解し、健全なコミュニティを築いていくための看護の役割、支援方法を学修する。 3. 地域包括ケアシステムの構築に向けて自分の考えを述べることができる。 4. 看護師国家試験を達成できる知識・技術を修得する。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業に関係のないスマートフォンの操作、私語は禁止。		
【成績評価方法】 発表（20%）、小テスト（40%）、レポート（40%）にて評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 2025 年の医療・介護問題と多障害時代を前にした生活の場における生活支援について学ぶことができる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、臨床の実務経験のある教員が、実務と大学教育経験を十分に活かして講義をする。		

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	作山美智子	地域で暮らす、在宅で療養する対象者①生活の保障	指定された地域に関して調べまとめる	4 時間
2	作山美智子	地域で暮らす、在宅で療養する対象者②リスクマネジメントと対応	地域コミュニティにおけるリスクマネジメントについてまとめる	4 時間
3	作山美智子	地域で暮らす、在宅で療養する対象者③災害に対する準備と対応	地域コミュニティにおける災害対応についてまとめる	4 時間
4	作山美智子	地域で暮らす、在宅で療養する対象者④地域住民を知る	地域コミュニティにおける住民特性を考察する	4 時間
5	傍嶋 智子	地域・在宅看護に関わる社会保障制度①保健・医療・福祉における施策・看護	誤答問題の復習	4 時間
6	傍島 智子	地域・在宅看護に関わる社会保障制度②障害・精神疾患がある対象者の施策・看護	誤答問題の復習	4 時間
7	傍嶋 智子	国家試験を達成可能とする地域・在宅領域の知識・技術の確認	誤答問題の復習	4 時間
教 科 書		石田千絵他編、ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を医支えるケア、第 8 版第 1 刷、2025。 臺由佳他編、ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を医支える技術、第 2 版第 3 刷、2024。		
参 考 書		適宜紹介する。		
備 考		特記すべき事項なし。		

科 目 名		地域・在宅看護方法論Ⅰ		担 当 者		○傍島 智子・作山美智子 三木 千栄・平山 和哉 小池 和幸・名嘉原弥生 仙石美枝子・小笠原喜美代	
科目ナンバリング		1050432271				常勤・非常勤	
D P				教員研究室		1314	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		3 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 暮らしの場で行われる治療・看護及び看護の継続について理解し、基本的支援技術を修得する。				【課題等のフィードバック方法】 課題等は確認後、講義時間内で返却する。			
【学習の到達目標】 1. 生活の場における看護援助技術を学修する。 2. 療養者を支える看護への援助について学修する。 3. 訪問看護の技術（終末期ケア・医療的ケアを含む）、感染予防について学修する。 4. 訪問看護と多職種との連携について学修する。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 予習と復習に関する課題を出す。 2. 携帯（スマートフォン）の使用、私語は禁止。			
【成績評価方法】 小テスト・課題提出（30%）、定期試験（70%）で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 生活の場における看護技術を学修することができる。日々の暮らしの中での感染予防について学修できる。			
【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、臨床経験を十分に活かして講義する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間			
				予習・復習			学修時間
1	作山・傍島	在宅療養を支えるコミュニケーション		コミュニケーションの内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
2	作山・傍島	在宅療養を支えるコミュニケーション		コミュニケーションの内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
3	作山・傍島	地域・在宅療養者宅訪問ロールプレイ		家族訪問・初回訪問の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
4	作山・傍島	地域・在宅療養者宅訪問ロールプレイ		家庭訪問・初回訪問の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
5	作山・傍島	外出・生活拡大と介護予防		移動補助用具の介助の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
6	作山・傍島	外出・生活拡大と介護予防		移動補助用具の介助の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
7	作山・傍島	皮膚排泄ケア：ストーマケア		排泄ケア（ストーマ管理・皮膚トラブルを含む）の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
8	作山・傍島	皮膚排泄ケア：ストーマケア		排泄ケア（ストーマ管理・皮膚トラブルを含む）を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
9	作山・傍島	地域・在宅におけるレクリエーション		講義資料をもとに復習する。			4 時間
10	作山・傍島	地域・在宅におけるレクリエーション		講義資料をもとに復習する。			4 時間
11	作山・傍島	療養者を支える家族の生活力量アセスメント		在宅療養の場における家族のとらえ方（家族アセスメント）について予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
12	作山・傍島	療養者を支える家族の生活力量アセスメント		在宅療養の場における家族のとらえ方（家族アセスメント）について予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
13	作山・傍島	介護食、胃瘻造設療養者の支援方法		食生活・在宅経管栄養・輸液管理の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
14	作山・傍島	介護食、胃瘻造設療養者の支援方法		食生活・在宅経管栄養・輸液管理の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
15	作山・傍島	在宅療養者の生活ケア：アネロイド血圧計による血圧測定		血圧測定方法を確認する。			4 時間
16	作山・傍島	在宅療養者の生活ケア：アネロイド血圧計による血圧測定		血圧測定方法を確認する。			4 時間
17	作山・傍島	在宅における在宅酸素療法・人工呼吸器装着者の支援方法		在宅酸素療法・人工呼吸療法の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
18	作山・傍島	在宅における在宅酸素療法・人工呼吸器装着者の支援方法		在宅酸素療法・人工呼吸療法の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
19	作山・傍島	紙おむつを活用した清潔援助		清潔の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
20	作山・傍島	紙おむつを活用した清潔援助		清潔の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
21	作山・傍島	安楽と安寧：アロママッサージ		講義資料をもとに復習する。			4 時間
22	作山・傍島	安楽と安寧：アロママッサージ		講義資料をもとに復習する。			4 時間
23	作山・傍島	地域・在宅における感染予防		感染予防の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
24	作山・傍島	在宅における薬物療法		薬物療法の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
25	作山・傍島	地域在宅看護における災害看護		災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理の内容を予習する。講義資料をもとに復習する。			4 時間
26	作山・傍島	放射線と地域・在宅看護：飯館村保健師からの講話		講義資料をもとに復習する。			4 時間
27	作山・傍島	放射線と地域・在宅看護：飯館村保健師からの講話		講義資料をもとに復習する。			4 時間
28	作山・傍島	訪問看護の実際：訪問看護師からの講話		講義資料をもとに復習する。			4 時間
教 科 書	臺有佳他編、ナーシング・グラフィカ、地域療養を支えるケア、メディカ出版、2024.1、第7版3刷、ISBN978-4-8404-7543-3 臺有佳他編、ナーシング・グラフィカ、在宅療養を支える技術、メディカ出版、2025.1、第3版1刷、ISBN978-4-8404-8472-5						
参 考 書	適宜紹介する。						
備 考	なし						

科 目 名		地域・在宅看護方法論Ⅱ		担 当 者	○作山美智子・傍島 智子 小笠原喜美代・仙石美枝子	
科目ナンバリング		1050432272			常勤・非常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室	5205	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 地域で暮らしている住民の暮らしに関心を寄せ、フレイル・認知症他の介護予防、健康増進活動の実際を学生から提案・発表し、学修する。				【課題等のフィードバック方法】 授業時間外でコメント、返却する。		
【学習の到達目標】 1. 人々の日常生活における思いや多様な価値観に触れ、地域で暮らす人々の日常生活を説明できる。 2. 地域の社会資源について説明することができ、パートナーシップに基いた介護予防、健康増進支援について発表する。				【履修上の注意・予習・復習について】 地域に出かけて学外授業を予定している。 特に地域では挨拶・態度について十分留意し、学生間で固まっの私語は慎むこと。 学生間のグループワークは得意・不得意な部分を相互に理解認め合い、協力し合うこと。		
【成績評価方法】 参加態度（積極性他）（30%）、発表（50%）、レポート（20%）によって評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域住民との交流によって、地域包括ケアシステムにおける住民と看護学生による互助関係の形成に寄与できる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師免許を保有し、臨床経験を有した教員が実務・大学教育経験を十分に活かして講義をする。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	作山美智子	オリエンテーション コミュニティの変容	コミュニティについて復習する		4 時間	
2	作山美智子 傍嶋 智子	大学近郊の介護予防教室見学	地域で行われている介護予防のポイントをまとめる		4 時間	
3	作山美智子 傍嶋 智子	大学近郊の介護予防教室見学	地域で行われている介護予防のポイントをまとめる		4 時間	
4	作山美智子 傍嶋 智子他	A 地域住民との交流会：準備	介護予防・健康支援体操を学生は企画し実践の準備をする		4 時間	
5	作山美智子 傍嶋 智子他	A 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
6	作山美智子 傍嶋 智子他	B 地域住民との交流会：準備	介護予防・健康支援体操を学生は企画し実践の準備をする		4 時間	
7	作山美智子 傍嶋 智子他	B 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
8	作山美智子 傍嶋 智子他	B 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
9	作山美智子 傍嶋 智子他	B 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
10	作山美智子 傍嶋 智子	C 地域住民との交流会：準備	介護予防・健康支援体操を学生は企画し実践の準備をする		4 時間	
11	作山美智子 傍嶋 智子他	C 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
12	作山美智子 傍嶋 智子他	C 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
13	作山美智子 傍嶋 智子他	C 地域住民との交流会	住民とのコミュニケーションに関する自己評価、実践においてよかった点、課題についてまとめる		4 時間	
14	作山美智子 傍嶋 智子	振り返り・レポート作成	様々な地域住民との交流から、学んだこと、自己省察についてレポート作成する		4 時間	
教 科 書		石田千絵他編、ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア、第 8 版第 1 刷、2025。 臺有桂他編、ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術、第 2 版第 1 刷、2024。				
参 考 書		適宜、紹介する。				
備 考		特記事項なし。				

科 目 名		地域・在宅看護学実習 A		担 当 者	○作山美智子・傍島 智子 小笠原喜美代
科目ナンバリング		1050442273			常勤・非常勤
D	P	1,2,3,4		教員研究室	5205
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	90 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 地域で生活している在宅療養者とその家族を理解し、対象に応じた支援に必要な基本的な知識・技術・態度を実習を通して体験的に学ぶ。療養環境が在宅療養者とその家族に与える影響、在宅療養者と家族の相互関係、在宅看護の役割と責任、在宅ケアシステムに学修する。 【学習の到達目標】 1. 地域で生活している在宅療養者とその家族を理解する。 2. 在宅で生活している療養者とその家族支援ができる。 3. 在宅療養を支える他職種・多機能の役割と連携・協働について理解する。 【成績評価方法】 実習参加態度と臨床指導者と大学教員による地域・在宅看護実習ルーブリック評価表をもとに評価する。 【課題等のフィードバック方法】 臨地実習中、カンファレンス時に指導する。 【履修上の注意・予習・復習について】 地域・在宅看護実習の特徴上、療養者宅を訪問するため、挨拶・マナーは最重要項目である。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域包括ケアシステム構築に貢献すべく、人々の生活、健康を支援するための地域完結型医療のしくみ作りを学修することができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を保有し、臨床と大学教育の実務経験のある教員が担当する。					
授 業 計 画					
1. オリエンテーション 事前レポート、事前学習 実習施設：訪問看護ステーション、看護小規模滝野方居宅介護、認知症対応型共同生活介護 8 グループホーム）、通所リハビリテーション、（デイケア）、通所介護（デイサービス）、地域包括支援センター等 2. 現地オリエンテーション 3. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 4. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 5. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 6. 通所リハビリテーション実習 担当事例の振り返りと予習 7. 通所リハビリテーション実習 担当事例の振り返りと予習 8. カンファレンス（帰行日） 振り返りと予習 9. 看護多機能型居宅介護実習 振り返りと予習 10. グループホーム実習 振り返り、最終レポート作成 *実習先の状況により実習施設は変更の可能性がある。					
教 科 書		石田千絵他編、ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア、第 8 版第 1 刷、2025. 臺有桂他編、ナースング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術、第 2 版第 3 刷、2025.			
参 考 書		適宜、紹介する。			
備 考		特になし。			

科 目 名		地域・在宅看護学実習 B		担 当 者	○作山美智子・傍島 智子 小笠原喜美代	
科目ナンバリング		1050442274			常勤・非常勤	
D	P	1,2,3,4		教員研究室	5205	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 地域で生活している在宅療養者とその家族を理解し、対象に応じた支援に必要な基本的な知識・技術・態度を実習を通して体験的に学ぶ。療養環境が在宅療養者とその家族に与える影響、在宅療養者と家族の相互関係、在宅看護の役割と責任、在宅ケアシステムに学修する。				【課題等のフィードバック方法】 臨地実習中、カンファレンス時に指導する。		
【学習の到達目標】 1. 地域で生活している在宅療養者とその家族を理解する。 2. 在宅で生活している療養者とその家族支援ができる。 3. 在宅療養を支える他職種・多機能の役割と連携・協働について理解する。				【履修上の注意・予習・復習について】 地域・在宅看護実習の特徴上、療養者宅を訪問するため、挨拶・マナーは最重要項目である。		
【成績評価方法】 実習参加態度と臨床指導者と大学教員による地域・在宅看護実習ルーブリック評価表をもとに評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域包括ケアシステム構築に貢献すべく、人々の生活、健康を支援するための地域完結型医療のしくみ作りを学修することができる。		
【実務家教員担当科目】 看護師免許を保有し、臨床と大学教育の実務経験のある教員が担当する。						
授 業 計 画						
1. オリエンテーション 事前レポート、事前学習 実習施設：訪問看護ステーション、看護小規模滝野方居宅介護、認知症対応型共同生活介護 8 グループホーム）、通所リハビリテーション、（デイケア）、通所介護（デイサービス）、地域包括支援センター等 2. 現地オリエンテーション 3. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 4. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 5. 訪問看護ステーション実習 訪問事例の振り返りと予習 6. 通所リハビリテーション実習 担当事例の振り返りと予習 7. 通所リハビリテーション実習 担当事例の振り返りと予習 8. カンファレンス（帰行日） 振り返りと予習 9. 看護多機能型居宅介護実習 振り返りと予習 10. グループホーム実習 振り返り、最終レポート作成 *実習先の状況により実習施設は変更の可能性がある。						
教 科 書		石田千絵他編、ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア、第 8 版第 1 刷、2025。 臺有桂他編、ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域療養を支える技術、第 2 版第 3 刷、2025。				
参 考 書		適宜、紹介する。				
備 考		特になし。				

科 目 名		成人看護方法論Ⅰ		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050432276			常勤	
D	P	1,3		教 員 研 究 室	3213/1309/3116/1323/5210/5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 急性期（周手術期を含む）にある患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、急性期における成人看護の特徴を学習する。講義ならびに演習を通して、成人を対象とした急性期における基本的看護援助方法について学習する。				【課題等のフィードバック方法】 講義中・終了後、質問を受け付ける。		
【学習の到達目標】 ・急性期にある患者の生体情報から全身状態をアセスメントし、生命維持に向けた看護援助方法ならびに早期回復促進に向けた看護援助方法を理解できる。 ・周手術期にある患者を対象として、手術に伴う合併症を予防するための基本的な看護援助方法を理解できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・予習・復習を十分に行うこと。		
【成績評価方法】 演習及び提出物 20%、定期試験 80% で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・成人期の特徴を踏まえた上で、クリティカルな状態にある患者や家族に対する看護ケアの実際について理解を深めることができる。 ・急性期にある患者の看護過程を展開する上で必要となる知識や考え方を習得できる。		
【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実践経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予 習 ・ 復 習		学修時間	
1	小松 恵	・コースオリエンテーション ・急変時の対応	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第1部、第2部第1章/成人看護技術 第3章1 一次救急処置及び配布資料の内容		4 時間	
2	小松 恵	急性期にある患者の身体的反応	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第1部、第2部第1章及び配布資料		4 時間	
3	小松 恵	周手術過程に応じた看護 手術前・手術中の看護・呼吸訓練演習	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅱ章配布資料/ 成人看護技術 第Ⅱ章1 術前の看護技術		4 時間	
4	小松 恵	周手術過程に応じた看護 手術後の看護① 急変時報告 SBAR 演習	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅱ章、第Ⅲ章及び配布資料		4 時間	
5	小松 恵	周手術過程に応じた看護/手術後の看護②	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅳ章、第Ⅴ章及び配布資料		4 時間	
6	伊藤 明美	周手術過程に応じた看護（1） 内視鏡治療・鏡視下手術の看護とドレーン管理	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅵ章 成人看護技術 第Ⅱ章3 及び配布資料		4 時間	
7	伊藤 明美	周手術過程に応じた看護（2）呼吸器	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2 及び配布資料		4 時間	
8	伊藤 明美	周手術過程に応じた看護（3）循環器	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章3 及び配布資料		4 時間	
9	荒生 有花	周手術過程に応じた看護（4）消化器①（上部・下部消化管）	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章 4,5,11 及び配布資料		4 時間	
10	荒生 有花	周手術過程に応じた看護（5）消化器②（肝胆膵）	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章 6,7, 及び配布資料		4 時間	
11	荒生 有花	周手術過程に応じた看護（6）腎・泌尿器	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章 12,13 及び配布資料		4 時間	
12	荒生 有花	周手術過程に応じた看護（7）女性生殖器	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章 9,10 及び配布資料		4 時間	
13	小松 恵	救急看護の基礎演習① BLS に必要な技術	成人看護技術 第3章1 一次救急処置		4 時間	
14	小松 恵	救急看護の基礎 BLS 実施	成人看護技術 第3章1 一次救急処置		4 時間	
教 科 書		NICE 看護学テキスト成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 NICE 看護学テキスト成人看護学 成人看護技術				
参 考 書		随時提示する。				
備 考		演習の詳細については事前に指示をする。				

科 目 名		成人看護方法論Ⅱ		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花・高橋 一揮 沼田 純希	
科目ナンバリング		1050432277			常勤	
D P		1,3		教 員 研 究 室	3213/1325	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 回復過程にある患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、回復期における成人看護の特徴を学習する。講義ならびに演習を通して、成人を対象とした回復期における基本的看護援助方法について学習する。				【課題等のフィードバック方法】 講義中、終了後、質問を受け付ける。		
【学習の到達目標】 ・患者のセルフケア能力に影響を与える要因を学び、日常生活を再構築するための看護援助方法を理解できる。 ・リハビリテーションの定義に基づき、リハビリテーション看護の機能について理解できる。 ・呼吸器系・循環器系・脳・神経系・運動器系の障害とリハビリテーション看護の具体的な援助方法について理解できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・予習・復習を十分に行うこと。		
【成績評価方法】 提出物 20%、定期試験 80% で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 成人期の特徴を踏まえた上で、心身の回復過程にある患者や家族に対する看護ケアの実践について理解を深めることができる。リハビリテーションの対象となる患者の看護過程を展開する上で、必要となる知識や考え方を習得できる。		
【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実践経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	小松 恵	・コースオリエンテーション ・リハビリテーション看護の機能	配布資料		4 時間	
2	伊藤 明美	呼吸機能障害とリハビリテーション看護	成人看護技術第Ⅰ・Ⅳ章 慢性期看護第Ⅳ・Ⅴ章及び配布資料		4 時間	
3	伊藤 明美	虚血性心疾患とリハビリテーション看護 (1)	成人看護技術第Ⅰ・Ⅳ章及び配布資料		4 時間	
4	伊藤 明美	虚血性心疾患とリハビリテーション看護 (2)	成人看護技術第Ⅰ・Ⅳ章 慢性期看護第Ⅳ・Ⅴ章第及び配布資料		4 時間	
5	小松 恵	脳血管障害とリハビリテーション看護 (1)	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2、第Ⅶ章1 及び配布資料		4 時間	
6	小松 恵	脳血管障害とリハビリテーション看護 (2)	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2、第Ⅶ章1 及び配布資料		4 時間	
7	荒生 有花	運動機能障害とリハビリテーション看護 (1)	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2、第Ⅶ章8 及び配布資料		4 時間	
8	荒生 有花	運動機能障害とリハビリテーション看護 (2)	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2、第Ⅶ章8 及び配布資料		4 時間	
9	沼田 純希 成人看護学領域教員全員	演習 (1) 脳血管障害患者の動作介助①	配布資料		4 時間	
10	沼田 純希 成人看護学領域教員全員	演習 (2) 脳血管障害患者の動作介助②	配布資料		4 時間	
11	高橋 一揮 成人看護学領域教員全員	演習 (3) 呼吸理学療法の実際①	配布資料		4 時間	
12	高橋 一揮 成人看護学領域教員全員	演習 (4) 呼吸理学療法の実際②	配布資料		4 時間	
13	小松 恵	脳神経系の神経学的所見の観察演習	急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 第2部第Ⅶ章2、第Ⅶ章1 及び配布資料内容		4 時間	
14	小松 恵	運動機能障害とリハビリテーション看護 高次脳機能障害とリハビリテーション看護	配布資料		4 時間	
教 科 書		NICE 看護学テキスト成人看護学 NICE 看護学テキスト成人看護学 NICE 看護学テキスト成人看護学		急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 慢性期看護 成人看護技術		
参 考 書		随時提示する。				
備 考		演習の詳細については事前に指示をする。				

科 目 名		成人看護方法論Ⅲ		担 当 者	○村上 大介・鈴木 敦子	
科目ナンバリング		1050432278			常勤	
D P		1,3		教員研究室	3116、1309	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 ・慢性疾患を有する人の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、成人期にある慢性疾患を有する人への看護を理解する。 ・成人を対象とした慢性疾患を有する人への基本的な看護援助方法について学習する。 【学習の到達目標】 ・慢性疾患を有する人の身体的・心理的・社会的情報から全体像をアセスメントし、セルフケアに向けた看護援助方法を理解できる。 ・慢性疾患を有する人とその家族を対象とした継続看護に向けての看護援助方法を理解できる。 【成績評価方法】 ・定期試験、演習内容により評価する。 (定期試験 80%、演習 20%) 【課題等のフィードバック方法】 ・講義中、終了後、質問に応じる。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・予習・復習を十分に行うこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・成人期の特徴を踏まえ、慢性疾患を有する人とその家族に対する看護ケアの実践について理解を深めることができる。 ・成人期にある患者の看護過程を展開するうえで必要となる知識や考え方を習得できる。 【実務家教員担当科目】 看護職の資格を有し、医療機関における慢性疾患を有する人への看護実践経験及び教育機関における看護教育経験をもつ教員が教授する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	村上 大介	・コースオリエンテーション ・慢性の経過をたどる患者の特徴	第Ⅰ章・第Ⅱ章、配布資料		4 時間	
2	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本（1）：主な概念・理論、治療・療養を促進する支援	第Ⅲ章-1、配布資料		4 時間	
3	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への援助・支援の基本（2）：主な概念・理論、治療・療養を促進する支援	第Ⅲ章-2、配布資料		4 時間	
4	村上 大介 鈴木 敦子	慢性疾患を有する人の生活の理解（1） グループワーク	配布資料		4 時間	
5	村上 大介 鈴木 敦子	慢性疾患を有する人の生活の理解（2） グループワーク	配布資料		4 時間	
6	鈴木 敦子	・慢性疾患の主な治療法と治療を受ける患者の看護（1） ・化学療法を受ける患者の援助	第Ⅳ章-5、配布資料		4 時間	
7	鈴木 敦子	・慢性疾患の主な治療法と治療を受ける患者の看護（2） ・放射線療法を受ける患者の援助	第Ⅳ章-6、配布資料		4 時間	
8	鈴木 敦子	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（1）：血液・免疫系の障害（白血病・関節リウマチ・全身性エリテマトーデス）	Ⅴ章Ⅴ-6-2,4,5、配布資料		4 時間	
9	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（2）：代謝・内分泌系の障害（糖尿病）	Ⅴ章Ⅴ-4-1、配布資料		4 時間	
10	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（3）：腎・泌尿器系の障害（慢性腎臓病）	Ⅴ章Ⅴ-5-1、配布資料		4 時間	
11	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（4）：循環器系の障害（心不全）	Ⅴ章Ⅴ-2-4、配布資料		4 時間	
12	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（5）：呼吸器系の障害（慢性呼吸不全）	Ⅴ章Ⅴ-1-2、配布資料		4 時間	
13	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（6）：消化器系の障害（肝硬変・膵炎・炎症性腸疾患）	Ⅴ章Ⅴ-3-3,5,6、配布資料		4 時間	
14	村上 大介	・慢性疾患を有する人とその家族への看護（7）：脳神経系の障害（パーキンソン病・筋萎縮性側索硬化症）	Ⅴ章Ⅴ-7-2,3、配布資料		4 時間	
教 科 書		鈴木久美、旗持知恵子、佐藤直美（2023）看護学テキスト NiCE 成人看護学慢性期看護改訂第4版、南江堂				
参 考 書		随時提示する。				
備 考		講義の順番は変更することがあるため、変更時は事前に連絡する。				

科 目 名		成人看護方法論 IV			担 当 者	○鈴木 敦子・村上 大介
科目ナンバリング		1050432279				常勤
D P		1,3			教員研究室	1309
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 エンドオブライフケアおよび緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴と、尊厳ある生・死および生活・人生を支えるための緩和ケアについて学ぶ。また、エンドオブライフケアおよび緩和ケアにおいて看護師に求められる役割について学習する。 【学習の到達目標】 エンドオブライフケアおよび緩和ケアを必要とする患者と家族の特徴と全人的苦痛について説明できる。 全人的苦痛が生じている患者と家族に対する緩和ケアについて説明できる。 エンドオブライフケアおよび緩和ケアの土台となる看護師に求められる役割や姿勢について説明できる。 がん性疼痛が生じている患者の全人的苦痛をアセスメントし、苦痛を緩和するための看護援助を検討できる。 【成績評価方法】 定期試験（50%）、事例検討に関する課題・レポート（50%）により評価する。事例検討課題・レポートの評価基準については、講義でルーブリックを提示する。 【課題等のフィードバック方法】 講義中、終了後、質問に応じる。また、事例検討課題の記載内容を添削し返却する。 【履修上の注意・予習・復習について】 予習・復習を十分に行い、各課題を期日まで提出する。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 エンドオブライフケアおよび緩和ケアを必要とする患者の特徴を理解し、全人的苦痛の緩和および QOL の維持・向上を目指した看護援助について理解を深めることができる。主体的な学習により、自己の死生観、看護観を深めることができる。 【実務家教員担当科目】 看護師の資格を有し、医療機関における健康各期、エンドオブライフケア、緩和ケアの看護実務経験および教育機関における看護教育経験をもつ教員が教授する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	鈴木 敦子	緩和ケアとは	緩和ケア第Ⅰ章・配布資料の熟読			4 時間
2	鈴木 敦子	症状マネジメント	緩和ケア第Ⅱ章・配布資料の熟読			4 時間
3	鈴木 敦子	緩和ケアにおけるコミュニケーション	緩和ケア第Ⅱ章・配布資料の熟読			4 時間
4	鈴木 敦子	意思決定を支えるケア・家族ケア	緩和ケア第Ⅱ章・配布資料の熟読			4 時間
5	鈴木 敦子	事例検討：意思決定支援①	事例検討課題の記載と、意思決定支援についてまとめる			4 時間
6	鈴木 敦子	事例検討：意思決定支援②	事例検討課題の記載と、意思決定支援における看護者の役割についてまとめる			4 時間
7	鈴木 敦子	がん患者の全人的苦痛に対する緩和ケアの実践①	緩和ケア第Ⅲ章・配布資料の熟読			4 時間
8	鈴木 敦子	がん患者の全人的苦痛に対する緩和ケアの実践②	緩和ケア第Ⅲ章・配布資料の熟読			4 時間
9	鈴木 敦子	様々な対象への緩和ケア	緩和ケア第Ⅳ章・配布資料の熟読			4 時間
10	村上 大介	臨死期のケア	緩和ケア第Ⅴ章・配布資料の熟読			4 時間
11	鈴木 敦子 村上 大介	事例検討：がん性疼痛が生じている患者の理解と看護①	事例検討課題の記載（アセスメント）を行う。			4 時間
12	鈴木 敦子 村上 大介	事例検討：全人的苦痛が生じている患者の理解と看護②	事例検討課題の記載（アセスメント・計画）を行う。			4 時間
13	鈴木 敦子 村上 大介	事例検討：全人的苦痛が生じている患者の理解と看護③	事例検討課題の記載（計画）を行う。			4 時間
14	鈴木 敦子	本科目および事例検討のまとめ	配布資料を熟読し、本科目での学びについてまとめる。			4 時間
教 科 書		梅田恵，射場典子（2025）. 看護学テキスト NiCE 緩和ケア 改訂第3 版. 南江堂.				
参 考 書		谷本真理子，増島麻里子（2022）. 看護学テキスト NiCE エンドオブライフケア. 南江堂.				
備 考		講義順は変更することがある。変更時は事前に連絡する。 事例検討課題の提出は、Classroom の課題機能を活用する。				

科 目 名		成人看護方法論 V		担 当 者	○鈴木 敦子・小松 恵 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050432280				
D	P	1,2		教員研究室	1309	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 成人期にある患者の事例の看護過程を展開し、周手術期看護および慢性病を有する患者の看護実践について学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義中、終了後、質問に応じる。また、事例検討課題の記載内容を添削し返却する。		
【学習の到達目標】 手術侵襲によってもたらされる身体構造・機能の変化を踏まえ、術後合併症予防、早期回復、生活の再調整を念頭に置いた、周手術期にある患者の看護過程の展開ができる。 慢性疾患による身体機能の変化が及ぼす心理・社会的側面および日常生活への影響等を踏まえ、セルフマネジメントの継続が必要となる患者の看護過程の展開ができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 予習・復習を十分に行い、各回の課題を期日まで提出する。		
【成績評価方法】 事例検討課題・演習 80%、小テスト 20% で評価する。事例検討課題・演習の評価基準は、講義でルーブリックを提示する。				【実務家教員担当科目】 看護職の資格を有し、医療機関における健康各期の看護実務経験及び教育機関における看護教育経験をもつ教員が教授する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習	学修時間		
1	鈴木 敦子	看護過程の基盤となる考え方	配布資料の熟読、事例検討課題の記載を行う	4 時間		
2	鈴木 敦子・小松・村上・伊藤・荒生	事例 A（周手術期患者）の展開 1：情報収集とアセスメント	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（情報収集とアセスメント）を行う	4 時間		
3	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 A（周手術期患者）の展開 2：アセスメント・関連図	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（アセスメント・関連図）を行う	4 時間		
4	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 A（周手術期患者）の展開 3：看護問題・計画立案①	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（看護問題・計画立案）を行う	4 時間		
5	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 A（周手術期患者）の展開 4：看護問題・計画立案②	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（看護問題・計画立案）を行う	4 時間		
6	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 A（周手術期患者）の展開 5：実施と評価	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（実施と評価）を行う	4 時間		
7	鈴木 敦子	事例 A の展開のまとめ	配布資料の熟読、事例検討課題の追記・修正を行う	4 時間		
8	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 B（慢性疾患患者）の展開 1：情報収集とアセスメント	配布資料の熟読、事例検討課題（情報収集とアセスメント）の記載を行う	4 時間		
9	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 B（慢性疾患患者）の展開 2：アセスメント・関連図	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（アセスメント・関連図）を行う	4 時間		
10	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 B（慢性疾患患者）の展開 3：看護問題・計画立案①	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（看護問題・計画立案）を行う	4 時間		
11	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 B（慢性疾患患者）の展開 4：看護問題・計画立案②	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（看護問題・計画立案）を行う	4 時間		
12	鈴木 敦子 小松・村上・伊藤・荒生	事例 B（慢性疾患患者）の展開 5：実施と評価	配布資料の熟読、事例検討課題の記載（実施と評価）を行う	4 時間		
13	鈴木 敦子・小松・村上・伊藤・荒生	事例 B の展開のまとめ	配布資料の熟読、事例検討課題の追記・修正を行う	4 時間		
14	鈴木 敦子	本科目と 2 事例のまとめ	配布資料の熟読を行う	4 時間		
教 科 書		野崎真奈美, 林直子, 他 (2022). 看護学テキスト NiCe 成人看護学 成人看護技術 改訂第 3 版. 南江堂.				
参 考 書		鎌倉やよい, 深田順子 (2023). 周術期の臨床判断を磨くⅠ 第 2 版. 医学書院. 医療情報科学研究所 (2020). 看護が見える vol.4 看護過程の展開. メディックメディア.				
備 考		講義順は変更することがある。変更時は事前に連絡する。 事例検討課題の提出は、Classroom の課題機能を活用する。				

科 目 名		成人看護学実習 IA		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050442281				
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室	3213/1309/3116/1323/5210/5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選択 3 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 急性期（周手術期を含む）、回復期にある成人患者の健康レベルに応じた看護計画を立案し、実施・評価する。受け持ち患者の症状・生体機能管理の基本技術について理解し、指導の下に実施（もしくは見学）する。 【学習の到達目標】 ・青年期・壮年期・中年期・向老期にある対象の特徴を踏まえて、受け持ち患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。 ・急性期・回復期にある患者の生体情報から全身状態ならびに患者の回復過程に応じたセルフケア能力をアセスメントし、回復意欲を促進するための看護計画を立案・実施・評価できる。 【成績評価方法】 実習全過程の取り組み、成人看護実習の評価表、事前レポート、実習レポートについて、臨地実習指導者と実習担当教員、成人看護学領域教員が評価する。 【課題等のフィードバック方法】 ・実習期間中は、毎日の行動計画や看護実践、カンファレンスを通しフィードバックする。 ・中間カンファレンスおよび最終カンファレンスを行い、受け持ち患者の看護実践に対しフィードバックする。 ・体験的学習内容を共有できるようにグループディスカッションを通してフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 詳細は臨地実習要項（成人）を参照 【受講して得られる効果・メリット、その他】 これまで学習した成人看護学における知識・技術を統合して捉え、急性期、回復期にある成人患者の健康課題に対応する実践能力を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実践経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
詳細は臨地実習要項（成人）を参照 1. オリエンテーション 2. 各実習施設での実習（2～14） 3. 実習病棟でのオリエンテーション 4. 受け持ち患者の決定と情報収集 5. 受け持ち患者の看護計画立案 6. 受け持ち患者への看護援助の見学、指導のもと実施 7. 受け持ち患者の情報の追加と看護計画の修正 8. 中間カンファレンスの実施 実習の中間評価 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価① 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価② 13. 最終カンファレンスの実施 14. 実習目標に対するグループディスカッション						
教 科 書		臨地実習要項（成人）を参照				
参 考 書		臨地実習要項（成人）を参照				
備 考		実習の詳細については、臨地実習要項（成人）を参照				

科 目 名		成人看護学実習 IB		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050442282			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	3213/1309/3116/1323/5210/5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選 択 3 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 急性期（周手術期を含む）、回復期にある成人患者の健康レベルに応じた看護計画を立案し、実施・評価する。受け持ち患者の症状・生体機能管理の基本技術について理解し、指導の下に実施（もしくは見学）する。 【学習の到達目標】 ・青年期・壮年期・中年期・向老期にある対象の特徴を踏まえて、受け持ち患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。 ・急性期・回復期にある患者の生体情報から全身状態ならびに患者の回復過程に応じたセルフケア能力をアセスメントし、回復意欲を促進するための看護計画を立案・実施・評価できる。 【成績評価方法】 実習全過程の取り組み、成人看護実習の評価表、事前レポート、実習レポートについて、臨地実習指導者と実習担当教員、成人看護学領域教員が評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 ・実習期間中は、毎日の行動計画や看護実践、カンファレンスを通しフィードバックする。 ・中間カンファレンスおよび最終カンファレンスを行い、受け持ち患者の看護実践に対しフィードバックする。 ・体験的学習内容を共有できるようにグループディスカッションを通しフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 詳細は臨地実習要項（成人）を参照 【受講して得られる効果・メリット、その他】 これまで学習した成人看護学における知識・技術を統合して捉え、急性期、回復期にある成人患者の健康課題に対応する実践能力を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実践経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
詳細は臨地実習要項（成人）を参照 1. オリエンテーション 2. 各実習施設での実習（2～14） 3. 実習病棟でのオリエンテーション 4. 受け持ち患者の決定と情報収集 5. 受け持ち患者の看護計画立案 6. 受け持ち患者への看護援助の見学、指導のもと実施 7. 受け持ち患者の情報の追加と看護計画の修正 8. 中間カンファレンスの実施 実習の中間評価 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価① 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価② 13. 最終カンファレンスの実施 14. 実習目標に対するグループディスカッション						
教 科 書		臨地実習要項（成人）を参照				
参 考 書		臨地実習要項（成人）を参照				
備 考		実習の詳細については、臨地実習要項（成人）を参照				

科 目 名		成人看護学実習 IIA		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050442283			常勤	
D P		1,2,3,4		教員 研 究 室	3213/1309/3116/1323/5210/5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選択 3 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション ☑実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 ・慢性期、終末期にある成人患者の健康レベルに応じた看護計画を立案し、実施、評価する。 ・受け持ち患者に適した看護援助、症状の緩和を図る援助を指導の下に実施（もしくは見学）する。 【学習の到達目標】 ・青年期・壮年期・向老期の特徴から、患者の身体的・精神的・社会的側面について理解できる。 ・慢性期にある患者と家族がセルフケアできるよう看護計画を立案し、実施・評価できる。 ・終末期にある患者の苦痛の緩和に努め、最後まで患者の希望にそった療養生活となるよう看護計画を立案し、実施・評価できる。 【成績評価方法】 ・実習全過程の取り組み、成人看護実習の評価表、事前レポート、実習レポートについて、臨地実習指導者と実習担当教員、成人看護学領域教員が評価する。 【課題等のフィードバック方法】 ・実習期間中は、毎日の行動計画や看護実践、カンファレンスを通してフィードバックする。 ・中間カンファレンスおよび最終カンファレンスを行い、受け持ち事例の看護実践に対しフィードバックを行う。 ・体験的学習内容を共有できるようにグループディスカッションを通してフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 詳細は臨地実習要項（成人）を参照 【受講して得られる効果・メリット、その他】 既習の学習内容を統合し、成人慢性期・終末期事例の看護過程の展開、看護技術の実践を通して、実践能力の習得が期待できる。 【実務家教員担当科目】 看護職の資格を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実務経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
1. オリエンテーション 2. 各実習施設での実習（2～13） 3. 実習病棟でのオリエンテーション 4. 受け持ち患者の決定と情報収集 5. 受け持ち患者の看護計画立案 6. 受け持ち患者への看護援助の見学、指導のもと実施 7. 受け持ち患者の情報の追加と看護計画の修正 8. 中間カンファレンスの実施及び実習の中間評価 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価① 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価② 13. 最終カンファレンスの実施 14. 実習目標に対するグループディスカッション						
教 科 書		詳細は臨地実習要項（成人）を参照				
参 考 書		詳細は臨地実習要項（成人）を参照				
備 考		詳細は臨地実習要項を（成人）を参照				

科 目 名		成人看護学実習 IIB		担 当 者	○小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・伊藤 明美 荒生 有花	
科目ナンバリング		1050442284			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	3213/1309/3116/1323/5210/5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選 択 3 単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 ・慢性期、終末期にある成人患者の健康レベルに応じた看護計画を立案し、実施、評価する。 ・受け持ち患者に適した看護援助、症状の緩和を図る援助を指導の下に実施（もしくは見学）する。 【学習の到達目標】 ・青年期・壮年期・向老期の特徴から、患者の身体的・精神的・社会的側面について理解できる。 ・慢性期にある患者と家族がセルフケアできるよう看護計画を立案し、実施・評価できる。 ・終末期にある患者の苦痛の緩和に努め、最後まで患者の希望にそった療養生活となるよう看護計画を立案し、実施・評価できる。 【成績評価方法】 ・実習全過程の取り組み、成人看護実習の評価表、事前レポート、実習レポートについて、臨地実習指導者と実習担当教員、成人看護学領域教員が評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 ・実習期間中は、毎日の行動計画や看護実践、カンファレンスを通しフィードバックする。 ・中間カンファレンスおよび最終カンファレンスを行い、受け持ち事例の看護実践に対しフィードバックを行う。 ・体験的学習内容を共有できるようにグループディスカッションを通しフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 詳細は臨地実習要項（成人）を参照 【受講して得られる効果・メリット、その他】 既習の学習内容を統合し、成人慢性期・終末期事例の看護過程の展開、看護技術の実践を通して、実践能力の習得が期待できる。 【実務家教員担当科目】 看護職の資格を有し、医療機関における急性期・回復期・慢性期・終末期の看護実務経験及び教育機関における看護教育経験を十分に活かして教授する。						
授 業 計 画						
1. オリエンテーション 2. 各実習施設での実習（2～13） 3. 実習病棟でのオリエンテーション 4. 受け持ち患者の決定と情報収集 5. 受け持ち患者の看護計画立案 6. 受け持ち患者への看護援助の見学、指導のもと実施 7. 受け持ち患者の情報の追加と看護計画の修正 8. 中間カンファレンスの実施及び実習の中間評価 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実施② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価① 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価② 13. 最終カンファレンスの実施 14. 実習目標に対するグループディスカッション						
教 科 書		詳細は臨地実習要項（成人）を参照				
参 考 書		詳細は臨地実習要項（成人）を参照				
備 考		詳細は臨地実習要項を（成人）を参照				

科 目 名		老年看護学概論		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花 柴田 直子	
科目ナンバリング		1050422285			常勤・非常勤	
D	P	1,4			教員研究室	1312,1326,5202
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 老いを生きる高齢者その人に焦点をあて、加齢変化や発達課題、現在の高齢社会の動向、身体拘束や高齢者虐待などの今日的課題や高齢社会における権利擁護についても学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 1. 老いを生きる高齢者に焦点をあて、加齢変化や発達課題について学ぶ。 2. 現在の高齢社会の様相を統計資料や保健医療福祉の動向などから学び理解する。 3. 身体拘束や高齢者虐待などの問題について理解し考えを深める。 4. 成年後見制度など高齢者の自立と権利をまもるための制度について理解する。 5. 老年看護の基本理念について学ぶ。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・授業開始後 20 分以降の入室は、特別な理由がない限り原則として認めない。 ・授業中の私語は厳禁とし、指摘を受けても改善されない場合は欠席扱いとする。 ・レポート提出期限は厳守とし、遅れや提出がない場合は正当な理由がない限り受け取らない。		
【成績評価方法】 レポート 10%、筆記試験 90% で評価する。レポートが締切日までに提出がない場合は未提出とみなし、評価対象としない。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 「老いるということ、老いを生きるということ」を、どのように捉えるのか、また老年期にある人が健康問題を抱えながらも、人生の最終ゴールを幸せに生きるために、どのように関わったらいいのか、老いを自分自身の将来の問題として捉え、考えを深める機会になる。		
				【実務家教員担当科目】 臨床経験を持つ教員が、その経験を生かして、高齢者を取り巻く社会情勢や老年看護の役割について解説する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大槻 久美	ガイダンス、老いるということ、老いを生きるということ	老年看護学の教科書を中心に授業を行う。第 1 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
2	山田 愛実・ 千葉 桂子・ 福原 彩花	高齢者疑似体験	第 1 章および配布資料を中心に予習・復習を行い、レポートを作成する。			4 時間
3	大槻 久美	超高齢社会の統計的輪郭①	第 2 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
4	大槻 久美	超高齢社会の統計的輪郭②	第 2 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
5	山田 愛実	高齢社会における保健医療福祉の動向①	第 2 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
6	山田 愛実	高齢社会における保健医療福祉の動向②	第 2 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
7	大槻 久美	老年看護のなりたち	第 3 章および配布資料を中心に予習・復習を行う。			4 時間
教 科 書		系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院				
参 考 書		適宜紹介する				
備 考		演習の詳細については事前に指示する。				

科 目 名			老年看護方法論Ⅰ		担 当 者		○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花 柴田 直子	
科目ナンバリング			1050432286				常勤・非常勤	
D P			1,3		教員研究室		1312,1326,5202	
学科（専攻）			看護学科		配 当 年 次		2 年次・後期	
授 業 形 式			演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング			☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用			☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない	
【授業内容】 講義ならびに演習を通して、老年期にある人を対象とした身体的・精神的・社会的・霊的特徴を理解し、看護実践の根拠と基本的看護援助方法について学習する。					【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 小テストを実施した場合は、授業時間内で解説を行う。			
【学習の到達目標】 講義ならびに演習を通して、高齢者のアセスメント、生活機能を整える看護の展開、健康逸脱からの回復と終末期を支える看護の展開などについて学び、具体的な看護援助方法を理解する。					【履修上の注意・予習・復習について】 ・授業開始後 20 分以降の入室は、特別な理由（電車の遅延等）がない限り原則として認めない。 ・授業中の私語は厳禁とし、指摘を受けても改善されない場合は欠席扱いとする。			
【成績評価方法】 課題レポート 10%、演習 10%、筆記試験 80% で評価する。課題レポートが締切日までに提出がない場合は未提出とみなし、評価対象としない。					【受講して得られる効果・メリット、その他】 高齢者のアセスメント、生活機能を整える看護の展開、健康逸脱からの回復と終末期を支える看護の展開について具体的に理解し、習得した知識や看護技術は看護過程の展開に活かすことができる。			
					【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員が、その経験を生かして、加齢変化、病、障害を併せ持つ心身をどのようにとらえ、どのように整えるかを講義する。			
授 業 計 画								
回	担当教員		学修内容		学修課題・必要な学修時間			
					予習・復習			学修時間
1	大槻 久美		ガイダンス / 高齢者のヘルスアセスメント①		老年看護学第 4 章、老年看護病態・疾患論第 3 章および配布資料を中心に予習復習を行う。			4 時間
2	大槻 久美		高齢者のヘルスアセスメント②		老年看護学第 4 章、老年看護病態・疾患論第 3 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
3	大槻 久美		高齢者の生活機能を整える看護：日常生活を支える基本的活動①		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
4	大槻 久美		高齢者の生活機能を整える看護：日常生活を支える基本的活動②		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
5	千葉 桂子		高齢者の生活機能を整える看護：食事・食生活①		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
6	千葉 桂子		高齢者の生活機能を整える看護：食事・食生活②		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
7	山田 愛実・千葉 桂子・福原 彩花		高齢者の生活機能を整える食事介助・口腔ケア（演習）		事例に沿った食事介助・口腔ケアのレポートをまとめる。			4 時間
8	大槻 久美		高齢者の生活機能を整える看護：清潔		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
9	大槻 久美		高齢者の生活機能を整える看護：生活リズム		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
10	大槻 久美		高齢者の生活機能を整える看護：コミュニケーション		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
11	千葉 桂子		高齢者の生活機能を整える看護：社会参加、エンドオブライフケア、家族看護		老年看護学第 5 章、第 8 章、第 9 章、老年看護病態・疾患論第終章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
12	千葉 桂子		健康逸脱からの回復を促す看護：症候のアセスメントと看護①		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 2 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
13	千葉 桂子		健康逸脱からの回復を促す看護：症候のアセスメントと看護②		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 2 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
14	千葉 桂子		生活・療養の場における看護①認知機能障害のある高齢者の看護：うつ・せん妄		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 2 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
15	千葉 桂子		排泄ケアの実践について		配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
16	千葉 桂子		高齢者の生活機能を整える看護：排泄		老年看護学第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
17	山田 愛実・千葉 桂子・柴田 直子		高齢者の生活機能を整える排泄ケア（演習）		事例に沿った排泄ケアのレポートをまとめる。			4 時間
18	山田 愛実		健康逸脱からの回復を促す看護：身体疾患がある高齢者の看護①		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
19	山田 愛実		健康逸脱からの回復を促す看護：身体疾患がある高齢者の看護②		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
20	山田 愛実		健康逸脱からの回復を促す看護：身体疾患がある高齢者の看護③		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
21	山田 愛実		健康逸脱からの回復を促す看護：身体疾患がある高齢者の看護④		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
22	大槻 久美		高齢者の権利擁護		老年看護学第 2 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
23	山田 愛実		認知機能障害のある高齢者の看護：認知症①		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
24	山田 愛実		認知機能障害のある高齢者の看護：認知症②		老年看護学第 6 章、老年看護病態・疾患論第 4 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
25	山田 愛実		治療を必要とする高齢者の看護①		老年看護学第 7 章、老年看護病態・疾患論第 5 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
26	山田 愛実		治療を必要とする高齢者の看護②		老年看護学第 7 章、老年看護病態・疾患論第 6 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
27	福原 彩花		高齢者とヘルスプロモーション		老年看護学第 9 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
28	山田 愛実		高齢者のリスクマネジメント		老年看護学第 10 章および配布資料を中心に予習、復習を行う。			4 時間
教 科 書			系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院 系統看護学講座専門分野「老年看護 病態・疾患論」医学書院					
参 考 書			亀井智子他編；根拠と事故防止からみた老年看護技術, 医学書院					
備 考			演習の詳細については事前に指示する。					

科 目 名		老年看護方法論Ⅱ		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花 庄子 清典
科目ナンバリング		1050432287			常勤・非常勤
D P		1,2		教員研究室	1312,1326,5202
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位
授 業 形 式					必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし			
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 1. 高齢者看護に用いられる理論と看護診断のアセスメント項目と情報収集の具体的な方法を学ぶ 2. 収集した情報を整理・分析し、優先度を判断する過程を学ぶ 3. 看護診断に沿った看護計画の立案と、看護計画を実現可能とするための条件と評価方法を学ぶ 【学習の到達目標】 1. 高齢者の健康障害について、包括的なアセスメントができ、基礎知識や方法論を理解する。 2. アセスメントをもとに看護問題を抽出し、看護過程を展開できる。 3. 高齢者の「もてる力」を引き出す生活機能重視の看護について考えを深める。 【成績評価方法】 課題 70%、筆記試験 30% で評価する。					【課題等のフィードバック方法】 課題のフィードバックは授業時に行う。個別の質問も授業時や授業後に受け付ける。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・授業開始後 20 分以降の入室は、特別な理由がない限り原則として認めない。 ・グループワークや発表・意見交換を行う際は、協調性・積極性に留意しながら参加すること。 ・課題は計画的に取り組み、提出方法と期限を厳守すること。特別な理由がない限り、原則として期限後の課題提出を受けつけない。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 看護の展開の基本となる思考プロセスの実験を体験することができる。 2. グループワークを通し意見交換することで、各自の思考を拓げることができる。 3. 臨地実習における看護過程の展開・実践・評価に繋げることができる。 【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員がその経験を生かし、高齢者に対して生活機能の観点からアセスメントして看護を展開する方法について講義する。
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	大槻 久美 千葉 桂子	ガイダンス、老年看護における看護過程の考え方	シラバスを通読し、授業展開及び課題提出のスケジュールを確認する。高齢者の特徴を考慮した看護過程の展開について教科書及び授業資料を熟読する。		4 時間
2	千葉 桂子 山田 愛実	事例課題の読み合わせ	教科書及び授業資料等を参考に、生活行動モデルによる看護過程を展開するために必要な情報を事例課題から収集する。		4 時間
3	千葉 桂子 山田 愛実	事例展開の実際①	事例の理解を深めるために事例の疾患・症状・治療等について学修し、レポートにまとめる。		4 時間
4	千葉 桂子 山田 愛実	事例展開の実際② 演習①情報収集・アセスメント	教科書及び授業資料等を参考に、生活行動モデルによる看護過程を展開するための情報収集・アセスメントを行い所定様式に記入する。		4 時間
5	千葉 桂子 山田 愛実	演習② 情報収集・アセスメント	生活行動モデルによる看護過程を展開するための情報収集・アセスメントを行い所定様式に記入する。		4 時間
6	千葉 桂子 山田 愛実	演習③ 関連図の作成、看護の焦点の明確化	事例について生活行動モデルによるアセスメントを行い所定様式に記入する。		4 時間
7	千葉 桂子 山田 愛実	演習④ 関連図の作成、看護の焦点の明確化	生活行動モデルによるアセスメントをもとに、目標指向型思考の「看護の焦点」につながる病態・生活機能関連図を作成する。「看護の焦点」に優先順位をつける。		4 時間
8	大槻 久美・千葉 桂子・山田 愛実・福原 彩花	グループワーク発表・意見交換	「看護の焦点」の発表練習と予測される質問への準備をする。グループワーク発表で得られた知見をもとに関連図及び焦点を修正する。		4 時間
9	大槻 久美・千葉 桂子・山田 愛実・福原 彩花	グループワーク発表・意見交換	「看護の焦点」の発表練習と予測される質問への準備をする。グループワーク発表で得られた知見をもとに関連図及び焦点を修正する。		4 時間
10	千葉 桂子 山田 愛実	演習⑤ 看護目標（短期目標）の設定、看護計画立案	教科書及び授業資料を熟読し、生活行動モデルによる看護目標を立て、具体的な看護計画を立案する。		4 時間
11	千葉 桂子 山田 愛実	演習⑥看護目標の設定、看護計画立案	教科書及び授業資料を参考に、持てる力に着目した具体的な看護目標と計画内容になっているか見直しと修正を行う。		4 時間
12	千葉 桂子 山田 愛実	演習⑦看護計画立案	教科書及び授業資料を再度熟読して、情報・アセスメントシート、関連図、看護目標及び看護計画の見直しと修正を行う。		4 時間
13	大槻 久美・千葉 桂子・山田 愛実・福原 彩花	看護過程の評価について・まとめ	看護記録と目標の評価について教科書及び授業資料を熟読する。課題の最終提出に向けて各記録様式の見直しと修正を行う。		4 時間
14	庄子 清典	高齢者の尊厳について	これまでの学修内容と講義の内容から、高齢者看護における倫理について考察しレポートにまとめる。		4 時間
教 科 書		山田律子 他編、生活機能からみた老年看護過程、医学書院			
参 考 書		亀井智子編、根拠と事故防止からみた老年看護技術、医学書院			
備 考		演習・課題の詳細については授業時に資料を配布します。			

科 目 名		老年看護学実習 IA		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花 柴田 直子	
科目ナンバリング		1050442288			常勤・非常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室	1312,1326,5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選 択 3 単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これまで習得した知識の統合と発展を目的とし、病院において高齢患者を受け持ち、複数の疾病や障害によって生活機能が低下している高齢患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解しながら、もてる力を最大限活用して生活していけるように支援する看護実践の基礎的能力を養う。 【学習の到達目標】 1. 病院で複数の疾患・障害をもって暮らす患者と家族について理解し、看護を実践できる。 2. 患者のこれまでの生活史・価値観・人生観を大切にすることが出来る。 3. 患者の「もてる力」を引き出す生活機能からみた看護過程が展開できる。 4. 他職種との連携・協働・社会資源の活用などについて理解できる。 5. 病院における高齢者の尊厳や権利擁護の問題を明らかにし、看護職の役割を説明できる。 【成績評価方法】 臨地実習指導者と実習担当教員により「老年看護実習Ⅰ評価表」を用いて総合的に評価する。 【課題等のフィードバック方法】 実習中や実習後にも質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱで習得した知識および技術を再確認しておくこと。 ・施設および患者さんと家族に感謝の気持ちをもって実習に臨むこと。 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. さまざまな健康障害にある高齢者に寄り添い、その人にあった看護過程を展開するなかで、老年期を生きる人の英知・強さなどを学ぶことができる。 2. 高齢者の「もてる力」を引き出す生活機能重視の看護を展開する関わりの過程で、高齢者をエンパワメントしながら自分もエンパワメントされていくことを体感することができる。 【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員が、その経験を生かして、病院における看護実習を指導する。						
授 業 計 画						
1. オリエンテーション（学内） 2. 実習施設での実習：施設・病棟オリエンテーション 3. 看護過程の展開：受け持ち患者の情報収集 4. 受け持ち患者の情報収集・アセスメント 5. 受け持ち患者の関連図の作成、初回カンファレンスの実施 6. 1 週間の学びの共有／グループディスカッション 7. 受け持ち患者の看護計画の立案（学内） 8. 受け持ち患者の情報追加と看護計画の修正、中間カンファレンスの実施 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践③ 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践④ 13. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価 14. 最終カンファレンスの実施 15. 実習目標に対するグループディスカッション、最終レポート提出（学内）						
教 科 書		系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院 系統看護学講座専門分野「老年看護 病態・疾患論」医学書院 山田律子他 編；生活機能からみた看護過程＋病態・生活機能関連図，医学書院				
参 考 書		亀井智子 編；根拠と事故防止からみた老年看護技術，医学書院 適宜、実習前や実習中に紹介する。				
備 考		臨地実習指導者と実習担当教員への報告・連絡・相談を確実に行うこと。				

科 目 名		老年看護学実習 IB		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花 柴田 直子	
科目ナンバリング		1050442289			常勤・非常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室	1312,1326,5202	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	135 時間	単 位	選択 3 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これまで習得した知識の統合と発展を目的とし、病院において高齢患者を受け持ち、複数の疾病や障害によって生活機能が低下している高齢患者と家族に対して、身体的・心理的・社会的側面を理解しながら、もてる力を最大限活用して生活していけるように支援する看護実践の基礎的能力を養う。 【学習の到達目標】 1. 病院で複数の疾患・障害をもって暮らす患者と家族について理解し、看護を実践できる。 2. 患者のこれまでの生活史・価値観・人生観を大切にしながら関わることができる。 3. 患者の「もてる力」を引き出す生活機能からみた看護過程が展開できる。 4. 他職種との連携・協働・社会資源の活用などについて理解できる。 5. 病院における高齢者の尊厳や権利擁護の問題を明らかにし、看護職の役割を説明できる。 【成績評価方法】 臨地実習指導者と実習担当教員により「老年看護実習Ⅰ評価表」を用いて総合的に評価する。						
【課題等のフィードバック方法】 実習中や実習後にも質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱで習得した知識および技術を再確認しておくこと。 ・施設および患者さんと家族に感謝の気持ちをもって実習に臨むこと。 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. さまざまな健康障害にある高齢者に寄り添い、その人にあった看護過程を展開するなかで、老年期を生きる人の英知・強さを学ぶことができる。 2. 高齢者の「もてる力」を引き出す生活機能重視の看護を展開する関わりの過程で、高齢者をエンパワメントしながら自分もエンパワメントされていくことを体感することができる。 【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員が、その経験を生かして、病院における看護実習を指導する。						
授 業 計 画						
1. オリエンテーション（学内） 2. 実習施設での実習：施設・病棟オリエンテーション 3. 看護過程の展開：受け持ち患者の情報収集 4. 受け持ち患者の情報収集・アセスメント 5. 受け持ち患者の関連図の作成、初回カンファレンスの実施 6. 1 週間の学びの共有／グループディスカッション 7. 受け持ち患者の看護計画の立案（学内） 8. 受け持ち患者の情報の追加と看護計画の修正、中間カンファレンスの実施 9. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践① 10. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践② 11. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践③ 12. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の実践④ 13. 受け持ち患者の看護計画に基づいた看護援助の評価 14. 最終カンファレンスの実施 15. 実習目標に対するグループディスカッション、最終レポート提出（学内）						
教 科 書		系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院 系統看護学講座専門分野「老年看護 病態・疾患論」医学書院 生活機能山田律子他 編；生活機能からみた看護過程＋病態・生活機能関連図，医学書院				
参 考 書		亀井智子 編；根拠と事故防止からみた老年看護技術，医学書院 適宜、実習前や実習中に紹介する。				
備 考		臨地実習指導者と実習担当教員への報告・連絡・相談を確実に行うこと。				

科 目 名		老年看護学実習 IIA		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花	
科目ナンバリング		1050442290			常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室		1312,1326,5202
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		3 年次・後期
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク □プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 これまで習得した知識の統合と発展を目的とし、介護老人保健施設または介護老人福祉施設において生活する高齢者とその家族を対象に、障害を持ちながらも高齢者のもてる力を引き出す生活機能重視のケアの実際の学びをとおり看護を考える。高齢者や家族に対し、これまでの生活史・価値観・人生観を大切にしたい関わりを持ちながら、関係職種との連携や協働について考える。 【学習の到達目標】 1. 高齢者の身体的・心理的・社会的側面を理解し、顕在的・潜在的な「もてる力」を引き出しながら、その人らしい生活を支援する看護を考えることができる。 2. 高齢者を支える家族への看護の実際について理解することができる。 3. 他職種の役割や社会資源について理解し、介護老人保健施設や介護老人福祉施設における看護職の役割と、関係職種との連携や協働について考えることができる。 【成績評価方法】 臨地実習指導者と実習担当教員により「老年看護実習Ⅱ評価表」を用いて総合的に評価する。 【課題等のフィードバック方法】 実習中や実習後にも質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・老年看護学概論，老年看護方法論Ⅰ・Ⅱで習得した知識および技術を再確認しておくこと。 ・施設および利用者さんに感謝の気持ちをもって実習に臨むこと。 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 施設で生活する高齢者の特性を理解し、さまざまな健康障害をもつ高齢者に寄り添い、関係職種との連携や協働により、その人にあったケアの展開を理解することで、老年期を生きる人の英知・強さを学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員が、その経験を生かして、介護老人保健施設や介護老人福祉施設における看護実習を指導する。						
授 業 計 画						
1 日目：オリエンテーション（学内） 2 日目：施設オリエンテーション 施設活動への参与、カンファレンス① 3 日目：施設活動への参与、カンファレンス② 4 日目：施設活動への参与、カンファレンス③ 5 日目：施設活動への参与、カンファレンス④、最終レポート提出						
教 科 書		系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院 系統看護学講座専門分野「老年看護 病態・疾患論」医学書院				
参 考 書		亀井智子 編；根拠と事故防止からみた老年看護技術，医学書院 適宜、実習前や実習中に紹介する。				
備 考		臨地実習指導者と実習担当教員への報告・連絡・相談を確実に行うこと。				

科 目 名		老年看護学実習 IIB		担 当 者	○大槻 久美・山田 愛実 千葉 桂子・福原 彩花	
科目ナンバリング		1050442291			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	1312、1326、5202	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これまで習得した知識の統合と発展を目的とし、介護老人保健施設または介護老人福祉施設において生活する高齢者とその家族を対象に、障害を持ちながらも高齢者のもてる力を引き出す生活機能重視のケアの実際の学びをとおし看護を考える。高齢者や家族に対し、これまでの生活史・価値観・人生観を大切にしたい関わりを持ちながら、関係職種との連携や協働について考える。				【課題等のフィードバック方法】 実習中や実習後にも質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 1. 高齢者の身体的・心理的・社会的側面を理解し、顕在的・潜在的な「もてる力」を引き出しながら、その人らしい生活を支援する看護を考えることができる。 2. 高齢者を支える家族への看護の実際について理解することができる。 3. 他職種の役割や社会資源について理解し、介護老人保健施設や介護老人福祉施設における看護職の役割と、関係職種との連携や協働について考えることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・老年看護学概論，老年看護方法論Ⅰ・Ⅱで習得した知識および技術を再確認しておくこと。 ・施設および利用者さんに感謝の気持ちをもって実習に臨むこと。 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。		
【成績評価方法】 臨地実習指導者と実習担当教員により「老年看護実習Ⅱ評価表」を用いて総合的に評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 施設で生活する高齢者の特性を理解し、さまざまな健康障害をもつ高齢者に寄り添い、関係職種との連携や協働により、その人にあったケアの展開を理解することで、老年期を生きる人の英知・強さを学ぶことができる。		
【実務家教員担当科目】 臨床経験を有する教員が、その経験を生かして、介護老人保健施設や介護老人福祉施設における看護実習を指導する。						
授 業 計 画						
1 日目：オリエンテーション（学内） 2 日目：施設オリエンテーション 施設活動への参与、カンファレンス① 3 日目：施設活動への参与、カンファレンス② 4 日目：施設活動への参与、カンファレンス③ 5 日目：施設活動への参与、カンファレンス④、最終レポート提出						
教 科 書		系統看護学講座専門分野「老年看護学」医学書院 系統看護学講座専門分野「老年看護 病態・疾患論」医学書院				
参 考 書		亀井智子 編；根拠と事故防止からみた老年看護技術，医学書院 適宜、実習前や実習中に紹介する。				
備 考		臨地実習指導者と実習担当教員への報告・連絡・相談を確実に行うこと。				

科 目 名		小児看護学概論		担 当 者	○大池 真樹・鈴木 祐子	
科目ナンバリング		1050422292			常勤	
D	P	1,4		教員研究室	5209・5208	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク ☑プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		☑双方向型授業 □自主学习支援 □該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 小児看護の理念、歴史と意義、子どもの権利について学び、子どもと家族を主体とした小児看護のあり方を考察する。子どもの健康問題、子どもと家族を取り巻く社会・医療の現状と課題、子どもの法律・施策について学び、小児看護の課題について考察する。小児看護で用いられる理論や子どもの成長発達について学び、子どもの発達課題や成長発達を支援する看護について考察する。				【課題等のフィードバック方法】 出席カードや口頭、または GoogleClassroom にて質問を受け付け、授業または GoogleClassroom 内でフィードバックする。		
【学習の到達目標】 1. 小児看護の理念、子どもの権利、子どもと家族を主体とした小児看護の考え方について具体的に述べることができる。 2. 子どもの健康問題や子どもと家族を取り巻く社会・医療を理解し、小児看護の課題について説明できる。 3. 小児看護で用いられる理論について説明できる。 4. 小児期の発達課題や成長発達について説明し、具体的な看護を述べることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の私語、GoogleClassroom 以外のスマートフォンの使用は禁止。		
【成績評価方法】 試験（90%）、授業の事前・事後学習（10%）の合計で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 子どもの成長発達を支援し、子どもと家族を中心とした看護を実践するための知識、思考・判断・表現力を養うことができる。		
【実務家教員担当科目】 看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員が、小児期の成長・発達や小児看護に関する知識を講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大池 真樹	小児看護学で用いられる概念と理論①	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と子どもの権利と看護についてまとめる			4 時間
2	大池 真樹	小児看護学で用いられる概念と理論②	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と小児看護と法律・施策についてまとめる			4 時間
3	大池 真樹	小児看護学で用いられる概念と理論③	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と小児で用いられる理論についてまとめる			4 時間
4	大池 真樹	子どもの成長・発達と看護①	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と乳児の成長・発達についてまとめる			4 時間
5	大池 真樹	子どもの成長・発達と看護②	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と幼児の成長・発達についてまとめる			4 時間
6	鈴木 祐子	子どもの成長・発達と看護③	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と学童と思春期の人々の成長・発達についてまとめる			4 時間
7	大池 真樹	子どもの成長・発達と看護④	予習：教科書を読む 復習：小テストの復習と小児の身体計測等、小児の発育評価についてまとめる			4 時間
教 科 書		ナーシング・グラフィカ「小児看護学①小児の発達と看護」メディカ出版 ナーシング・グラフィカ「小児看護学②小児看護技術」メディカ出版				
参 考 書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児看護学概論 小児臨床看護総論」医学書院 看護学テキスト NiCE「小児看護学Ⅰ」南江堂				
備 考		担当教員連絡先 大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護方法論Ⅰ		担 当 者	○鈴木 祐子・大池 真樹 秋本 和宏・加藤 裕子 高橋 直子・吉本 裕子 日下由利子	
科目ナンバリング		1050432293			常勤・非常勤	
D P		1,3		教 員 研 究 室	5208・5209・5210	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 小児看護学概論で学んだ知識を基盤とし、症状別にみる子どもの看護や小児看護技術について学ぶ。また、様々な状況にある子どもと家族の理解を深め、必要な看護について学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 健康障害をもつ子どもと家族のアセスメントに必要な知識および看護援助方法が理解できる。 2. 小児看護技術について理解し、子どもの健康レベルや発達段階に合わせて模擬的に実施できる。 【成績評価方法】 筆記試験（90%）、課題提出および授業・演習の参加状況（10%）の合計で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 出席カードや GoogleClassroom 等で質問を受け付け、授業内でフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の私語、飲食は禁止とする。スマートフォン等通信デバイスの使用は、教員が必要と認める場合を除き禁止とする。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 子どもの健康レベルや発達段階に応じた、子どもと家族の看護に関する知識・技術、思考・判断・表現力を養うことができる。また、演習を通して主体性や協働性を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員が、小児看護に関する知識や看護技術、看護実践の講義・演習を担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習	学修時間		
1	鈴木 祐子	オリエンテーション（子どもの権利擁護）、援助関係を形成する技術、安心・安全な環境を調整する技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
2	大池 真樹	健康障害や入院が子どもに及ぼす影響と看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
3	大池 真樹	慢性期にある子どもと家族への看護、成人への移行期にある健康障害をもつ子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
4	大池 真樹	食事の援助技術（子どもへの食事援助の実際）、排泄の援助技術、清潔・衣生活の援助技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
5	鈴木 祐子	食事の援助技術（子どもの健康状態に応じた食物・栄養摂取方法とケア）	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
6	鈴木 祐子	検査や処置を受ける子どもと家族への看護、処置やケアへの遊びの応用	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
7	鈴木 祐子	安全・安楽を確保する技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
8	鈴木 祐子	与薬の技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
9	鈴木 祐子	急性期にある子どもと家族への看護（生命兆候が危険な状況、急性期にある子どもと家族への援助）	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
10	鈴木 祐子	救急救命の技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
11	鈴木 祐子、大池 真樹	中間試験	既習内容を復習する	4 時間		
12	鈴木 祐子	症状・生体機能の管理技術（バイタルサイン測定・尿採取）、演習オリエンテーション	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
13	秋本 和宏	急性期にある子どもと家族への看護（呼吸困難）、呼吸・循環を整える技術	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
14	鈴木 祐子	急性期にある子どもと家族への看護（発熱、脱水、けいれん）	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
15	鈴木 祐子	急性期にある子どもと家族への看護（嘔吐・下痢）	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
16	鈴木 祐子	手術を受ける子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
17	鈴木 祐子	終末期にある子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
18	鈴木 祐子	在宅における子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
19	鈴木 祐子	子どもの呼吸器疾患と看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
20	鈴木 祐子	子どもの精神疾患と看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
21	鈴木 祐子、大池 真樹、秋本 和宏、日下由利子	演習：小児のバイタルサイン測定、検体採取、輸液管理	予習：事前課題を実施する 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
22	鈴木 祐子、大池 真樹、秋本 和宏、日下由利子	演習：採血・静脈内血管確保時の看護	予習：事前課題を実施する 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
23	大池 真樹	災害を受けた子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
24	高橋 直子、大池 真樹	災害を受けた子どもと家族への看護（実践編）	予習：既習内容を復習する 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
25	鈴木 祐子	被虐待児と家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
26	加藤 裕子、鈴木 祐子	子どもの虐待と看護（実践編）	予習：既習内容を復習する 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
27	鈴木 祐子	外来における子どもと家族への看護	予習：教科書の該当ページを読む 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
28	吉本 裕子、鈴木 祐子	入院中・外来における子どもと家族への看護（実践編）	予習：既習内容を復習する 復習：提示された課題を実施する	4 時間		
教 科 書		ナーシンググラフィカ「小児看護学①②」メディカ出版 系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児臨床看護各論」医学書院				
参 考 書		写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ 看護実践のための根拠がわかる小児看護技術 メヂカルフレンド社				
備 考		教員連絡先 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp、大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp、秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護方法論Ⅱ		担 当 者	○大池 真樹・鈴木 祐子 秋本 和宏・大塚 有希 日下由利子	
科目ナンバリング		1050432294			常勤・非常勤	
D	P	1,2		教 員 研 究 室	5209・5208・5210	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 子どもの健康レベルや発達段階に応じた子どもと家族の看護について考察し、看護過程を展開する。				【課題等のフィードバック方法】 出席カードや口頭、または GoogleClassroom にて質問を受け付け、授業または GoogleClassroom 内でフィードバックする。		
【学習の到達目標】 1. 子どもの健康障害や小児看護技術について説明することができる。 2. 健康障害を持つ子どもと家族の看護を具体的に述べるができる。 3. 子どもの健康レベルや発達段階に応じた子どもと家族の看護を考察し、看護過程を模擬的に展開できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業中の私語、GoogleClassroom 以外でのスマートフォンの使用は禁止。		
【成績評価方法】 試験（80%）、授業の事前・事後学習と参加状況（20%）の合計で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 子どもの健康レベルや発達段階に応じた子どもと家族の看護に関する知識・技術、思考・判断・表現力を養うことができる。また、演習を通して主体性や協働性を養うことができる。		
【実務家教員担当科目】 看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員が、小児看護に関する知識や実践、看護過程の講義・演習を担当する。また、小児専門病院のチャイルド・ライフ・スペシャリストが小児看護に関する知識や実践の講義を担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習	学修時間		
1	大池 真樹	免疫・アレルギー・リウマチ疾患と看護	予習は病態治療学（小児の免疫・アレルギー・リウマチ疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
2	大池 真樹	感染症と看護	予習は病態治療学（小児の感染症）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
3	鈴木 祐子	循環器疾患と看護	予習は病態治療学（小児の循環器疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
4	秋本 和宏	消化器疾患と看護	予習は病態治療学（小児の消化器疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
5	大池 真樹	腎・泌尿器疾患・生殖器疾患と看護	予習は病態治療学（小児の腎・泌尿器・生殖器疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
6	大池 真樹	代謝性・内分泌疾患と看護	予習は病態治療学（小児の代謝性・内分泌疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
7	大池 真樹	悪性新生物と看護、血液・造血器疾患と看護	予習は病態治療学（小児の悪性新生物、血液・造血器疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
8	大池 真樹	神経疾患と看護、染色体異常等と看護	予習は病態治療学（小児の神経疾患、染色体異常）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
9	大池 真樹	運動器疾患と看護、眼・耳鼻咽喉疾患と看護	予習は病態治療学（小児の運動器・眼・耳鼻咽喉疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
10	秋本、大池、鈴木、日下	（演習）小児看護技術	予習：課題の実施 復習：課題の実施		4 時間	
11	大池 真樹	（演習）小児看護における看護過程①	予習：課題の実施 復習：課題の実施		4 時間	
12	大池 真樹	（演習）小児看護における看護過程②	予習：課題の実施 復習：課題の実施		4 時間	
13	大塚 有希	健康障害をもつ子どもと家族への看護・子どもと家族との関わり方、多職種連携	子どもと家族との関わり方、小児看護における多職種連携について予習し、授業後は、授業内容について自分の考えをまとめる		4 時間	
14	秋本 和宏	ハイリスク新生児と家族への看護（低出生体重児など）	予習は病態治療学（新生児疾患）について復習し、授業後は小テストの復習と看護についてまとめる		4 時間	
教 科 書		ナーシング・グラフィカ「小児看護学①」「小児看護学②」メディカ出版 「系統看護学講座専門分野 小児臨床看護各論小児看護学 2」医学書院				
参 考 書		「発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図」医学書院 「エビデンスに基づく小児看護ケア関連図」中央法規				
備 考		<連絡先>大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp 秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護学実習 IA		担 当 者	○鈴木 祐子・大池 真樹 秋本 和宏	
科目ナンバリング		1050442295			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	5208・5209・5210	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 乳幼児の成長発達の実態や日常生活行動の特徴、乳幼児と家族の特徴や社会環境を理解するとともに、保育活動の実態を通し、乳幼児と家族の看護に必要な知識と技術、態度を養う。				【課題等のフィードバック方法】 ・実習前後の面談を通して自己の課題の明確化と学修成果についてフィードバックする。 ・実習中、適宜、実習内容や記録等についてフィードバックする。		
【学習の到達目標】 1. 乳幼児の心身の特徴と成長発達について説明できる。 2. 乳幼児の成長発達や個人差をふまえた上で、個々に合わせたコミュニケーション方法を理解し、日常生活支援を実施できる。 3. 成長発達をふまえた乳幼児の安全について考え、安全管理や感染予防の観点から環境を整えることができる。 4. 健康な乳幼児と家族への支援における保育士や保育教諭、家族、チーム内の連携の重要性について説明できる。 5. 乳幼児をとりまく地域・社会のサポートや支援の実態について説明できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。 ・主体的に学習し、自己の行動を振り返りながら、看護学生として責任ある行動をとること。		
【成績評価方法】 事前学習（15%）、実習目標達成度（55%）、最終レポート（30%）の合計で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 成長発達過程にある乳幼児と家族の特徴、および乳幼児と家族を取り巻く社会環境を理解し、看護実践のための知識と技術、態度を養うことができる。		
【実務家教員担当科目】 看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員が、保育園・こども園での実習を担当する。						
授 業 計 画						
指定された園（保育園、こども園）において実習を行う。 1. オリエンテーション（学内） 2. 実習施設の日課に従い、保育士または保育教諭の指導のもと保育に参加する。 3. 0 歳～6 歳のさまざまな発達段階にある乳幼児の保育を経験する。 4. 保育に参加する中で、可能な限り以下の技術を経験する。：環境整備、授乳・食事介助（離乳食、幼児食）、排泄介助（オムツ交換、トイレ誘導など）、清潔の援助（手洗い、はみがき）、衣服の着脱、睡眠の援助（午睡の準備と世話）、遊びの支援、など 5. 乳幼児との関わりを通し、身体発育、運動機能、言語、社会性、生活行動等の発達について理解する。 6. 家族の送迎場面などを通し、家族の役割、保育士・保育教諭と家族の連携について理解する。 7. 実習施設の日課や年間保育計画の特徴と意義について理解する。 8. カンファレンスを通し、他学生と学びを共有し、自己の学びを深める。 9. 学びの振り返りとまとめを行う。（学内）						
教 科 書		ナーシング・グラフィカ 小児看護学①② メディカ出版				
参 考 書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児看護学概論 小児臨床看護総論」医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児臨床看護各論」医学書院				
備 考		教員連絡先 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp、大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp、秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護学実習 IB		担 当 者	○鈴木 祐子・大池 真樹 秋本 和宏	
科目ナンバリング		1050442296			常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室		5208・5209・5210
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		4 年次・前期
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 乳幼児の成長発達の実際や日常生活行動の特徴、乳幼児と家族の特徴や社会環境を理解するとともに、保育活動の実際を通し、乳幼児と家族の看護に必要な知識と技術、態度を養う。 【学習の到達目標】 1. 乳幼児の心身の特徴と成長発達について説明できる。 2. 乳幼児の成長発達や個人差をふまえた上で、個々に合わせたコミュニケーション方法を理解し、日常生活支援を実施できる。 3. 成長発達をふまえた乳幼児の安全について考え、安全管理や感染予防の観点から環境を整えることができる。 4. 健康な乳幼児と家族への支援における保育士や保育教諭、家族、チーム内の連携の重要性について説明できる。 5. 乳幼児をとりまく地域・社会のサポートや支援の実際について説明できる。 【成績評価方法】 事前学習（15%）、実習目標達成度（55%）、最終レポート（30%）の合計で評価する。 【課題等のフィードバック方法】 ・実習前後の面談を通して自己の課題の明確化と学修成果についてフィードバックする。 ・実習中、適宜、実習内容や記録等についてフィードバックする。 【履修上の注意・予習・復習について】 ・体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけること。 ・主体的に学習し、自己の行動を振り返りながら、看護学生として責任ある行動をとること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 成長発達過程にある乳幼児と家族の特徴、および乳幼児と家族を取り巻く社会環境を理解し、看護実践のための知識と技術、態度を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員が、保育園・こども園での実習を担当する。						
授 業 計 画						
指定された園（保育園、こども園）において実習を行う。 1. オリエンテーション（学内） 2. 実習施設の日課に従い、保育士または保育教諭の指導のもと保育に参加する。 3. 0 歳～6 歳のさまざまな発達段階にある乳幼児の保育を経験する。 4. 保育に参加する中で、可能な限り以下の技術を経験する。：環境整備、授乳・食事介助（離乳食、幼児食）、排泄介助（オムツ交換、トイレ誘導など）、清潔の援助（手洗い、はみがき）、衣服の着脱、睡眠の援助（午睡の準備と世話）、遊びの支援、など 5. 乳幼児との関わりを通し、身体発育、運動機能、言語、社会性、生活行動等の発達について理解する。 6. 家族の送迎場面などを通し、家族の役割、保育士・保育教諭と家族の連携について理解する。 7. 実習施設の日課や年間保育計画の特徴と意義について理解する。 8. カンファレンスを通し、他学生と学びを共有し、自己の学びを深める。 9. 学びの振り返りとまとめを行う。（学内）						
教 科 書		ナーシング・グラフィカ 小児看護学①② メディカ出版				
参 考 書		系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児看護学概論 小児臨床看護総論」医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ「小児臨床看護各論」医学書院				
備 考		教員連絡先 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp、大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp、秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護学実習 IIA		担 当 者	○大池 真樹・鈴木 祐子 秋本 和宏	
科目ナンバリング		1050442297			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	5209・5208・5210	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 健康障害をもつ子どもの健康レベルや成長発達段階に応じた看護支援方法を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 実習前後の面談を通して自己の課題の明確化と学修成果についてフィードバックし、実習中は看護実践や記録等についてフィードバックする。		
【学習の到達目標】 1. 子どもの成長発達と健康障害について説明できる。2. 子どもの健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響について説明できる。3. 子どもの発達段階を踏まえ、退院後の家庭や社会生活を視野に入れ、子どもと家族が抱える健康問題解決のための看護過程が展開できる。4. 子どもと家族の生活環境について理解し、子どもと家族にふさわしい入院環境に向けた看護が実践できる（遊び、学習、付添家族の入院生活、きょうだい支援なども含む）。5. 常に子どもの安全・安楽を考慮に入れた看護が実践できる。6. 看護チームにおけるメンバーとして学生が果たすべき役割を理解し説明できる。7. 多職種との協働、チームにおける看護師の役割について説明できる。8. 学習課題に主体的に取り組み、看護学生として責任のある行動をとることができる。9. これまでに学んだ知識や技術をもとに、子どもや家族、医療スタッフ、教員と積極的に関わりながら自分の考える看護を表現することができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 体調管理には十分気を配り、規則正しい生活を心がけ、子どもと家族に対して倫理的に関わる。主体的に学習し、自己を振り返りながら、看護学生として責任ある行動をとる。		
【成績評価方法】 カンファレンス参加状況（10%）、実習態度（15%）、実習目標達成度と最終レポート（75%）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 健康障害のある子どもと家族の特徴を理解し、子どもと家族の健康レベルや成長発達に応じた看護援助方法を学ぶことができる。		
【実務家教員担当科目】 看護師に必要な能力を身につけるため、病院において、看護師や看護師業務（小児看護）に携わった経験を持つ教員の指導の下、看護過程を展開しながら看護ケアを実践する。						
授 業 計 画						
小児病棟において実習を行う。 1. オリエンテーション 2. 原則 1 名の子どもを受持ち看護過程を展開する。 ・子どもや家族とのコミュニケーション、診療録等から必要な情報の収集、整理、分析を行う。 ・看護上の問題を抽出する。 ・各看護上の問題に対する看護目標、具体策を立案する。 ・日々の看護を通して、看護上の問題に対する看護ケアと子どもや家族の反応を評価する。 ・必要時、看護計画を修正する。 3. 事前学習を十分した上で、教員および病棟看護師の指導のもと看護ケアや検査、処置を見学、または実施する。 4. カンファレンスを通して、他学生と学びを共有し、学びを深める。 5. 最終日は学びの振り返りとまとめを行う。						
教 科 書		小児看護学概論、小児看護方法論ⅠⅡで使用した教科書				
参 考 書		「発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図」医学書院 「エビデンスに基づく小児看護ケア関連図」中央法規				
備 考		<連絡先>大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp 秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		小児看護学実習 IIB		担 当 者	○大池 真樹・鈴木 祐子 秋本 和宏	
科目ナンバリング		1050442298			常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室	5209・5208・5210	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☒ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 健康障害をもつ子どもの健康レベルや成長発達段階に応じた看護支援方法を学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 子どもの成長発達と健康障害について説明できる。2. 子どもの健康障害や入院が子どもと家族に及ぼす影響について説明できる。3. 子どもの発達段階を踏まえ、退院後の家庭や社会生活を視野に入れ、子どもと家族が抱える健康問題解決のための看護過程が展開できる。4. 子どもと家族の生活環境について理解し、子どもと家族にふさわしい入院環境に向けた看護が実践できる（key word：遊び、学習、付添家族の入院生活、きょうだい支援など）。5. 常に子どもの安全・安楽を考慮に入れた看護が実践できる。6. 看護チームにおけるメンバーとして学生が果たすべき役割を理解し説明できる。7. 多職種との協働、チームにおける看護師の役割について説明できる。8. 学習課題に主体的に取り組み、看護学生として責任のある行動をとることができる。9. これまでに学んだ知識や技術をもとに、子どもや家族、医療スタッフ、教員と積極的に関わりながら自分の考える看護を表現することができる。 【成績評価方法】 カンファレンス参加状況（10%）、実習態度（15%）、実習目標達成度と最終レポート（75%）。						
授 業 計 画						
小児病棟において実習を行う。 1. オリエンテーション 2. 原則 1 名の子どもを受持ち看護過程を展開する。 ・子どもや家族とのコミュニケーション、診療録等から必要な情報の収集、整理、分析を行う。 ・看護上の問題を抽出する。 ・各看護上の問題に対する看護目標、具体策を立案する。 ・日々の看護を通して、看護上の問題に対する看護ケアと子どもや家族の反応を評価する。 ・必要時、看護計画を修正する。 3. 事前学習を十分した上で、教員および病棟看護師の指導のもと看護ケアや検査、処置を見学、または実施する。 4. カンファレンスを通して、他学生と学びを共有し、学びを深める。 5. 最終日は学びの振り返りとまとめを行う。						
教 科 書		小児看護学概論、小児看護方法論Ⅱで使用した教科書				
参 考 書		「発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図」医学書院 「エビデンスに基づく小児看護ケア関連図」中央法規				
備 考		＜連絡先＞大池真樹：ohikemaki@ns.tbgu.ac.jp 鈴木祐子：yksuzuki@ns.tbgu.ac.jp 秋本和宏：akimoto@ns.tbgu.ac.jp				

科 目 名		母性看護学概論			担 当 者	○大庭 みよ・北山 玲子	
科目ナンバリング		1050422299				常勤・非常勤	
D P		1,4			教員研究室	1314 非常勤講師室	
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 「母性」とは何か、母性看護の対象と役割、リプロダクティブヘルス/ライツの視点から、女性のライフステージにおける健康問題およびその看護援助について学習する。 【学習の到達目標】 1. 母性看護およびリプロダクティブヘルスの中心概念について説明できる。 2. 母性看護の役割と課題について説明できる。 3. ライフサイクル各期における健康問題と看護について説明できる。 【成績評価方法】 定期試験 70%（70 点）、レポート 30%（30 点）とし総合的に評価する。 【課題等のフィードバック方法】 1. 授業開始時に前回授業内容のポイントを確認する。 2. 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 母性看護学で基本となる概念を中心に学ぶ科目であるため、関連する図書や新聞記事に目を通し、母子と家族をめぐる社会状況に関心をもちながら講義に臨む。 2. グループワーク時は、リーダーシップ・メンバーシップを発揮し、積極的に発言して効果的な討議をすること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 母性とは何かを理解し、個人や家族、社会の視点から母性の特徴を学ぶことができる。また、母性看護の援助を展開するための基礎的な知識を修得できる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許、助産師免許を有する教員が、周産期にある対象への看護経験を活かし母性看護の基本的な知識や考え方を講義する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	北山 玲子	母性看護の基盤となる概念	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
2	北山 玲子	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
3	北山 玲子	母子保健統計と母子保健施策	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
4	北山 玲子	女性のライフサイクルと家族、母性の発達・成熟・継承	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
5	北山 玲子	女性のライフステージ各期における看護	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
6	北山 玲子	リプロダクティブヘルスケア	予習：対象となる教科書部分を読む。 復習：学習したことを説明できるようにする。				4 時間
7	北山 玲子 大庭 みよ	グループワークおよび発表	提示された課題について自分の意見をまとめておく。 テーマにそってグループワークを進める。				4 時間
教 科 書		森 恵美他：母性看護学概論第 14 版 医学書院					
参 考 書		国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会					
備 考		なし					

科 目 名		母性看護方法論Ⅰ			担 当 者	○大庭 吉越 みよ 依代
科目ナンバリング		10504322100			常勤・非常勤	
D P		1,3			教 員 研 究 室	1314 非常勤講師室
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク ☑プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 妊娠・分娩・産褥期および新生児期における母子の生理的変化を学ぶ。さらにさまざまな産科的異常の基本的知識と看護援助の方法を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義中・終了後、質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 1. 妊娠・分娩・産褥期および新生児期にある母子とその家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、アセスメントと看護援助の方法が理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の健康問題と看護援助の方法が理解できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 母性看護方法論Ⅰは母性看護実習を進める上で直接関連する科目であるため、教科書・配布資料を熟読する等の予習・復習を行うこと。		
【成績評価方法】 中間試験・定期試験 90%（90 点）、課題・レポート 10%（10 点）とし総合的に評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 周産期にある女性とそのパートナーおよび家族への看護を実践するうえで必要となる専門知識と技術が修得できる。		
【実務家教員担当科目】 看護師免許、助産師免許を有し、周産期にある対象への看護実務経験を持つ教員が、臨床での具体例を示しながら講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大庭 みよ	妊娠期の看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
2	大庭 みよ	妊娠期の看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
3	大庭 みよ	妊娠期の看護 3	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
4	大庭 みよ	妊娠期の看護 4	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
5	大庭 みよ	妊娠期の看護 5	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
6	大庭 みよ	妊娠期の看護 6	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
7	大庭 みよ	ハイリスク妊婦の看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
8	大庭 みよ	ハイリスク妊婦の看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
9	北山 玲子	分娩期の看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
10	北山 玲子	分娩期の看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：課教科書と授業内容を振り返る			4 時間
11	北山 玲子	分娩期の看護 3	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
12	北山 玲子	分娩期の看護 4	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
13	北山 玲子	分娩期の正常経過からの逸脱と看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
14	北山 玲子	分娩期の正常経過からの逸脱と看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
15	北山 玲子	産褥期の看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
16	北山 玲子	産褥期の看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
17	北山 玲子	産褥期の看護 3	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
18	北山 玲子	産褥期の看護 4	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
19	北山 玲子	産褥期の看護 5	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
20	北山 玲子	産褥期の看護 6	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
21	北山 玲子	褥婦の正常経過からの逸脱と援助 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
22	北山 玲子	褥婦の正常経過からの逸脱と援助 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
23	大庭 みよ	特殊なニーズをもつ妊産婦と家族の支援	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
24	吉越 依代	新生児の看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む、学習した内容を説明する 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
25	吉越 依代	新生児の看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
26	吉越 依代	新生児の看護 3	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
27	吉越 依代	新生児の健康問題と看護 1	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
28	吉越 依代	新生児の健康問題と看護 2	予習：対象となる教科書部分を読む 復習：教科書と授業内容を振り返る			4 時間
教 科 書		大平光子他：母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 改定第 3 版，南江堂				
参 考 書		井上裕美他：病気がみえる vol.10, 産科第 4 版，メディックメディア 有森直子他：母性看護学Ⅱ 周産期各論，医歯薬出版株式会社 他、授業の中で随時紹介する。				
備 考		なし				

科 目 名		母性看護方法論Ⅱ		担 当 者	○大庭 みよ・小山 美香 吉越 依代	
科目ナンバリング		10504322101			常勤・非常勤	
D P		1,3		教 員 研 究 室		1314 非常勤講師室
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		3 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 妊娠・分娩・産褥期および新生児期の看護過程について基礎知識を学び、紙上事例を用いて看護過程を展開する。				【課題等のフィードバック方法】 講義中・講義終了後、質問を受け付け回答する。また、課題提出後、コメントを付して返却する。		
【学習の到達目標】 1. 妊産褥婦および新生児の観察と基本的看護技術が安全に実施できる。 2. 周産期にある母子とその家族の身体的・心理的・社会的変化をふまえた看護過程が展開できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 予習・復習は十分に行い、課題は期日までに提出する。 2. グループワークには積極的に参加する。		
【成績評価方法】 看護技術演習レポート 20%（20 点）、事例検討課題 50%（50 点）、定期試験 30%（30 点）で評価する。 レポートや事例検討課題を期限までに提出しない場合は、評価しない。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 周産期にある母子の看護過程を学び、母性看護の実践に必要な具体的な看護援助の方法を修得できる。		
【実務家教員担当科目】 看護師および助産師の資格を有し周産期の看護の実務経験を持つ教員が、妊産褥婦および新生児への個別性を重視した看護過程の展開方法について講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	大庭 みよ	母性看護における看護過程の考え方	予習：第Ⅷ章事例から理解する母性看護過程の展開を通読 復習：授業時に指示			4 時間
2	大庭 みよ、 吉越 依代	妊産褥婦および新生児の観察と基本的看護技術①	演習技術の予習、演習前後レポートの記入			4 時間
3	大庭 みよ、 吉越 依代	妊産褥婦および新生児の観察と基本的看護技術②	演習技術の予習、演習前後レポートの記入			4 時間
4	大庭 みよ、 吉越 依代	受持ち事例の情報収集とデータベースの書き方	予習：提示資料の熟読 復習：データベース記入			4 時間
5	大庭 みよ、 吉越 依代	受持ち事例のアセスメント① （情報の整理・解釈・分析）	予習：提示資料の熟読 復習：妊娠・分娩・産褥、新生児のアセスメントの記入			4 時間
6	大庭 みよ、 吉越 依代	受持ち事例のアセスメント② （グループワーク）	予習：提示資料の熟読 復習：アセスメントの修正			4 時間
7	大庭 みよ	関連図の書き方（アセスメントの統合と看護課題の明確化）	予習：提示資料の熟読 復習：関連図の作成			4 時間
8	大庭 みよ	関連図の作成と看護課題の明確化（グループワーク）	予習：提示資料の熟読 復習：関連図の完成			4 時間
9	大庭 みよ	個別性を考慮した看護計画の立案	予習：提示資料の熟読 復習：看護計画の立案			4 時間
10	大庭 みよ、 吉越 依代	日々の看護過程と評価の方法（グループワーク）	予習：提示資料の熟読 復習：SOAP 記録の方法			4 時間
11	大庭 みよ、 小山 美香、 吉越 依代	立案した看護計画の実施および評価（演習）	予習：看護援助方法の確認 復習：実施した看護援助を SOAP で記録			4 時間
12	大庭 みよ、 吉越 依代	実施した看護計画の評価、受け持ち事例の看護計画の修正	予習：受け持ち事例の看護計画の見直し 復習：個別性を考慮した具体的な看護計画の修正			4 時間
13	大庭 みよ、 吉越 依代	看護過程に関するプレゼンテーション資料の作成	予習：効果的なプレゼンテーションとは 復習：プレゼンテーションの練習			4 時間
14	大庭 みよ、 吉越 依代	看護過程に関する発表会	予習：発表会参加者のあり方 復習：プレゼンテーションの振り返り			4 時間
教 科 書		齋藤いずみ他編：母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル 改定第3版 生涯を通じた生徒生殖の健康を支える 南江堂 大平光子他編：母性看護学Ⅱマタニティサイクル改訂第3版 母と子そして家族へのよりよい看護実践 南江堂				
参 考 書		佐世正勝他：ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第4版，医学書院 井上裕美他：病気がみえる vol.10, 産科 第4版，メディックメディア 有森直子編：母性看護学Ⅱ周産期各論 第2版，質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得，医歯薬出版株式会社				
備 考		なし				

科 目 名		母性看護学実習 A		担 当 者	○大庭 吉越 みよ・小山 美香 依代	
科目ナンバリング		10504422102			常勤・非常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室	1314	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 分娩・産褥期にある女性とその児を受け持つ。受持ち事例を通し妊娠期の経過、分娩の進行状況、産後の回復過程、新生児の生理について学び、対象に応じた看護計画を立案、実施、評価する。妊産褥婦および新生児に対する基本的看護技術を見学し、実践する。 【学習の到達目標】 1. 妊産褥婦の身体や心理・社会的特性を理解できる。 2. 受け持ち母子を観察し、必要な看護援助を導き出すことができる。 3. 必要な援助を指導の下に実施できる。 4. 妊産褥婦・新生児に関連した社会資源について理解できる。 【成績評価方法】 「母性看護学実習評価表」に基づき、事前課題、実習目標達成度を評価する。実習期間の 4/5 以上の出席により評価する。事前課題、レポート及び実習記録物未提出の場合は評価対象としない。 【課題等のフィードバック方法】 実習時に随時質問を受け付ける。 【履修上の注意・予習・復習について】 事前課題は指定された期限内に提出すること。遅刻や欠席は、やむを得ない事情以外は認めない。清潔なユニフォームを着用し、身だしなみを整えて、真摯な態度で実習に臨むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 妊娠、分娩、産褥経過や個々に合わせた看護について学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師および助産師の資格を有し周産期にある対象への看護経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床の場で対象に合わせた安全で具体的な援助法を指導する。						
授 業 計 画						
詳細は臨地実習要項専門科目、母性看護学実習を参照する。 1. 母性看護学実習オリエンテーション（学内実習） 実習病院の特性、医療、看護体制について調査し把握、母性看護学実習に必要な知識の復習、母子のケアに必要な看護技術演習 2. 妊娠期紙上事例を用いたシミュレーション実習（学内実習） 妊婦健診の流れ、ロールプレイによる事例にそった看護実践および評価、合併症のある妊産褥婦の看護の復習、地域における妊産褥婦・新生児が活用可能な社会資源の情報整理、カンファレンス 3. 分娩期の看護（学内実習） ビデオの視聴および、モデル人形を用いた分娩期の経過と看護を学ぶ、カンファレンス 4. 産褥期の看護（学内実習） ビデオの視聴および、子宮復古観察モデル、乳房モデルを用いた産褥期の経過と看護、分娩～産褥期の紙上事例にそった看護過程の実践と評価、カンファレンス 5. 新生児の看護（学内実習） ビデオの視聴および、モデル人形を用いた新生児の観察方法、新生児の（生後 1～5 日）の紙上事例にそって沐浴等の看護実施、紙上事例の看護過程についての振り返り、病院実習への課題を明確化、カンファレンス 6. 病院・病棟オリエンテーション（臨地実習） 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 7. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 8. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 9. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 10. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 実習の振り返りと学びの共有						
教 科 書		齋藤いずみ他編：母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル 改定第 3 版 生涯を通じた生徒生殖の健康を支える 南江堂 大平光子他編：母性看護学Ⅱマタニティサイクル改訂第 3 版 母と子そして家族へのよりよい看護実践 南江堂				
参 考 書		佐世正勝他：ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第 4 版，医学書院 井上裕美他：病気がみえる vol.10, 産科 第 4 版，メディックメディア 有森直子編：母性看護学Ⅱ 周産期各論 第 2 版，質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得，医歯薬出版株式会社				
備 考		なし				

科 目 名		母性看護学実習 B		担 当 者	○大庭 吉越 みよ・小山 美香 依代	
科目ナンバリング		10504422103			常勤・非常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	1314	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選 択 2 単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 分娩・産褥期にある女性とその児を受け持つ。受持ち事例を通し妊娠期の経過、分娩の進行状況、産後の回復過程、新生児の生理について学び、対象に応じた看護計画を立案、実施、評価する。妊産褥婦および新生児に対する基本的看護技術を見学し、実践する。				【課題等のフィードバック方法】 実習時に随時質問を受け付ける。		
【学習の到達目標】 1. 妊産褥婦の身体や心理・社会的特性を理解できる。 2. 受け持ち母子を観察し、必要な看護援助を導き出すことができる。 3. 必要な援助を指導の下に実施できる。 4. 妊産褥婦・新生児に関連した社会資源について理解できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 事前課題は指定された期限内に提出すること。遅刻や欠席は、やむを得ない事情以外は認めない。清潔なユニフォームを着用し、身だしなみを整えて、真摯な態度で実習に臨むこと。		
【成績評価方法】 「母性看護学実習評価表」に基づき、事前課題、実習目標達成度、実習態度を評価する。実習期間の 4/5 以上の出席により評価する。事前課題、レポート及び実習記録物の未提出の場合は評価対象としない。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 妊娠、分娩、産褥経過や個々に合わせた看護について学ぶことができる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師および助産師の資格を有し周産期にある対象への看護経験を持つ教員が、その経験を活かし、臨床の場で対象に合わせた安全で具体的な援助法を指導する。		
授 業 計 画						
詳細は臨地実習要項専門科目、母性看護学実習を参照する。 1. 母性看護学実習オリエンテーション（学内実習） 実習病院の特性、医療、看護体制について調査し把握、母性看護学実習に必要な知識の復習、母子のケアに必要な看護技術演習 2. 妊娠期紙上事例を用いたシミュレーション実習（学内実習） 妊婦健診の流れ、ロールプレイによる事例にそった看護実践および評価、合併症のある妊産褥婦の看護の復習、地域における妊産褥婦・新生児が活用可能な社会資源の情報整理、カンファレンス 3. 分娩期の看護（学内実習） ビデオの視聴および、モデル人形を用いた分娩期の経過と看護を学ぶ、カンファレンス 4. 産褥期の看護（学内実習） ビデオの視聴および、子宮復古観察モデル、乳房モデルを用いた産褥期の経過と看護、分娩～産褥期の紙上事例にそった看護過程の実践と評価、カンファレンス 5. 新生児の看護（学内実習） ビデオの視聴および、モデル人形を用いた新生児の観察方法、新生児の（生後1～5日）の紙上事例にそって沐浴等の看護実施、紙上事例の看護過程についての振り返り、病院実習への課題を明確化、カンファレンス 6. 病院・病棟オリエンテーション（臨地実習） 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 7. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 8. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 9. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 10. 一組の母子を受け持ち、看護過程を展開する（臨地実習） 妊婦健診における診査内容、保健指導の見学、カンファレンス 実習の振り返りと学びの共有						
教 科 書		齋藤いずみ他編：母性看護学Ⅰ概論・ライフサイクル生涯を通じた性と生殖の健康を支える、南江堂 大平光子他編：母性看護学Ⅱマタニティサイクル母と子そして家族へのよりよい看護実践、南江堂				
参 考 書		佐世正勝他：ウエルネスからみた母性看護過程＋病態関連図 第4版，医学書院 井上裕美他：病気がみえる vol.10,産科 第4版，メディックメディア 有森直子編：母性看護学Ⅱ 周産期各論 第2版，質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得，医歯薬出版株式会社				
備 考		なし				

科 目 名		精神看護学概論			担 当 者	○松田 優二・佐藤 大輔	
科目ナンバリング		10504222104				常勤	
D P		1,4			教員研究室	3111	
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 近年、ライフサイクル全般において、こころの問題が取りあげられる機会が増えてきている。そこで、そのことを理解するために、こころの健康について諸概念を学び、さらに、ライフサイクル上の対人関係、社会構造などの影響を踏まえ、人との関わり方、人間の捉え方の基本について学習する。また、こころの健康の維持・増進の方法、精神医療の歴史、精神保健福祉にかかわる法律の概要についても学修する。 【学習の到達目標】 ①精神保健の概念について理解することができる。 ②こころの健康と不健康について理解することができる。 ③人間のこころの発達について理解することができる。 ④精神疾患のあらわれ方について理解することができる。 ⑤精神保健医療福祉の歴史と制度（司法精神医療を含む）について理解することができる。 【成績評価方法】 毎回の授業に出席することを前提に、小テスト・レポート課題（10%）を含んだ定期試験 100% とし、60% 以上の成績で合格とする。 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け次回講義・クラスルームにて回答・解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ①授業の予習・復習を積極的に各自行うこと。 ②課題提示の際には、期日までに提出すること。 ③遅刻、欠席時は、すみやかに連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 今後の臨床看護教育、看護実践の基本となる患者理解、自己洞察において有効な示唆を得る事ができる。 また、現代社会における各種こころの問題について探索的な思考ができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、精神障がい者への看護実践経験のある教員が、臨床での経験を十分に活かし、精神看護に関する知識、看護技術、看護実践について講義を担当する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護とこころの健康	テキスト：第 1 章の予習・復習をすること。				4 時間
2	松田 優二 佐藤 大輔	社会の中の精神科病院 精神看護の課題	テキスト：第 1 章の予習・復習をすること。				4 時間
3	松田 優二 佐藤 大輔	心身の健康に及ぼすストレス の影響と対処	テキスト：第 2 章の予習・復習をすること。				4 時間
4	松田 優二 佐藤 大輔	こころの働きと人格の形成 (ライフサイクルと精神保健)	テキスト：第 3 章の予習・復習をすること。				4 時間
5	松田 優二 佐藤 大輔	精神疾患のあらわれ方	テキスト：第 5 章の予習・復習をすること。				4 時間
6	松田 優二 佐藤 大輔	精神医療の歴史、精神保健福祉にかかわる法律①	テキスト：第 7 章の予習・復習をすること。				4 時間
7	松田 優二 佐藤 大輔	精神医療の歴史、精神保健福祉にかかわる法律②	テキスト：第 7 章の予習・復習をすること。				4 時間
教 科 書		1) 精神看護の基礎 精神看護学① 武井麻子 編集 医学書院					
参 考 書		適宜、講義中に提示する。					
備 考		日常的な出来事や事例を教材にするので、人間関係や人間の行動や心理についても興味関心をもち、主体的に学習する姿勢に期待しています。また、精神看護実践につながる必要があります。そのために難しいことが多いかと思うので、遠慮せずに質問してください。					

科 目 名		精神看護方法論Ⅰ			担 当 者	○松田 優二・佐藤 大輔	
科目ナンバリング		10504322105				常勤	
D	P	1,3			教員研究室	3111	
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 精神疾患は特定の人になる特別な病気ではないという基本的理解を踏まえ、人との関わりがケアとなる精神看護を理解し、精神科の患者だけでなく、全てのこころを病む人々に対する精神的援助のあり方を学ぶ。特に、精神疾患により生活障害を抱える人々の様々な精神の症状や疾患、治療、リハビリテーションの方法などを理解し、その援助方法を学ぶ。また、障害を抱えながら地域で暮らす人々への支援体制やその役割について理解する。					【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け次回講義、クラスルームにて回答・解説する。		
【学習の到達目標】 ①精神看護の役割と機能について理解することができる。 ②精神症状とその看護について理解することができる。 ③主な精神疾患と看護について理解することができる。 ④主な精神科治療と看護について理解することができる。 ⑤精神看護の提供の場、機能について理解することができる。					【履修上の注意・予習・復習について】 ①授業の予習・復習を積極的に各自行うこと。 ②課題提示の際には、期日までに提出すること。 ③遅刻、欠席時は、すみやかに連絡すること。		
【成績評価方法】 毎回授業に出席することを前提に、小テスト・レポート（10%）を含んだ定期試験100% とし、60% 以上の成績で合格とする。					【受講して得られる効果・メリット、その他】 疾患に関する学修では、精神疾患をもつと具体的にどのような症状に苦しめられるのか（症状別解説）等を学ぶことで、疾患を持つ人々への適切な対応に臨む姿勢を得ることが出来る。		
【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、精神障がい者への看護実践経験のある教員が、臨床での経験を十分に活かし、精神看護に関する知識、看護技術、看護実践について講義・演習を担当する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護の考え方	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
2	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護の考え方	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
3	松田 優二 佐藤 大輔	入院治療の意味・かかわり	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
4	松田 優二 佐藤 大輔	入院治療の意味・かかわり	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
5	松田 優二 佐藤 大輔	精神保健福祉法と医療観察法	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
6	松田 優二 佐藤 大輔	精神保健福祉法と医療観察法	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
7	松田 優二 佐藤 大輔	統合失調症の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
8	松田 優二 佐藤 大輔	統合失調症の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
9	松田 優二 佐藤 大輔	気分（感情）障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
10	松田 優二 佐藤 大輔	気分（感情）障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
11	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への服薬の看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
12	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への服薬の看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
13	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への看護技術①	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
14	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への看護技術①	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
15	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ学習（テーマ：講義以外の精神疾患、地域精神保健の資源など）	グループで設定したテーマについて建設的に話し合いを行い、資料をまとめる。				4 時間
16	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ学習	グループで設定したテーマについて建設的に話し合いを行い、資料をまとめる。				4 時間
17	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への看護技術②	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
18	松田 優二 佐藤 大輔	精神を病む人への看護技術②	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
19	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ学習	グループ発表会に向けて、メンバーと協力しながらプレゼンテーション資料を作成する。				4 時間
20	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ学習	グループ発表会に向けて、メンバーと協力しながらプレゼンテーション資料を作成する。				4 時間
21	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ発表会	発表で得た内容について自分で理解しやすいよう内容をまとめておく。				4 時間
22	松田 優二 佐藤 大輔	学生グループ発表会	発表で得た内容について自分で理解しやすいよう内容をまとめておく。				4 時間
23	松田 優二 佐藤 大輔	パーソナリティー障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
24	松田 優二 佐藤 大輔	パーソナリティー障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
25	松田 優二 佐藤 大輔	物質関連障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
26	松田 優二 佐藤 大輔	物質関連障害の病態と治療・看護	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
27	松田 優二 佐藤 大輔	精神障がい者の地域での暮らし	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
28	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護のリカバリ・ストレングスのとらえ方	講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する。				4 時間
教 科 書		1) 精神看護の展開 精神看護学② 武井麻子 編集 医学書院					
参 考 書		適宜、講義中に提示する。					
備 考		なし					

科 目 名		精神看護方法論Ⅱ		担 当 者	○松田 優二・佐藤 大輔	
科目ナンバリング		10504322106			常勤	
D P		1,3		教員研究室		3111
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次		3 年次・前期
授 業 形 式		演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業		該当しない
【授業内容】 精神障害のある人の理解と精神症状を踏まえた看護過程の展開方法について学修する。また、精神看護学実習において必要となるカンファレンスやプロセスレコードの方法、コミュニケーション技法、精神科リハビリテーションやレクリエーションに関する講義・演習を行う。本演習では、精神障害のある成人期の紙上事例を用いて看護過程の展開を行う。 【学習の到達目標】 ①患者のニーズにあわせた援助方法を理解し、選択し、提案できる。 ②精神障害や精神症状によって影響された患者の状態をアセスメントし、看護援助を計画し・実施できる能力を修得する。 ③プロセスレコードの方法を理解し、自己洞察を図ることができる。 【成績評価方法】 演習レポート（10%）を含む定期試験 100% とし、60% 以上の成績で合格とする。						
【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け次回講義、クラスルームにて回答・解説する。 【履修上の注意・予習・復習について】 ①授業の予習・復習を積極的に各自行うこと。 ②課題提示の際には、期日までに提出すること。 ③遅刻、欠席時は、すみやかに連絡すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ①精神看護学実習において看護過程を展開するために、対象となる患者や利用者、その家族の情報収集、分析、アセスメント、問題抽出、計画立案、評価、修正するための思考力を身に付けることができる。 ②プロセスレコードの方法を理解することで、自己洞察を図る方法論を修得できる。 ③精神看護学実習で必要となるコミュニケーション技法やリハビリテーション、レクリエーションの基本を修得できる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、精神障がい者への看護実践経験のある教員が、臨床での経験を十分に活かし、精神障がい者への個別性を重視した看護過程の展開方法について講義・演習を担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間		
				予習・復習		学修時間
1	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護実践の方法論		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
2	松田 優二 佐藤 大輔	コミュニケーション技法：リフレーミング、アサーション		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
3	松田 優二 佐藤 大輔	精神科リハビリテーション：精神科作業療法、社会生活スキルトレーニング、精神科デイケア		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
4	松田 優二 佐藤 大輔	精神科レクリエーション（講義）		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
5	松田 優二 佐藤 大輔	精神科レクリエーション（演習）		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
6	松田 優二 佐藤 大輔	振り返りの方法：カンファレンス（演習）		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、授業でわかった内容、解答について復習する		4 時間
7	松田 優二 佐藤 大輔	自己洞察・自己理解：プロセスレコード（講義）		講義前日までにクラスルームに掲載する資料を予習し、演習課題に取り組む。		4 時間
8	松田 優二 佐藤 大輔	自己洞察・自己理解：プロセスレコード（演習）		演習課題について取り組み、自己洞察について復習する。		4 時間
9	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護学実習の実際		実習要項を活用し、実習のイメージ、目的、目標などについて予習・復習をする。		4 時間
10	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護における看護過程：対象者の理解、情報収集の意味		実習要項、授業資料を活用し、演習課題の予習・復習に取り組む。		4 時間
11	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護における看護過程：アセスメント、看護診断、看護計画と評価		実習要項、授業資料を活用し、演習課題の予習・復習に取り組む。		4 時間
12	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護における看護過程：紙上事例を用いた看護過程の展開（演習）		実習要項、授業資料を活用し、演習課題の予習・復習に取り組む。		4 時間
13	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護における看護過程：紙上事例を用いた看護過程の展開（グループワーク）		実習要項、授業資料を活用し、グループ発表に向けた課題にメンバーとともに取り組む。		4 時間
14	松田 優二 佐藤 大輔	精神看護における看護過程：紙上事例を用いた看護過程の展開（グループ発表）		実習要項、授業資料を活用し、グループ発表の準備、発表後の振り返りを行う。		4 時間
教 科 書		1) 精神症状のアセスメントとケアプラン 川野雅資 編集 メヂカルフレンド社 2) エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図（改訂版） 川野雅資 編集 中央法規				
参 考 書		適宜、講義中に提示する。				
備 考		なし				

科 目 名	精神看護学実習 A			担 当 者	○松田 優二・佐藤 大輔
科目ナンバリング	10504422107				常勤
D P	1,2,3,4			教 員 研 究 室	3111
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	3 年次・後期
授 業 形 式	実 習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選 択 2 単 位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 精神科病院において、精神障害をもつ患者を受け持つ。生活の障害や対人関係・社会参加の困難さを抱える人々への援助方法を理解し、精神的援助を実践できる基礎的能力を養う。					
【学習の到達目標】 ①精神疾患による生活障害、対人関係障害、社会参加の困難さを抱える患者および家族について理解する。②患者の全体像をアセスメントし、看護過程を理解する。③患者－看護師における人間関係のあり方を理解し、患者との関係を通して自己洞察する。④患者の日常生活場面に働きかけ、精神科看護の実践について理解する。⑤精神科看護の提供の場とその機能について理解する。⑥地域で暮らす精神障がい者への支援のあり方について理解する。⑦患者－学生間との援助場面を通してプロセスレコードを作成し、自己洞察を図る。					
【成績評価方法】 実習時間数のすべての出席を原則とし、積極的な実習態度や患者とのコミュニケーション、看護記録、援助実践などの内容について精神看護学実習評価表をもとに評価を行う。評価の合計成績が60%以上を合格とする。					
授 業 計 画					
精神科病院にて、原則学生1名に対し患者1名を受け持ち、精神科閉鎖病棟または開放病棟において実習を実施する。本実習を通して精神疾患の症状、治療、看護、家族や社会復帰などの様々な問題に対する援助方法と精神看護の実践を学修する。また、患者－学生間での援助場面を通してプロセスレコードを作成し、自己洞察・自己理解を図る。さらに精神科デイケアなどの社会資源の見学実習を踏まえて、障害を抱えながら地域で暮らす人々への支援のあり方や支援の実践とその役割について学修する。					
教 科 書	1) 精神症状のアセスメントとケアプラン 川野雅資 編集 メディカルフレンド社 2) エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図（改訂版） 川野雅資 編集 中央法規				
参 考 書	適宜、実習中に提示する。				
備 考	なし				

科 目 名		精神看護学実習 B		担 当 者	○松田 優二・佐藤 大輔	
科目ナンバリング		10504422108			常勤	
D	P	1,2,3,4		教員研究室	3111	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・前期	
授 業 形 式		実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☒ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 精神科病院において、精神障害をもつ患者を受け持つ。生活の障害や対人関係・社会参加の困難さを抱える人々への援助方法を理解し、精神的援助を実践できる基礎的能力を養う。						
【学習の到達目標】 ①精神疾患による生活障害、対人関係障害、社会参加の困難さを抱える患者および家族について理解する。②患者の全体像をアセスメントし、看護過程を理解する。③患者－看護師における人間関係のあり方を理解し、患者との関係を通して自己洞察する。④患者の日常生活場面に働きかけ、精神科看護の実践について理解する。⑤精神科看護の提供の場とその機能について理解する。⑥地域で暮らす精神障がい者への支援のあり方について理解する。⑦患者－学生間との援助場面を通してプロセスレコードを作成し、自己洞察を図る。						
【成績評価方法】 実習時間数のすべての出席を原則とし、積極的な実習態度や患者とのコミュニケーション、看護記録、援助実践などの内容について精神看護学実習評価表をもとに評価を行う。評価の合計成績が 60% 以上を合格とする。						
【課題等のフィードバック方法】 実習中や実習終了後、質問を受け付け回答する。						
【履修上の注意・予習・復習について】 ①やむを得ない事情による遅刻、欠席を除き、自身の健康管理に十分留意して実習に出席すること。②看護職者としての倫理観をもって実習に臨むこと。③実習施設内での携帯電話の使用は、原則不可とする。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ①精神障がい者の治療・看護が理解でき、セルフケア能力、発達課題、人間性や健康的な側面などをアセスメントすることで援助方法を体験することができる。 ②プロセスレコードを通して、自己洞察、自己理解を図ることができる。						
【実務家教員担当科目】 看護師免許を有し、精神障がい者への看護実践経験のある教員が、臨床での経験を十分に活かし、臨床の場で対象となる精神障がい者に合わせた具体的な看護過程の展開方法、援助方法を指導する。						
授 業 計 画						
精神科病院にて、原則学生 1 名に対し患者 1 名を受け持ち、精神科閉鎖病棟または開放病棟において実習を実施する。本実習を通して精神疾患の症状、治療、看護、家族や社会復帰などの様々な問題に対する援助方法と精神看護の実践を学修する。また、患者－学生間での援助場面を通してプロセスレコードを作成し、自己洞察・自己理解を図る。さらに精神科デイケアなどの社会資源の見学実習を踏まえて、障害を抱えながら地域で暮らす人々への支援のあり方や支援の実践とその役割について学修する。						
教 科 書		1) 精神症状のアセスメントとケアプラン 川野雅資 編集 メディカルフレンド社 2) エビデンスに基づく精神科看護ケア関連図（改訂版） 川野雅資 編集 中央法規				
参 考 書		適宜、実習中に提示する。				
備 考		なし				

科 目 名		公衆衛生看護学Ⅰ			担 当 者	○山岸 貴子・佐々木明子 大友 美恵	
科目ナンバリング		10504322110				常勤・非常勤	
D	P	1,2,3,4			教員研究室	1214	
学科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位	
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし					
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 公衆衛生看護の対象を「個人とその家族」、そして地域を包括した視点でとらえ、家族看護理論を基礎としたアセスメントの方法と実際に学ぶ。多様な価値観や生活を営む「個人とその家族」が、地域の生活者として主体的に課題を解決・達成できるよう、適切な制度や社会資源および活動方法について学ぶ。					【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 1. 公衆衛生看護の対象を個人だけでなく家族と地域を包括した視点でとらえることができる。 2. 個人や家族が、地域の生活者として主体的に課題を解決・達成できるための活動方法を学ぶ。 3. 個人や家族が活用できる保健医療福祉に関する適切な制度や地域の社会資源について理解する。					【履修上の注意・予習・復習について】 予習、復習を行う。保健・医療・看護などについてのニュースに関心を持つ。		
【成績評価方法】 課題レポート 20%、定期試験・レポート 80%					【受講して得られる効果・メリット、その他】 公衆衛生看護の対象を個人だけでなく家族と地域を包括した視点でとらえることができることで、公衆衛生看護学の原則を押さえ今後の授業や実習に取り組むことができるようになる。関連する地域・在宅看護学に関連する学びも深められる。		
					【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして指導する。		

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	山岸 貴子 佐々木明子	家族の定義と家族の機能・役割	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。	4 時間
2	山岸 貴子 佐々木明子	家族を理解するための理論とモデル	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。	4 時間
3	山岸 貴子 佐々木明子	家族アセスメントモデルと家族支援の方法	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。	4 時間
4	大友 美恵 山岸 貴子 佐々木明子	地域における個人・家族の健康課題に応じた支援の実践	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。	4 時間
5	山岸 貴子 佐々木明子	地域における個人・家族の健康課題に応じた支援の方法	地域における家族支援の実践と家族アセスメントの項目をまとめる。	4 時間
6	山岸 貴子 佐々木明子	地域における個人・家族の健康課題に応じた支援の方法	地域における家族支援の実践と家族アセスメントの項目をまとめる。	4 時間
7	山岸 貴子 佐々木明子	地域における個人・家族の健康課題に応じた支援の方法	地域における家族支援の実践と看護の役割を考察する。	4 時間
教 科 書		保健学講座 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社		
参 考 書		必要に応じて提示する。		
備 考		各自で学習の振り返りを行う。		

科 目 名		公衆衛生看護学Ⅱ		担 当 者	○結城美智子・佐々木明子 山岸 貴子・後藤 順子 山田 晴美	
科目ナンバリング		10504322111			常勤・非常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室	5206	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 公衆衛生看護活動における「地域の健康づくり」「リスクを抱える人々への保健活動」「対象の特性に応じた保健福祉活動」等について学ぶ。 また、活動の理念、活動の基盤となる制度・根拠を理解し、理論と方法の基礎を学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 地域における保健師活動の業務に関する概念・理論・方法を理解する。 2. ライフステージの特性を踏まえ、地域において展開される母子保健活動、成人保健活動・高齢者保健福祉活動、精神保健福祉活動、障害者（児）保健福祉活動、難病保健福祉活動、感染症保健活動等についての方法を理解する。 【成績評価方法】 授業受講態度 10%、定期試験・レポート 90% 【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 予習、復習を行う。保健・医療・看護などについての新聞、ニュースを読むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・公衆衛生看護における保健師の活動の概要を学ぶことで、地域の健康に関する保健活動の展開と行政との関連を理解することができる。 ・地域における保健活動の意義と目的、法的根拠、方法論の基礎を学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして指導する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	結 城 美 智 子・ 佐々木・山岸	母子保健活動	教科書の母子保健活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
2	結 城 美 智 子・ 佐々木・山岸	成人保健活動	教科書の成人保健活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
3	結 城 美 智 子・ 佐々木・山岸	高齢者保健福祉活動	教科書の高齢者保健福祉活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
4	結 城 美 智 子・ 佐々木・山岸	障害者（児）保健福祉活動	教科書の障害者（児）保健福祉活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
5	後 藤 順 子・ 結城・佐々木・ 山岸	難病保健福祉活動	教科書の難病保健福祉活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
6	山 田 晴 美・ 結城・佐々木・ 山岸	精神保健福祉活動	教科書の精神保健福祉活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
7	山 田 晴 美・ 結城・佐々木・ 山岸	感染症保健活動	教科書の感染症保健活動の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間	
教 科 書		上野昌江、和泉京子編：公衆衛生看護学 中央法規出版株式会社（1 年次に購入用した教科書を再活用）				
参 考 書		必要に応じて提示する。				
備 考		各自で学習の振り返りを行う。				

科 目 名		公衆衛生看護方法論		担 当 者	○山岸 貴子・佐々木明子 結城美智子・伊藤 由佳 酒井美智子
科目ナンバリング		10504322112			常勤・非常勤
D	P	1,2		教員研究室	1214
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位 選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク ☑プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし			
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 公衆衛生看護活動の過程は、活動の場である地域の現状を把握し地域診断を行い健康課題を明確にしたうえで、課題解決のための目標設定、計画立案、実践、評価というサイクルをたどる。本科目では、健康課題を明確にするための地域診断、課題解決のために必要となる理論の理解、実践方法としての健康診査、健康相談、健康教育、家庭訪問、グループ・地域組織活動について、技術と展開方法を学び、演習を通して活動の実際を学ぶことを目的とする。また、公衆衛生看護活動計画や事業計画の意義を理解し、自治体での保健事業計画の位置づけと、保健師の役割を学ぶことを目的とする。					
【課題等のフィードバック方法】 課題についての解説などは講義終了時または次授業でフィードバックを行う。					
【履修上の注意・予習・復習について】 予習、復習を行う。医療や看護などに関するニュース等に関心を持つ。					
【受講して得られる効果・メリット、その他】 「地域診断」「健康相談」、「健康診査」、「健康教育」、「家庭訪問」、「地区組織活動」、「グループ支援」等の実践演習を繰り返しで行うことで、保健活動に必要な技術を習得できる。					
【実務家教員担当科目】 公衆衛生看護の経験を十分活かしながら講義する。					
【学習の到達目標】 1. 地域診断の概念、理論、方法について理解し実践できる。 2. 地域診断により地域の健康課題を明らかにし、活動方法を検討できる 3. 自治体での保健事業計画の策定、施策、予算のしくみを理解できる。 4. 健康診査・健康相談の対象・目的・方法を理解し、実践できる。 5. 家庭訪問の対象・目的・方法を理解し、実践できる。 6. 健康教育の対象・目的・方法を理解し、実践できる。 7. 地区組織活動・グループ支援を理解できる。					
【成績評価方法】 演習 50%、定期試験・レポート 50%					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習	学修時間	
1	山岸 貴子・佐々木明子	公衆衛生看護の対象と方法	公衆衛生看護の対象と保健指導、関連理論についてまとめる	4 時間	
2	山岸 貴子・佐々木明子	健康診査・健康相談の方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
3	山岸 貴子・佐々木明子	家庭訪問の方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
4	山岸 貴子・佐々木明子・酒井美智子・伊藤 由佳	家庭訪問の方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
5	山岸 貴子・佐々木明子	家庭訪問の実際	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
6	山岸 貴子・佐々木明子	健康教育に関する理論と方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
7	山岸 貴子・佐々木明子	地区組織活動・グループ支援の方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
8	山岸 貴子・佐々木明子	事業化と施策化の意義とプロセス	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
9	山岸 貴子・佐々木明子	地域診断の方に関する理論とその方法	対象・目的・理論・展開方法をまとめる	4 時間	
10	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断の実際	講義資料をもとにデータ収集、分析を行う	4 時間	
11	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断の実際	講義資料をもとにデータ収集、分析を行う	4 時間	
12	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断の実際	講義資料をもとにデータ収集、分析を行う	4 時間	
13	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断の実際	講義資料をもとにデータ収集、分析を行う	4 時間	
14	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
15	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
16	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
17	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
18	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
19	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断演習・グループワーク	講義資料をもとにデータ収集、分析結果をまとめる	4 時間	
20	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
21	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
22	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
23	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
24	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
25	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	健康教育企画立案演習・グループワーク	地域特性に応じた健康教育を立案する	4 時間	
26	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断・健康教育企画発表準備	地域特性に応じた健康教育を立案し発表資料をまとめる	4 時間	
27	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断・健康教育企画発表	地域特性に応じた健康教育を立案し発表資料をまとめる	4 時間	
28	山岸 貴子・佐々木明子・結城美智子	地域診断・健康教育企画発表	地域特性に応じた健康教育を立案し発表資料をまとめる	4 時間	
教 科 書		保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社（2 年次に使用した教科書）			
参 考 書		公衆衛生看護学 第 3 版 中央法規（1 年次に使用した教科書） 国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会			
備 考		その他の参考書は適宜提示する			

科 目 名	産業保健学			担 当 者	○片岡 ゆみ・小宮山亜矢
科目ナンバリング	10504322113				非常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	非常勤講師室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 労働と健康の関連を理解し、働く個人および集団、組織のニーズに応じて支援する方法を学ぶ。また、労働安全衛生法や産業保健に係る法律及び通達や指針の理解、関係職種および機関の役割と連携について学ぶ。さらに、働くことによる健康障害の予防のみならず、働く人々および組織の健康課題解決のための支援のあり方について学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 1. 産業保健・産業看護に目的および定義を説明することができる。 2. 産業保健・産業看護に携わる専門職とその役割を説明することができる。 3. 近年の労働者・労働環境に関する課題のあげることができる。 4. 産業保健・産業看護の展開方法の概要を説明することができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 やむをえず欠席・遅刻する場合は必ず連絡すること。授業内容に合わせて、教科書および配布資料を基にまとめ（ノート）を作成しておく。	
【成績評価方法】 授業時課題レポート 70%、定期試験・レポート 30%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 労働に起因する健康問題解決のための知識を習得し、産業保健活動の展開に役立てることができる。	
【実務教員担当科目】 産業保健活動の経験を活かして、実践に即した講義を行う。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	片岡 ゆみ	産業保健・看護の定義・位置づけ、産業保健・看護の歴史	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
2	片岡 ゆみ	産業保健の基本と産業看護活動（1）労働衛生の現状、労働衛生法規、産業保健の 5 管理	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
3	片岡 ゆみ	産業保健の基本と産業看護活動（2）健康管理、産業保健における健康課題	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
4	片岡 ゆみ	産業保健における健康課題と対策（1）職業性疾病、情報機器作業	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
5	片岡 ゆみ	産業保健における健康課題と対策（2）メンタルヘルス、健康づくり、小規模事業所他	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
6	片岡 ゆみ	産業保健における健康課題と対策（3）女性・高齢労働者、保健医療福祉従事者等、産業看護活動の展望	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
7	小宮山亜矢	産業保健・看護活動の実際	教科書の該当ページを読み予習する。配布プリントを復習する。		4 時間
教 科 書		公衆衛生看護学 第 3 版 中央法規			
参 考 書		産業看護学 日本看護協会出版会 国民衛生の動向 最新版 公衆衛生協会			
備 考		その他の参考書は適宜提示する。			

科 目 名		学校保健学			担 当 者	菱沼 ゆう
科目ナンバリング		10504322114				非常勤
D P		1,2			教 員 研 究 室	非常勤者用 研究室
学 科（専攻）		看護学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 学校保健・安全の全体像を理解し、子どもの健康を守り育てる職務について教育的観点をふまえ実践的に学ぶ。 【学習の到達目標】 学校保健の理論と実際を学び、健康の保持増進や安全に関する学校保健・安全活動を実践することができる。 【成績評価方法】 レポート試験 30% 学習課題取り組み状況 50% 授業への取り組み状況 20% 【課題等のフィードバック方法】 授業後の復習課題から、学生の皆さんに共有して欲しい内容のレポートをピックアップし紹介する。 【履修上の注意・予習・復習について】 学習課題（事前・事後）の提出期限の厳守。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 学校保健・安全の全容を理解し、保健指導や保健だよりづくり等の演習を行うことにより、学校保健活動の実践力を養うことができる。 【実務家教員担当科目】 養護教諭・保健主事の経験を持つ者が、学校現場の状況を伝えながら学校保健・安全全般について指導する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	菱沼 ゆう	・ガイダンス・学校教育における学校保健の意義と目的	復習：授業の振り返り			4 時間
2	菱沼 ゆう	・学校保健関連法規 ・学校保健と安全の構造	予習：関連法規調査 復習：授業の振り返り			4 時間
3	菱沼 ゆう	保健管理① 健康診断	予習：自分たちが受けてきた健康診断の振り返り 復習：授業の振り返り			4 時間
4	菱沼 ゆう	保健管理② 子どもたちを取り巻く健康課題への対応	予習：子どもたちを取り巻く健康課題を考える 復習：授業の振り返り			4 時間
5	菱沼 ゆう	保健教育①がん教育 等	予習：日本対がん協会 DVD 視聴とがん教育の試案 復習：授業の振り返り			4 時間
6	菱沼 ゆう	保健教育②保健だより	予習：保健だよりの作成 復習：授業の振り返り			4 時間
7	菱沼 ゆう	学校安全 ・災害時の対応・スポーツ振興センター制度	予習：事例検討 復習：試験レポート			4 時間
教 科 書		なし				
参 考 書		日本学校保健会 刊行物 デジタルアーカイブス 視聴				
備 考		特になし				

科 目 名		保健医療福祉行政論		担 当 者	○結城美智子・佐々木明子 山岸 貴子・長島 朋子 森山 幹夫	
科目ナンバリング		10504322115			常勤・非常勤	
D P		1,2		教 員 研 究 室	5206	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 保健師として公衆衛生看護を実践する上で必要となる保健医療福祉行政のしくみやその歴史、保健医療福祉計画の策定・評価などについて具体的に理解する。				【課題等のフィードバック方法】 授業中・授業後において、随時質問に回答する。		
【学習の到達目標】 1. 保健医療福祉行政の基本的な考え方を理解する。 2. 保健医療福祉行政のしくみ、財政を理解する。 3. 保健医療福祉行政の変遷とその背景を理解する。 4. 保健医療福祉計画と評価について理解する。 5. 保健医療福祉行政と保健師の活動を理解する。				【履修上の注意・予習・復習について】 やむをえず欠席・遅刻する場合は必ず連絡すること。予習・復習を行うこと。 保健医療福祉、看護についての新聞、ニュースを読むこと。		
【成績評価方法】 課題提出、定期試験等、総合的に評価する。 授業受講態度 10%、定期試験・レポート 90%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 これまでの保健医療福祉行政の成り立ちと背景を知り、今後の保健師の活動の方向性を理解することができる。公衆衛生看護活動の実践のための法的根拠や制度を知ることができる。		
【実務家教員担当科目】 行政・地域保健看護の経験を十分活かして講義する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	結城美智子・山岸・佐々木	保健医療福祉行政の基本－国民の権利、ヘルスプロモーション等－	教科書の保健医療福祉行政の基本の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
2	結城美智子・佐々木・山岸	保健医療福祉行政の動向	教科書の保健医療福祉行政の動向の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
3	結城美智子・山岸・佐々木	保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み	教科書の保健医療福祉行政・財政の理念と仕組みの該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
4	結城美智子・佐々木・山岸	行政における保健活動と保健師の役割－国・都道府県－	教科書の行政における保健活動と保健師の役割の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
5	結城美智子・佐々木・山岸	行政における保健活動と保健師の役割－市町村－	教科書の行政における保健活動と保健師の役割の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
6	森山 幹夫	保健医療福祉行政の関係法令－母子保健・児童虐待防止等－	教科書の保健医療福祉行政の関係法令の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
7	森山 幹夫	保健医療福祉行政の関係法令－生活習慣病予防・高齢者保健福祉・認知症施策等－	教科書の保健医療福祉行政の関係法令の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
8	森山 幹夫	保健医療福祉行政の関係法令－障害児者・精神保健・難病施策等－	教科書の保健医療福祉行政の関係法令などの該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
9	森山 幹夫	保健医療福祉計画と評価	教科書の保健医療福祉計画と評価の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
10	長島 朋子・結城・佐々木	保健医療福祉行政と保健活動の実際	教科書の保健医療福祉行政と保健活動の該当ページを読んで予習しておく。配布したプリントを復習する。		4 時間	
11	結城美智子・佐々木・山岸	保健医療福祉行政と保健活動の実際	保健医療福祉行政の制度や活動を調べ、まとめる。		4 時間	
12	結城美智子・佐々木・山岸	保健医療福祉行政と保健活動の実際	保健医療福祉行政の制度や活動を調べ、まとめる。		4 時間	
13	結城美智子・佐々木・山岸	保健医療福祉の計画と評価の実際の発表①	保健医療福祉行政の制度や活動を調べ、まとめる。		4 時間	
14	結城美智子・佐々木・山岸	保健医療福祉における政策形成の実際の発表②とまとめ	保健医療福祉行政の制度や活動を調べ、まとめる。		4 時間	
教 科 書		標準保健師講座 別巻 1 保健医療福祉行政論 医学書院 最新版 国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会				
参 考 書		公衆衛生看護学 中央法規出版（1 年次の教科書の該当部分を再活用）				
備 考		その他の参考書は適宜提示する。				

科 目 名		公衆衛生看護管理論		担 当 者	○佐々木明子・結城美智子 山岸 貴子
科目ナンバリング		10504322116			
D	P	1,2		教員研究室	5206
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし			
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 保健福祉計画の策定と予算の仕組み、地域全体が暮らしやすい地域になるための公衆衛生看護の管理機能について学ぶ。人、もの、金、情報、時間、組織等の資源を効率的・効果的に活用して、有効なケアを提供するための計画、組織化という公衆衛生看護管理のプロセスと保健師の人材育成について学ぶ。 健康危機管理は、日常の公衆衛生看護活動の取り組みが土台となる、健康危機発生時に求められる公衆衛生看護管理の機能・役割について学ぶ。		【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。			
【学習の到達目標】 1. 保健師の実践活動を公衆衛生看護管理機能の側面から理解する。 2. 保健師の活動体制と人材育成、保健師の果たす機能・役割について理解する。		【履修上の注意・予習・復習について】 やむをえず欠席・遅刻する場合は必ず連絡すること。教科書等を用いて予習、復習を行う。保健・医療・看護などについて、現時点で社会で起こっていることについて、ニュース、新聞等で情報を得ておくこと。			
【成績評価方法】 授業の取り組み態度 20%、レポート 80%		【受講して得られる効果・メリット、その他】 地域で活動する保健師に求められる公衆衛生看護管理について理解することができる。 保健師の機能・役割、人材育成について理解することができ、臨地実習に応用できるとともに保健師職能の発展について考えることができる。			
		【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして講義する。			

授 業 計 画				
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間	
			予習・復習	学修時間
1	佐々木明子・山岸 貴子	公衆衛生看護管理 目的と機能	教科書の公衆衛生看護管理 目的と機能の該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
2	佐々木明子・山岸 貴子	地域ケアシステムづくり	教科書の地域ケアシステムづくりの該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
3	結城美智子・山岸 貴子・佐々木明子	地区管理・情報管理	教科書の保健計画該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
4	佐々木明子・山岸 貴子	公衆衛生看護管理の実践－人材育成－	教科書の公衆衛生看護管理の実践の該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
5	佐々木明子・山岸 貴子・結城美智子	公衆衛生看護管理の実践－人材育成と保健活動－	教科書の公衆衛生看護管理の実践の該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
6	佐々木明子・山岸 貴子・結城美智子	健康危機管理	教科書の健康危機管理の該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
7	佐々木明子・山岸 貴子・結城美智子	公衆衛生看護管理の現状 発表、まとめ	教科書の該当ページを読んで予習する。配布したプリントを復習する。	4 時間
教 科 書		上野昌江、和泉京子編：公衆衛生看護学 中央法規出版（1 年次に使用した教科書を再活用）		
参 考 書		丸善出版、メディカルビジョン： DVD 公衆衛生看護管理、地域ケアシステム 丸善出版、メディカルビジョン： DVD 新潟県中越沖地震にみる災害看護活動		
備 考		その他の参考書は適宜提示する。		

科 目 名	公衆衛生看護学実習Ⅰ			担 当 者	○山岸 貴子・佐々木明子 結城美智子・大沼夏都音 大友 美恵・伊藤 由佳 酒井美智子・未定
科目ナンバリング	10504422117				
D P	1,2,3,4			教員研究室	1214
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・通年
授 業 形 式	実習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 ・保健所の組織、機能、専門性と保健所が管轄する地域の概要や健康課題について。 ・保健所における健康づくり、母子保健、精神保健、難病支援対策、感染症対策、危機管理について。 ・保健、医療、福祉領域の社会資源や各職種間の連携、管轄する地域との調整について。				【課題等のフィードバック方法】 実習内容や記録などについて質問を受け回答する。カンファレンスにて振り返りを行う。	
【学習の到達目標】 ・地域における健康課題を明らかにし、保健活動計画の立案、保健活動の実際、技術を理解できる。 ・地域における健康危機管理、感染症への対応、保健活動について理解できる。 ・保健・医療・福祉・教育等との連携における保健師の役割、機能について理解できる。 ・地域の健康レベルや QOL を向上させるための地域ケアシステムについて考察することができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 事前学習の課題を提出すること。	
【成績評価方法】 実習への取り組み、実習課題の達成状況 70%、実習記録 30% から総合的に評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・保健衛生行政の理解、保健所における保健活動の実際と技術を学ぶことが出来る。 ・地域における人々の生活、健康課題、保健、地域組織に直接触れることで、地域ケアシステムについて視野を広めることが出来る。	
【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして指導する。					
授 業 計 画					
・オリエンテーション（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 保健所の機能と事業展開、保健師の活動の概要 ・保健所での実習（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 地域で生活する人々に必要な保健、医療、福祉領域の社会資源や各職種間の連携、保健師の機能と役割 地域における健康づくり対策、母子保健、精神保健、難病支援対策、感染症対策、危機管理システム ・中間カンファレンス・最終カンファレンス（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子）					
教 科 書	標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 標準保健師講座別巻 1 保健医療福祉行政論 医学書院 保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社 臨地実習要項				
参 考 書	国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会				
備 考	保健師国家試験受験科目として重要である。実習中の体調管理に気をつけること。				

科 目 名		公衆衛生看護学実習Ⅱ		担 当 者	○山岸 貴子・佐々木明子 結城美智子・大沼夏都音 大友 美恵・伊藤 由佳 酒井美智子・未定	
科目ナンバリング		10504422118				
D P	1,2,3,4			教 員 研 究 室	1214	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・通年	
授 業 形 式		実 習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選 択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 ・地域の健康課題を抽出する地域診断に必要な人々の健康や生活に関する情報と分析方法について。 ・健康課題解決のための保健活動計画立案、実施方法、評価について。 ・対象別保健活動と保健師の支援技術とその実際について。 ・地域の健康危機管理、感染症への対応と支援について。 ・保健医療福祉、教育等関係機関との連携、保健師の役割や機能について。 【学習の到達目標】 ・地域における健康課題を明らかにし、保健活動計画の立案、保健活動の実際、技術を理解できる。 ・地域における健康危機管理、感染症への対応、保健活動について理解できる。 ・保健・医療・福祉・教育等との連携における保健師の役割、機能について理解できる。 ・地域の健康レベルや QOL を向上させるための地域ケアシステムについて考察することができる。 【成績評価方法】 実習への取り組み、実習課題の達成状況 70%、実習記録 30% から総合的に評価する。 【課題等のフィードバック方法】 実習内容や記録などについて質問を受け回答する。カンファレンスにて振り返りを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 実習する市町村の地域診断と事前学習の課題を提出すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・市町村における地域保健活動のシステムの実際と活用について学ぶことができる。 ・地域における人々の生活、健康課題、地域資源について学ぶことで、市町村・保健センターにおける保健師の役割と支援の実際、技術を学ぶことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして指導する。						
授 業 計 画						
・オリエンテーション（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 市町村保健センターの機能と事業展開、行政における保健師の活動の概要 ・市町村・保健センターでの実習（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 地区踏査や情報収集、地域における人々の生活、健康課題の把握等 地域保健活動の計画、実施、評価、組織化する方法と技術 対象別の保健活動と支援技術の方法と実際 ・中間カンファレンス・最終カンファレンス・地域診断報告会（佐々木明子・山岸貴子・結城美智子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子）						
教 科 書		標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動 医学書院 保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術 メヂカルフレンド社				
参 考 書		国民衛生の動向 最新版 厚生労働統計協会				
備 考		保健師国家試験受験の必修科目であり卒業要件である。体調を整え実習に臨むこと。				

科 目 名	公衆衛生看護学実習 III			担 当 者	○結城美智子・山岸 貴子 佐々木明子・大沼夏都音 大友 美恵・伊藤 由佳 酒井美智子・未定
科目ナンバリング	10504422119				常勤・非常勤
D P	1,2,3,4			教 員 研 究 室	1214
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・通年
授 業 形 式	実 習	授 業 時 間	45 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 ・学校保健に関わる組織、職員について学習する。 ・学校における保健教育、保健管理活動の内容と具体的な内容について学習する。 ・学校保健活動における養護教諭の役割、保健室の機能について学習する。 ・事業所、職場における健康管理の実際を学習する。 ・健康診断、健康相談、保健指導の実際を学習する。 ・労働衛生管理、職場環境の安全について学習する。				【課題等のフィードバック方法】 実習内容や課題や記録などについて質問を受け回答する。 カンファレンスにて振り返りをする。 【履修上の注意・予習・復習について】 事前学習に取り組み提出すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 ・学校保健における養護教諭の役割と活動の実際を学ぶことができる。 ・産業看護職の職務と労働者を取り巻く作業環境を学ぶことができる。	
【学習の到達目標】 ・学校における保健活動の体系と活動の実際を理解する。 ・児童、生徒等の発育・発達段階の特性と健康課題を理解する。 ・養護教諭の役割・職務の実際、保健室の機能、運営を理解する。 ・労働衛生管理体制や健康管理の実際を理解する。 ・産業現場での保健指導や健康教育等、産業看護職の職務とその実際を理解する。				【実務家教員担当科目】 看護師免許、保健師免許を有し、公衆衛生看護の経験を十分活かして指導する。	
【成績評価方法】 実習への取り組み、実習課題の達成状況 70%、実習記録 30% から総合的に評価する。					
授 業 計 画					
【学校保健】 オリエンテーション（結城美智子・佐々木明子・山岸貴子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 学校での実習（保健室等での実習） 学校保健活動の実際と養護教諭の役割、保健室の機能・運営について 学校保健における健康課題と取り組みについて カンファレンス（結城美智子・佐々木明子・山岸貴子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 【産業保健】 事業所または健康診断機関での実習 オリエンテーション（結城美智子・佐々木明子・山岸貴子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子） 労働に起因する健康課題と取り組みについて 産業保健活動（健康診断、健康相談、保健指導等）の実際について カンファレンス（結城美智子・佐々木明子・山岸貴子・大沼夏都音・大友美恵・伊藤由佳・酒井美智子）					
教 科 書	日本看護協会出版会、産業看護学				
参 考 書	必要時指示を出す。				
備 考	保健師国家試験受験の必修科目であり卒業要件である。体調を整えて実習に臨むこと。				

科 目 名		基礎セミナーⅠ		担 当 者	○佐藤 大輔・小松 恵 山田 愛実・2年 SA 教員 荒井 龍弥	
科目ナンバリング		10504222120			常勤・非常勤	
D P		1,3		教員研究室	3110	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	2 年次・通年	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 看護を実践するための知識の修得や臨地実習で必要となるマナーと倫理について学修する。				【課題等のフィードバック方法】 レポート作成内容については、プレゼンテーション後に振り返る。演習後にその都度、質問を受け付け回答する。		
【学習の到達目標】 1. レポートの書き方を学修する。 2. 実習におけるマナー、身だしなみ、対人スキル、情報倫理について学修する。 3. 看護に必要なデータリテラシーを学修する。 4. 看護師・保健師としての将来像について考察し、自己目的を明確化することができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 授業開始後 20 分以降の入室は欠席とみなす 授業中の私語、飲食、携帯・スマホ操作は禁止 アカデミック・スキル演習の内容を充分ふまえて履修すること		
【成績評価方法】 授業内で課される小テストおよびレポートで 100% の評価とする。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 自己の将来像を明確にイメージできるとともに、看護に必要な文献の読み方やデータの理解を深めることができる。実習についてのマナー等の学修から基礎看護実習に向けての準備ができる。レポートの書き方とプレゼンテーションの方法を学修できる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師免許・保健師免許を有し、大学教育の経験を十分活かして講義する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	オリエンテーション	講義の中で適宜指示する		4 時間	
2	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、荒井 龍弥	レポートの書き方①：基本	レポートの書き方に関してテキストを読み、授業後各自の課題をレポートにまとめること		4 時間	
3	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、荒井 龍弥	レポートの作成②：実践	レポートの書き方に関してテキストを読み、授業後各自の課題をレポートにまとめること		4 時間	
4	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、荒井 龍弥	レポートの作成③：実践 グループ活動、レポートの振り返りなど	レポートの書き方に関してテキストを読み、授業後各自の課題をレポートにまとめること		4 時間	
5	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	文献を読む①・信頼性と妥当性	信頼性と妥当性に関して文献をもとに調べ、授業後興味関心のある分野の先行研究文献を読むこと		4 時間	
6	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	文献を読む②・データについて	データの示し方に関して文献をもとに調べ、授業後興味関心のある分野の先行研究文献を読むこと		4 時間	
7	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、健康管理センター講師	メンタルヘルスについて	大学生に必要なメンタルヘルス対策について調べ、授業後にレポートにまとめること		4 時間	
8	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	看護師の選択肢①	看護師の将来像について調べ、授業後各自の将来像をレポートにまとめること		4 時間	
9	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	看護師の選択肢②	看護師の将来像について調べ、授業後各自の将来像をレポートにまとめること		4 時間	
10	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	実習に向けた対人関係のスキルと情報倫理①	看護に必要な対人関係スキルや倫理に関して調べ、授業後自己課題をレポートにまとめること		4 時間	
11	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	実習に向けた対人関係のスキルと情報倫理②	看護に必要な対人関係スキルや倫理に関して調べ、授業後自己課題をレポートにまとめること		4 時間	
12	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、外部講師	キャリアセミナーⅡ・看護学生として必要なマナー講座①	講義の中で適宜指示する		4 時間	
13	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員、外部講師	キャリアセミナーⅡ・看護学生として必要なマナー講座②	講義の中で適宜指示する		4 時間	
14	基礎セミナーⅠ担当教員、2 年生 SA 教員	面談：ポートフォリオを用いた振り返り	講義の中で適宜指示する		4 時間	
教 科 書		看護師・看護学生のためのレビューブック、メディックメディア 看護学生のためのよくわかる大学での学び方、監修；前原澄子、遠藤俊子、金芳堂				
参 考 書		授業で適宜紹介する				
備 考		講義スケジュールおよび講義室は暫定であり、初回および授業内で別途提示する。 問い合わせ教員：佐藤大輔（3110）、小松恵（3213）、山田愛実（1326）				

科 目 名		基礎セミナーⅡ		担 当 者	○作山美智子・庄子 幸恵 3 年 SA 教員		
科目ナンバリング		10504322121			常勤		
D	P	1,3		教 員 研 究 室	5205		
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期		
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位	
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし					
I C T 活 用				□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 自分の考えを論理的にまとめ、相手に伝える技術を涵養する。自らの目標に向かい、主体的に学修に取り組む姿勢によって、他者と協働ワークすることの意義を体験的に学修する。授業は、全体講義の他、各 SA によるゼミ形式の授業も展開される。				【課題等のフィードバック方法】 プレゼンテーションに関する講評 小テストの回答・解説			
【学習の到達目標】 1. 自分の考えを目的に沿って筋道立て、論理的にまとめることができる 2. グループワークを通して、資料作成やプレゼンテーションを行うことができる 3. 国家試験に向けた学修や進路先について、3 年次前期での目標を立てることができる 4. 現時点での自分の学力に向きあい、国家試験合格に向けて、今後の予定を計画することができる				【履修上の注意・予習・復習について】 アカデミックススキル演習、基礎セミナーⅠにおける既修内容を十分踏まえて履修すること。課題は期限内に提出すること。			
【受講して得られる効果・メリット、その他】 ロジカルシンキング、クリティカルシンキングを実践的に学修することができ、看護研究論Ⅲに取り組むための基盤作りとなる。				【実務家教員担当科目】 看護師・保健師・助産師の国家資格と臨床経験の実務経験を有する教員が、実務・大学教育の経験を十分活かして授業を行う。			
【成績評価方法】 演習とグループワーク、プレゼンテーションにおける参加状況内容（50%）、知識確認テスト（50%）により評価する。							
授 業 計 画							
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間				
			予習・復習				学修時間
1	作山美智子 3 年 SA 教員	オリエンテーション	アカデミックススキル演習、基礎セミナーⅠの学修を復習する				4 時間
2	福原 彩花 3 年 SA 教員	プレゼンテーションのテーマの選定、 資料収集：グループワーク	予習：プレゼンテーション御テーマを考えておく 復習：テーマに関する文献を読む				4 時間
3	作山美智子 学生相談室	大学生活における健康管理	対人関係、ストレス対処等に関するスキルをまとめる				4 時間
4	庄子 幸恵 3 年 SA 教員	プレゼンテーション①：プレゼン テーションとデスカッション	作成した資料を基に各グループの発表を行う				4 時間
5	庄子 幸恵 3 年 SA 教員	プレゼンテーション②：プレゼン テーションとデスカッション	作成した資料を基に各グループの発表を行う				4 時間
6	作山美智子 3 年 SA 教員	プレゼンテーション③：プレゼン テーションとデスカッション	作成した資料を基に各グループの発表を行う				4 時間
7	庄子 幸恵 3 年 SA 教員	国家試験の学修①病態	誤答の問題を復習する				4 時間
8	作山美智子 3 年 SA 教員	国家試験の学修②精神	誤答の問題を復習する				4 時間
9	庄子 幸恵 3 年 SA 教員	国家試験の学修③小児・在宅	誤答の問題を復習する				4 時間
10	作山美智子 3 年 SA 教員	国家試験の学修④成人	誤答の問題を復習する				4 時間
11	作山美智子 3 年 SA 教員	国家試験の学修⑤老年・母性	誤答の問題を復習する				4 時間
12	キャリア支援委員 3 年 SA 教員	キャリアセミナー（在学性または卒業生との交流）	自己のキャリアについて考える				4 時間
13	庄子 幸恵 3 年 SA 教員	知識確認テスト	誤答の問題を復習する				4 時間
14	3 年 SA 教員	ルーブリック、ディプロマサブリメント評価	知識確認テストの振り返り、誤答の問題を復習する。自己学修計画を立案する。				4 時間
教 科 書		看護師・看護学生のためのレビューブック 2025、第 26 版、岡庭豊編、メディックメディア、978-4-89632-931-5.					
参 考 書		クエスチョン・バンク Select 必修 2025、看護師国家試験問題集、第 20 版、医療情報科学研究所、978-4-89632-932-2.					
備 考		問い合わせは作山、庄子（幸）または各 SA 教員まで					

科 目 名		実習前特別演習 A		担 当 者	○大槻 久美・作山美智子 大池 真樹・鈴木 祐子 小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・大庭 みよ 佐藤 大輔・傍島 智子 伊藤 明美・荒生 有花 片岡 佳子・千葉 桂子 福原 彩花・秋本 和弘	
科目ナンバリング		10504422122			常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室	1312,5205,5209,3213,1314	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これまでに学んだ知識・技術を統合し、臨地実習における実践での活用ならびに応用方法について学ぶことにより、実習に向けての心構えをつくる。				【課題等のフィードバック方法】 課題や小テストの解答・解説 レポートの講評		
【学習の到達目標】 1. 対象者の情報収集や、フィジカルアセスメントの重要性とポイントについて理解することができる。 2. 実習生もチームの一員であるため、スタッフとの情報共有の必要性を再確認できる。 3. 収集した情報とアセスメントをまとめ、効果的に相手に伝える記録、報告の方法について理解することができる。 4. カンファレンスの目的を理解し、効果的なテーマの選定や構成について考えることができる。 5. 実習に向けての心構え（社会人として医療職としての自覚を促す）をつくる。				【履修上の注意・予習・復習について】 基礎セミナーⅠ・Ⅱや、各領域の今までの講義内容を十分に踏まえて履修すること。課題は期限内に提出すること。		
【成績評価方法】 各領域からの課題（70%）、小テスト（30%）。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 医療職を目指す学生としての看護実践能力、問題解決能力、人間関係を成立させるための能力を養う素地をつくることができる。		
【実務家教員担当科目】 臨床経験を持つ教員が、その経験を生かして臨地実習に向けての具体的な内容を講義する						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	大槻 久美	実習の意義と重要性、情報管理、報告・連絡・相談の重要性と実施について、事故予防・事故発生時の対応について	実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
2	大槻 久美	実習記録について	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
3	小松 恵	成人看護実習前演習（急性期）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
4	小松 恵	成人看護実習前演習（慢性期）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
5	大槻 久美	老年看護実習前演習（病院・施設）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
6	大庭 みよ	母性看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
7	大池 真樹	小児看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
8	松田 優二	精神看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
9	作山美智子	在宅看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
10	大槻 久美	「記録物紛失について考えよう」グループワーク	今まで学んだ情報リテラシーに関連した学習内容をもとに、授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
11	大槻 久美	健康管理シートについて	実習中の自己管理について説明し、今までの A と B での記述の相違もすべて持参させ、健康管理についての理解を促す		4 時間	
12	小松 恵	実習オリエンテーション（成人看護学領域）	成人看護実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
13	大槻 久美	宿泊に関するオリエンテーション	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
14	大槻 久美	実習オリエンテーション（心構え、身だしなみ、健康管理等）小テスト	実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
教 科 書		特に指定しない				
参 考 書		適宜紹介する				
備 考		連絡先：大槻久美、小松恵、大庭みよ、大池真樹、松田優二、作山美智子				

科 目 名		実習前特別演習 B		担 当 者	○大槻 久美・作山美智子 大池 真樹・鈴木 祐子 小松 恵・鈴木 敦子 村上 大介・大庭 みよ 佐藤 大輔・傍島 智子 伊藤 明美・荒生 有花 片岡 佳子・千葉 桂子 福原 彩花・秋本 和弘	
科目ナンバリング		10504422123			常勤	
D P		1,2,3,4		教 員 研 究 室	1312,5205,5209,3213,1314	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これまでに学んだ知識・技術を統合し、臨地実習における実践での活用ならびに応用方法について学ぶことにより、実習に向けての心構えをつくる。 【学習の到達目標】 1. 対象者の情報収集や、フィジカルアセスメントの重要性とポイントについて理解することができる。 2. 実習生もチームの一員であるため、スタッフとの情報共有の必要性を再確認できる。 3. 収集した情報とアセスメントをまとめ、効果的に相手に伝える記録、報告の方法について理解することができる。 4. カンファレンスの目的を理解し、効果的なテーマの選定や構成について考えることができる。 5. 実習に向けての心構え（社会人として医療職としての自覚を促す）をつくる。 【成績評価方法】 各領域からの課題（70%）、小テスト（30%）。						
【課題等のフィードバック方法】 課題や小テストの解答・解説 レポートの講評 【履修上の注意・予習・復習について】 基礎セミナーⅠ・Ⅱや、各領域の今までの講義内容を十分に踏まえて履修すること。課題は期限内に提出すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 医療職を目指す学生としての看護実践能力、問題解決能力、人間関係を成立させるための能力を養う素地をつくることができる。 【実務家教員担当科目】 臨床経験を持つ教員が、その経験を生かして臨地実習に向けての具体的な内容を講義する						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	大槻 久美	実習の意義と重要性、情報管理、報告・連絡・相談の重要性と実施について、事故予防・事故発生時の対応について	実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
2	大槻 久美	実習記録について	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
3	小松 恵	成人看護実習前演習（急性期）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
4	小松 恵	成人看護実習前演習（慢性期）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
5	大槻 久美	老年看護実習前演習（病院・施設）	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
6	大庭 みよ	母性看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
7	大池 真樹	小児看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
8	松田 優二	精神看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
9	作山美智子	在宅看護実習前演習	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
10	大槻 久美 鈴木 祐子	「記録物紛失について考えよう」グループワーク	今まで学んだ情報リテラシーに関連した学習内容をもとに、授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
11	大槻 久美	健康管理シートについて	実習中の自己管理について説明し、今までのワクチン接種等の書類もすべて持参させ、健康管理についての理解を促す。		4 時間	
12	小松 恵	実習オリエンテーション（成人看護学領域）	成人看護実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
13	大槻 久美	宿泊に関するオリエンテーション	配布資料などをもとに授業内容についての理解を定着させる。		4 時間	
14	大槻 久美	実習オリエンテーション（心構え、身だしなみ、健康管理等）小テスト	実習要項の該当部分の予習・復習を行う。		4 時間	
教 科 書		特に指定しない				
参 考 書		適宜紹介する				
備 考		連絡先：大槻久美、小松恵、大庭みよ、大池真樹、松田優二、作山美智子				

科 目 名		看護管理学Ⅰ		担 当 者	○瀬戸 初江・阿見 由梨	
科目ナンバリング		10504322124			常勤	
D P		1,2		教員研究室	5204	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート ☑グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学习支援 ☑該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 看護職は、看護援助の提供にかかわる看護知識・技術と共に、態度形成が必須となる。ここでは、看護管理についての歴史的背景と基本的な理論や考え方から、現代の看護管理についての課題や管理手法についての実際について学修する。						
【学習の到達目標】 1. 看護管理の基礎的理論について理解する。 2. 看護管理の法的側面、経済的側面、人的側面について理解する。 3. 看護活動そのものが専門職者としての自己成長に深く関わると説明できる。						
【成績評価方法】 授業課題：30% 最終課題（試験形式）：70%						
【課題等のフィードバック方法】 成績は UNIPA で成績公開する（回答は原則返却しない）。授業課題は授業時間内または Google Classroom でフィードバックする。						
【履修上の注意・予習・復習について】 自ら発問し課題解決をすること。随時課題を提示するので、提出時間・提出方法厳守。 遅刻・早退は授業開始の 30 分までとし、2 回遅刻早退した場合は 1 回の欠席とみなす。 携帯電話、私語禁止（マナー違反の場合は退席を求める）。						
【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 看護管理の基礎的理論、手法を学ぶことにより看護職者としての、効率的、効果的な看護提供のあり方を理解することができる。 2. 看護をめぐる現状や課題を理解し、課題追求の態度を形成できる。						
【実務家教員担当科目】 臨床実践経験を踏まえて講義する						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習			学修時間
1	瀬戸 初江	コースガイダンス自己目標の設定	ポートフォリオ、自己目標（大学生として学び続ける自分自身の目標と行動計画）を立案する。			4 時間
2	瀬戸 初江	管理とは何か 看護管理の概念と目的	①管理、②看護管理、ついて調べ、自己の考えをまとめる			4 時間
3	瀬戸 初江	マネジメントの変遷 看護を取り巻く諸制度	マネジメントの変遷看護を取り巻く諸制度を復習する			4 時間
4	瀬戸 初江	安全管理のしくみ、医療事故対策	医療安全についてまとめる 演習を通し自己の医療安全に対する考察を行う			4 時間
5	阿見 由梨	医療現場の感染管理の基本	医療現場の感染管理の基本を学び、感染管理に対する課題レポートをまとめる			4 時間
6	瀬戸 初江	ケアマネジメントについて学ぶ	基準、手順、クリニカルパスについてまとめるタイムマネジメントを実際に検討する			4 時間
7	瀬戸 初江	看護サービスマネジメント① 組織・職位・職務／施設設備環境・物品マネジメント	組織、組織構造、職位と職務をまとめる			4 時間
8	瀬戸 初江	看護サービスマネジメント② チームナーシング、プライマリナーシング、機能別看護、パートナーナースシップについてまとめる	看護提供システムについてまとめる			4 時間
9	瀬戸 初江	看護サービスマネジメント③ サービスの評価人的資源管理採用から退職まで、労働環境／勤務体制	サービスの評価について教育／労働環境（時間、休暇、賃金等）／勤務体制（交替勤務）についてまとめるまとめる			4 時間
10	菊池寿美枝	ナースプラクティショナーの仕事を理解しよう	自己のキャリア開発について考えをまとめ将来のキャリアプランを描くことができる 課題レポート			4 時間
11	瀬戸 初江	組織運営の技術 リーダーシップ、コンフリクトマネジメントマネジメントに必要な知識と技術	リーダーシップ、コンフリクトマネジメントについてまとめる			4 時間
12	瀬戸 初江	看護職のキャリアマネジメント 看護職のキャリア、教育、専門性の高い看護師	モチベーションとストレスマネジメントについてまとめる			4 時間
13	瀬戸 初江	セルフマネジメント② 自分の目標について再検討する（ディスカッション）	自分自身最初に立案した目標を評価し、再修正する。			4 時間
14	瀬戸 初江	まとめ・最終課題	看護管理とは何かについて自己の考えをまとめる			4 時間
教 科 書		看護管理学 自律し協働する専門職の看護マネジメントスキル 第3版 手島恵・藤本幸三 南江堂 2023				
参 考 書		看護管理 看護の統合と実践 1 上泉和子・小山秀夫・寛淳夫・鄭佳紅編 医学書院、2018 医療安全 多職種でつくる患者安全をめざして 山内豊明・荒井有美 南江堂 2018				
備 考		積極的な質問や意見を歓迎します。				

科 目 名		看護管理学Ⅱ		担 当 者	○瀬戸 初江・佐藤 眞理 佐藤 大	
科目ナンバリング		10504322125			常勤	
D P		1,2,3,4		教員研究室	5204	
学科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	4 年次・後期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 異文化理解やグローバルヘルスを基礎とする国内外の健康課題と在日外国人に対する看護実践を学ぶ。平時のリスクマネジメントを踏まえて、医療現場の危機を考える。被災時の保健医療福祉活動、受援体制、災害への備えについて学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 世界的健康課題に対する看護提供と日本の看護が果たすべき役割、諸外国、国内において異文化、多文化的背景を考慮した看護について理解する。 2. 災害医療に必要な基本的知識と、災害看護実践（災害サイクルに応じた看護）を理解する。 3. 災害時の看護技術（特に意思決定とトリアージ）について理解する。 【成績評価方法】 授業課題：20% 演習：20% 最終課題（試験形式）：60% 【課題等のフィードバック方法】 総合的な評価は、UNIPA で成績公開する。授業時間内課題、演習は授業時間または Google Classroom でフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 課題提出の期限、提出方法は厳守すること。なお、災害に関する写真、映像等を見ることに不安がある人は、担当教員に相談してください。授業前に説明があるので、注意深く聞くこと。携帯電話、私語禁止（マナー違反は退室）。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 1. 国際看護に関する知識を習得し、広い視野をもって異文化を理解し今後の看護実践に生かすことができる 2. 災害看護の知識スキルを身につけ災害に対する看護の役割を考えることができる 【実務家教員担当科目】 本講義は、医療機関での在日外国人看護実践並びに、災害看護実践活動を踏まえて、実際の看護実践を伝授する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	瀬戸 初江	コースガイダンス 国際看護に必要な基礎知識（目的とその活動／援助機関と役割	援助機関、政府開発援助の在り方についてまとめる		4 時間	
2	瀬戸 初江	国際看護の目的とその活動 人道支援	人道支援の起源とスフィアプロジェクトについてまとめる ミレニアム開発目標、2030 アジェンダについてまとめる		4 時間	
3	瀬戸 初江	世界的な保健医療の諸事情と看護グローバルイゼーションと健康問題 在日外国人への看護実践、EPA 看護師	在日外国人への看護実践を行うために、4 年間で学んだ知識を振り返る（各領域知識） 事例展開 GW		4 時間	
4	瀬戸 初江	国際情勢と看護文化を考慮した看護理論	看護師の倫理綱領を振り返る 国際看護について理解を深める GW		4 時間	
5	佐藤 眞理	国際看護への関心を深めよう 海外助産業務の経験から	国際看護に対する自分自身の考えを深める 課題レポート		4 時間	
6	瀬戸 初江	災害看護を理解するための基礎知識	災害とは、災害の概念についてまとめる		4 時間	
7	瀬戸 初江	災害の種類、関連する法律・制度・災害サイクル	災害の種類、関連する法律・制度・災害サイクルについてまとめる		4 時間	
8	瀬戸 初江	災害急性期の看護 CSCATTT、支援と受援	トリアージの概念を学び、模擬患者想定を作成する		4 時間	
9	瀬戸 初江	災害時に必要な意思決定とトリアージ（グループワーク・演習）	トリアージ実践について予習しトリアージ訓練の演習のシュミレーションについてグループでまとめる		4 時間	
10	佐藤 大	災害時に必要な意思決定とトリアージ（グループワーク・演習）	トリアージ訓練を演習し、終了後トリアージについてまとめる		4 時間	
11	瀬戸 初江	避難所・仮設住宅・在宅避難のケア	医療機関以外での看護展開についてまとめる		4 時間	
12	瀬戸 初江	こころのケア、遺族支援 備災、災害看護教育、災害看護研究	災害サイクルに応じたこころのケアについて考察する 災害への備え（静穏期活動）についてまとめる		4 時間	
13	瀬戸 初江	看護管理Ⅰ・Ⅱのまとめ	看護管理Ⅰ・Ⅱの復習を予習・復習する。 小テスト含む		4 時間	
14	瀬戸 初江	災害看護の実際・国際看護のまとめ・最終課題（試験形式）	災害看護の実際から、今日的課題を考察する 国際看護に関する今後の課題を考察する		4 時間	
教 科 書		庄野泰乃・内木恵美・東智子：災害看護学・国際看護学 医学書院 5 版 2024				
参 考 書		三澤寿美・太田晴美編：災害看護 寄り添う、つながる、備える 学研メディカル秀潤社 2018 一戸真子：国際看護 言葉・文化を超えた看護の本質を体現する 学研 2016				
備 考		日本の医療現場や医療施設看護にこだわらずに、広い視野と価値観、看護観を養うことを目的としてほしい。				

科 目 名	チーム医療論			担 当 者	瀬戸 初江
科目ナンバリング	10504322126				常勤
D P	1,4			教員研究室	5204
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学习支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 メディカルスタッフがお互い連携することで人間中心の医療を実現する。そのためのチーム医療のシステム・そのあり方を学ぶ。メディカルスタッフが各々の役割を認識し、問題点を共有すること、療養目標を共有し、緻密な連携・協働の必要性を認識する。 【学習の到達目標】 チーム医療のシステムにおけるメディカルスタッフ各々の役割を認識できる。 連携及び協働しチーム医療を実践する基盤ができる。 【成績評価方法】 授業課題：20% 最終課題（試験形式）：80% 【課題等のフィードバック方法】 総合成績は UNIPA で公開する。課題は授業時間内または Google Classroom でコメント・フィードバックする。最終課題の回答は返却しない。 【履修上の注意・予習・復習について】 30 分以上の遅刻早退は欠席とみなす。チームの一員として授業に参加すること。 私語、携帯電話禁止（マナー違反は退室）。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 他専門職と連携及び協働し、チーム医療の機能を向上させ、看護実践できる能力の習得が期待できる。 【実務家教員担当科目】 臨床実践（病院看護師等）でチーム医療を実践してきた教員が、実際の場面を一教材としてチーム医療のメリット・デメリットを教授する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	瀬戸 初江	チームとは何か、チーム医療の概念 チームアプローチの要素と機能	チーム医療の概念・ チームとは何か、目標立案の重要性についてまとめる		4 時間
2	瀬戸 初江	チーム医療に関わる職種の理解（ディスカッション）	チーム医療の専門職や医療施設内での種類と役割についてまとめる 事例展開 GW		4 時間
3	瀬戸 初江	チーム医療実践に必要な相互関係と連携 患者医療者関係	医療施設内での様々な専門職との組織連携、患者－医療者関係についてまとめる		4 時間
4	山口 克宏	地域活動 ボランティアとは	様々な職種と地域でボランティア活動していくことの必要性を学びボランティアについて理解を深める 講義 課題レポート		4 時間
5	瀬戸 初江	IPE・専門職連携	専門職連携について学び連携していくための方法を理解する		4 時間
6	瀬戸 初江	チーム医療に必要なスキル（ディスカッション） チーム	医療チーム内での看護師の役割や調整の方法についてまとめる		4 時間
7	瀬戸 初江	まとめ（チーム医療の展望） 最終課題（試験形式）	チーム医療とは何かについて自身の考えをまとめ、将来、チーム医療に参画するための課題を明らかにする 課題レポート		4 時間
教 科 書		随時資料を配布する			
参 考 書		実践チーム医療論 水本清久他編著 医歯薬出版 新しいチーム医療論 田村由美編著 看護の科学社 チーム医療論 鷹野和美 編著 医歯薬出版			
備 考		社会背景、高度医療、地域医療福祉の充実にチーム医療は欠くことができません。チームとは何か、チームにおける看護の役割とは何か考え・行動する力を養いましょう。			

科 目 名	統合看護実習 A			担 当 者	○瀬戸 初江・未定
科目ナンバリング	10504422127				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	5204
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・前期
授 業 形 式	実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 大学の講義、演習並びに領域実習体験に基づき、病院等で複数患者受け持ち等の多重課題を通して、チームアプローチの重要性を学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 適宜指示する。	
【学習の到達目標】 1. 既習の知識・技術を統合・活用し、患者ケア実践を行う。 2. ケア実現のためのマネジメント能力を養う。 3. 医療チームの一員として看護（看護学生）の役割を遂行する。 4. 看護師の倫理綱領を遵守し、保健医療専門職として責任ある行動ができる。 5. 大学での学びと自己の看護観、および今後の自己課題を明確にする。				【履修上の注意・予習・復習について】 既習の知識・技術を振り返り、実習に臨むこと。	
【成績評価方法】 実習評価は、学内演習（事前、直前、最終）、実習内容・態度・マナー、実習記録等を評価表に基づき評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 実習を通して、社会に出て働く自分をイメージすることに役立つ。経験豊富な臨床指導者、看護管理者から学びを得ることができる。	
【実務家教員担当科目】 担当する指導教員は看護師資格を有している。臨床実習指導者は実習先の現役の看護師、看護管理者、他職種からである。豊富な実務経験を有する複数の指導者から、ケアマネジメントやチーム医療、病棟運営等についての実際を学ぶことができる。					
授 業 計 画					
以下の内容を実習施設の状況に応じて実践する。 1. 学内オリエンテーション・学内演習 2. 病棟オリエンテーション 3. 複数受け持ち（多重課題）による看護展開 4. カンファレンス・申し送り等 5. 看護管理実践見学・説明 6. チーム医療実践見学・説明 7. 夜間（遅番）実習 8. 自己の看護観を振り返る					
【担当教員】 学科教員（全領域）が担当する。					

科 目 名	統合看護実習 B			担 当 者	○瀬戸 初江・未定
科目ナンバリング	10504422128				常勤
D P	1,2,3,4			教員研究室	5204
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式	実習	授 業 時 間	90 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 大学の講義、演習並びに領域実習体験に基づき、病院等で複数患者受け持ち等の多重課題を通して、チームアプローチの重要性を学ぶ。 【学習の到達目標】 1. 既習の知識・技術を統合・活用し、患者ケア実践を行う。 2. ケア実現のためのマネジメント能力を養う。 3. 医療チームの一員として看護（看護学生）の役割を遂行する。 4. 看護師の倫理綱領を遵守し、保健医療専門職として責任ある行動ができる。 5. 大学での学びと自己の看護観、および今後の自己課題を明確にする。 【成績評価方法】 実習評価は、学内演習（事前、直前、最終）、実習内容・態度・マナー、実習記録等を評価表に基づき評価する。 【課題等のフィードバック方法】 適宜指示する。 【履修上の注意・予習・復習について】 既習の知識・技術を振り返り、実習に臨むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 実習を通して、社会に出て働く自分をイメージすることに役立つ。 経験豊富な臨床指導者、看護管理者から学びを得ることができる。 【実務家教員担当科目】 担当する指導教員は看護師資格を有している。臨床実習指導者は実習先の現役の看護師、看護管理者、他職種からである。豊富な実務経験を有する複数の指導者から、ケアマネジメントやチーム医療、病棟運営等についての実際を学ぶことができる。					
授 業 計 画					
以下の内容を実習施設の状況に応じて実践する。 1. 学内オリエンテーション・学内演習 2. 病棟オリエンテーション 3. 複数受け持ち（多重課題）による看護展開 4. カンファレンス・申し送り等 5. 看護管理実践見学・説明 6. チーム医療実践見学・説明 7. 夜間（遅番）実習 8. 自己の看護観を振り返る 【担当教員】 学科教員（全領域）が担当する。					

科 目 名		看護研究論Ⅰ		担 当 者	○庄子 幸恵・大池 真樹 松田 優二・鈴木 祐子 村上 大介・大庭 みよ 佐藤 大輔・山田 愛実	
科目ナンバリング		10504222129			常勤	
D P		1,4		教 員 研 究 室	5203	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	15 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 □ディスカッション・ディベート □グループワーク □プレゼンテーション □実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 看護研究の意義と目的を理解し、研究方法の基礎を学ぶ。研究の種類や方法、倫理など具体的な方法について学修する。 【学習の到達目標】 1. 看護研究の意義と目的を理解できる。 2. 研究の基本的な知識を理解できる。 【成績評価方法】 課題提出物（30%）、定期試験（70%）の成績をふまえ、60%以上の成績で合格とする。 【課題等のフィードバック方法】 授業内や、Google classroom で質問を受け付け、担当教員よりフィードバックを行う。 【履修上の注意・予習・復習について】 1. 授業中の私語・飲食を厳禁とする。 2. 授業の予習・復習を行うこと。 3. 積極的な態度で授業に臨むこと。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護職として求められる研究方法の基礎を学び、就職後の研究活動に役立つことができる。 【実務家教員担当科目】 看護師・保健師・助産師の免許を有し、臨床経験、看護教育経験のある教員が授業を担当する。						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	鈴木 祐子	看護研究の意義と目的、看護研究における倫理的配慮	講義で指示する。		4 時間	
2	松田 優二	文献検索と研究課題の明確化	講義で指示する。		4 時間	
3	未定	リサーチクエスション	講義で指示する。		4 時間	
4	未定	研究デザイン①：量的研究	講義で指示する。		4 時間	
5	庄子 幸恵	研究デザイン②：質的研究	講義で指示する。		4 時間	
6	村上 大介	クリティーク・研究計画書作成の方法	講義で指示する。		4 時間	
7	佐藤 大輔	研究成果の発表の方法	講義で指示する。		4 時間	
教 科 書		適宜、授業内で紹介する。				
参 考 書		坂下玲子他 系統看護学講座 看護研究 医学書院 その他、適宜授業内で紹介する。				
備 考		定期試験は、レポート試験になる場合もある。授業での質問等の問い合わせは各担当教員まで。				

科 目 名		看護研究論Ⅱ		担 当 者	○松田 優二・庄子 幸恵 大池 真樹・鈴木 祐子 村上 大介・大庭 みよ 佐藤 大輔・山田 愛実	
科目ナンバリング		10504322130			常勤	
D	P	2,3		教 員 研 究 室	3111	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・通年	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング		□協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション □実習・フィールドワーク □該当なし				
I C T 活 用		□双方向型授業 □自主学習支援 ☒ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 文献検討を行い、看護の科学的な知見や実践的な取り組み、課題について洞察を深める。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け、次回講義、クラスルームを通じて回答・解説する。		
【学習の到達目標】 指定テーマに関する看護研究について、以下の3点を実施できることを目標とする。 1. データベースを用いて文献を系統的に検索できる。 2. 文献を批判的に読むことができる。 3. 研究課題を明らかにすることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 1. 看護研究論Ⅰや各看護学の授業内容を関連付けて学修を進めること。 2. 主体的な学修姿勢で演習に臨むこと。 3. 受講中の私語・飲食厳禁。必要時以外の携帯電話、タブレット等の使用はしないこと。		
【成績評価方法】 評価表にもとづき、レポート等の提出物（70%）、演習・プレゼンテーションの内容の成績をふまえ、60%以上の成績で合格とする。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 研究課題を明らかにする方法を学修し、卒業後の研究活動に役立てることができる。		
				【実務家教員担当科目】 看護師免許・保健師免許・助産師免許を有し、専門領域での看護実践や研究の経験のある教員が、それぞれの専門分野の知識、経験を十分活かして講義・演習する。		
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間			
			予習・復習		学修時間	
1	松田 優二、村上 大介	ガイダンス・クリティークの復習	看護研究論Ⅰでの講義を振り返っておくこと。		4 時間	
2	担当者全教員	課題論文クリティーク（個人ワーク）	提示した課題論文を批判的な視点で読み込みワークに取り組む。		4 時間	
3	担当者全教員	課題論文クリティーク（グループワーク）	個人ワークをもとに他者の意見も取り入れながらグループワークに取り組む。		4 時間	
4	担当者全教員	課題論文（グループワーク）	個人ワークをもとに他者の意見も取り入れながらグループワークに取り組む。		4 時間	
5	担当者全教員	課題論文（グループワーク）	個人ワークをもとに他者の意見も取り入れながらグループワークに取り組む。		4 時間	
6	担当者全教員	課題論文（プレゼンテーション）	聞き手にもわかりやすい工夫をメンバーと検討しながら資料作成に取り組む。		4 時間	
7	担当者全教員	課題論文（プレゼンテーション）	聞き手にもわかりやすい工夫をメンバーと検討しながら資料作成に取り組む。		4 時間	
8	担当者全教員	研究計画書立案に向けた文献検索	看護研究論Ⅲの学修に向けて、自ら関心のある文献についてテーマ、要約など調べる。		4 時間	
9	担当者全教員	研究計画書立案に向けた文献検索	看護研究論Ⅲの学修に向けて、自ら関心のある文献についてテーマ、要約など調べる。		4 時間	
10	担当者全教員	研究計画書立案に向けた文献検索	関心のある文献について整理し、必要な論文を読んでみる。		4 時間	
11	担当者全教員	研究計画書立案に向けた論文クリティーク	論文を批判的な視点で読み込み、研究課題を明らかにする。		4 時間	
12	担当者全教員	研究計画書立案に向けた論文クリティーク	論文を批判的な視点で読み込み、研究課題を明らかにする。		4 時間	
13	担当者全教員	研究計画書立案に向けた論文クリティーク	論文を批判的な視点で読み込み、明らかにした研究課題から看護研究論Ⅲでの研究計画書作成の準備を行う。		4 時間	
14	担当者全教員	研究計画書立案に向けた論文クリティーク	論文を批判的な視点で読み込み、明らかにした研究課題から看護研究論Ⅲでの研究計画書作成の準備を行う。		4 時間	
教 科 書		適宜紹介する。				
参 考 書		1) はじめて学ぶ文献レビュー【第2版】 若村智子/西村舞琴 総合医学社 2) 看護にいかす文献検索入門 富田美加/松本直子 中央法規 3) 看護研究・看護実践の質を高める 文献レビューのきほん 大木秀一 医歯薬出版株式会社				
備 考		質問等の問い合わせ：松田優二、庄子幸恵、大池真樹、鈴木祐子、村上大介、大庭みよ、佐藤大輔、山田愛実				

科 目 名	看護研究論 III			担 当 者	○佐々木明子・渡邊 隆夫 堀内 輝子・作山美智子 大槻 久美・戸田 孝史 小田切孝人・沼崎 宗夫 堂浦 克美・庄子 幸恵 大池 真樹・結城美智子 瀬戸 初江・鈴木 祐子 宮下 真子・松田 優二 山岸 貴子・小松 恵 鈴木 敦子・村上 大介 大庭 みよ・佐藤 大輔 傍島 智子・山田 愛実
科目ナンバリング	10504322131				常勤
D P	1,2,3,4				教員研究室
学科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・前期
授 業 形 式	演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☒ 自主学习支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 看護に関わる事象の中から、研究につながる課題を見つけ、看護研究を行い、研究のプロセスを学ぶ。研究に対する関心をもち、研究的な視点を理解することで、将来、看護師、保健師、研究者、教育者となった際の、研究的素地を身につける。また、文献検索の方法、倫理審査の申請書類の作成方法、研究計画書の作成方法、プレゼンテーションの方法についても学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 授業中、質問を受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 1. 看護研究の目的が理解できる。 2. 研究の基礎的プロセスを実施を通して理解できる。 3. 研究計画書を作成し、研究計画を発表できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 研究計画作成に積極的に参加すること。	
【成績評価方法】 研究への取り組みの姿勢、研究計画書、プレゼンテーションを総合的に評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 臨床や在宅・地域における看護活動の課題に取り組む着眼点や研究方法、研究計画書の作成、研究成果の応用について、学びを深めることができる。	
				【実務家教員担当科目】 各領域の実践・教育・研究についての豊富な経験と実績のある教員が担当する。	
授 業 計 画					
1. オリエンテーションー看護における研究の意義、研究の種類、倫理的配慮ー 2. 研究テーマの検討 3. 文献調査 4. 研究計画書の作成（1）研究テーマの決定 5. 研究計画書の作成（2）研究デザインの決定 6. 研究計画書の作成（3）対象の選定 7. 研究計画書の作成（4）データの種類と収集方法の選定 8. 研究計画書のプレゼンテーション					
教 科 書	なし				
参 考 書	演習時に指定する。				
備 考	次の教員の指導のもとに、積極的に看護研究に取り組むことを期待する。佐々木明子、作山美智子、大槻久美、戸田孝史、小田切孝人、沼崎宗夫、堂浦克美、庄子幸恵、瀬戸初江、大池真樹、結城美智子、松田優二、小松恵、鈴木敦子、鈴木祐子、宮下真子、山岸貴子、村上大介、山田愛実、千葉桂子、大場みよ、佐藤大輔、福原彩花、伊藤明美、傍島智子、荒生有花、秋本和弘				

科 目 名	看護学特別演習			担 当 者	○戸田 孝史・佐々木明子 渡邊 隆夫・作山美智子 大槻 久美・小田切孝人 沼崎 宗夫・堂浦 克美 庄子 幸恵・大池 真樹 片岡 ゆみ・瀬戸 初江 堀米美智枝・鈴木 祐子 宮下 真子・松田 優二 山岸 貴子・小松 恵 鈴木 敦子・村上 大介 大庭 みよ
科目ナンバリング	10504422132				常勤
D P	1,2,3,4			教 員 研 究 室	1327
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・後期
授 業 形 式	演習	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 1 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☒ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☒ 自主学習支援 ☐ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 4 年前期までに学んだ看護に関する講義・演習・臨地実習を整理し、看護師になるための総合された能力を培う機会とする。過去の看護師国家試験の内容を分析し、試験問題を理解するための勉強に取組みながら看護師として必要とされる知識を身につける。それぞれの時点での自分の実力を把握し、看護師国家試験に向けて、自ら不足している知識の学習を深める。				【課題等のフィードバック方法】 試験結果や学習態度等については、その都度学生にフィードバックし、今後の学習等について相談、指導を行う。	
【学習の到達目標】 臨床における看護師として必要な総合的知識を学修する。これまで行われた看護師国家試験問題に取り組み、4 年間学習してきたことを整理し、理解を深める。看護師国家試験合格のための実力を身につける。				【履修上の注意・予習・復習について】 ・一つでも多く確かな知識を身につけるべく、貪欲に動くこと。 ・専門の内容に関して不明な点は、積極的に教員の助力を仰ぐこと。 ・模擬試験はすべて受験すること。 ・フィードバックされる模試結果に一喜一憂するのではなく、復習を徹底し学修に役立てること。	
【成績評価方法】 国家試験形式の試験で評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 4 年間の学習を振り返り、看護師に必要とされる統合的な知識を整理・学習することができる。	
【実務家教員担当科目】 全ての授業を実務家教員が担当する。					
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	未定	オリエンテーション、看護国試の必修問題に関する試験	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
2	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
3	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
4	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
5	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
6	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
7	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
8	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
9	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
10	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
11	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
12	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
13	未定	国試過去問を用いた演習（全体向け）、要支援学生への個別指導	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
14	未定	看護国試の必修問題と一般問題に関する試験	正解には至らなかった問題について振り返りを徹底する。また、関連事項についても学修を進める。		1 時間
教 科 書	オリエンテーション時に指示する。				
参 考 書	オリエンテーション時に指示する。				
備 考	看護学科の全教員が担当する。				

科 目 名	保健医療福祉概論			担 当 者	森田慎二郎
科目ナンバリング	10504322134				常勤
D P	1,2,4			教 員 研 究 室	3305
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	2 年次・後期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 保健医療福祉専門職は、患者・利用者を支援する際には、関連する諸制度の概要を知っておく必要がある。この講義では、保健・医療・福祉制度の概要、歴史、関連法について概観し、医療保険、介護保険、障害者総合支援法などの仕組みとサービス内容等について学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 授業終了後、ミニッツペーパーにより質問を受け付け、次回に回答する。	
【学習の到達目標】 ・社会保障制度の概要を説明できる。 ・各種保健医療福祉制度の概要とサービス内容について説明できる。 ・専門職として各種制度との関わりを理解することができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 私語厳禁	
【成績評価方法】 期末テスト 100%				【受講して得られる効果・メリット、その他】 医療専門職として活躍するうえで有用な基礎知識が得られる。	
				【実務家教員担当科目】 該当なし。	
授 業 計 画					
回	担当教員	学修内容	学修課題・必要な学修時間		
			予習・復習		学修時間
1	森田慎二郎	オリエンテーション、保健医療福祉の基盤となる考え	復習として教科書で全体像を把握する。		4 時間
2	森田慎二郎	保健・医療・福祉の諸制度（社会保障制度の概要）	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
3	森田慎二郎	保健・医療・福祉の歴史的展開	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
4	森田慎二郎	現代の保健・医療・福祉を支える関連法、施設体系	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
5	森田慎二郎	社会福祉と公的扶助	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
6	森田慎二郎	医療保険の仕組みと種類①	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
7	森田慎二郎	医療保険の仕組みと種類②	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
8	森田慎二郎	年金制度の仕組みと動向	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
9	森田慎二郎	労災保険と雇用保険	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
10	森田慎二郎	介護保険制度の仕組み①	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
11	森田慎二郎	介護保険制度の仕組み②	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
12	森田慎二郎	障害者総合支援法と障害者福祉サービス	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
13	森田慎二郎	地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉サービス①	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
14	森田慎二郎	地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉サービス②、まとめ	教科書、配布資料でキーワード中心に復習する。		4 時間
教 科 書		椋野美智子・田中耕太郎著『はじめての社会保障』有斐閣アルマ			
参 考 書		適宜紹介する。			
備 考		特になし。			

科 目 名		専 門 職 連 携 論		担 当 者	○大黒 一司・大庭 みよ 渡邊 隆夫・伊藤 清世 榎林 雅司・佐藤 尚子 土井 勝幸	
科目ナンバリング		10504322135			常勤	
D P	1		教 員 研 究 室		3211	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・前期	
授 業 形 式		講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 2 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 疾病を抱えた患者や障害のある人の課題を解決しニーズに応えることは、対象者（利用者）に対して保健医療福祉の各分野の専門家が協働することであると理解できる。各分野の専門職が関わることでより質の高いサービスを提供することが可能になる。保健医療福祉の連携は、各分野の専門職の視点も大切であるが、むしろチームとしての視点が重要になる。しかし、チームとしてのアプローチが各専門職の技術を持ち寄るだけでは十分とは言えない。対象者（利用者）の課題やニーズに対する共通の理解、価値観にも基づいて関わること（連携）が重要である。 専門職連携論では、多職種連携が求められる背景、多職種連携の理念・定義、実践方法、実践事例の学習を通して連携の基盤と方法について学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 ・講義終了後、質問を受け付け回答する。 ・レスポンスペーパーによる質問を受け付けと次回授業時に受講者全体に回答する。 【履修上の注意・予習・復習について】 指定された席で受講する。レスポンスペーパーは毎回必ず提出する。専門職連携セミナー（3 年後期）の履修を希望する者は本科目を必ず履修すること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 多職種連携科目を 1 年～3 年で体系的に学びを実践に向けて深めることができる。		
【学習の到達目標】 ・専門職連携が求められる背景について説明できる。 ・専門職連携の理論及び実践方法について理解できる。				【実務家教員担当科目】 病院・施設において多職種連携を実践していた。		
【成績評価方法】 授業時のレスポンスペーパー 30% 課題レポート 70%						
授 業 計 画						
回	担当教員	学修内容		学修課題・必要な学修時間		
				予習・復習	学修時間	
1	大黒 一司	1) オリエンテーション 2) 本学における多職種連携教育（IPE）		復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
2	大黒 一司	1) 多職種連携（IPW）とは 2) IPE の経緯と定義、目標		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
3	大黒 一司	1) 多職種のチームにおけるさまざまな連携のありかた 2) 多職種連携における課題		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
4	大黒 一司	多職種連携の実践に必要なコミュニケーション能力		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
5	大黒 一司	チームワークの成り立ち		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
6	大庭 みよ（看護師）	多職種連携における医療福祉連携士の役割		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
7	渡邊 隆夫（医師）	IPW の実際 1 医療における IPW の実際と医師の役割		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
8	相澤 康弘（臨床工学技士）	IPW の実際 2 多職種連携における臨床工学技士の役割と実践		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
9	榎林 雅司（薬剤師）	IPW の実際 3 多職種連携における薬剤師の役割と実践		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
10	伊藤 清世（管理栄養士）	IPW の実際 4 多職種連携における管理栄養士の役割と実践		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
11	佐藤 尚子（看護師・診療看護師）	IPW の実際 5 福祉施設における多職種連携の実際		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
12	土井 勝幸（施設長・作業療法士）	IPW の実際 6 地域包括ケアにおける多職種連携の実際		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
13	大黒 一司、他	グループワーク 多職種連携に必要なこと 事例を通して考える		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
14	大黒 一司、他	グループワーク 多職種連携に必要なこと 事例を通して考える		予習：事前配布資料の授業内容を予習する 復習：配布資料を基に授業内容を復習する。	4 時間	
教 科 書		指定教科書は特になし				
参 考 書		必要に応じて図書や文献を紹介する				
備 考		質問等の問い合わせ：大黒一司（リハビリテーション学科作業療法学専攻）				

科 目 名		専門職連携セミナー		担 当 者	大黒 一司	
科目ナンバリング		10504322136			常勤	
D	P	1,2,3,4		教 員 研 究 室	3211	
学 科（専攻）		看護学科		配 当 年 次	3 年次・後期	
授 業 形 式		演 習	授 業 時 間	30 時間	単 位	選択 1 単位
アクティブ・ラーニング		☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用		☒ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☐ 該当しない		「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない	
【授業内容】 これからの専門職に求められるのは、対象者（利用者）を中心としてその多面的なニーズに的確に応える能力です。そのためには専門職連携という基礎的な素養の上に各々の専門性が確立されなければならない。専門職としての成長と専門職連携教育の融合（trans-disciplinary）により、時代が求める専門職連携の中核になりうる人材育成を目指します。 【学習の到達目標】 ・自分の専門性を他の専門職に説明し、他の専門性を学ぶことができる。 ・対象者（利用者）のニーズを多面的に理解し、考えることができる。 ・専門職間の協働によって解決できる共通の課題と目標を抽出することができる。 ・共通目標達成のために専門職としてのそれぞれの役割を理解し実践できる。 ・専門的立場から事例に内在する課題を見出し、各々の目標と計画を作成することができる。 【成績評価方法】 ・グループワークによる「専門職連携セミナー報告書」「成果報告会プレゼンテーション」70% ・リフレクションシート 30% 【課題等のフィードバック方法】 ・グループワーク担当教員（ファシリテーター）が適宜助言する ・発表会に向けて担当教員が助言する 【履修上の注意・予習・復習について】 グループワークにより模擬事例の討議するため積極的に参加すること。 本科目の履修要件：専門職連携論を履修し合格していること。 【受講して得られる効果・メリット、その他】 多職種への理解が深まるばかりでなく、自らの専門性を再認識する機会となる。 【実務家教員担当科目】 病院・施設において多専門職連携を実践していた。						
授 業 計 画						
1. 専門職連携セミナーの目的と意義、進め方について 2. 連携セミナーにおける学習方法（グループワーク）の理解 3. グループワーク、スケジュール確認、活動計画作成 4. 各職の紹介とこれまでの学び、実習経験など 5. 実習室ツアー 6. 事例について読みあわせと情報の確認 7. 用語について各職種間の共通認識 8. 事例の共通目標検討 9. 共通目標達成に向けた各職種の目標と問題点、問題点解決のための支援策の検討 10. 共通目標達成に向けた目標と問題点、問題点解決のための支援策の共通認識と実現の可能性の検討 11. 発表に向けた準備 12. リフレクション 13. 発表会 14. 発表会						
教 科 書		随時配布する				
参 考 書		講義中に提示する				
備 考		集中講義となるので、講義等スケジュールに注意すること 質問、問い合わせ：作業療法学専攻 大黒一司（3211 研究室）				

2020・2021 年度入学者用カリキュラム (看護学科)

科 目 名	関係法規			担 当 者	森田慎二郎
科目ナンバリング	1050222052				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	3305
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	3 年次・前期
授 業 形 式	講義	授 業 時 間	30 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☐ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 看護師国家試験「関係法規」の出題基準と出題実績に基づいて、保健師助産師看護師法など看護師実務に関連する法規や看護師の法的責任などを講義する。				【課題等のフィードバック方法】 出席カード（ミニツペーパー）により質問を受け付け、次の授業で回答する。	
【学習の到達目標】 上記の授業内容を理解し、看護師国家試験「関係法規」の国家試験問題が解けることができる。				【履修上の注意・予習・復習について】 私語、携帯電話他、授業を乱す行為は禁止	
【成績評価方法】 期末テスト 100％（授業中に行う過去問の確認テストは評価対象とはしない）				【受講して得られる効果・メリット、その他】 看護師国家試験合格に近づける。	
				【実務家教員担当科目】 なし	

科 目 名	卒業研究			担 当 者	○佐々木明子・渡邊 隆夫 作山美智子・大槻 久美 戸田 孝史・小田切孝人 沼崎 宗夫・堂浦 克美 庄子 幸恵・大池 真樹 片岡 ゆみ・瀬戸 初江 堀米美智枝・鈴木 祐子 宮下 真子・松田 優二 山岸 貴子・小松 恵 鈴木 敦子・村上 大介 大庭 みよ
科目ナンバリング	10506320129				常勤
D P	1,2			教 員 研 究 室	5206 他、各担当教員の研究室
学 科（専攻）	看護学科			配 当 年 次	4 年次・通年
授 業 形 式	演 習	授 業 時 間	60 時間	単 位	必修 2 単位
アクティブ・ラーニング	☐ 協定等に基づく外部機関と連携した課題解決型授業 ☒ ディスカッション・ディベート ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 該当なし				
I C T 活 用	☐ 双方向型授業 ☐ 自主学習支援 ☒ 該当しない			「数理・データサイエンス・AI」授業	該当しない
【授業内容】 看護に関わる事象の中から、研究につながる課題を見つけ、看護研究を行い、研究のプロセスを学ぶ。研究に対する関心をもち、研究的な視点を理解することで、将来、看護師、保健師、研究者、教育者となった際の、研究的素地を身につける。また、論文の作成の仕方、プレゼンテーションの方法についても学ぶ。				【課題等のフィードバック方法】 講義終了後、質問を受け付け回答する。	
【学習の到達目標】 1. 看護研究の目的が理解できる。 2. 研究の基礎的プロセスを実施を通して理解できる。 3. 卒業研究論文を作成し、研究成果を発表できる。				【履修上の注意・予習・復習について】 研究に積極的に参加すること。	
【成績評価方法】 研究への取り組みの姿勢、研究論文、プレゼンテーションを総合して評価表に基づいて評価する。				【受講して得られる効果・メリット、その他】 臨床や在宅・地域における看護活動の課題に取り組む着眼点や研究方法、研究成果の応用について、学びを深めることができる。	
				【実務家教員担当科目】 各領域の実践・教育・研究についての豊富な経験と実績のある教員が担当する。	
授 業 計 画					
1. オリエンテーションー看護における研究の意義、研究の種類、倫理的配慮ー 2. 研究テーマの検討 3. 文献調査 4. 研究計画書の作成（1）研究テーマの決定 5. 研究計画書の作成（2）研究デザインの決定 6. 研究計画書の作成（3）対象の選定 7. 研究計画書の作成（4）データの種類と収集方法の選定 8. 実施（1）データの収集					
教 科 書	なし				
参 考 書	演習時に指定する。				
備 考	次の教員の指導のもとに、積極的に看護研究に取り組むことを期待する。佐々木明子、作山美智子、大槻久美、戸田孝史、小田切孝人、沼崎宗夫、堂浦克美、庄子幸恵、大池真樹、結城美智子、松田優二、鈴木祐子、鈴木敦子、宮下真子、山岸貴子、村上大介、山田愛実、大場みよ、佐藤大輔、傍島智子、伊藤明美、千葉桂子、荒生有花、福原彩花、秋本和弘				

東北文化学園大学

TOHOKU BUNKA GAKUEN UNIVERSITY

教務課

981-8551 仙台市青葉区国見6丁目45-1
TEL 022-233-6116 FAX 022-233-6419
教務課 kyomu@office.tbgu.ac.jp